IBM

System x3100 M5
Type 5457
インストールとサービスのガイド

System x3100 M5
Type 5457
インストールとサービスのガイド

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 709 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』に記載されている一般情報、 713 ページの『特記事項』、「*保証情報*」、および IBM *Documentation* CD に収録されている「*Safety Information*」および「*Environmental Notices and User Guide*」の各資料をお読みください。

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： System x3100 M5
Type 5457
Installation and Service Guide
First Edition (June 2014)

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

2014.6

© Copyright IBM Corporation 2014.

目次

安全について vii
安全に関する注意書き ix

第 1 章 IBM System x3100 M5 Type 5457 サーバー 1
IBM Documentation CD 4
ハードウェアとソフトウェアの要件. 4
Documentation Browser 4
関連資料. 5
本書で使用される注記 7
サーバーの機能および仕様. 7
サーバーが提供する機能 14
信頼性、可用性、および保守容易性 17
IBM Systems Director 18
サーバーのコントロール、LED、および電源 . . . 19
正面図 19
背面図 24
サーバーのパワー・サプライ 26
サーバーの電源をオンにする 27
サーバーの電源をオフにする 27

第 2 章 オプション装置の取り付け . . . 29
IBM ビジネス・パートナー用の手順 30
IBM への DSA データの送信方法. 30
サーバー・コンポーネント 31
システム・ボードの内部コネクター 32
システム・ボードの外部コネクター 33
システム・ボードのスイッチとジャンパー . . . 34
システム・ボードの LED. 36
取り付けのガイドライン 37
システムの信頼性に関するガイドライン. . . . 39
電源オンされているサーバー内部での作業 . . . 39
静電気に弱い装置の取り扱い 40
サイド・カバーの取り外し 40
エア・バッフルの取り外し 42
ベゼルの取り外し 43
下段ベゼルの取り外し. 45
上段ベゼルの取り外し. 46
メモリー・モジュールの取り付け 47
Unbuffered DIMM (UDIMM). 48
ドライブの取り付け 53
DVD ドライブの取り付け 56
テープ・ドライブの取り付け 60
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け 64
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け 66
アダプターの取り付け. 68
マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け 73
熱伝導グリース 78
非ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け 80
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け. . 82
thermal solution fan kit の取り付け 84
5U サーバー・モデルへのバッテリー・ホルダーの取り付け 87
作動温度の機能拡張キットの取り付け 88
取り付けの完了 91
ベゼルの交換. 91
下段ベゼルの交換 92
上段ベゼルの交換 93
エア・バッフルの交換. 94
サイド・カバーの交換. 96
ケーブルの接続 98
サーバー構成の更新 100
外付けデバイスの接続 100
サーバーのラックへの取り付け 101

第 3 章 構成情報と説明 103
ファームウェアの更新 103
サーバーの構成. 104
ServerGuide Setup and Installation CD の使用 107
ServerGuide の機能 107
セットアップおよび構成の概要 108
標準的なオペレーティング・システムのインストール 108
ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール. 109
Setup ユーティリティーの使用 109
Setup ユーティリティーの開始 109
Setup ユーティリティーのメニュー選択項目 110
パスワード 115
Boot Manager の使用. 116
バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始 117
Update*Xpress* System Pack Installer 117
統合管理モジュール II (IMM2) の使用. 118
リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用 119
IMM ホスト名の取得. 120
IMM 用の IP アドレスの取得. 121
Web インターフェースへのログオン. . . . 121
組み込みハイパーバイザーの使用. 122
Gigabit Ethernet コントローラーの構成. . . . 123
Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化 124
Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化. 124
RAID アレイの構成 124
IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム. 125
IBM Systems Director の更新 125
最新バージョンのインストール 126

© Copyright IBM Corp. 2014

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール . . 126
ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール. . 126
汎用固有 ID (UUID) の更新 127
DMI/SMBIOS データの更新 130

第 4 章 トラブルシューティング . . . 135
ここから開始します 135
問題の診断 135
文書化されていない問題. 138
Service Bulletin 138
チェックアウト手順 139
チェックアウト手順について 139
チェックアウト手順の実行 140
診断ツール 141
Light Path 診断. 143
エラー LED 144
パワー・サプライ LED 147
システム・パルス LED 150
イベント・ログ. 151
セットアップ・ユーティリティーを使用してイベント・ログを表示する 152
サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する. 153
イベント・ログの消去 154
POST 155
IBM Dynamic System Analysis 155
DSA のエディション 156
DSA Preboot 診断プログラムの実行 157
診断テキスト・メッセージ 158
テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送 158
自動サービス要求 (コール・ホーム). 159
IBM Electronic Service Agent 159
エラー・メッセージ 159
現象別トラブルシューティング 159
一般的な問題 160
ハード・ディスクの問題. 160
CD/DVD ドライブの問題 162
ハイパーバイザーの問題. 163
再現性の低い問題 164
キーボード、マウス、または USB デバイスの問題 165
メモリーの問題. 166
マイクロプロセッサー問題 168
モニターの問題. 168
ネットワーク接続の問題. 171
オプション装置の問題 171
電源問題 172
シリアル・ポートの問題. 173
ServerGuide の問題 174
ソフトウェアの問題 175
USB ポートの問題 176
電源の問題の解決 176
イーサネット・コントローラーの問題の解決 . . . 177
未解決問題の解決 178
問題判別のヒント 179
サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗). 181
インバンドの手動リカバリー方式. 182
インバンドの自動ブート・リカバリー方式. . . 184
アウト・オブ・バンド方式 184
自動ブート・リカバリー (ABR) 185
Nx 回ブート失敗 185

第 5 章 部品リスト、IBM System x3100 M5 Type 5457 187
交換可能なサーバー・コンポーネント 187
構成部品 197
電源コード 199

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換 203
装置またはコンポーネントの返却. 203
サーバー・コンポーネントの取り外しと交換 . . . 204
構成部品の取り外しと交換 204
サイド・カバーの取り外し 204
サイド・カバーの交換 206
エア・バッフルの取り外し 208
エア・バッフルの交換 209
ベゼルの取り外し 211
ベゼルの交換 213
下段ベゼルの取り外し 214
下段ベゼルの交換 215
上段ベゼルの取り外し 216
上段ベゼルの交換 217
ハード・ディスク・ケージの取り外し . . . 218
ハード・ディスク・ケージの交換. 222
5U サーバー・モデルからのバッテリー・ホルダーの取り外し 225
5U サーバー・モデルでのバッテリー・ホルダーの交換 227
Tier 1 CRU の取り外しと交換. 228
内蔵ドライブの取り外しと取り付け 229
ハード・ディスク・ファン・ダクトの取り外し 252
ハード・ディスク・ファン・ダクトの交換 255
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し. 257
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの再取り付け 260
シンプル・スワップ・バックプレートの取り外し 263
シンプル・スワップ・バックプレートの交換 265
ソフトウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートの、ハードウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートとの取り替え . . 269
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し 273

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの交換 276
オペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し 279
オペレーター情報パネル・アセンブリーの交換 281
前面 USB コネクター・アセンブリーの取り外し 284
前面 USB コネクター・アセンブリーの交換 288
後部アダプターの保持ブラケットの取り外し 292
後部アダプターの保持ブラケットの交換 . . 293
非ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し 294
非ホット・スワップ・パワー・サプライの交換 296
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し 298
ホット・スワップ・パワー・サプライの交換 300
アダプターの取り外し 302
アダプターの交換 306
メモリー・モジュールの取り外し 310
メモリー・モジュールの交換 312
システム・バッテリーの取り外し 318
システム・バッテリーの交換 320
背面システム・ファンの取り外し 322
背面システム・ファンの交換 324
thermal solution fan kit の取り外し 325
thermal solution fan kit の交換 328
作動温度の機能拡張キットの取り外し . . . 330
作動温度の機能拡張キットの交換 333
Tier 2 の CRU の取り外しと交換 335
ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージの取り外し 336
ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージの交換 338
マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し 342
マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換 346
システム・ボードの取り外し 352
システム・ボードの交換 360

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ 369
自動的にサポートに通知する IMM イベント . . . 370

付録 B. UEFI/POST 診断コード 551

付録 C. DSA 診断テスト結果 567
DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果 . . . 567
DSA Brocade テスト結果 576
DSA チェックポイント・パネル・テスト結果 . . 584
DSA CPU ストレス・テスト結果 586
DSA Emulex アダプター・テスト結果 589
DSA EXA ポート ping テスト結果 592
DSA ハード・ディスク・テスト結果 594
DSA Intel ネットワーク・テスト結果 596
DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果 602
DSA Mellanox アダプター・テスト結果 603
DSA メモリー分離テスト結果 605
DSA メモリー・ストレス・テスト結果 677
DSA Nvidia GPU テスト結果 679
DSA 光学式ドライブ・テスト結果 685
DSA システム管理テスト結果 689
DSA テープ・ドライブ・テスト結果 704

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手 709
依頼する前に 709
資料の使用 710
ヘルプおよび情報を WWW から入手する 710
IBM への DSA データの送信方法 711
個別設定したサポート Web ページの作成 711
ソフトウェアのサービスとサポート 711
ハードウェアのサービスとサポート 712

特記事項 713
商標 714
重要事項 714
サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意 715
粒子汚染 716
通信規制の注記 717
電波障害自主規制特記事項 717
Federal Communications Commission (FCC) statement 717
Industry Canada Class A emission compliance statement 718
Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada 718
Australia and New Zealand Class A statement . . 718
European Union EMC Directive conformance statement 718
Germany Class A statement 719
VCCI クラス A 情報技術装置 720
電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示 720
Korea Communications Commission (KCC) statement 720
Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement 720
People's Republic of China Class A electronic emission statement 721
Taiwan Class A compliance statement 721

索引 723

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الآمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 Safety Information
（安全信息）。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας
(safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

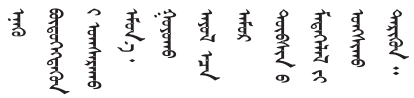
Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

© Copyright IBM Corp. 2014

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się
z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

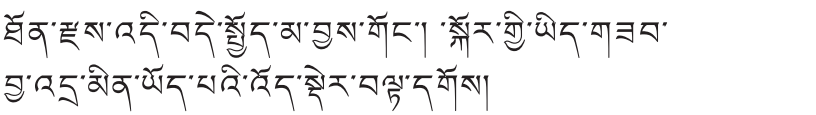
Перед установкой продукта прочтите инструкции по
технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítaje Bezpečnostné predpisy.

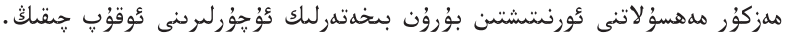
Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.



Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.



Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

安全に関する注意書き

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

重要:

本書のすべての「注意」と「危険」の注意書きには番号のラベルが付いています。この番号は、英語の Caution と Danger と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

例えば、「Caution」の注意書きに `Statement 1` のラベルが付いている場合、「*Safety Information*」資料の `Statement 1` にその注意書きに対応した翻訳文が記載されています。

この資料で述べられている手順を実施する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- **雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。**
- **すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。**
- **ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。**
- **信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。**
- **火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。**
- **取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。**
- **ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。**

ケーブルの接続手順:	**ケーブルの切り離し手順:**
1. すべての電源をオフにします。	1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。	2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクターに接続します。	3. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。	4. すべてのケーブルを装置から取り外します。
5. 装置の電源をオンにします。	

安全 2

注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM® 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100℃ (華氏 212 度) を超える過熱**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3

注意:
レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- **カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**

危険

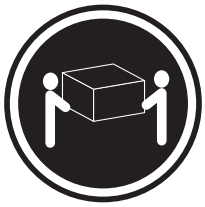
一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。 次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

Class 1 Laser Product
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil À Laser de Classe 1

安全 4

注意:
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。



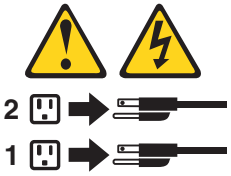
≥ 18 kg (39.7 lb)

≥ 32 kg (70.5 lb)

≥ 55 kg (121.2 lb)

安全に関する注記 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。 装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。 装置から完全に電気を取り除くには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6

注意:
もし電源コードを装置側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの給電部側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 12

注意:
このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。

安全 26

注意:
ラックに装着された装置の上には物を置かないでください。

安全 27

注意:
近くに動く部品が存在します。

ラック安全情報、安全 2

危険

- **ラック・キャビネットのレベル・パッドは必ず下げてください。**
- **ラック・キャビネットには必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。**
- **サーバーおよびオプション装置は、必ずラック・キャビネットの最下部から取り付けてください。**
- **最も重い装置は、必ずラック・キャビネットの最下部に取り付けてください。**

第 1 章 IBM System x3100 M5 Type 5457 サーバー

本「*インストールおよびサービスのガイド*」には、ご使用の IBM System x3100 M5 Type 5457 サーバーをセットアップするための情報および手順、いくつかのオプション装置の取り付け手順、サーバーの配線および構成、装置の取り外しおよび交換、ならびに診断およびトラブルシューティング情報を記載しています。

29 ページの『第 2 章 オプション装置の取り付け』で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 30 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

IBM System x3100 M5 Type 5457 サーバ [1] 4U モデルおよび 5U モデルがあります。 必要なものを完備した、高性能のタワー・システムで、コスト、構成、パフォーマンスの拡張が容易です。

パフォーマンス、使いやすさ、信頼性、管理の容易性、および拡張機能が、このサーバーの設計における重要な考慮事項でした。このような設計特性により、お客様が現在のニーズに合わせてシステムのハードウェアをカスタマイズできるだけでなく、将来に備えるための柔軟な拡張機能が提供されます。

このサーバーには限定保証が適用されます。保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「*IBM 保証情報*」を参照してください。

このサーバーには、パフォーマンスおよび信頼性を高めるのに役立つ IBM 次世代テクノロジーが使用されています。詳しくは、 14 ページの『サーバーが提供する機能』および 17 ページの『信頼性、可用性、および保守容易性』を参照してください。

ご使用のサーバーおよびその他の IBM サーバー製品に関する最新の情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/ から入手できます。 http://www.ibm.com/supportportal では、目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート・ページを作成することができます。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

IBM クライアント・リファレンス・プログラムに参加すると、ご使用になっているテクノロジー、ベスト・プラクティス、および革新的ソリューションに関する情報を共用できるほか、業界ネットワークを構築し、お客様の業務の認知度を上げることができます。IBM クライアント・リファレンス・プログラムについて詳しくは、http://www.ibm.com/ibm/clientreference/を参照してください。

ファームウェアと資料の更新情報が使用可能な場合は、IBM Web サイトからダウンロードできます。 サーバーには、その付属資料の中で説明されていない機能が装備

1. ラックは縦に 4.45 cm (1.75 インチ) ごとの区切りで測定されています。各区切りは「U」と表されます。1U の装置の高さは 4.45 cm (1.75 インチ) です。

© Copyright IBM Corp. 2014

されている場合があります。また、資料は、これらの機能に関する情報を収録するためにときどき更新されることがあり、サーバーの資料に収録されていない追加情報を記述するために、技術上の更新が行われることもあります。更新を確認するには、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。

このサーバーに関する情報を、以下の表に記録してください。

表 1. システム情報の記録

製品名	マシン・タイプ	型式番号	シリアル番号
IBM System x3100 M5 サーバー	Type 5457		

4U サーバー・モデルと 5U サーバー・モデルのそれぞれについて、モデル番号とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバー前面の ID ラベルに記載してあります。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

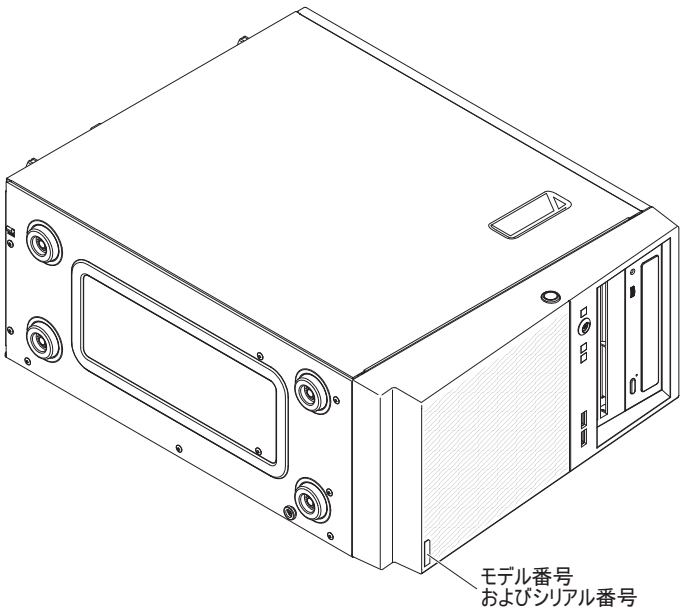


図 1. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのモデル・タイプ番号およびシリアル番号の位置

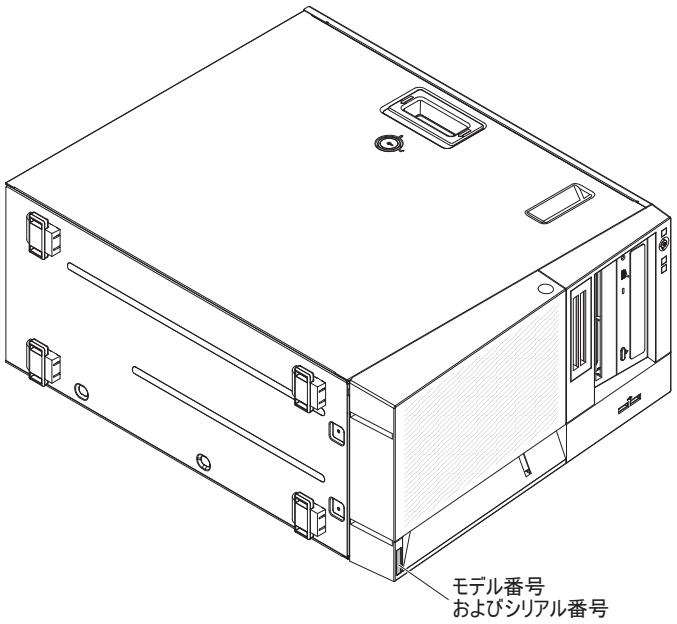


図 2. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのモデル・タイプ番号およびシリアル番号の位置

重要: サーバーのキーは、錠前屋で複製することはできません。キーをなくした場合は、キーのメーカーに代わりのキーを注文してください。キーのシリアル番号およびメーカーの電話番号は、キーに取り付けられたタグに載っています。

さらに、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルには、サービス情報にモバイル・アクセスするための QR コードもあります。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用して QR コードをスキャンし、IBM Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。IBM Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

さらに、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルには、サービス情報にモバイル・アクセスするための QR コードもあります。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用して QR コードをスキャンし、IBM Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。IBM Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

次の図は QR コードを示しています (http://ibm.co/1ja7bP8)。

図 3. QR コード

IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD をダウンロードして、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバーのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立てることができます。

サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。

ラックへの取り付けと取り外しに関する完全な手順については、IBM *System x Documentation* CD にある資料「*ラック搭載手順*」を参照してください。

IBM Documentation CD

IBM *Documentation* CD には、ご使用のサーバーに関する資料が PDF フォーマットで含まれているほか、迅速な情報検索に役立つ IBM Documentation Browser も含まれています。

ハードウェアとソフトウェアの要件

IBM *Documentation* CD のハードウェア要件とソフトウェア要件。

IBM *Documentation* CD には、以下の最小ハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- Microsoft Windows または Red Hat Linux
- 100 MHz マイクロプロセッサー
- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (またはそれ以降)、または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf

Documentation Browser

Documentation Browser を利用すると、CD の内容をブラウズしたり、資料の概要を表示したり、あるいは Adobe Acrobat Reader または xpdf を使用して資料を表示できます。

Documentation Browser は、サーバーで使用している地域設定を自動的に検出し、その地域の言語を使用して資料を表示します (その言語が利用可能な場合)。その地域の言語で資料を表示できない場合は、英語版の資料が表示されます。 Documentation Browser を開始するには、次のいずれかの方法を使用してください。

- 「Autostart (自動再生)」が有効な場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入します。 Documentation Browser は自動的に開始します。
- 自動始動が使用不可の場合、またはこの機能がユーザー全員に対しては使用可能でない場合は、以下のいずれかの手順を実行します。
  - Windows オペレーティング・システムを使用している場合は CD を CD ドライブまたは DVD ドライブに挿入し、**「スタート」 > 「ファイル名を指定して実行」**をクリックします。「名前」フィールドに次のように入力します。

    ```
    e:¥win32.bat
    ```

ここで、*e* は CD または DVD ドライブのドライブ名です。「**OK**」をクリックします。

– Red Hat Linux を使用している場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入し、/mnt/cdrom ディレクトリーから次のコマンドを実行します。

```
sh runlinux.sh
```

「**Product**」メニューからサーバーを選択します。「**Available Topics**」リストに、該当のサーバーに関するすべての文書が表示されます。一部の資料は、フォルダーに入っている場合があります。プラス符号 (+) が付いているフォルダーまたは資料には、その下にさらに資料が存在します。 プラス符号をクリックすると、それらの追加資料が表示されます。

文書を選択すると、その文書の説明が「**Topic Description**」の下に表示されます。複数の資料を選択するには、Ctrl キーを押したままにして、各資料を選択します。選択した文書を Acrobat Reader または xpdf で表示するには、「**View Book**」をクリックします。複数の資料を選択した場合は、選択したすべての資料が Acrobat Reader または xpdf で開かれます。

すべての文書を検索するには、ワードまたはワード・ストリングを「**Search**」フィールドに入力し、「**Search**」をクリックします。 そのワードまたはワード・ストリングが出現する資料が、出現回数の多い順にリストされます。その資料をクリックして表示し、資料内で Crtl+F を押して Acrobat の検索機能を使用するか、Alt+F を押して xpdf の検索機能を使用します。

Documentation Browser の使用法について詳しくは、「**Help**」をクリックしてください。

関連資料

この「*インストールとサービスのガイド*」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプション装置の取り付け方法、サーバーの構成方法を含め、サーバーに関する一般情報が記載されています。また、ユーザーが自分自身で問題を解決するのに役立つ情報や、サービス技術員向けの情報も記載されています。

サーバーには、以下の資料も付属しています。

- *保証情報*

  この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。 この資料には、保証条件と、IBM Web サイト上の「IBM 保証の内容と制限」へのポインターが記載されています。

- *重要事項*

  この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。 ご使用の IBM 製品の安全、環境、および電波障害自主規制特記事項が記載されています。

- *Environmental Notices and User Guide*

  この資料は、IBM *Documentation* CD に PDF 形式で収められています。この資料には、翻訳された環境上の注意が記載されています。

- *IBM 機械コードのご使用条件*

  この資料は、IBM *Documentation* CD 上に PDF 形式で収められています。ご使用の製品用の翻訳された「*IBM 機械コードのご使用条件*」が記載されています。

- *Licenses and Attributions Document*

  この資料は、IBM *Documentation* CD 上に PDF 形式で収められています。オープン・ソースの注意が記載されています。

- *Safety Information*

  この資料は、IBM *Documentation* CD 上に PDF 形式で収められています。この資料には、注意と危険に関する注記が翻訳されて記載されています。 この文書に記載された注意と危険の注記にはそれぞれ番号が割り当てられており、これを使用して、「*Safety Information*」の中にご使用の言語で書かれた対応する注記を見付けることができます。

- *ラック搭載手順*

  この印刷資料には、サーバーをラックに搭載するための手順が記載されています。

サーバーのモデルによっては、追加資料が、IBM *Documentation* CD で提供される場合もあります。

System x および BladeCenter の ToolsCenter は、ファームウェア、デバイス・ドライバー、およびオペレーティング・システムの更新、管理、および展開用のツールに関する情報を記載しているオンライン・インフォメーション・センターです。ToolsCenter for System x and BladeCenter は http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER にあります。

このサーバーには、サーバーに付属の資料には記述されていない機能が含まれている場合があります。資料は、このようなフィーチャーに関する情報を組み込むために随時更新される可能性があり、また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。これらの更新情報は、IBM Web サイトから入手できます。更新を確認するには、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。

本書で使用される注記

本書の注意および危険に関する注記は、IBM *Documentation* CD に収められている複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。安全に関する各注記には番号が付いています。この番号を使用して、「*Safety Information*」資料の中で、対応する自国語の注記を見つけることができます。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** この注記には、重要なヒント、ガイダンス、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。 「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。 「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。 「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

サーバーの機能および仕様

この情報は、サーバーの機能および仕様の概要を知る上で役に立ちます。

以下の情報は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの機能と仕様の要約です。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。ご使用のモデルによっては、一部の機能が使用できなかったり、一部の仕様が適用されない場合があります。

マイクロプロセッサー (モデルにより異なる):

- 1 個の Intel デュアルコアまたはクアッドコア (Xeon E3-1200 V3 シリーズ) プロセッサーをサポート
- マルチチップ・パッケージ・プロセッサー・アーキテクチャー
- LGA 1150 ソケット対応の設計
- 最大 4 コアまでの拡張性
- 32 KB 命令 L1 キャッシュ、32 KB データ L1 キャッシュ、256 KB 命令/データ L2 キャッシュ、およびコア間で共用する最大 8 MB の L3 キャッシュ
- Intel Extended Memory 64 Technology (EM64T) のサポート

注:

1. サーバーに使用されているマイクロプロセッサーのタイプと速度を判別するには、Setup ユーティリティーを使用します。
2. サポートされるマイクロプロセッサーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us を参照してください。

メモリー:

- コネクター: 4 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) コネクター、2-way インターリーブ
- 最小: 1 GB
- 最大: 32 GB
- タイプ: PC3-12800 (single-rank または dual-rank)、1333 および 1600 MHz、ECC、DDR3 unbuffered SDRAM DIMM のみ
- サイズ: 1GB (single-rank) 2GB (single-rank) 4GB (dual-rank) 8GB (dual-rank)

ファン:

- 1 個のシステム・ファン
- PCIe カード用の 1 個のオプション・ファン

パワー・サプライ:

- 1 個の 350 ワットまたは 300 ワット固定パワー・サプライ

サイズ:

- 高さ: 360 mm
- 奥行き: 480 mm
- 幅: 180 mm
- 質量: 10 kg から 13 kg (構成によって異なります)

RAID コントローラー (モデルによって異なる):

- RAID レベル 0、1、および 10 を提供する ServeRAID H1110 SAS/SATA コントローラー。
- RAID レベル 0、1、および 10 (RAID 5 アップグレードは IBM System x で使用可能) をサポートする ServeRAID C100 機能
- RAID レベル 0、1、および 10 (RAID 5 アップグレードは IBM System x で使用可能) を提供する ServeRAID M1115 SAS/SATA コントローラー。

環境:

- 電源オン時:
  - 温度: 5°C から 40°C (950 m まで)。950 m を超えた場合の最大室温の低下率は 1°C /175 m
  - 湿度 (結露なし): -12°C の露点および 8% から 85% の相対湿度
  - 最大露点: 24°C
  - 最大高度: 3,050 m、5°C から 28°C
  - 最大温度変化率: テープ・ドライブの場合は 5°C/時間、ハード・ディスクの場合は 20°C/時間
- 電源オフ時:
  - 温度: 5°C から 45°C
  - 湿度: 8% から 85%
  - 最大露点: 27°C
- 保管時 (非稼働時):

- 温度: 1°C から 60°C (33.8°F から 140°F)
- 高度: 3,050 m
- 湿度: 5% から 80%
- 最大露点: 29°C

- 出荷時 (非稼働時)
  - 温度: -40°C から 60°C (-40°F から 140°F)
  - 高度: 10.700 m
  - 湿度: 5% から 100%
  - 最大露点: 29°C
- 粒子汚染:

  重要: サポートが緩和された ASHRAE クラス A3、室温 40°C 対応の設計:
  - このシステムは、性能低下を許容できない、クラウドのようなワークロードをサポートします (Turbo-Off)。
  - どのような環境であっても、最悪のケースのワークロードと構成の組み合わせでも 40°C でシステム・シャットダウンが発生したり仕様を超えたりすることはありません。

ドライブ (モデルにより異なる):

- ハード・ディスク: 最大 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA
- 以下のいずれかの SATA 接続光学式ドライブ:
  - DVD-ROM
  - テープ・ドライブ

ドライブ・ベイ (モデルによって異なる):

- 2 個の 5.25 型ハーフハイト・ベイ (1 台の光ディスク・ドライブが取り付け済み)
- 4 個の 3.5 型ハード・ディスク・ベイ

内蔵機能:

- 統合管理モジュール II (IMM2) (複数の管理機能を単一のチップに統合)
- BroadCom 5717 Gb イーサネット・コントローラー (TCP/IP オフロード・エンジン (TOE) および Wake on LAN サポート付き)
- 内蔵 SATA コントローラー
- 7 個の USB ポート:
  - 2 つの USB 3.0 ポート (前面)。(USB 3.0 の制約により、 RHEL 5.10、Vmware 5.1、および Vmware 5.5 については、全面 USB は使用不可)
  - 4 つの USB 2.0 ポート (背面)
  - オプションのテープ・ドライブ用の 1 個の内部 USB 2.0 ポート
- 6 個の SATA ポート (DVD ドライブ用、またはオプションのテープ・ドライブ用の青色のポート)
- 1 個のシリアル・ポート
- 2 個のイーサネット・ポート

- 1 個の VGA ポート

発熱量 (消費電力):

- 最小構成: 100 ワット
- 最大構成: 350 ワット

拡張スロット:

- 1 個の PCI Express x16 スロット
- 1 個の PCI Express x8 スロット
- 1 個の PCI Express x8 スロット
- 1 個の PCI Express x4 スロット

電源入力:

- 正弦波入力 (50 から 60 Hz) 必須
- 低電圧入力範囲:
  - 最低: 100 V AC
  - 最高: 127 V AC
- 高電圧入力範囲:
  - 最低: 200 V AC
  - 最高: 240 V AC
- 入力電力 (kVA) (近似値):
  - 最小: 0.100 kVA (すべてのモデル)
  - 最大: 0.350 kVA

音響放出ノイズ

- 音響出力、アイドリング時: 5.0 ベル
- 音響出力、動作時: 5.0 ベル

注:

1. 電力消費量と発熱量は、取り付けてあるオプション機構と使用している電源管理オプション機構の数とタイプに応じて変動します。
2. 放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたマシンの公称 (上限) 音響出力レベル (ベル単位) です。 すべての測定は、ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠して報告されています。

以下の情報は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの機能と仕様の要約です。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。ご使用のモデルによっては、一部の機能が使用できなかったり、一部の仕様が適用されない場合があります。

マイクロプロセッサー (モデルにより異なる):

- 1 個の Intel デュアルコアまたはクアッドコア (Xeon E3-1200 V3 シリーズ) プロセッサーをサポート
- マルチチップ・パッケージ・プロセッサー・アーキテクチャー
- LGA 1150 ソケット対応の設計
- 最大 4 コアまでの拡張性

- 32 KB 命令 L1 キャッシュ、32 KB データ L1 キャッシュ、256 KB 命令/データ L2 キャッシュ、およびコア間で共用する最大 8 MB の L3 キャッシュ
- Intel Extended Memory 64 Technology (EM64T) のサポート

注:

1. サーバーに使用されているマイクロプロセッサーのタイプと速度を判別するには、Setup ユーティリティーを使用します。
2. サポートされるマイクロプロセッサーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us を参照してください。

メモリー:

- コネクター: 4 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) コネクター、2-way インターリーブ
- 最小: 1 GB
- 最大: 32 GB
- タイプ: PC3-12800 (single-rank または dual-rank)、1333 および 1600 MHz、ECC、DDR3 unbuffered SDRAM DIMM のみ
- サイズ: 1GB (single-rank) 2GB (single-rank) 4GB (dual-rank) 8GB (dual-rank)

ファン:

- 1 個のシステム・ファン
- PCIe カード用の 1 個のオプション・ファン

パワー・サプライ:

- 1 個または 2 個の 430 ワットの冗長パワー・サプライ

サイズ:

- 高さ: 438.60 mm
- 奥行き: 569.11 mm
- 幅: 217.3 mm
- 質量: 19.6 kg から 22 kg (48.50 lb) (構成によって異なります)

RAID コントローラー (モデルによって異なる):

- RAID レベル 0、1、および 10 を提供する ServeRAID H1110 SAS/SATA コントローラー。
- RAID レベル 0、1、および 10 (RAID 5 アップグレードは IBM System x で使用可能) をサポートする ServeRAID C100 機能
- RAID レベル 0、1、および 10 (RAID 5 アップグレードは IBM System x で使用可能) を提供する ServeRAID M1115 SAS/SATA コントローラー。

環境:

- 電源オン時:
  - 温度: 5°C から 40°C (950 m まで)。950 m を超えた場合の最大室温の低下率は 1°C /175 m

- 湿度 (結露なし): -12°C の露点および 8% から 85% の相対湿度
- 最大露点: 24°C
- 最大高度: 3,050 m、5°C から 28°C
- 最大温度変化率: テープ・ドライブの場合は 5°C/時間、ハード・ディスクの場合は 20°C/時間

• 電源オフ時:
- 温度: 5°C から 45°C
- 湿度: 8% から 85%
- 最大露点: 27°C

• 保管時 (非稼働時):
- 温度: 1°C から 60°C (33.8°F から 140°F)
- 高度: 3,050 m
- 湿度: 5% から 80%
- 最大露点: 29°C

• 出荷時 (非稼働時)
- 温度: -40°C から 60°C (-40°F から 140°F)
- 高度: 10.700 m
- 湿度: 5% から 100%
- 最大露点: 29°C

• 粒子汚染:

重要: サポートが緩和された ASHRAE クラス A3、室温 40°C 対応の設計:
- このシステムは、性能低下を許容できない、クラウドのようなワークロードをサポートします (Turbo-Off)。
- どのような環境であっても、最悪のケースのワークロードと構成の組み合わせでも 40°C でシステム・シャットダウンが発生したり仕様を超えたりすることはありません。

ドライブ (モデルにより異なる):

• ハード・ディスク: 最大 8 個の 2.5 型ホット・スワップ SATA/SAS または 最大 4 個の 3.5 型ホット・スワップ SATA/SAS
• 以下のいずれかの SATA 接続光学式ドライブ:
- DVD-ROM

ドライブ・ベイ (モデルによって異なる):

• 2 個の 5.25 型ハーフハイト・ベイ (1 台の光ディスク・ドライブが取り付け済み)
• 8 個の 2.5 型ハード・ディスク・ベイ
• 4 個の 3.5 型ハード・ディスク・ベイ

内蔵機能:

• 統合管理モジュール II (IMM2) (複数の管理機能を単一のチップに統合)
• BroadCom 5717 Gb イーサネット・コントローラー (TCP/IP オフロード・エンジン (TOE) および Wake on LAN サポート付き)

- 内蔵 SATA コントローラー
- 7 個の USB ポート:
  - 2 つの USB 3.0 ポート (前面)。(USB 3.0 の制約により、 RHEL 5.10、Vmware 5.1、および Vmware 5.5 については、全面 USB は使用不可)
  - 4 つの USB 2.0 ポート (背面)
  - オプションのテープ・ドライブ用の 1 個の内部 USB 2.0 ポート
- 6 個の SATA ポート (DVD ドライブ用、またはオプションのテープ・ドライブ用の青色のポート)
- 1 個のシリアル・ポート
- 2 個のイーサネット・ポート
- 1 個の VGA ポート

発熱量 (消費電力):

- 最小構成: 100 ワット
- 最大構成: 506 ワット

拡張スロット:

- 1 個の PCI Express x16 スロット
- 1 個の PCI Express x8 スロット
- 1 個の PCI Express x8 スロット
- 1 個の PCI Express x4 スロット

電源入力:

- 正弦波入力 (50 から 60 Hz) 必須
- 低電圧入力範囲:
  - 最低: 100 V AC
  - 最高: 127 V AC
- 高電圧入力範囲:
  - 最低: 200 V AC
  - 最高: 240 V AC
- 入力電力 (kVA) (近似値):
  - 最小: 0.100 kVA (すべてのモデル)
  - 最大: 0.506 kVA

音響放出ノイズ

- 音響出力、アイドリング時: 5.0 ベル
- 音響出力、動作時: 5.0 ベル

注:

1. 電力消費量と発熱量は、取り付けてあるオプション機構と使用している電源管理オプション機構の数とタイプに応じて変動します。
2. 放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたマシンの公称 (上限) 音響出力レベル (ベル単位) です。 すべての測定は、ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠して報告されています。

サーバーが提供する機能

このサーバーでは、次の機能およびテクノロジーが使用されています。

- **統合管理モジュール II (IMM2)**

  統合管理モジュール II (IMM2) は、IMM の第 2 世代です。 IMM2 は、IBM System x ハードウェア用の共通管理コントローラーです。IMM2 は、複数の管理機能を、サーバーのシステム・ボードにある単一のチップに統合します。

  IMM2 に固有の機能として、パフォーマンスの改善、ブレード・サーバーとの互換性の拡張、リモート・ビデオの解像度の向上、セキュリティー・オプションの強化、ハードウェアおよびファームウェアのオプションのための Feature on Demand への対応が挙げられます。

  追加情報については、 118 ページの『統合管理モジュール II (IMM2) の使用』、および「*Integrated Management Module II User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

- **UEFI 準拠サーバー・ファームウェア**

  IBM System x サーバー・ファームウェアには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) バージョン 2.1 準拠、RAS (信頼性、可用性、保守容易性) 拡張機能、BIOS (基本入出力システム) 互換性サポートなどの機能が備わっています。UEFI はレガシー BIOS を置き換えます。UEFI は、オペレーティング・システム、プラットフォーム・ファームウェア、および外付け装置間の標準インターフェースを定義し、レガシー BIOS の機能をはるかに上回る機能を提供します。

  このサーバーは、UEFI の能力と特性をレガシー BIOS の互換性と結合できるよう設計されています。サーバーは、UEFI 準拠オペレーティング・システム、BIOS ベースのオペレーティング・システム、および BIOS ベースのアダプターのほか、UEFI 準拠アダプターをブートすることができます。

  注: このサーバーは DOS (ディスク・オペレーティング・システム) をサポートしません。

- **Dynamic System Analysis (DSA)**

  Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題の診断に役立つシステム情報を収集し、分析します。DSA は、サーバーに関する次の情報を収集します。

  – ドライブのヘルス情報
  – ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
  – ハードウェア・インベントリー情報 (PCI および USB 情報を含む)
  – インストール済みのアプリケーションおよびホット・フィックス (DSA Portable のみで使用可能)
  – カーネル・モジュール (DSA Portable のみで使用可能)
  – Light Path 診断の状況
  – ネットワーク・インターフェースおよび設定
  – パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細
  – RAID およびコントローラーの構成

– サービス・プロセッサー (統合管理モジュール II (IMM2)) の状況および構成
– システム構成
– 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報
– IMM2 構成情報
– IMM2 環境情報
– オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報

DSA は、DSA ログを作成します。このログは、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール II (IMM2) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。 DSA ログは、ファイルとしてサポート担当者に送信したり、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

  VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。 ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。システム・ボードの USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクターに USB フラッシュ・デバイスを取り付けてください (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。詳しくは、122 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

- **Features on Demand**

  サーバーまたはサーバー内に取り付けたオプションの装置に Features on Demand 機能が組み込まれている場合、アクティベーション・キーを注文して機能をアクティブ化することができます。Features on Demand について詳しくは、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ を参照してください。

- **ハイパフォーマンス・グラフィックス・コントローラー**

  このサーバーにはオンボードのハイパフォーマンス・グラフィックス・コントローラーが搭載され、高解像度のサポートおよびオペレーティング・システム環境における多くのパフォーマンス強化機能が組み込まれています。

- **IBM Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス**

  サーバーには、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルに QR コードが記載されています。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用してこのコードをスキャンすると、IBM Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。IBM Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。QR コードについては、1 ページの『第 1 章 IBM System x3100 M5 Type 5457 サーバー』 のページにある QR コード情報を参照してください。

- **IBM Systems Director**

  IBM Systems Director は、異機種混合環境で物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤です。 IBM Systems Director

は、業界標準を使用することによって、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。詳しくは、IBM Systems Director インフォメーション・センター (and 18 ページの『IBM Systems Director』) を参照してください。

- **IBM Enterprise X-Architecture テクノロジー**

  IBM X-Architecture® テクノロジーは、実証済みで革新的な IBM 設計を結合して、ご使用の Intel プロセッサー・ベースのサーバーを強力で、スケーラブルで、しかも信頼性の高いものにします。詳しくは、http://www.ibm.com/systems/x/hardware/enterprise/xarchitecture.htmlを参照してください。

- **IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD**

  Web からダウンロードできる *ServerGuide Setup and Installation* CD には、ユーザーがサーバーをセットアップし、Windows オペレーティング・システムをインストールするのに役立つプログラムが提供されています。ServerGuide プログラムは、インストール済みのオプション・ハードウェアを検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバーを提供します。 *ServerGuide Setup and Installation* CD について詳しくは、 107 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **内蔵ネットワーク・サポート**

  このサーバーには、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps のネットワークへの接続をサポートする内蔵デュアル・ポート Intel 82574L ギガビット・イーサネット・コントローラーが搭載されています。詳しくは、 123 ページの『Gigabit Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **PCI アダプター機能**

  このサーバーには、4 個の PCI インターフェース・スロットがあります。これらのスロットは、PCI Express および PCI-X アダプターをサポートすることができます。詳しくは、 306 ページの『アダプターの交換』を参照してください。

- **大容量のシステム・メモリー**

  サーバーは、unbuffered DIMM が取り付けられている場合は最大 32 GB のシステム・メモリーをサポートします。メモリー・コントローラーは、最大 4 個の業界標準の PC3-10600R-999 (single-rank または dual-rank) で 1066 MHz および 1333 MHz の DDR3 (第 3 世代 DDR) であり、unbuffered SDRAM を搭載した DIMM に対応する、エラー修正コード (ECC) および非エラー修正コードをサポートしています。

- **冗長接続**

  オプションのネットワーク・インターフェース・カード (NIC) の追加により、冗長イーサネット接続にフェイルオーバー機能が提供されます。プライマリー・イーサネット接続に問題が発生した場合、そのプライマリー接続に関連するすべてのイーサネット・トラフィックが自動的に冗長 NIC に切り替えられます。適切なデバイス・ドライバーをインストールすると、この切り替えはデータ損失なく、ユーザーの介入なしで実行されます。

- **ServeRAID サポート**

ServeRAID アダプターは、構成を作成するためのハードウェア新磁気ディスク制御機構 (RAID) サポートを提供します。標準 RAID アダプターは、RAID レベル 0、1、および 10 を提供します。オプションの RAID アダプターもオーダーできます。

- **デュアルコアまたはクアッドコア処理**

  このサーバーは、1 つの Intel Xeon™ デュアルコアまたはクアッドコア・マイクロプロセッサーをサポートします。

- **システム管理機能**

  サーバーには統合管理モジュール II (IMM2) が備わっています。サーバーに付属のシステム管理ソフトウェアで IMM2 を使用することで、サーバーの機能をローカル側およびリモート側で管理することができます。また、IMM2 は、システム・モニター、イベント記録、およびネットワーク・アラート機能も提供します。

- **TCP/IP オフロード・エンジン (TOE) サポート**

  このサーバーのイーサネット・コントローラーは TOE をサポートしています。TOE はマイクロプロセッサーおよび入出力サブシステムに対する TCP/IP フローの負荷を軽減するため、TCP/IP フローの速度が向上します。TOE をサポートするオペレーティング・システムがサーバー上で実行しており、TOE が使用可能になっている場合、サーバーは TOE の運用をサポートします。TOE の使用可能化については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。 Windows オペレーティング・システムで TOE をサポートするためには、Windows Scalable Network Pack (SNP) をインストールする必要があります。

信頼性、可用性、および保守容易性

コンピューターの設計上で、最も重要な要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守性 (serviceability) (RAS) です。 RAS 機能によって、サーバーに保管されているデータの保全性を保ち、サーバーが必要なときに使用できるようにし、問題を容易に診断して修理することができます。

ご使用のサーバーには、次の RAS 機能があります。

- Advanced Configuration and Power Interface (ACPI)
- Advanced Desktop Management Interface (DMI) 機能
- イメージをバックアップするための自動 BIOS リカバリー
- 自動エラー再試行またはリカバリー
- エラー検出時の自動メモリー・ダウンサイジング
- マスク不能割り込み (NMI) 時の自動再始動
- オペレーティング・システムが応答しなくなったときにシステム再始動をサポートする、自動サーバー再始動 (ASR) ロジック
- UEFI 設定に基づいた、電源障害後の自動サーバー再始動
- マイクロコード・レベルの可用性
- ブート・ブロック・リカバリー
- メニュー方式のセットアップ、システム構成、および RAID 構成機能を標準装備
- 組み込み済みのファン、電源、温度、および電圧のモニター機能
- 速度検知機能付きの冷却ファン

- 1 日 24 時間、週 7 日間利用可能なカスタマー・サポート・センター[2]
- ServeRAID アダプターの診断サポート
- エラー・コードとメッセージ
- エラー修正コード (ECC)、double-data-rate 3 (DDR3) synchronous dynamic random-access memory (SDRAM)、serial presence detect (SPD) 付き
- POST 障害のエラー・ログ
- シンプル・スワップ ATA (SATA) ハード・ディスク
- 内蔵イーサネット・コントローラー
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI)
- キーロックによる物理的セキュリティーのサポート
- エラー・ログに記入されるメモリー変更メッセージ
- 統合管理モジュール II (IMM2)
- 電源管理
- パワーオン・セルフテスト (POST)
- 読み取り専用メモリー (ROM) チェックサム
- フェイルオーバー・サポートによる冗長イーサネット機能 (オプションのイーサネット・アダプターが必要)
- ROM ベースの診断プログラム
- シンプル・スワップ Serial Advanced Technology Attachment (SATA) ハード・ディスク
- システム管理機能およびモニター用のスタンバイ電圧
- 構成メニューからのシステム自動構成
- 前面ベゼル上のシステム・エラー LED およびシステム・ボード上の診断 LED
- システム・エラー・ログ (POST および IMM2)
- アップグレード可能な統合管理モジュール II (IMM2) ファームウェア
- POST、サーバー・ファームウェア、および読み取り専用メモリー (ROM) 常駐コード用のマイクロコード (ローカルで、または LAN 経由でアップグレード可能)
- リモート保守を容易にするために不揮発性メモリーに格納したシリアル番号情報と交換部品番号を含む、重要プロダクト・データ (VPD)
- Wake on LAN 機能

IBM Systems Director

IBM Systems Director は、異機種混合環境で物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤です。IBM Systems Director は、業界標準を使用することによって、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。

IBM Systems Director では、単一のユーザー・インターフェースによって管理対象システムを一貫性のある形で表示し、それらのシステムの相互関係を判別し、それぞれの状況を識別することができます。したがって、技術的リソースとビジネス・ニーズの相関関係を把握しやすくなります。IBM Systems Director に組み込まれた一連の共通タスクには、基本管理に必要な主要機能が多数あり、ビジネスにすぐに役立つ価値をもたらします。 一般タスクには、管理対象システム、ハードウェア・ログ、電源、および Light Path の検出、インベントリー、構成、システム・ヘルス、モニター、更新、イベント通知、自動化などがあります。

2. サービス可用性は国によって異なります。応答時間も異なり、休業日や祝日は除外される場合もあります。

IBM Systems Director の Web インターフェースとコマンド・ライン・インターフェースは、以下の一般的なタスクと機能の実行に重点を置いた一貫性のあるインターフェースです。

- ネットワーク上のシステムを詳しいインベントリーと他のネットワーク・リソースとの関連を用いて検出、ナビゲート、および視覚化します。
- システムで発生した問題とその問題の発生元を分離する方法をユーザーに通知します。
- システムの更新が必要なときにユーザーに通知し、定期的に更新を配布してインストールします。
- システムのリアルタイム・データを分析し、新たに発生した問題を管理者に通知する重要なしきい値を設定します。
- 単一システムの設定を構成し、その設定を複数のシステムに適用できる構成プランを作成する。
- インストール済みのプラグインを更新して、新しい機能や特性を基本機能に追加します。
- 仮想リソースのライフ・サイクルを管理します。

IBM Systems Director について詳しくは、 IBM Systems Director Information Center (http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/director/pubs/index.jsp?topic=%2Fcom.ibm.director.main.helps.doc%2Ffqm0_main.html) および Systems Management Web ページ (http://www.ibm.com/systems/management) を参照してください。このサイトには、IBM Systems Management と IBM Systems Director の概要が掲載されています。

サーバーのコントロール、LED、および電源

このセクションでは、サーバーの前面と背面にあるコントロール、発光ダイオード (LED)、およびサーバーのオン/オフの方法について説明します。

システム・ボード上のその他の LED の位置については、 36 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください。

正面図

次の図は、4U サーバー・モデルおよび 5U サーバー・モデルの前面のコントロール・ボタン、LED、およびコネクターをそれぞれ示しています。

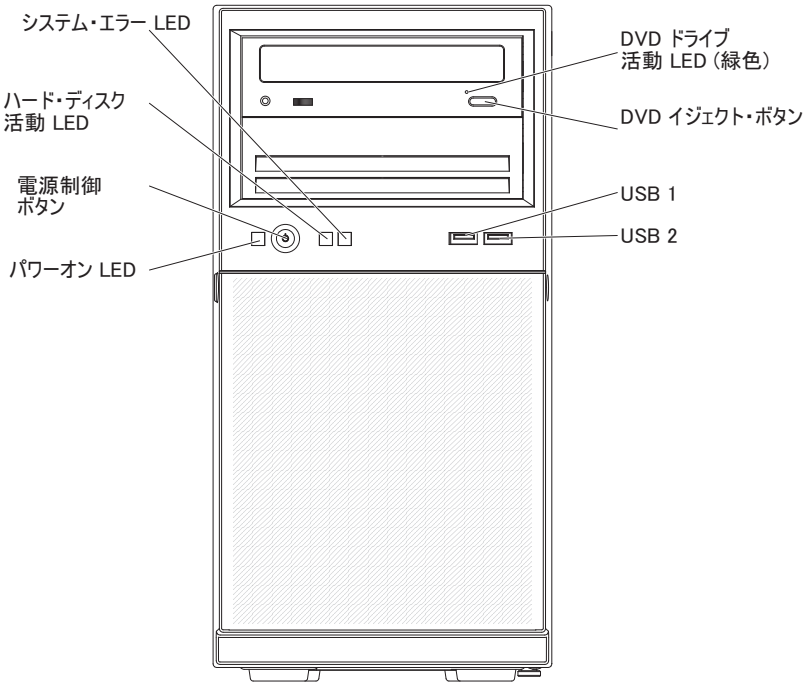


図 4. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの正面図 (ベゼルが取り付けられた状態)

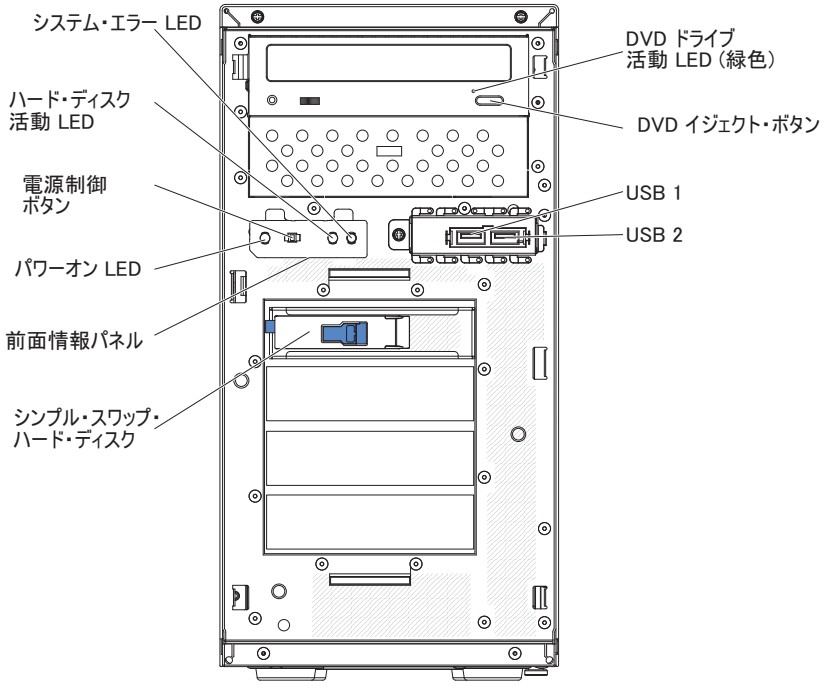


図 5. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの正面図 (ベゼルが取り外された状態)

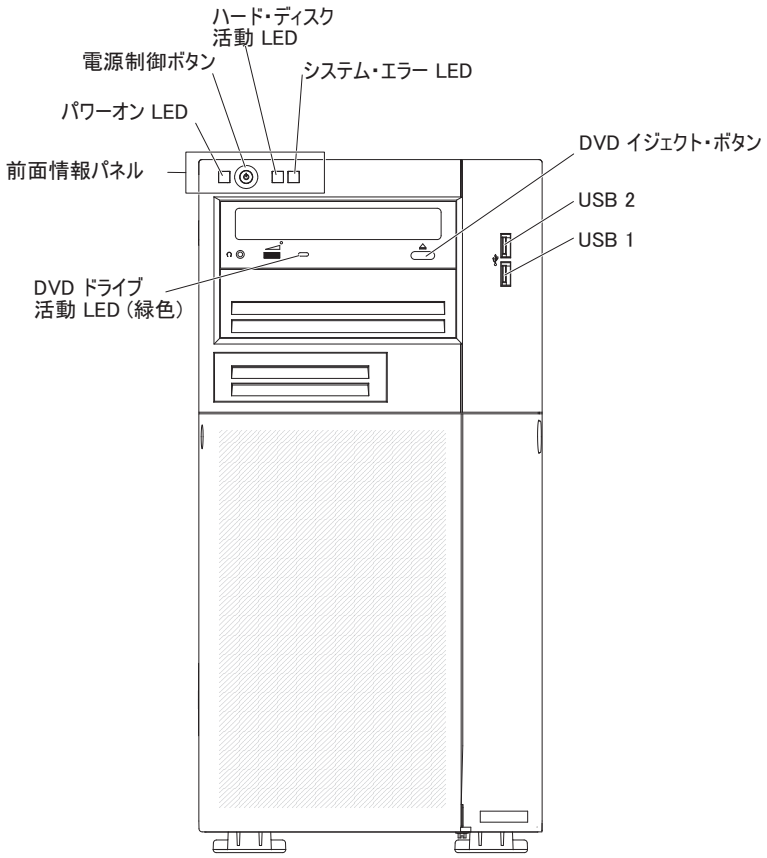


図 6. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの正面図 (上段ベゼルおよび下段ベゼルが取り付けられた状態)

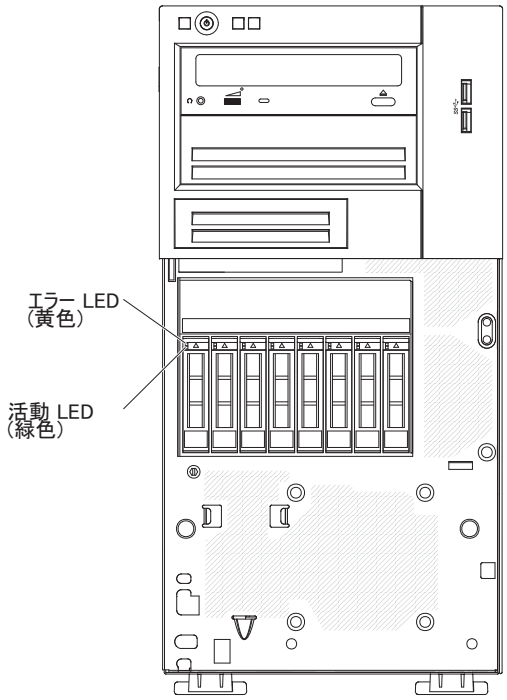


図 7. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの正面図 (上段ベゼルおよび下段ベゼルが取り付けられた状態) (2.5 型ハード・ディスク 8 個の構成)

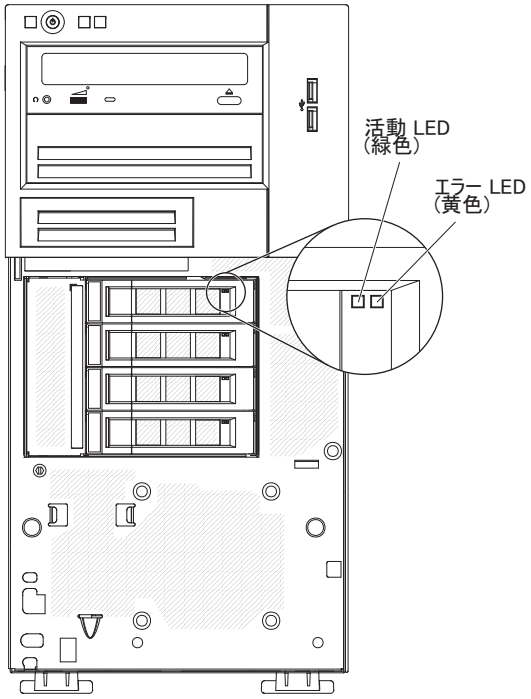


図 8. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの正面図 (上段ベゼルおよび下段ベゼルが取り付けられた状態) (3.5 型ハード・ディスク 4 個の構成)

- **電源制御ボタンとパワーオン LED:**

サーバーの電源を手動でオン / オフするには、このボタンを押します。 パワーオン LED の状態は次のとおりです。

- **オフ:** AC 電源が存在しないか、あるいは、パワー・サプライまたは LED 自体に障害が起こっています。
- **高速で点滅 (毎秒 4 回):** サーバーの電源が部分的にオンになっているが、完全にオンになる準備ができていません。 電源制御ボタンが使用不可になっています。この状態は約 1 分から 3 分継続します。
- **ゆっくり点滅 (毎秒 1 回):** サーバーの電源がオンになる準備ができています。電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。
- **点灯:** サーバーの電源はオンになっています。

- **ハード・ディスク活動 LED:**

  この LED が点滅しているときは、そのハード・ディスクが使用中であることを示します。

- **システム・エラー LED:**

  この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。システム・ボード上の LED の点灯は、エラーの切り分けにも役立つ場合があります。詳しくは、 141 ページの『診断ツール』を参照してください。

- **USB コネクター:**

  USB 装置をこれらのコネクターに接続します。

- **DVD イジェクト・ボタン:**

  DVD ドライブから DVD または CD を取り出すには、このボタンを押します。

- **DVD ドライブ活動 LED:**

  この LED が点灯しているときは、DVD ドライブが使用中であることを示します。

- **ホット・スワップ・ハード・ディスク活動 LED (一部のモデル):**

  一部のサーバー・モデルでは、各ホット・スワップ・ドライブにハード・ディスク活動 LED が付いています。この緑色の LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示します。

  ドライブを取り外す際には、SAS/SATA バックプレーン上のドライブ・コネクターの隣でもこの LED を確認することができます。このバックプレーンは、3.5 型ハード・ディスク・モデルの場合はドライブ・ベイ 4 から 7 の裏側のプリント回路ボードです。

- **ホット・スワップ・ハード・ディスク状況 LED (一部のモデル):**

  一部のサーバー・モデルでは、各ホット・スワップ・ハード・ディスクに黄色の状況 LED が付いています。ドライブでこの黄色の状況 LED が点灯しているときは、関連のハード・ディスクに障害が発生していることを示します。

オプションの ServeRAID アダプターがサーバーに取り付けられており、この LED がゆっくりと (1 秒間に 1 回) 点滅している場合、ドライブは再構築中です。この LED が素早く (1 秒間に 3 回) 点滅している場合は、アダプターがドライブを識別中です。

ドライブを取り外す際には、SAS/SATA バックプレーン上のホット・スワップ・ハード・ディスク活動 LED の下でもこの LED を確認することができます。

背面図

次の図は、4U サーバー・モデルおよび 5U サーバー・モデルの背面のコントロール・ボタン、LED、およびコネクターをそれぞれ示しています。

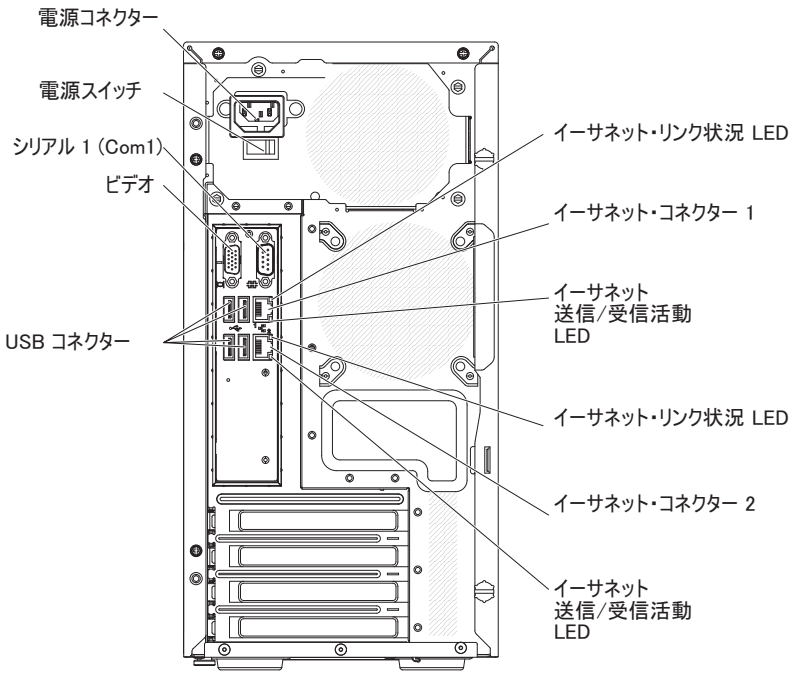


図 9. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの背面図 (パワー・サプライ LED なし)

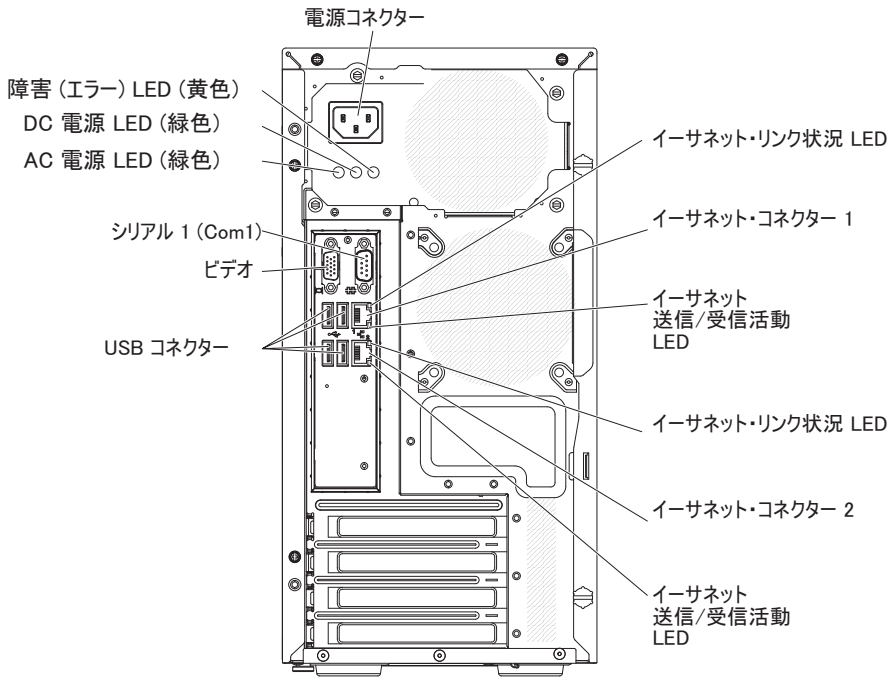


図 10. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの背面図 (パワー・サプライ LED あり)

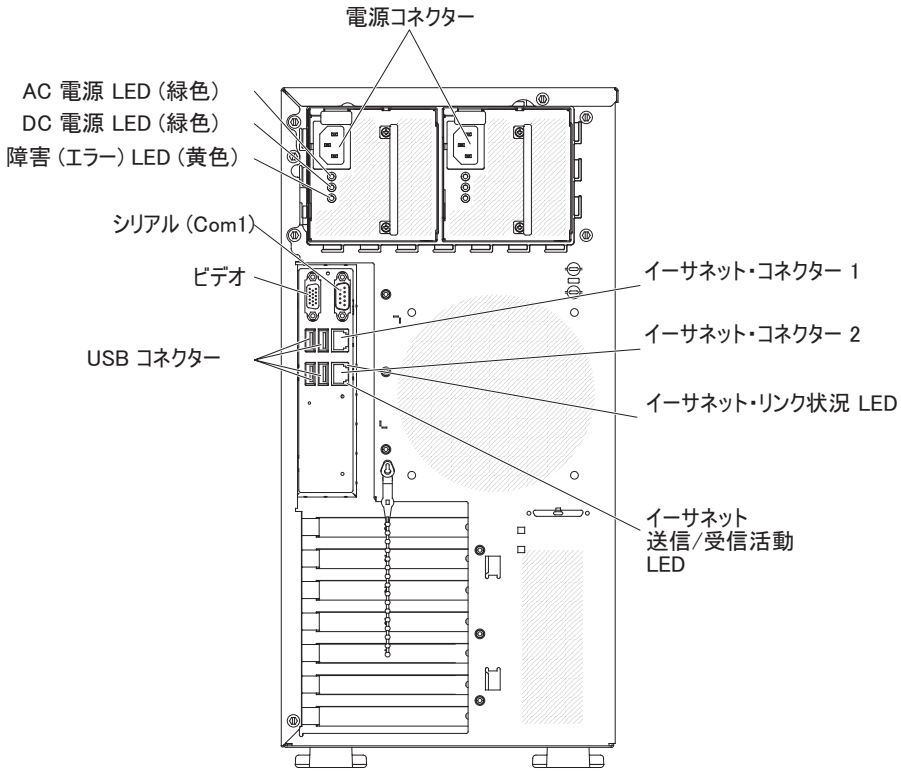


図 11. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの背面図

- **電源コネクター:** 電源コードは、このコネクターに接続します。

- **AC 電源 LED:** この緑色の LED は、パワー・サプライの状況情報を示します。通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯します。
- **DC 電源 LED:** この緑色の LED は、パワー・サプライの状況情報を示します。通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯します。
- **障害エラー LED:** この黄色の LED が点灯しているときは、パワー・サプライに障害が起こったことを示します。
- **シリアル・コネクター:** 9 ピンのシリアル装置は、このコネクターに接続します。シリアル・ポートは、統合管理モジュール II (IMM2) と共用されます。IMM2 は、Serial over LAN (SOL) を使用して、共用シリアル・ポートを制御してシリアル・トラフィックのリダイレクトを行えます。
- **ビデオ・コネクター:** モニターは、このコネクターに接続します。
- **USB コネクター:** これらのコネクターには、USB 装置を接続します。
- **NMI ボタン:** このボタンは、マイクロプロセッサーにマスク不可能割り込みを強制する場合に押します。これにより、サーバーをブルー・スクリーンにして、メモリー・ダンプを取ることができます (このボタンを使用するのは、IBM サービス・サポートに指示された場合のみにしてください)。 このボタンを押すには、ペンまたはまっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用するとよいかもしれません。
- **イーサネット・コネクター:** これらのコネクターのいずれかを使用して、サーバーをネットワークに接続します。イーサネット 1 コネクターを使用する場合、単一のネットワーク・ケーブルを使用してネットワークを IMM2 と共用できます。
- **イーサネット送信/受信活動 LED:** この LED はイーサネット・コネクター上にあります。この LED が点滅しているときは、サーバーとネットワークの間にアクティビティーがあることを示します。
- **イーサネット・リンク状況 LED:** この LED はイーサネット・コネクター上にあります。この LED が点灯しているときは、イーサネット・ポートにアクティブ接続があることを示します。

サーバーのパワー・サプライ

サーバーを AC 電源に接続しても、電源をオンにしなければオペレーティング・システムは稼働せず、統合管理モジュール II (IMM2) 以外のすべてのコア・ロジックがシャットダウンされます。ただし、サーバーは IMM2 からの要求 (サーバーの電源をオンにするためのリモート要求など) に応答することができます。

パワーオン LED が点滅して、サーバーが AC 電源に接続されているが、電源がオンになっていないことを示します。

サーバーの電源をオンにする

サーバーの電源をオンにするには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーが入力電力に接続されてから約 5 秒すると、1 つ以上のファンが稼働し始め、パワーオン LED が高速で点滅します。サーバーが入力電力に接続されてから約 10 秒後に、パワーオン・ボタンがアクティブになります。パワーオン・ボタンがアクティブになった後、パワーオン LED はゆっくり点滅します。パワーオン・ボタンを押すことにより、サーバーの電源をオンにできます。

手順

1. パワーオン・ボタンを押して、サーバーの電源をオンにします。
2. 次のいずれかの方法で、サーバーの電源をオンにすることもできます。
   - サーバーの電源がオンの時点で電源障害が発生した場合は、電源の復旧時にサーバーは自動再始動します。
   - 使用しているオペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合は、Wake on LAN 機能がサーバーをオンにできます。

次のタスク

1. 4 GB 以上の (物理または論理) メモリーを取り付けると、一部のメモリーは、さまざまなシステム・リソース用に予約され、オペレーティング・システムでは使用不可になります。 システム・リソース用に予約されるメモリーの量は、オペレーティング・システム、サーバー構成、構成済みの PCI オプションなどによって異なります。
2. 外部グラフィック・アダプターが取り付けられたサーバーの電源をオンにすると、約 3 分後に IBM ロゴが画面上に表示されます。これは、システムのロード中は正常な動作です。
3. 左サイド・カバーが閉じていることを確認します。

サーバーの電源をオフにする

サーバーの電源をオフにするには、この情報を使用します。

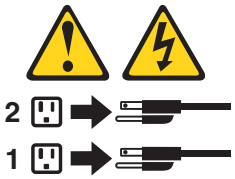
このタスクについて

サーバーの電源をオフにしても、入力電力に接続したままにしておくと、リモートからのサーバー電源オン要求など、サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) に対する要求にサーバーが応答することができます。サーバーが入力電力に接続されたままになっていると、1 つ以上のファンが回転を続行することがあります。サーバーからすべての電源を切るには、電気コンセントから電源コードを抜く必要があります。

オペレーティング・システムによっては、サーバーの電源をオフにする前に、正常シャットダウンが必要な場合があります。オペレーティング・システムのシャットダウンについての詳細は、オペレーティング・システム関係の資料をお読みください。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置内の電流を完全にカットするには給電部からすべての電源コードを取り外してください。



手順

サーバーは、次のいずれの方法でも電源をオフにできます。

- ご使用のオペレーティング・システムがサーバーの電源をオフにする機能をサポートしている場合は、オペレーティング・システムからオフにできます。オペレーティング・システムが正常シャットダウンをすると、サーバーは自動的にオフになります。
- ご使用のオペレーティング・システムが、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムを正常シャットダウンし、サーバーをオフにする機能をサポートしている場合、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムの正常シャットダウンを開始しサーバーをオフにすることができます。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源制御ボタンを 4 秒間を超えて押し続けるとサーバーの電源をオフにできます。
- Wake on LAN 機能によってサーバーの電源をオフにすることができますが、以下の制約があります。
- 統合管理モジュール II (IMM2) では、重大なシステム障害の発生時に自動的に応答して、サーバー電源をオフにすることができます。

第 2 章 オプション装置の取り付け

この章では、オプションのハードウェア・デバイスをサーバーに取り付ける手順を詳しく説明しています。

始める前に

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 30 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

重要: 取り付けるデバイスが正しく作動し、問題が発生しないことを確認するために、以下の予防措置に従ってください。

手順

1. サーバーおよびインストール済みのファームウェア・レベルが、取り付けるデバイスをサポートしていることを確認します。 必要に応じて、UEFI および IMM ファームウェア、システム・ボードに格納されているその他のファームウェアを更新します。 サーバー内でファームウェアが格納されている場所については、103 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
2. ベスト・プラクティスを使用して、サーバーおよびオプションのデバイスに現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用します。 「『IBM System x Firmware Update Best Practices』」資料をダウンロードするには、www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5082923&brandind=5000008にアクセスしてください。追加のヒントは、以下のサイトから入手可能です。
   - IBM サポート: http://www.ibm.com/supportportal/
   - System x 構成ツール: http://www.ibm.com/systems/x/hardware/configtools.html
3. オプションのハードウェア・デバイスを取り付ける前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。 サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、 157 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。
4. この章の取り付け手順に従い、正しいツールを使用してください。 誤って取り付けられたデバイスは、ソケットやコネクターのピンの損傷、配線の緩み、あるいはコンポーネントの緩みによって、システム障害の原因となる可能性があります。

© Copyright IBM Corp. 2014

IBM ビジネス・パートナー用の手順

Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行することによって、新規に取り付けたデバイスを検証する、IBM ビジネス・パートナー用の手順。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは以下の手順も完了する必要があります。

1. サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認した後、Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行します。 DSA の使用については、 155 ページの『IBM Dynamic System Analysis』 を参照してください。
2. サーバーを複数回シャットダウンおよび再始動し、サーバーが正しく構成され、新しく取り付けた装置が正しく機能していることを確認します。
3. DSA ログをファイルとして保存し、そのファイルを IBM に送信します。データおよびログの転送については、『IBM への DSA データの送信方法』を参照してください。
4. サーバーを出荷する場合は、損傷を受けていないオリジナルの配送用資材で再梱包し、IBM の配送手順に従ってください。

IBM ビジネス・パートナー用のサポート情報は、http://www.ibm.com/partnerworld/jp/ で入手できます。

IBM への DSA データの送信方法

IBM に診断データを送信するには、IBM Enhanced Customer Data Repository を使用します。

診断データを IBM に送信する前に、http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方法を使用して、診断データを IBM に送信することができます。

- **標準アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- **システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:**http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- **セキュア・アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- **システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:**
  https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

サーバー・コンポーネント

このセクションでは、サーバー内の主なコンポーネントを示します。

次の図は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのサーバー・コンポーネントを示しています。本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

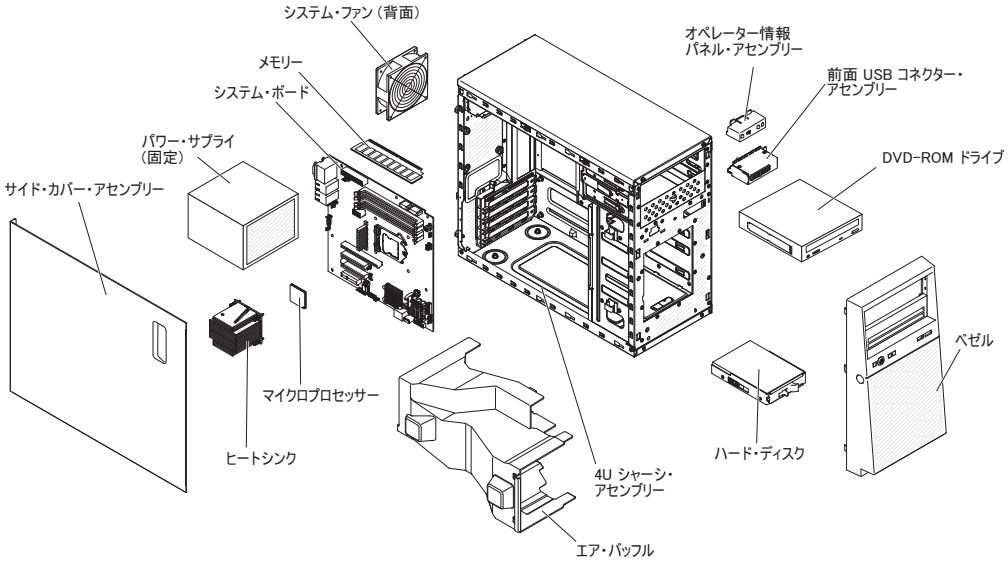


図 12. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのサーバー・コンポーネント

次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのサーバー・コンポーネントを示しています。本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

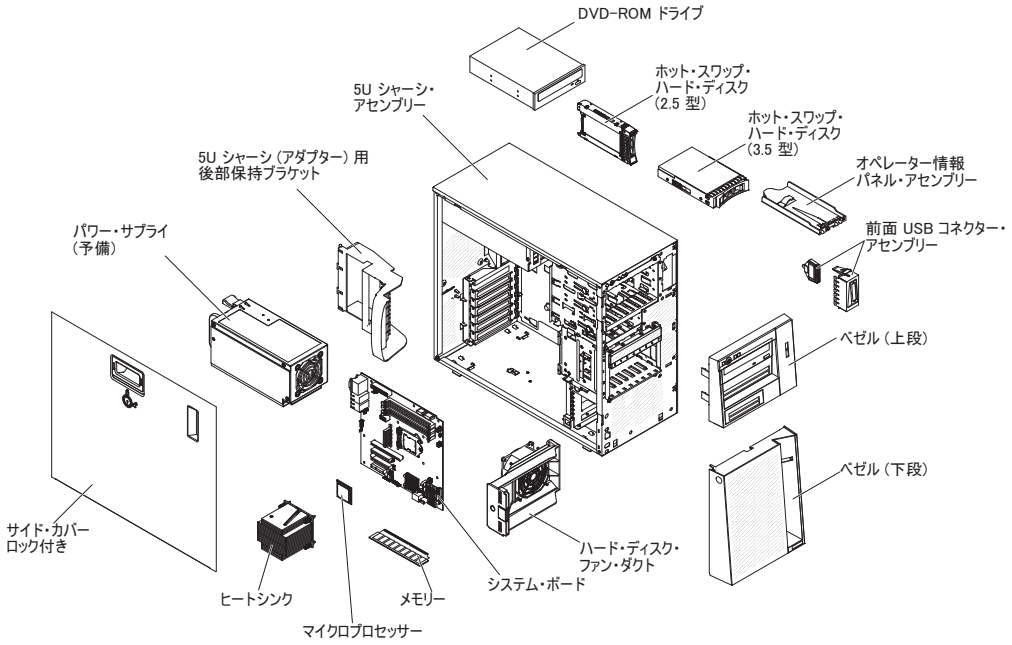


図 13. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのサーバー・コンポーネント

コンポーネント上の青色の表示はタッチ・ポイントを示しています。コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたりするとき、またはラッチを開閉したりするときなどに、このタッチ・ポイントをつかみます。

コンポーネント上のオレンジ色の表示、またはコンポーネント上やその付近にあるオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントがホット・スワップ可能であることを示しています。ホット・スワップが可能な場合、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしていれば、サーバーの稼働中でもそのコンポーネントの取り外しや取り付けが行えます。(オレンジ色の表示がホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントを示す場合もあります。) 各ホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に実行する必要のある追加手順については、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けの説明を参照してください。

システム・ボードの内部コネクター

このセクションには、システム・ボードの内部コネクターに関する情報が記載されています。

次の図は、システム・ボードの内部コネクターを示しています。

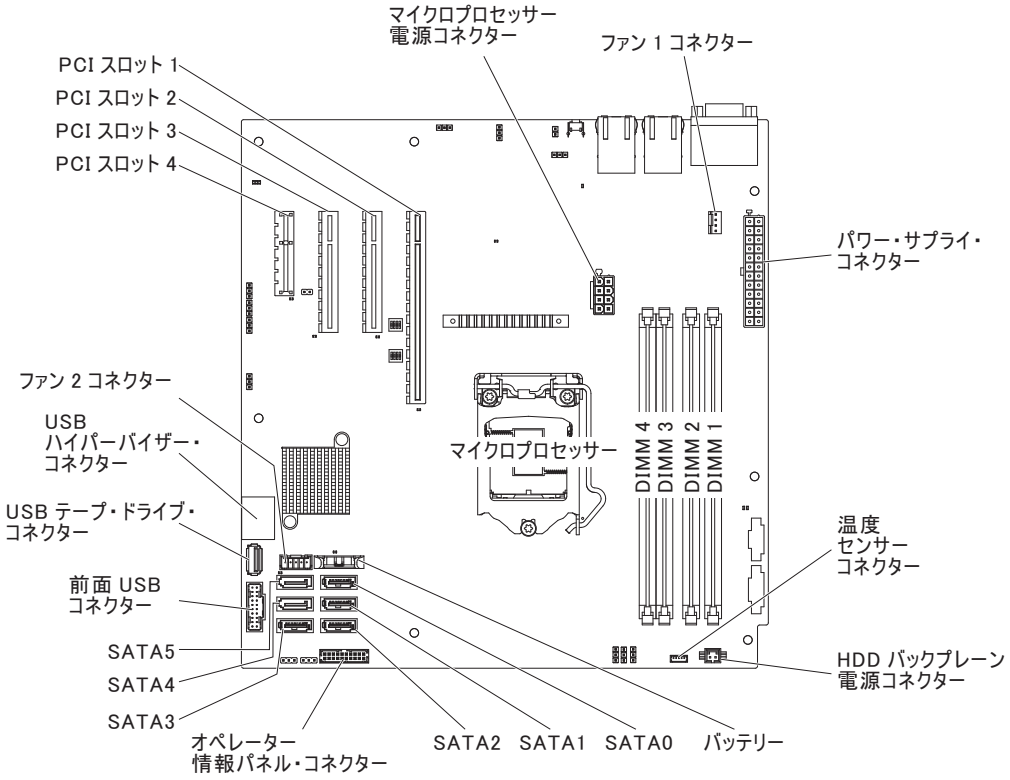


図 14. システム・ボード上の内部コネクター

システム・ボードの外部コネクター

このセクションには、システム・ボードの外部コネクターに関する情報が記載されています。

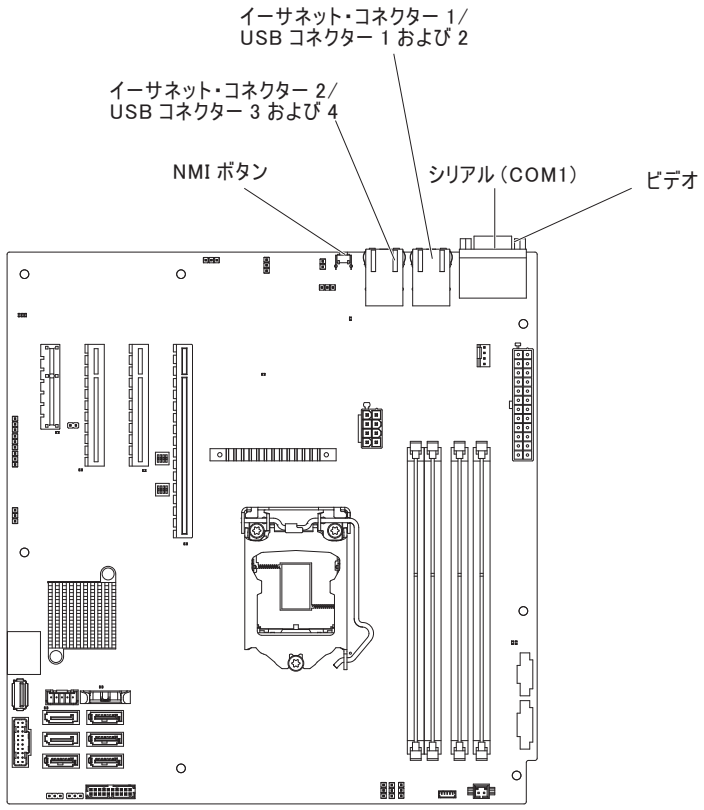


図 15. システム・ボード上の外部コネクター

システム・ボードのスイッチとジャンパー

このセクションには、システム・ボードのスイッチとジャンパーに関する情報が記載されています。

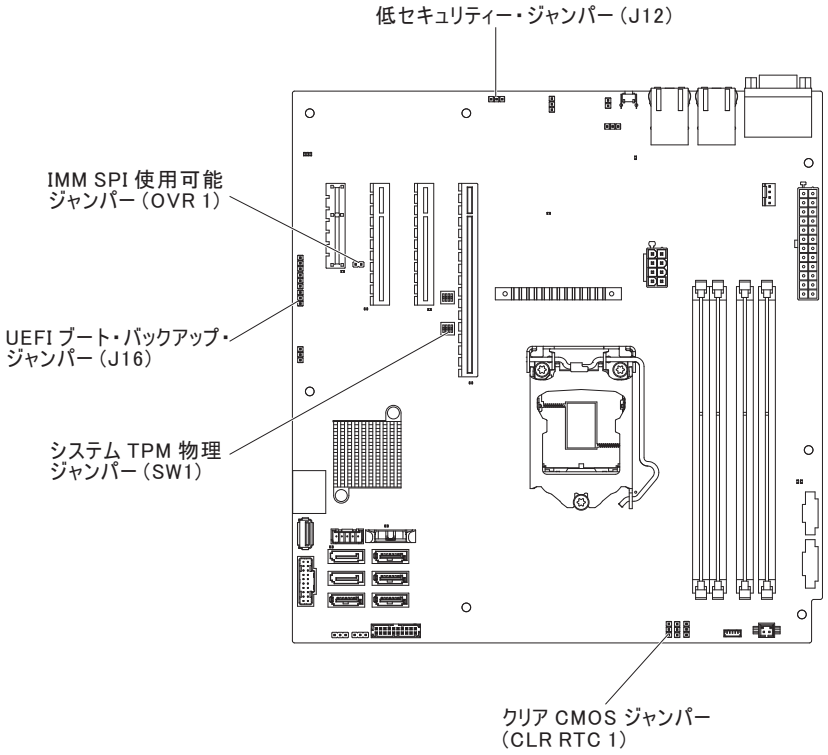


図 16. スイッチおよびジャンパーの位置と説明

以下の表は、システム・ボード上にあるスイッチとジャンパーについて説明しています。

表 2. システム・ボードのスイッチとジャンパーの定義

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパー設定
J12	低セキュリティー・ジャンパー	• ピン 1 および 2: 通常 (デフォルト) • ピン 2 および 3: 低セキュリティーをアクティブにする
OVR 1	IMM SPI 使用可能ジャンパー	• ピン 1 および 2: 使用不可 • ピン 2 および 3: IMM SPI ハーフ ROM を使用可能にする (デフォルト)
J16	UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー	• ピン 1 と 2: プライマリー BIOS ページからのブート (デフォルト)。 • ピン 2 と 3: バックアップ BIOS ページからのブート。
CLR RTC 1	クリア CMOS ジャンパー	• ピン 1 と 2: CMOS データの保持 (デフォルト)。 • ピン 2 と 3: CMOS データのクリア。

表 2. システム・ボードのスイッチとジャンパーの定義 (続き)

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパー設定
注: 1. ジャンパーが存在しない場合、サーバーはデフォルトとして応答します。 2. サーバーの電源がオンになる 5 秒前にブート・ブロック・ジャンパーの位置をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に変更すると、どちらのフラッシュ ROM ページがロードされるかを通知するアラートが出されます。サーバーの電源をオンにした後は、このジャンパーのピン位置を変更しないでください。これを行うと、予測不能な問題が発生する可能性があります。		

重要:

1. スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。 vii ページの『安全について』、 37 ページの『取り付けのガイドライン』、 40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 27 ページの『サーバーの電源をオフにする』に記載されている情報を確認します。
2. システム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。
3. スイッチ・ブロックの上に透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにステッカーを取り除いて廃棄する必要があります。

システム・ボードの LED

このセクションには、システム・ボード LED に関する情報が記載されています。

次の図は、システム・ボード上の LED を示しています。

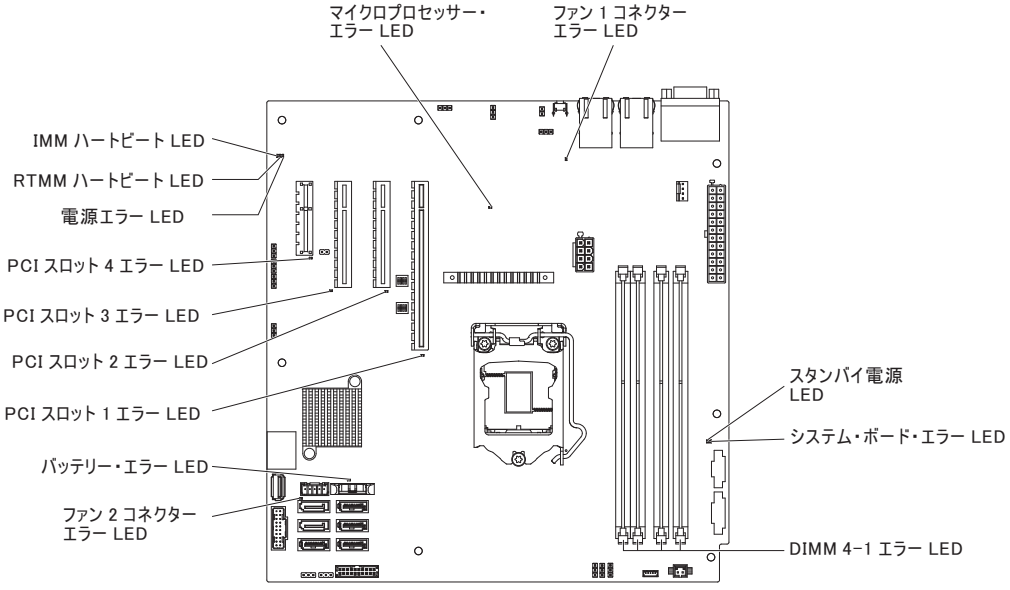


図 17. システム・ボード上の LED の位置

注: 給電部からサーバーを切り離すと、LED が点灯しないために LED の表示ができなくなります。給電部を切り離す前にどの LED が点灯しているかをメモしてお

きます。これには、オペレーション情報パネル上で点灯している LED、およびサーバー内部のシステム・ボードにある LED が含まれます。

取り付けのガイドライン

IBM System x3100 M5 Type 5457 を取り付けるには、この取り付けのガイドラインを使用します。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、システムは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題が起きないよう、ホット・スワップ装置の取り付けまたは取り外しを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

オプション装置を取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- vii ページの『安全について』の『安全について』、 39 ページの『電源オンされているサーバー内部での作業』のガイドライン、および 40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。この情報は、安全に作業するのに役立ちます。
- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
- 新規サーバーをインストールする場合は、最新のファームウェア更新をダウンロードし適用してください。この手順は、既知の問題に対処し、ご使用のサーバーを最高レベルの性能で作動可能にするために役立ちます。サーバーのファームウェア更新をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/fixcentralに進みます。

  重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

  ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) を参照してください。
- オプションのハードウェアを取り付ける前に、サーバーが正常に作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、157 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整頓を心掛けてください。取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- 自分 1 人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。

  - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
  - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。
  - ゆっくりとした持ち上げる力を使用します。 重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
  - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- サーバー、モニター、およびその他の装置用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分にあることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する前に、重要なデータはすべてバックアップします。
- 小型のマイナス・ドライバーを用意してください。
- システム・ボードおよび内部コンポーネントのエラー LED を表示するには、サーバーを電源に接続しておく必要があります。
- ホット・スワップ・パワー・サプライ、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。 ただし、アダプター・ケーブルの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーの電源をオフにする必要があります。また、ライザー・カードの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーから給電部を切り離しておく必要があります。
- コンポーネント上の青い表示はタッチ・ポイントを示しています。コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたりするとき、またはラッチを開閉するときなどは、このタッチ・ポイントをつかみます。
- コンポーネント上のオレンジ色の表示、またはコンポーネント上またはその付近にあるオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントがホット・スワップ可能であることを示しています。ホット・スワップが可能な場合、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしていれば、サーバーの稼働中でもそのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。 (オレンジ色の表示がホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントを示す場合もあります。) それぞれのホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に実行する必要のある追加手順については、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けの説明を参照してください。
- サーバーに対する作業が終了したら、安全用のシールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーをすべて再取り付けします。

システムの信頼性に関するガイドライン

システムの適切な冷却を確保するためのシステムの信頼性に関するガイドライン。

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- すべてのドライブ・ベイには、ドライブまたはフィラー・パネル、およびその中に電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- サーバーに冗長電源が備わっている場合は、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられていること。
- サーバーの周囲に、サーバーが冷却システムを正しく作動させるための十分なスペースがある。約 50 mm の空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。ファンの前には物を置かないでください。適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。 サーバーのカバーを取り外して長時間 (30 分以上) サーバーを操作すると、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。
- オプションのアダプターに付属する配線手順に従っている。
- ファンに障害があった場合はできる限り早く取り替えること。
- ホット・スワップ・ドライブは、取り外してから 2 分以内に元どおりに取り付けた。
- エア・バッフルを取り付けずにサーバーを作動させないこと。エア・バッフルを取り付けずにサーバーを動作させると、マイクロプロセッサーがオーバーヒートする原因となる場合があります。

電源オンされているサーバー内部での作業

電源オンされているサーバー内部での作業のガイドライン

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないよう、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このサーバーは、ホット・プラグ、ホット・アド、およびホット・スワップの部品をサポートし、サーバーの電源をオンにして、サーバー・カバーを取り外した状態で安全に作動するように設計されています。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行う場合は、次のガイドラインに従ってください。

注: 電源がオンのサーバー内部で作業を行うには、サーバー・カバーを取り外す前に電源遮断スイッチを使用不可にする必要があります。

- 腕の部分がゆったりした衣服を着用しないでください。サーバー内部の作業をする前に、長袖シャツのボタンを留めてください。サーバー内部の作業中はカフス・ボタンを着けないでください。
- サーバー内部にネクタイやスカーフが垂れ下がらないようにしてください。
- ブレスレット、ネックレス、リング、緩みのある腕時計などの装身具は外してください。

- サーバーの上に身体を乗り出したときに、シャツのポケットから落下する可能性があるペンや鉛筆などを取り出してください。
- 用紙クリップ、ヘア・ピン、ねじなどの金属製のものがサーバーの中へ落ちないようにしてください。

静電気に弱い装置の取り扱い

静電気に弱い装置を取り扱うには、この情報を使用します。

重要: 静電気によってサーバーやその他の電子部品が損傷するおそれがあります。損傷を避けるために、静電気に弱い装置は、取り付ける準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。例えば、静電気放電用のリスト・ストラップがあればそれを着用してください。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- 部品は、縁またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだの接合部、ピン、または露出した回路には触れないでください。
- 部品は、他の人が触ったり、あるいは部品に損傷を与えたりできるような場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。
- 部品をパッケージから取り出して、下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。部品を下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに戻します。部品をサーバーのカバーや金属面の上には置かないでください。
- 寒い天候では、部品の取り扱いには特に注意してください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるからです。

サイド・カバーの取り外し

サイド・カバーの取り外しを行うには、この情報を使用します。

重要: サイド・カバーを外した状態で 30 分より長くサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する場合があります。 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サイド・カバーを取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ 4U サーバー・モデルの場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (27 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サーバー背面の 2 つのシャーシねじを取り外します。
5. 後部のサイド・カバー・ハンドルを引き、同時に前部のサイド・カバー・ハンドルを押します。

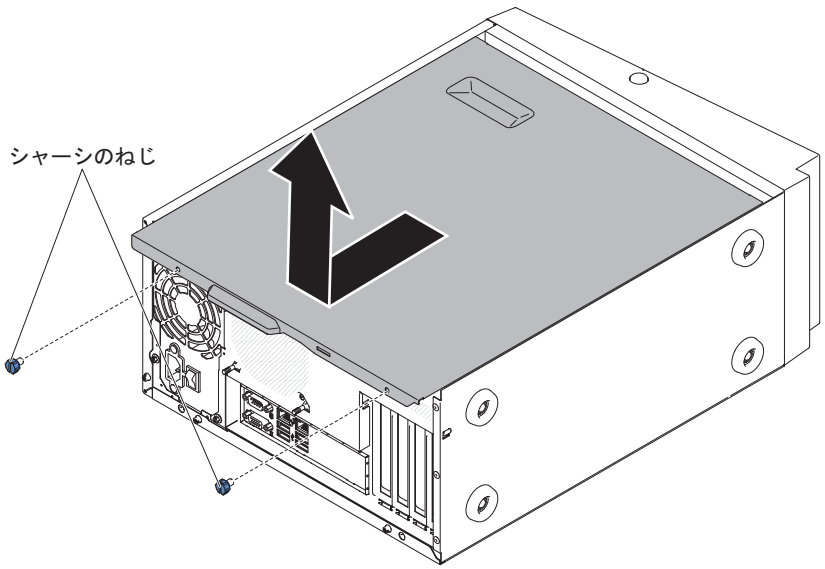


図 18. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのサイド・カバーの取り外し

   重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。
6. サイド・カバーに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (27 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)。
3. サイド・カバーのロックを解除し、次にカバー・リリース・ラッチを (図に示しているとおりに) 押し下げてカバーを取り外します。

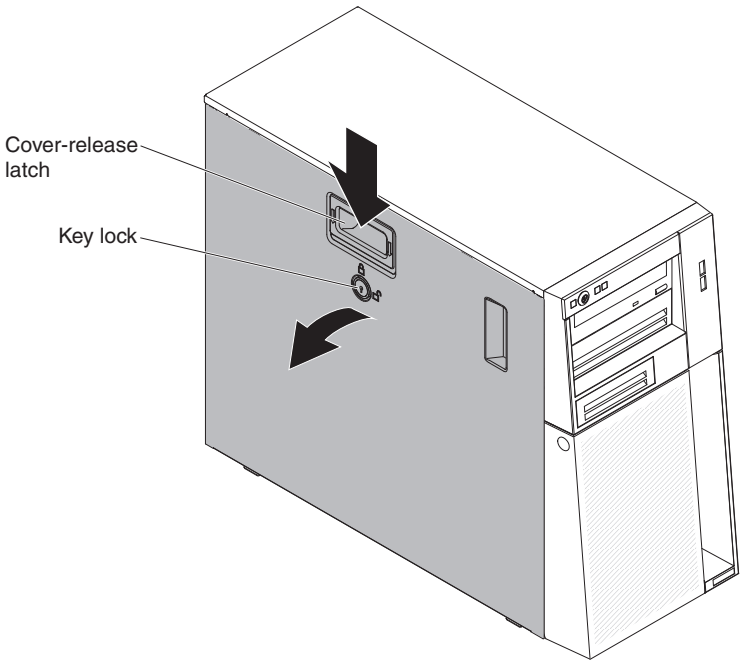


図 19. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのサイド・カバーの取り外し

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

4. サイド・カバーに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

エア・バッフルの取り外し

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

エア・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (27 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. エア・バッフルの上部をつかみ、エア・バッフルを持ち上げてサーバーから取り外します。

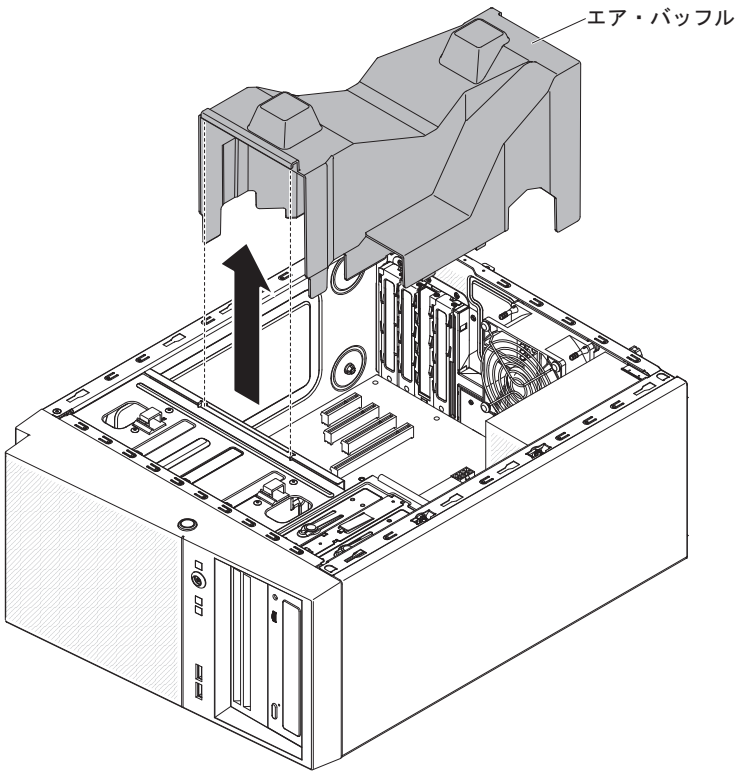


図 20. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのエア・バッフルの取り外し

重要: 適切な冷却と通気を確保するために、サーバーの電源を入れる前に、エア・バッフルを再取り付けし、すべてのケーブルが邪魔になっていないことを確認してください。エア・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

6. エア・バッフルの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ベゼルの取り外し

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

ベイ 3 から 6 のドライブなどの、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの一部のデバイスについて作業を行う場合、デバイスにアクセスするために最初にベゼルを取り外す必要があります。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ベゼルの左端のボタンを押してから、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させて外し、脇に置いておきます。

   注: ベゼルを回転させると、特定の位置でシャーシから自動的に外れる場合があります。

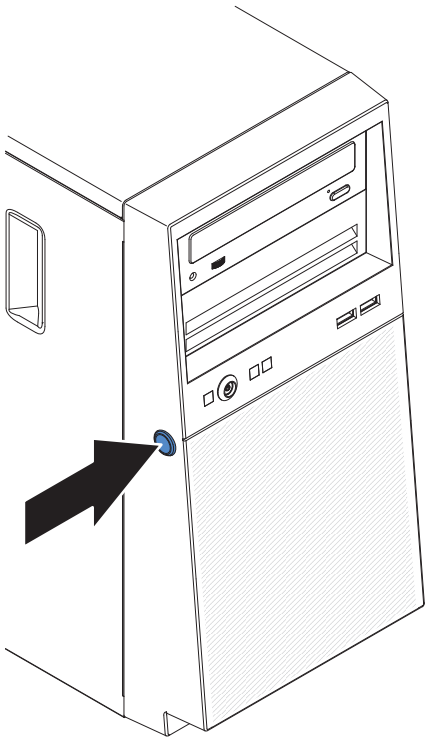


図 21. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのベゼルの取り外し (1)

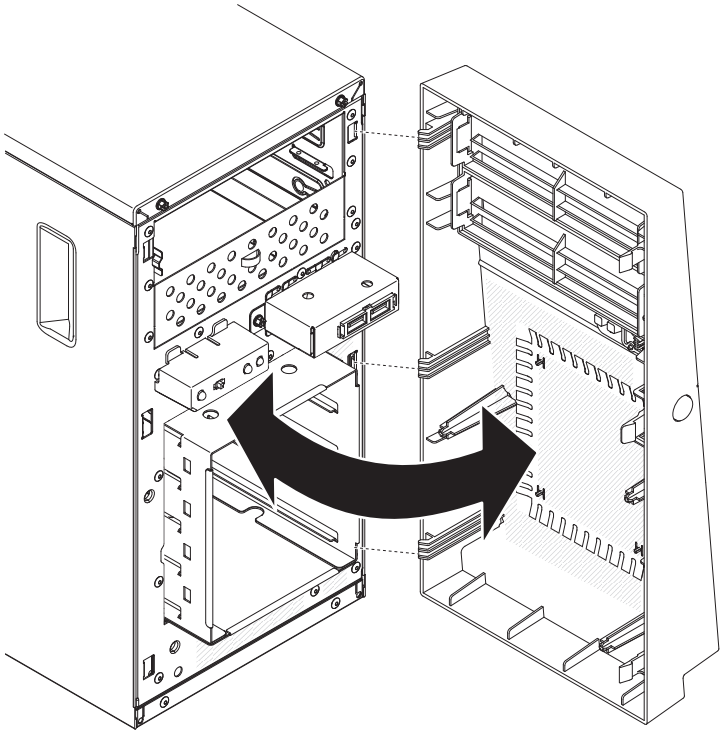


図 22. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのベゼルの取り外し (2)

3. ベゼルに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

下段ベゼルの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのハード・ディスクにアクセスするには、まず下段ベゼルを取り外す必要があります。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 非ホット・スワップ・コンポーネントを交換する場合は、サーバーと接続装置すべての電源をオフにして、すべての電源コードと外部ケーブルをサーバーから切り離します。
3. 下段ベゼルの右側にある青いリリース・ボタンを押して、下段ベゼルを下方に回転させ、シャーシから外します。

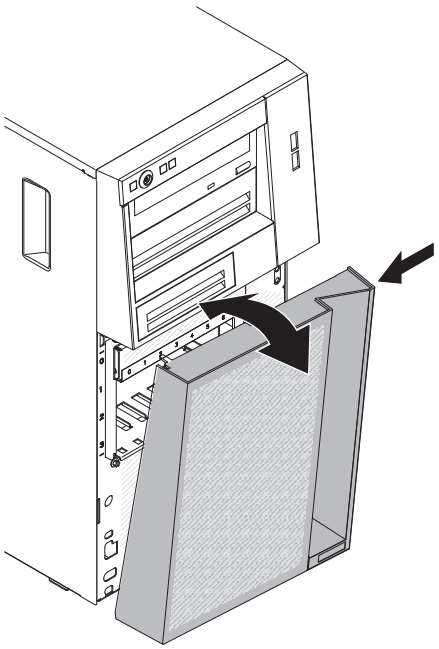


図 23. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの下段ベゼルの取り外し

4. 下段ベゼルに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

上段ベゼルの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの DVD ドライブまたはテープ・ドライブにアクセスするには、まず上段ベゼルを取り外して、デバイスにアクセスする必要があります。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデルの上段ベゼルを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 非ホット・スワップ・コンポーネントを交換する場合は、サーバーと接続装置すべての電源をオフにして、すべての電源コードと外部ケーブルをサーバーから切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (45 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルの左側にある 2 つのベゼル・クリップを慎重に引き出し、上段ベゼルをサーバーの右側に向けて回転させて、右側にある 2 つのタブをシャーシから外します。

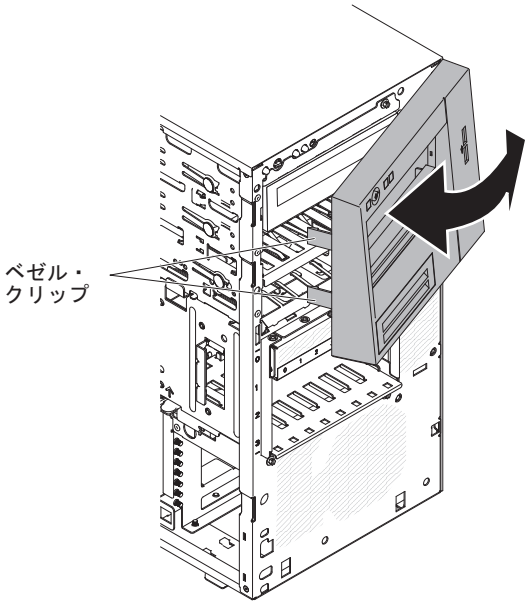


図 24. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの下段ベゼルの取り外し

6. 上段ベゼルに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

メモリー・モジュールの取り付け

メモリー・モジュールを取り付けるには、以下の情報を使用します。

以下の注意書きは、このサーバーがサポートするデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のタイプ、および DIMM を取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

メモリー・モジュールを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- このサーバーは、業界標準の 1066 MHz、1333 MHz、および 1600 MHz、PC3-12800 (single-rank または dual-rank) DDR3、registered または unbuffered SDRAM 搭載でエラー修正コード (ECC) 付きの DIMM をサポートしています。このサーバーがサポートするオプションのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us にアクセスしてお客様の国を選択し、このサーバーのオプションのリストに進みます。
- サーバーがサポートするメモリーの最大量は、サーバーに取り付けるメモリーのタイプに依存します。
- 使用可能なメモリーの容量は、システム構成に応じて減少します。 メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。 取り付け済みメモリーの合計量と構成済みのメモリー量を表示するには、Setup ユーティリティーを実行してください。 追加情報については、Setup ユーティリティーの使用を参照してください。
- サーバーの最大作動速度は、サーバーに取り付けられた最も遅い DIMM により決まります。
- DIMM のペアを DIMM コネクター 1 および 3 に取り付ける場合は、DIMM コネクター 1 および 3 に取り付ける DIMM のサイズと速度が相互に一致している必要があります。 ただし、DIMM コネクター 2 と 4 に取り付けた DIMM とサイズおよび速度が同じである必要はありません。
- 互換性があれば、さまざまなメーカーの DIMM を同じペアに使用することができます。
- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージがシステムで表示されます。

  重要: サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、その他の接地システムを利用してください。
- DDR3 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。

  *ggg e*R*x*ff-PC3-*wwwwwm-aa-bb-cc*

  ここで、

  – *ggg* は、DIMM の合計容量 (例えば、1GB、2GB、または 4GB) です。

  – *e* はランク数です。

- 1 = single-rank
- 2 = dual-rank
- 4 = quad-rank

– *ff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。
- 4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)
- 8 = x8 編成
- 16 = x16 編成

– *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。
- 8500 = 8.53 GBps (PC3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
- 10600 = 10.66 GBps (PC3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
- 12800 = 12.8 GBps (PC3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

– *m* は、DIMM のタイプです。
- E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)
- R = Registered DIMM (RDIMM)
- U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)

– *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。

– *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。

– *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。

– *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを調べてください。ラベルの情報は、xxxxx nRxxx PC3-xxxxx-xx-xx-xxx の形式になっています。 6 番目の数値の位置にある数表示は、DIMM が single-rank (n=1) または dual-rank (n=2) であることを示しています。

Unbuffered DIMM (UDIMM)

以下の注では、UDIMM の取り付け時に考慮すべき事項について説明します。

- メモリー・チャネルは、取り付け済みの DIMM 間に共通する最低周波数で作動します。
- このサーバーで使用可能な UDIMM オプションは、1 GB、2 GB、4 GB、および 8 GB (使用可能な場合) の DIMM です。
- このサーバーは、チャネル当たり最大 2 つの single-rank または dual-rank UDIMM をサポートします。

次の表は、サポートされている UDIMM 装着構成のリストです。

表 3. チャネル当たりの UDIMM 装着構成

チャネルごとの DIMM コネクター	各チャネルに取り付けられた DIMM	DIMM のタイプ	DIMM の速度	DIMM ごとのランク (すべての組み合わせ)
2	1	Unbuffered DDR3 ECC	1333, 1600	single-rank、dual-rank

表 3. チャネル当たりの UDIMM 装着構成 (続き)

チャネルごとの DIMM コネクター	各チャネルに取り付けられた DIMM	DIMM のタイプ	DIMM の速度	DIMM ごとのランク (すべての組み合わせ)
2	2	Unbuffered DDR3 ECC	1333, 1600	single-rank、dual-rank

次の表は、ランク付き UDIMM を使用したときの最大 DIMM 装着構成のリストです。

表 4. ランク付き UDIMM を使用した最大メモリー装着構成 (モデルにより異なる)

UDIMM の数	DIMM のタイプ	サイズ	メモリー合計
4	single-rank UDIMM	1 GB	4 GB
4	dual-rank UDIMM	2 GB	8 GB
4	dual-rank UDIMM	4 GB	16 GB
4	dual-rank UDIMM	8 GB (使用可能な場合)	32 GB

次の表は、システム・パフォーマンスを最適化するための UDIMM メモリーの装着構成の規則を示しています。

表 5. UDIMM 装着構成の規則

DIMM コネクター 1	DIMM コネクター 2	DIMM コネクター 3	DIMM コネクター 4
装着済み	空の状態	空の状態	空の状態
装着済み	空の状態	装着済み	空の状態
装着済み	装着済み	装着済み	装着済み

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。

注: 本書の図は、ご使用のモデルと多少異なる場合があります。

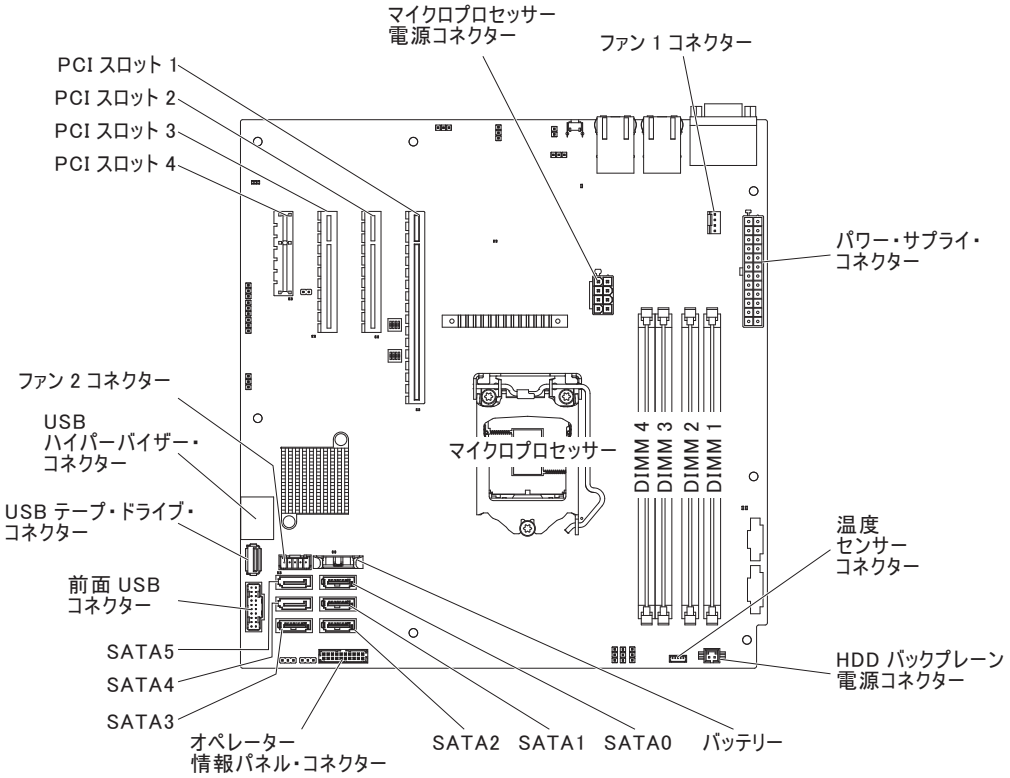


図 25. システム・ボード上の DIMM コネクター

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題が起きないよう、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに DIMM を取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードとその他のすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。

6. システム・ボードの DIMM コネクターを見付けます。 DIMM を取り付けるコネクターを決定します。 次の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

表 6. DIMM の取り付け順序

DIMM の数	**取り付け順序 (コネクター)**
最初の DIMM ペア	1、3
2 番目の DIMM ペア	2、4

7. 保持クリップを開き、必要に応じて既存の DIMM を取り外します。

   重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。

8. DIMM が入っている帯電防止パッケージをサーバー外側の塗装されていない金属面に触れさせます。 その上で、DIMM をパッケージから取り出します。
9. DIMM の切り欠きがコネクターと合うように DIMM を正しく位置合わせします。
10. DIMM の端を、DIMM コネクターの両端にあるスロットの位置に合わせて、DIMM をコネクターに挿入します。
11. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。 DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップはカチッとロック位置にはまります。

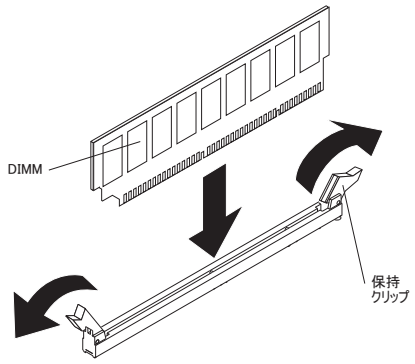


図 26. DIMM の取り付け

   注: DIMM と保持クリップとの間にすき間があるときは、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

12. 他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、 91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに DIMM を取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードとその他のすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. システム・ボードの DIMM コネクターを見付けます。 DIMM を取り付けるコネクターを決定します。 次の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

表 7. DIMM の取り付け順序

DIMM の数	**取り付け順序 (コネクター)**
最初の DIMM ペア	1、3
2 番目の DIMM ペア	2、4

6. 保持クリップを開き、必要な場合は既存の DIMM を取り外します。

   重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。
7. DIMM が入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、新規の DIMM をパッケージから取り外します。
8. DIMM の切り欠きがコネクターと合うように DIMM を正しく位置合わせします。
9. DIMM の端を、DIMM コネクターの両端にあるスロットの位置に合わせて、DIMM をコネクターに挿入します。
10. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。 DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップはカチッとロック位置にはまります。

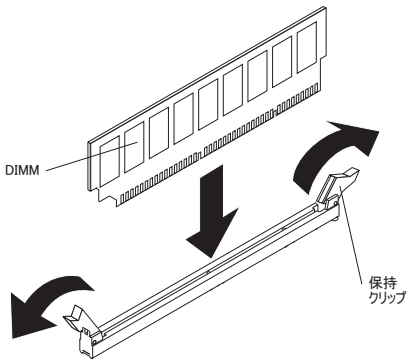


図 27. DIMM の取り付け

注: DIMM と保持クリップとの間にすき間があるときは、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

11. 他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、 91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

ドライブの取り付け

ドライブの取り付けを行うには、この情報を使用します。

サーバー・モデルによっては、DVD-ROM またはマルチバーナー・ドライブがサーバーに取り付けられていることがあります。 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、サーバーは最大 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクをサポートします (モデルによって異なります)。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、サーバーは最大 8 個の 2.5 型ホット・スワップ SATA/SAS ハード・ディスク、または、最大 4 個の 3.5 型ホット・スワップ SATA/SAS ハード・ディスクをサポートします。

次の図は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの、4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・ドライブ・ベイの位置を示しています。

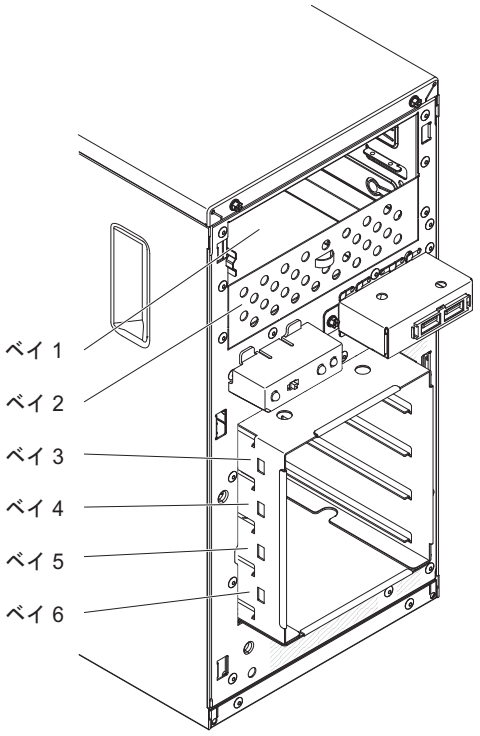


図 28. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの、4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・ドライブ・ベイの位置

次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの、8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブ・ベイの位置を示しています。

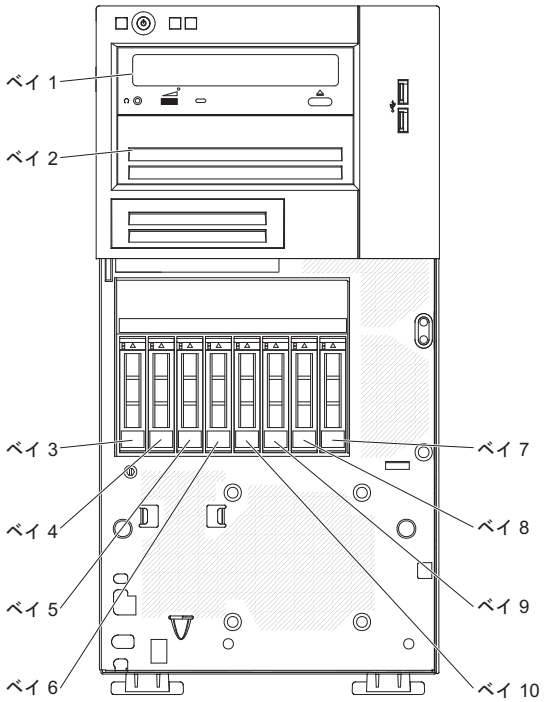


図 29. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの、8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブ・ベイの位置

次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの、4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブ・ベイの位置を示しています。

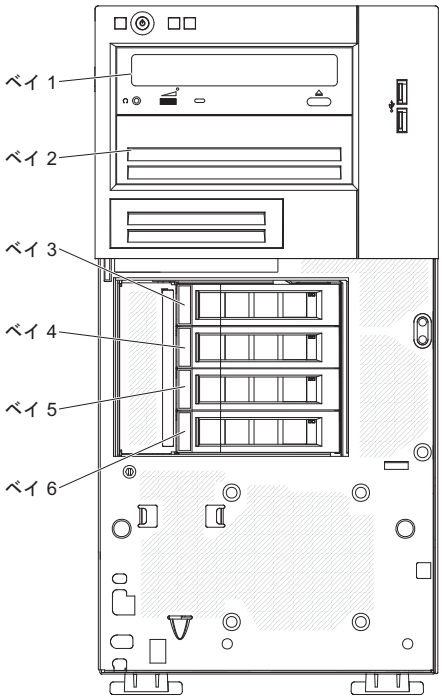


図 30. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの、4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブ・ベイの位置

以下の注意書きは、このサーバーがサポートしているドライブのタイプ、およびドライブを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- この章の説明のほかに、ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他の装置があるか確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブのスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別するために、ドライブに付属の説明書を調べます。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性と冷却を保護するには、すべてのベイと PCI スロットおよび PCI Express スロットがカバーされているか、占有されている必要があります。 ドライブ、あるいは PCI または PCI Express アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合に備えて、ベイ、あるいは PCI アダプターまたは PCI Express アダプター・スロット・カバーから外した EMC シールドとフィラー・パネルを保管しておきます。
- サーバーでサポートされているオプションの完全なリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us を参照してください。

DVD ドライブの取り付け

DVD ドライブを取り付けるには、以下の情報を使用します。

取り外したドライブを新規ドライブと交換する場合は、以下のことを確認してください。

- すべてのケーブル、および新しいドライブに付属する資料で指定されている他の装置が揃っていることを確認します。
- 新しいドライブに付属の説明を調べて、ドライブにスイッチまたはジャンパーの設定が必要かどうかを確認します。
- 古いドライブの側面に付いていた青色の光学式ドライブ・レールを取り外して、新しいドライブの取り付けに使用できるように用意します。

注: レーザーを含むドライブを取り付ける場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

安全 3

注意:
レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- **カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**

危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。

次のことに注意してください。カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil A Laser de Classe 1

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに DVD ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ジャンパーまたはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

   注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。
3. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
4. ベゼルを取り外します (43 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
5. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
6. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
7. 新規の DVD ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、DVD ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
8. サーバーを元どおり垂直に立てます。
9. ドライブ保持クリップをベイ 1 またはベイ 2 のドライブ側面から取り外します。ドライブ保持クリップを前へスライドさせてドライブ・ケージを取り外します。次に、ドライブ保持クリップをドライブ側面にあるねじ穴にカチッと音がするまではめ込みます。

10. ドライブをベイ内に押し込みます。

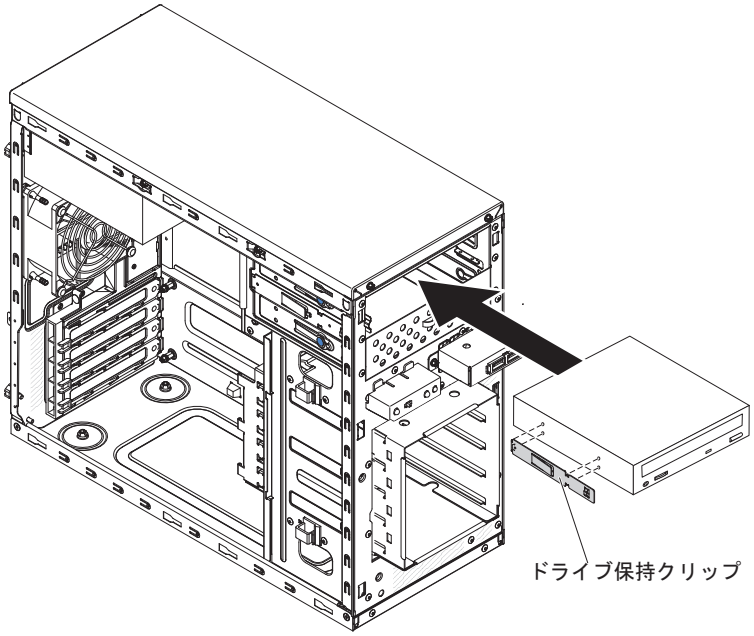


図 31. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの DVD ドライブの取り付け

11. サーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

    重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

12. 電源ケーブル (電源コネクター P9) および信号ケーブルをドライブに接続します。

    注: 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサーとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、 91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに DVD ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ジャンパーまたはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

   注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。

3. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。

4. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. 下段ベゼルを取り外します (45 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
6. 上段ベゼルを取り外します (46 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。
7. 新規の DVD ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、DVD ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
8. ジャンパーまたはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

   注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。
9. 前のドライブから取り外したドライブの保持クリップを新しいドライブの側面に取り付けます。
10. ドライブをベイ内に押し込みます。

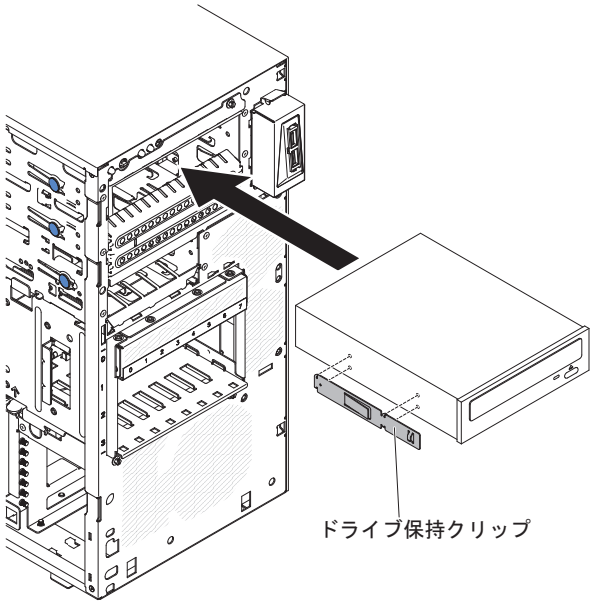


図 32. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの DVD ドライブの取り付け

11. 電源ケーブルおよび信号ケーブルをドライブに接続します。

    注: 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサーとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

テープ・ドライブの取り付け

テープ・ドライブを取り付けるには、以下の情報を使用します。

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- 新規ドライブに付属の資料で指定されているすべてのケーブルおよび他の装置が準備されている。
- 新規ドライブに付属の手順を確認し、ドライブのスイッチあるいはジャンパーを設定する必要があるかを判別している。
- 古いドライブの側面からドライブ保持クリップを取り外し、新規ドライブの取り付けに使用できるようにしている。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにテープ・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードとその他のすべての外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (43 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
7. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
8. ドライブに付属の資料に従って、ドライブ上のジャンパーまたはスイッチを設定します。
9. サーバーを元どおり垂直に立てます。
10. フィラーがドライブ・ケージに取り付けられている場合は、それを取り外します。
11. ドライブ保持クリップをベイ 1 またはベイ 2 のドライブ側面から取り外します。ドライブ保持クリップを前へスライドさせてドライブ・ケージを取り外します。次に、ドライブ保持クリップをドライブ側面にあるねじ穴にカチッと音がするまではめ込みます。
12. ドライブをベイ内に押し込みます。

    注: テープ・ドライブは、ベイ 1 または 2 にのみ取り付け可能です。

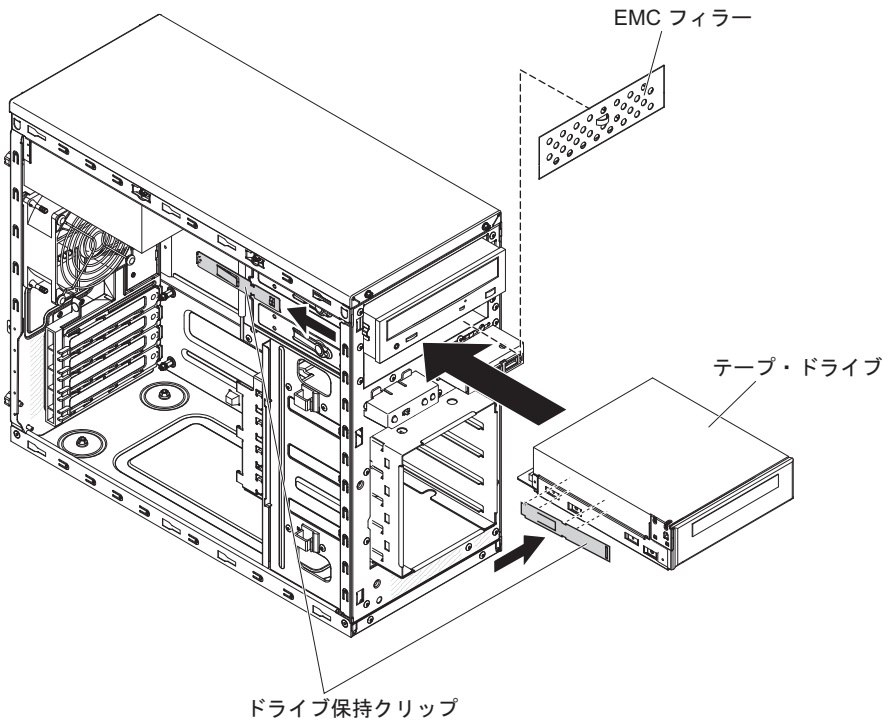


図 33. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのテープ・ドライブの取り付け

13. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

    重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

14. 該当する信号ケーブルの一方の端をドライブの背面に接続し、このケーブルの他方の端がシステム・ボード上の該当するコネクターに接続されていることを確認します。
15. 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサーとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、 91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにテープ・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードとその他のすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (45 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。

5. 上段ベゼルを取り外します (46 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。
6. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
7. ドライブに付属の資料に従って、ドライブ上のジャンパーまたはスイッチを設定します。
8. フィラーがドライブ・ケージに取り付けられている場合は、それを取り外します。
9. ドライブ保持クリップを前方にスライドして、ベイ 2 のドライブ・ケージから取り外します。次に、ドライブ保持クリップをドライブの側面のねじ穴にはめ込みます。

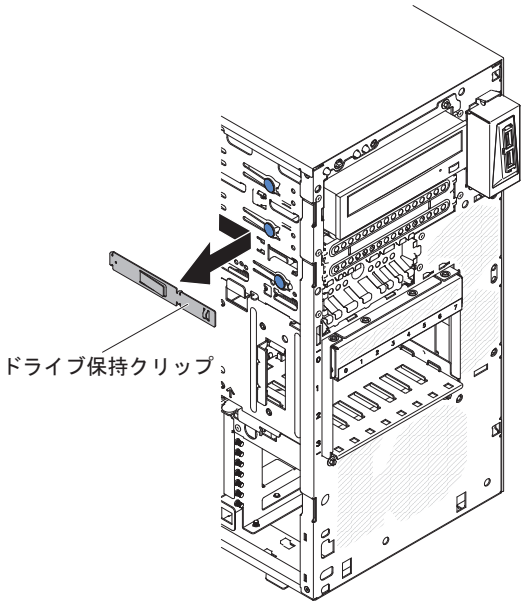


図 34. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのドライブ保持クリップの取り付け

10. ドライブをベイ内に押し込みます。

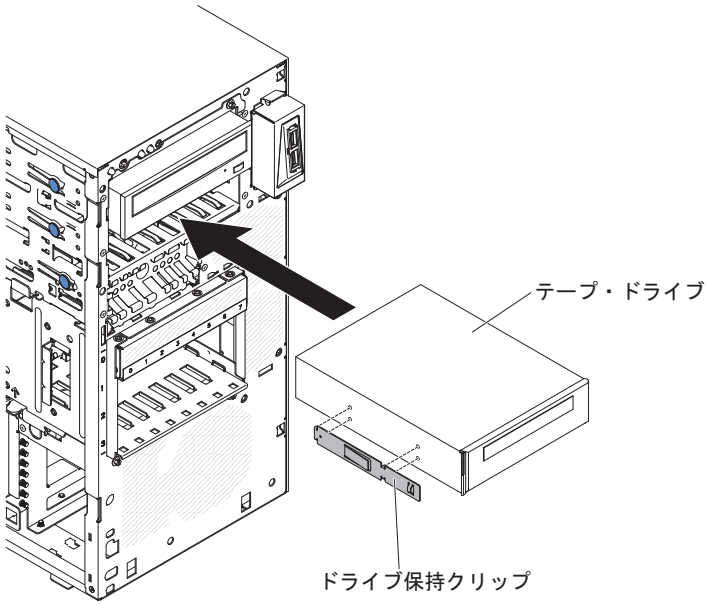


図 35. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのテープ・ドライブの取り付け

11. 該当する信号ケーブルの一方の端をドライブの背面に接続し、このケーブルの他方の端がシステム・ボード上の該当するコネクターに接続されていることを確認します。
12. 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサーとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。
13. 電源ケーブルをドライブの背面に接続します。このコネクターは一方向にしか差し込めません。

重要: テープ・ドライブを取り付けない場合は、必ず、フィラーを元どおりベイに再取り付けしてください。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでは、最大 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクがサポートされます。これらのハード・ディスクにはサーバーの前面からアクセスできます。

注: 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでは、3TB 以下のハード・ディスク・オプションのみがサポートされます。

シンプル・スワップ・ドライブの取り外しまたは取り付けを行う場合は、事前にサーバーの電源をすべて切断する必要があります。シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。

上部のベイから開始して下部のベイに向かって (ベイ 3、4、5 の後に 6) ドライブを取り付けます。 次の表は、ハード・ディスクの ID をリストしています。

表 8. シンプル・スワップ・ドライブの ID

ドライブ・ベイ	HDD ID
3	0
4	1
5	2
6	3

- シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクは、システム・ボード上の SATA 0 から SATA 3 コネクターに以下のように接続されます。
  - システム・ボード終端のケーブル・コネクター 0 は、システム・ボードの SATA 0 コネクターに接続されます。
  - システム・ボード終端のケーブル・コネクター 1 は、システム・ボードの SATA 1 コネクターに接続されます。
  - システム・ボード終端のケーブル・コネクター 2 は、システム・ボードの SATA 2 コネクターに接続されます。
  - システム・ボード終端のケーブル・コネクター 3 は、システム・ボードの SATA 3 コネクターに接続されます。
-
  - ハード・ディスク 0 は、システム・ボードの SATA 0 コネクターに接続されます。
  - ハード・ディスク 1 は、システム・ボードの SATA 1 コネクターに接続されます。
  - ハード・ディスク 2 は、システム・ボードの SATA 2 コネクターに接続されます。
  - ハード・ディスク 3 は、システム・ボードの SATA 3 コネクターに接続されます。

注: RAID モードの場合:

1. uEFI セットアップ・メニューでは:

- ドライブ 0 は、ハード・ディスク 0 を意味します。
- ドライブ 1 は、ハード・ディスク 1 を意味します。
- ドライブ 2 は、ハード・ディスク 2 を意味します。
- ドライブ 3 は、ハード・ディスク 3 を意味します。

2. MegaRAID Storage Manager ユーティリティーでは:
   - スロット 0 は、ハード・ディスク 0 を意味します。
   - スロット 1 は、ハード・ディスク 1 を意味します。
   - スロット 2 は、ハード・ディスク 2 を意味します。
   - スロット 3 は、ハード・ディスク 3 を意味します。

重要: シンプル・スワップ ハード・ディスクはホット・スワップできません。 シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外しまたは取り付けの前に、サーバーの電源をすべて切ってください。

注: サーバーに ServeRAID アダプターが取り付けられている場合は、SATA 信号ケーブルの他方の端を ServeRAID アダプターに接続してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルにシンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、すべての外部ケーブルと電源コードを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (43 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
5. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールに合わせます (最初にドライブのコネクターの端を合わせます)。
6. 黒いドライブ・ハンドルをつかみ、青色のリリース・ラッチを右にスライドさせます。次に、ドライブ・アセンブリーを慎重にドライブ・ベイに差し入れ、止まるまで押し込んで、ラッチを開放します。

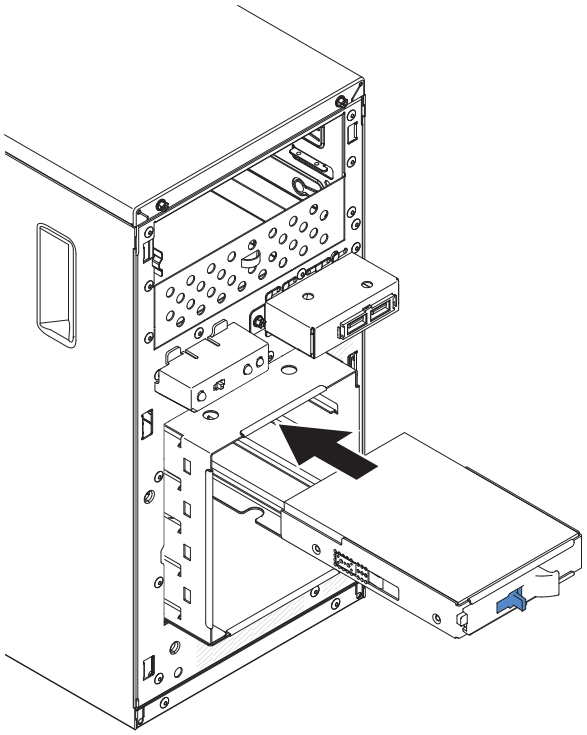


図 36. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシンプル・スワップ ハード・ディスクの取り付け

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、 91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- ホット・スワップ・ドライブは、すべて SAS ハード・ディスク、またはすべて SATA ハード・ディスクのどちらかにする必要があります。2 つのタイプを組み合わせることはできません。
- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、ドライブ・ベイに 1 台以上のハード・ディスクを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。
- ホット・スワップ・ドライブをホット・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルへの 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付けを示しています。

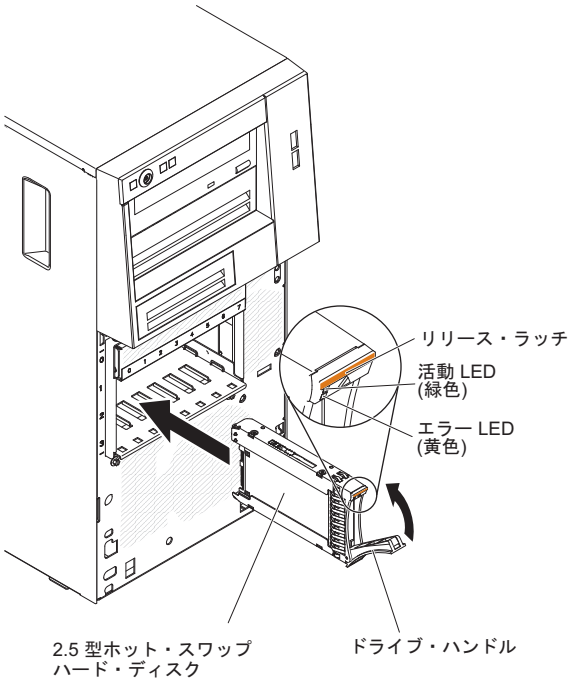


図 37. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルへの 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付けを示しています。

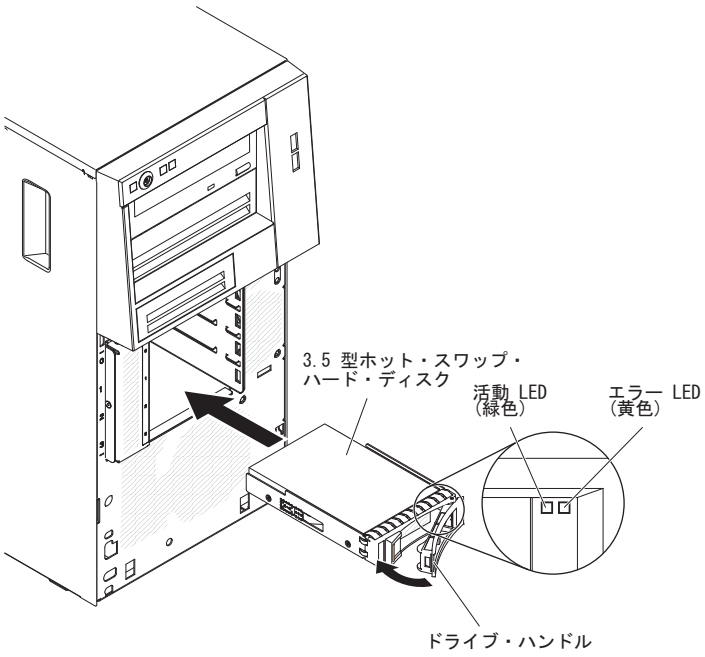


図 38. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

2. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
3. ドライブ・トレイ・ハンドルが開いた位置になっていることを確認します。
4. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールに合わせます。その後、ドライブが止まるまで、ドライブ・アセンブリーをドライブ・ベイ内に静かにスライドさせます。
5. ドライブ・トレイ・ハンドルを閉じた位置まで回転させます。
6. ハード・ディスク状況インディケーターをチェックして、ハード・ディスクが正しく稼働していることを確認します。 (ドライブが認識されるように、サーバーを再始動する必要が生じる場合があります。) ドライブの黄色のハード・ディスク状況 LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があることを示しています。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合は、そのドライブにアクセス中であることを示しています。

   注: ServeRAID コントローラーを使用してRAID 操作するように、サーバーが構成されている場合は、ハード・ディスクを交換した後にディスク・アレイを再構成しなければならない場合があります。RAID 操作についての追加情報、および ServeRAID マネージャーを使用するための詳細な手順については、ServeRAID 資料を参照してください。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

アダプターの取り付け

以下の情報を使用して、アダプターを取り付けます。

重要: Intel x520 デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター (オプション部品番号 49Y7960) を取り付ける場合、サーバーに取り付け可能な最大数は 2 個です。

拡張スロットおよびコネクターの位置については、32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに交換用アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 要件、制限事項、あるいは配線手順については、アダプターに付属の手順を確認してください。 アダプターを取り付ける前にケーブルを配線すると作業が容易になる場合があります。
3. アダプター付属の配線手順がある場合は、それに従ってジャンパーまたはスイッチを設定します。

4. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。 次に、アダプターを帯電防止パッケージから取り出します。 アダプター上のコンポーネントや金メッキしてあるコネクターには、触れないでください。
5. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
6. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
7. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
8. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
9. アダプターに付属の配線手順がある場合は、それに従ってください。アダプターを取り付ける前に、アダプター・ケーブルを配線しておきます。
10. アダプター付属の配線手順がある場合は、それに従ってジャンパーまたはスイッチを設定します。
11. 後部アダプターの保持ブラケットの端を持ち上げて、シャーシの穴からタブを外します。
12. 後部アダプターの保持ブラケットを上に回転させて、シャーシから取り外します。

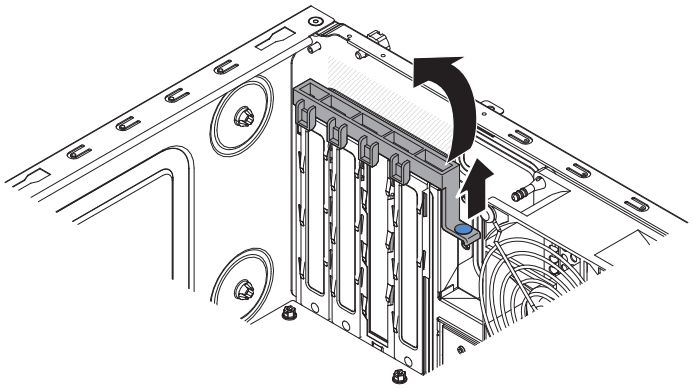


図 39. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの後部アダプターの保持ブラケットの取り外し

13. シャーシに固定しているねじを外し、拡張スロット・カバーを取り外します。拡張スロット・カバーとねじは、将来使用できるように安全な場所に保管してください。

    注: 空のスロットにはすべて拡張スロット・カバーを取り付けておく必要があります。 これによりサーバーの電子放射規格が維持され、サーバー・コンポーネントの適切な通気が確保されます。
14. アダプターの上端または上の両方の角を注意して持ち、拡張スロット・ガイドの位置に合わせます。次にアダプターをしっかりと 拡張スロットに押し込みます。 サーバーの電源をオンにする前に、アダプターが拡張スロットの中に正し

く収まっていることを確認してください。 アダプターの取り付けが不完全な場合は、システム・ボードまたはアダプターが損傷を受けるおそれがあります。

重要: サーバーの電源をオンにする前に、アダプターが拡張スロットの中に正しく収まっていることを確認してください。 アダプターの取り付けが不完全な場合は、システム・ボードまたはアダプターが損傷を受けるおそれがあります。

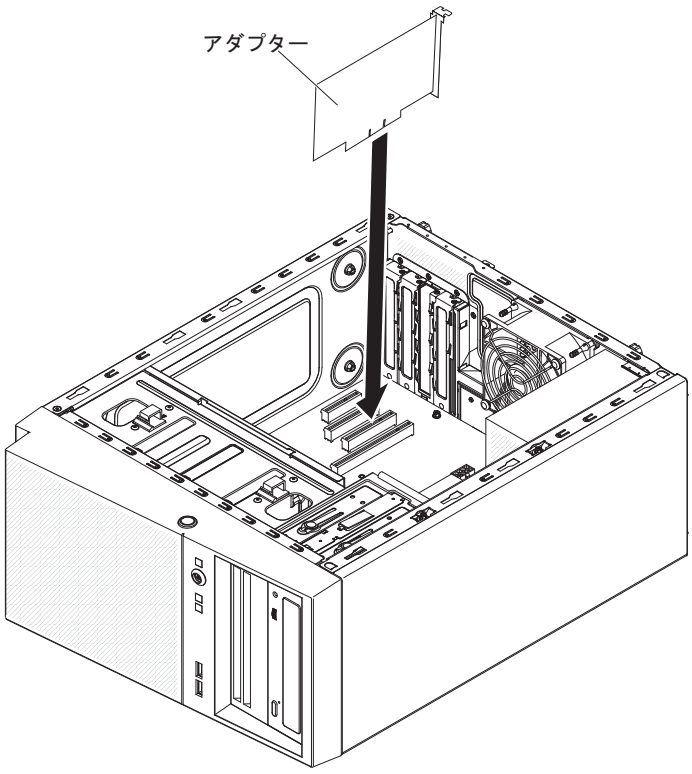


図 40. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのアダプターの取り付け

15. ヒンジ・ポイントのいずれかにある穴とシャーシのヒンジ・ピンが位置合わせされるように後部アダプターの保持ブラケットを配置したら、ヒンジ・ピンをシャーシの穴に通します。

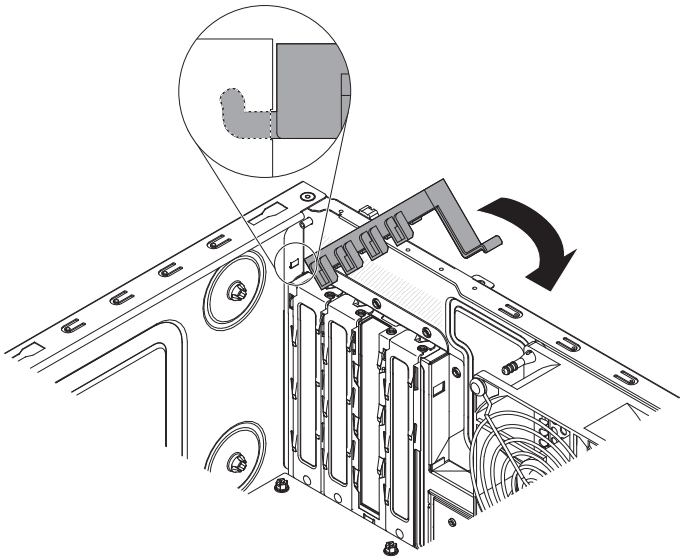


図 41. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの後部アダプターの保持ブラケットの取り付け

16. 後部アダプターの保持ブラケットを所定の位置に回転させ、反対側のヒンジ・ポイントにある穴がシャーシのヒンジ・ピンにはまるようにします。
17. 必要なケーブルをすべてアダプターに接続します。 システム・ファンからの空気の流れを妨害しないようにケーブルを配線します。
18. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、 91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにアダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 要件、制限事項、あるいは配線手順については、アダプターに付属の手順を確認してください。 アダプターを取り付ける前にケーブルを配線すると作業が容易になる場合があります。
3. アダプター付属の配線手順がある場合は、それに従ってジャンパーまたはスイッチを設定します。
4. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。 次に、アダプターを帯電防止パッケージから取り出します。 アダプター上のコンポーネントや金メッキしてあるコネクターには、触れないでください。
5. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

6. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
7. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
8. 背面アダプター保持ブラケットを開 (ロック解除) 位置まで回転させます。
9. シャーシに固定しているねじを外し、拡張スロット・カバーを取り外します。拡張スロット・カバーとねじは、将来使用できるように安全な場所に保管してください。

   注: 空のスロットにはすべて拡張スロット・カバーを取り付けておく必要があります。 これによりサーバーの電子放射規格が維持され、サーバー・コンポーネントの適切な通気が確保されます。
10. アダプターの上端または上の隅を注意して持ち、帯電防止パッケージから拡張スロットにアダプターを直接移します。アダプターを拡張スロット・ガイドの位置に合わせ、拡張スロットにアダプターをしっかりと押し込みます。
11. 必要なケーブルをアダプターに接続します。ファンからの空気の流れを妨げないようにケーブルを配線します。
12. ヒンジ・ポイントのいずれかにある穴とシャーシのヒンジ・ピンが位置合わせされるように後部アダプターの保持ブラケットを配置したら、ヒンジ・ピンをシャーシの穴に通します。

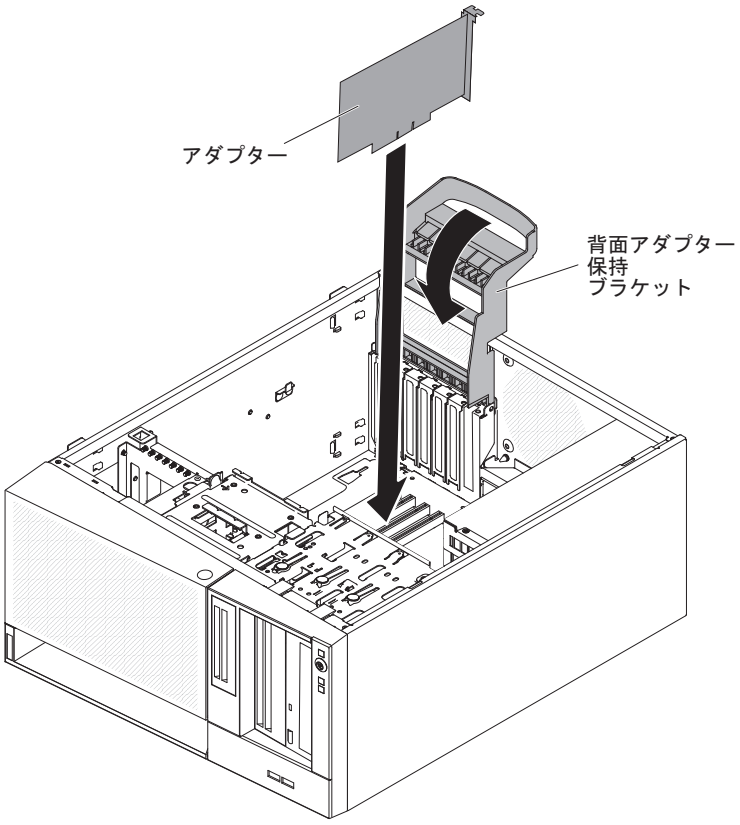


図 42. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのアダプターの取り付け

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、 91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付けるには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにマイクロプロセッサーとヒートシンクを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。

6. マイクロプロセッサーが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。 その上で、マイクロプロセッサーをパッケージから取り出します。
7. マイクロプロセッサー・ソケットの表面から、保護カバー、テープ、またはラベルをすべて取り外します。
8. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーを、完全に開いた位置まで回転させます。

   重要: マイクロプロセッサーをソケットに挿入する前に、マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーが完全に開いた位置にあることを確認してください。 それを怠ると、マイクロプロセッサー、マイクロプロセッサー・ソケット、およびシステム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
9. マイクロプロセッサーを注意してつかみ、マイクロプロセッサーをマイクロプロセッサー・ソケットに差し込みます。

   注: 取り付けの際にマイクロプロセッサーとマイクロプロセッサー・ソケットの間の方向付けを正しく行うために、次のことに注意してください。
   - マイクロプロセッサーには 2 つの切り欠きがあり、ソケットの両側にある 2 つのタブと位置を合わせます。
   - マイクロプロセッサーの角の 1 つに付いている三角形のインディケーターを、システム・ボード上の 45 度の角に向けます。
   - マイクロプロセッサーをソケットに押し込むときには、力を入れすぎないようにしてください。
10. マイクロプロセッサー・ブラケット・フレームを閉じ、次に、マイクロプロセッサー保持ラッチを閉じて所定の位置にしっかりとロックします。

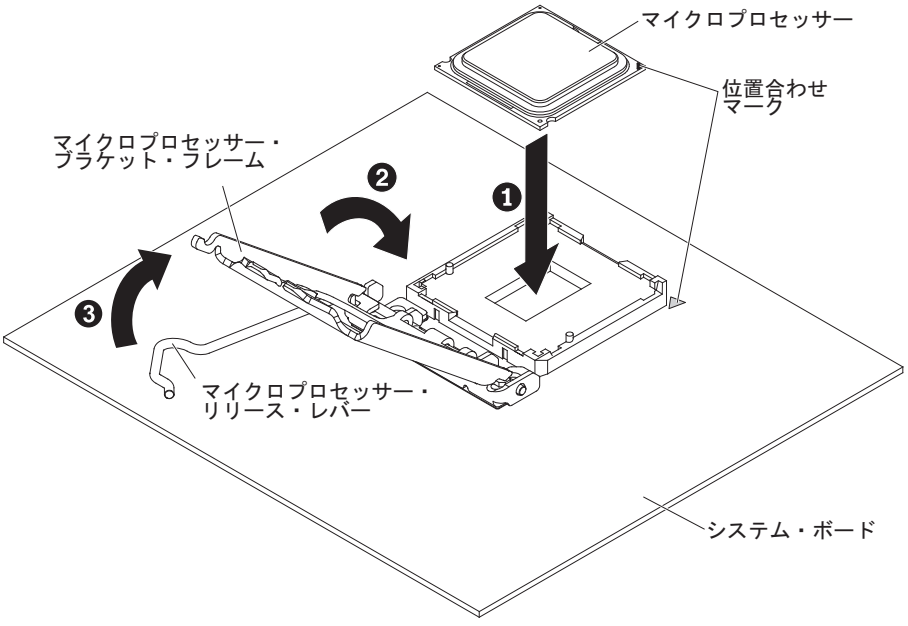


図 43. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのマイクロプロセッサー・ブラケット・フレームと保持ラッチの閉じ方

11. 次のように、ヒートシンクを取り付けます。

重要: 取り付けの際にマイクロプロセッサーとマイクロプロセッサー・ソケットの間の方向付けを正しく行うために、次のことに注意してください。

a. ヒートシンクのねじ穴をシステム・ボード上の穴と位置合わせします。

b. ドライバーを使用して、きつく締まるまでねじを交互に締めます。 可能な場合は、各ねじを一度に 2 回転ずつ締めます。 ねじがきつく締まるまで繰り返します。 過度の力でねじを締めすぎないようにしてください。

重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサーまたはヒートシンク上の熱伝導材が汚れた場合は、サービス技術員に連絡してください。

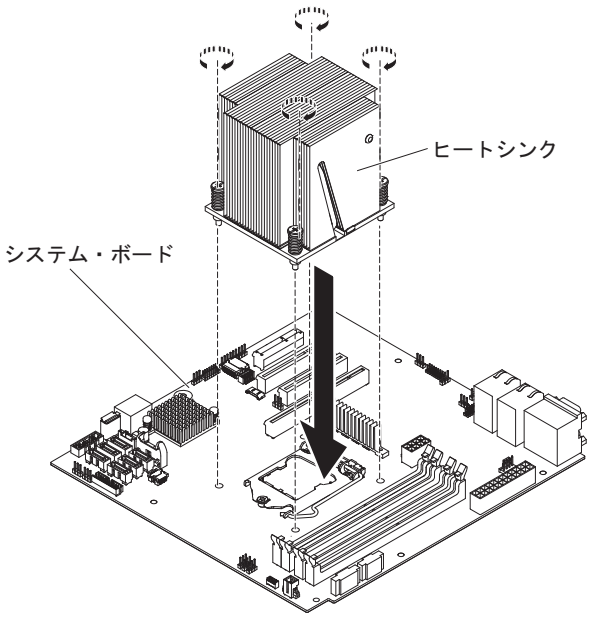


図 44. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのヒートシンクの取り付け

12. 古いマイクロプロセッサーを取り外す際に切り離したケーブルをすべて再接続します。
13. SATA 信号ケーブルを保持クリップで固定します。
14. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、 91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにマイクロプロセッサーとヒートシンクを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。

3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. マイクロプロセッサーが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。 その上で、マイクロプロセッサーをパッケージから取り出します。
6. マイクロプロセッサー・ソケットの表面から、保護カバー、テープ、またはラベルをすべて取り外します。
7. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーを、完全に開いた位置まで回転させます。

   重要: マイクロプロセッサーをソケットに挿入する前に、マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーが完全に開いた位置にあることを確認してください。 それを怠ると、マイクロプロセッサー、マイクロプロセッサー・ソケット、およびシステム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
8. マイクロプロセッサーを注意してつかみ、マイクロプロセッサーをマイクロプロセッサー・ソケットに差し込みます。

   注: 取り付けの際にマイクロプロセッサーとマイクロプロセッサー・ソケットの間の方向付けを正しく行うために、次のことに注意してください。
   - マイクロプロセッサーには 2 つの切り欠きがあり、ソケットの両側にある 2 つのタブと位置を合わせます。
   - マイクロプロセッサーの角の 1 つに付いている三角形のインディケーターを、システム・ボード上の 45 度の角に向けます。
   - マイクロプロセッサーをソケットに押し込むときには、力を入れすぎないようにしてください。
9. マイクロプロセッサー・ブラケット・フレームを閉じ、次に、マイクロプロセッサー保持ラッチを閉じて所定の位置にしっかりとロックします。

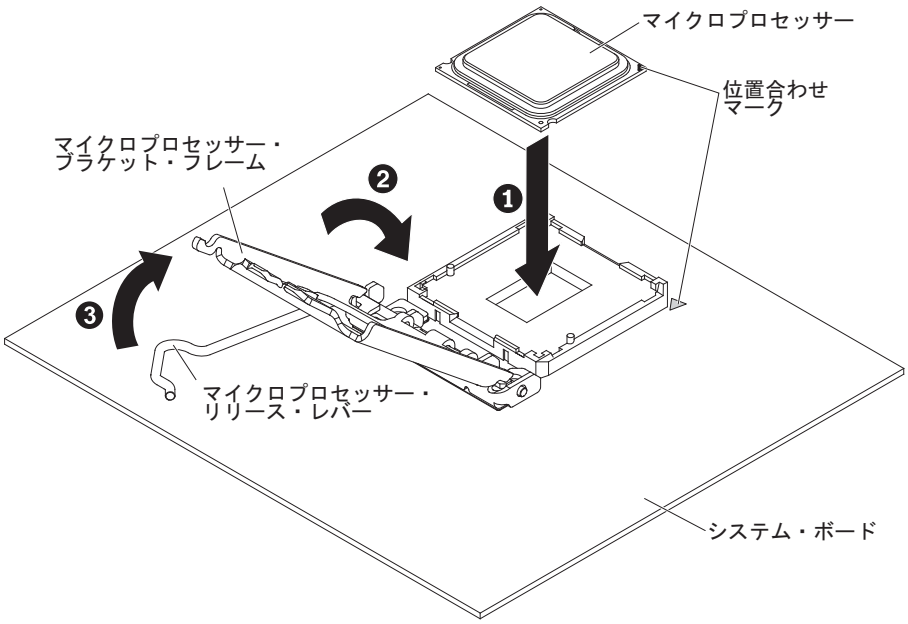


図 45. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのマイクロプロセッサー・ブラケット・フレームと保持ラッチの閉じ方

10. 次のように、ヒートシンクを取り付けます。

    重要: 取り付けの際にマイクロプロセッサーとマイクロプロセッサー・ソケットの間の方向付けを正しく行うために、次のことに注意してください。

    a. ヒートシンクのねじ穴をシステム・ボード上の穴と位置合わせします。

    b. ドライバーを使用して、きつく締まるまでねじを交互に締めます。 可能な場合は、各ねじを一度に 2 回転ずつ締めます。 ねじがきつく締まるまで繰り返します。 過度の力でねじを締めすぎないようにしてください。

    重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサーまたはヒートシンク上の熱伝導材が汚れた場合は、サービス技術員に連絡してください。

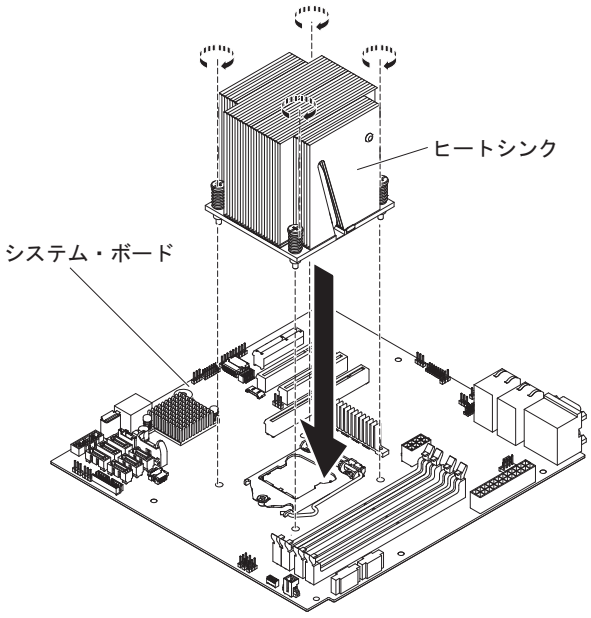


図 46. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのヒートシンクの取り付け

11. 古いマイクロプロセッサーを取り外す際に切り離したケーブルをすべて再接続します。
12. 背面アダプター保持ブラケットを閉 (ロック) 位置に回転させます。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、 91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

熱伝導グリース

マイクロプロセッサー上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にごみを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサーおよびヒートシンク上の損傷した、あるいは汚染された熱伝導グリースを交換します。

ヒートシンクを取り外したマイクロプロセッサーと同じマイクロプロセッサーにそのヒートシンクを取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

注:

- vii ページの『安全について』の『安全について』をお読みください。
- 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサーとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、以下のステップを実行します。

1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
2. パッケージのクリーニング・パッドを取り出して、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドを使用して、ヒートシンクの下部から熱伝導グリースを拭き取ります。

   注: 熱伝導グリースが完全に除去されたことを確認してください。
4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサーから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。
5. 熱伝導グリース用の注射器を使用して、マイクロプロセッサー上の 9 カ所に等間隔で 0.02 mL のグリースを点状に配置します。 最も外側のドットをマイクロプロセッサーの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。

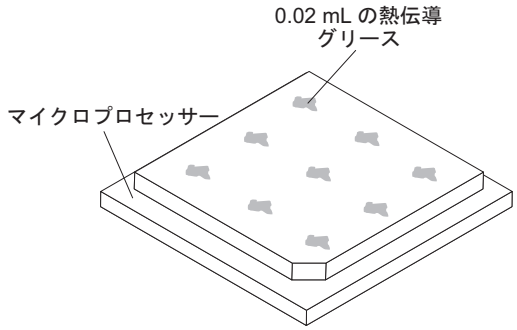


図 47. 熱伝導グリースの配分

注: グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。

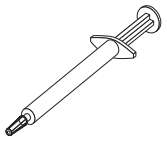


図 48. 注射器

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサーに取り付けます (346 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。

非ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルに非ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、非ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
3. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
7. ヒートシンクを取り外します (342 ページの『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
8. パワー・サプライのねじ穴がシャーシ背面の対応する穴と位置が合うように、パワー・サプライをシャーシ内に設置します。

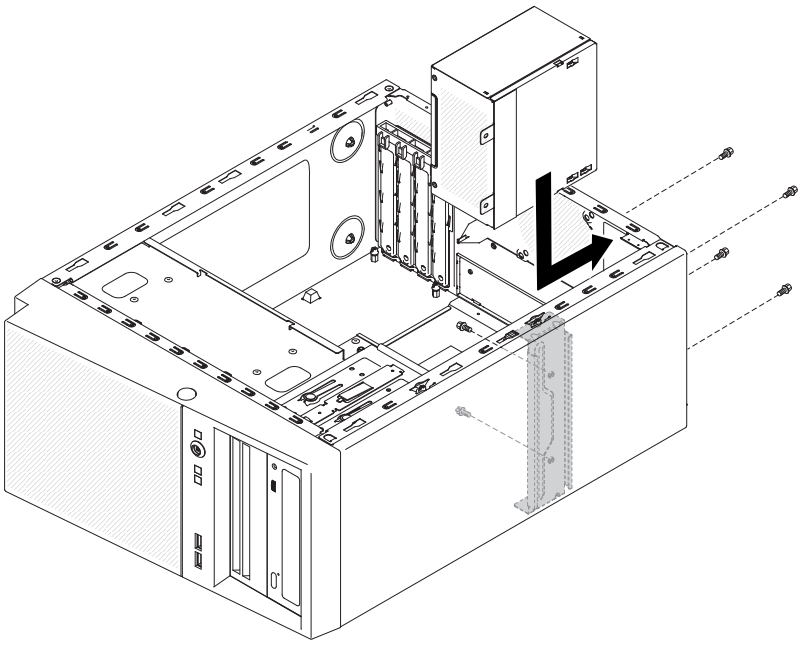


図 49. 非ホット・スワップ・パワー・サプライと非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシャーシとの位置合わせ

注: パワー・サプライの上部および下部が、開口部の上下のタブと位置が合っていることを確認してください。

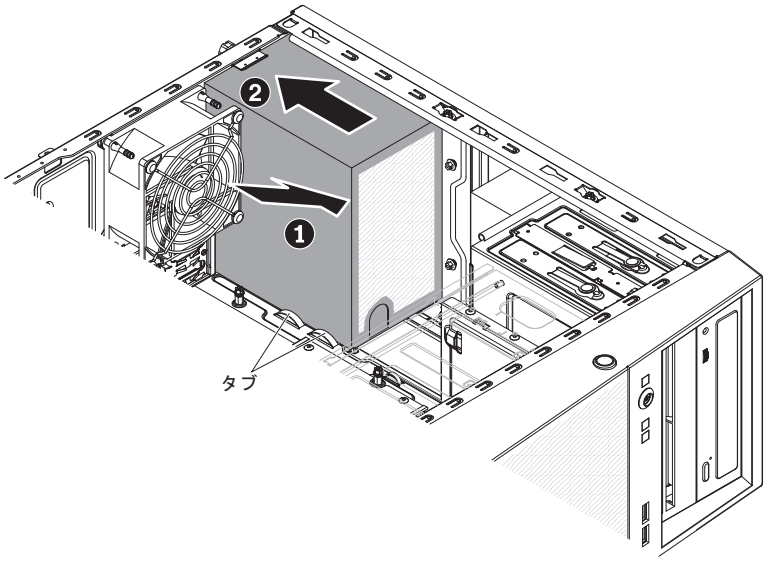


図 50. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの非ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

9. パワー・サプライをシャーシに固定するねじを取り付けます。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

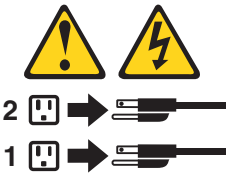
以下の項目は、サーバーがサポートするパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付ける際に考慮すべきその他の事項について説明しています。

- 取り付けるパワー・サプライをサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
- このサーバーには、430 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライが 1 つ標準装備されています。入力電圧は 110 V AC または 220 V AC (自動検知) です。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。
- サーバーは、1 個のパワー・サプライで、最大構成で稼働することができます。冗長性をサポートするために、2 個目のホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける必要があります。

注: サーバー内で高効率パワー・サプライと高効率ではないパワー・サプライを混用することはできません。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

重要: 通常の運用中は、適切に冷却するために、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライまたはパワー・サプライ・フィラーのいずれかを取り付けておく必要があります。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
3. パワー・サプライをベイ・ガイドに入れます。
4. ハンドルを使用して、所定の位置にロックされるまで、パワー・サプライをシャーシの前面に押し込みます。

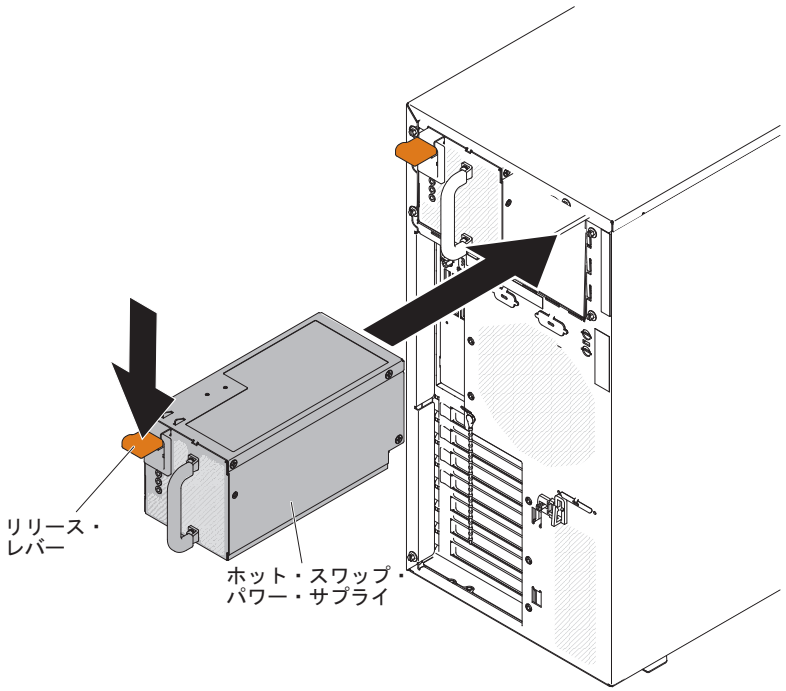


図 51. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

5. 電源コードの片方の端をパワー・サプライの背面のコネクターに接続し、電源コードのもう片方の端を正しく接地された電源コンセントに接続します。
6. パワー・サプライ背面の AC 電源 LED および DC 電源 LED が両方とも点灯し、パワー・サプライが正常に作動していることを確認します。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

thermal solution fan kit の取り付け

以下の情報を使用して、thermal solution fan kit を取り付けることができます。

重要:

1. システムの冷却と空気の流れを適正に保つために、サーバーのサイド・カバーを取り外したまま 30 分間を超えてサーバーを稼働させないでください。
2. システム・ボード上のアダプター・スロットに 2 つ目のアダプターを取り付ける場合は、IBM thermal solution fan kit オプションを取り付けてシステムに適切な冷却と空気の流れを確保する必要があります。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、部品番号は 46W9177 です。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、部品番号は 00Y8200 です。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに thermal solution fan kit を取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
6. thermal solution fan kit に付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
7. 以下のようにして thermal solution fan kit を挿入します。
   a. システム・ファンの青色の点をつかんでサーバー内に下ろし、シャーシの中に納まるのを確認します。
   b. ファン・ケーブルをシステム・ボードに接続します (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

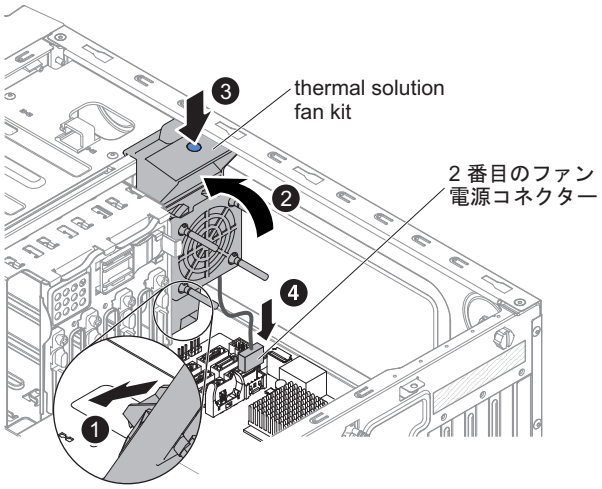


図 52. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの thermal solution fan kit の取り付け

8. 他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、 91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに thermal solution fan kit を取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。

3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 以下のようにして thermal solution fan kit を挿入します。

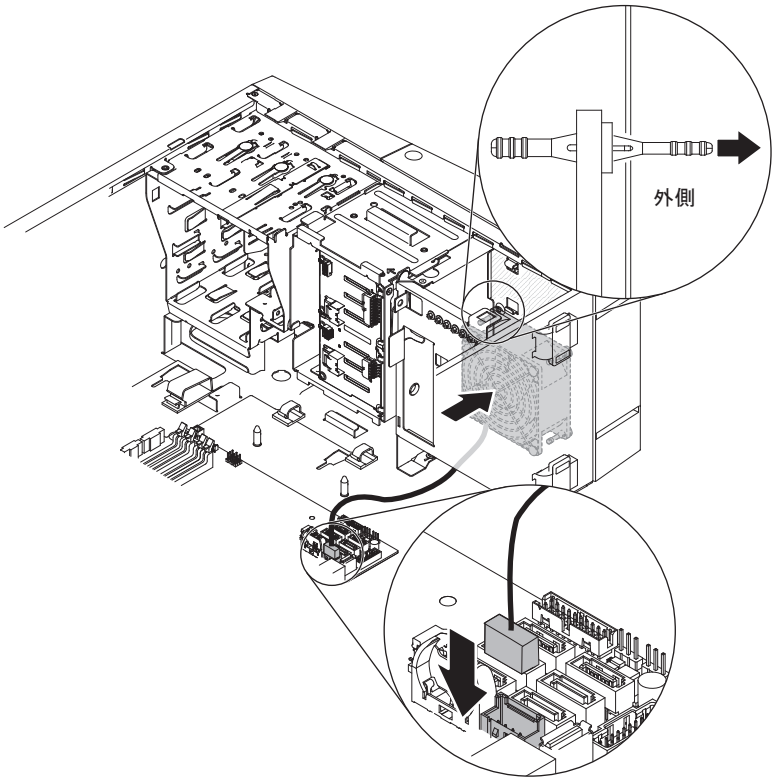


図 53. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの thermal solution fan kit の取り付け

   a. グロメットがシャーシの穴から突き出るようにファンを位置付け、ラジオ・ペンチを使用してシャーシの外側から穴を通してグロメットを引っ張ります。
   b. ファン・ケーブルをシステム・ボードに接続します (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
6. 他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、 91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

5U サーバー・モデルへのバッテリー・ホルダーの取り付け

バッテリー・ホルダーを 5U サーバー・モデルに取り付けるには、この情報を使用します。

重要: システムの冷却と空気の流れを適正に保つために、サーバーのサイド・カバーを取り外したまま 30 分間を超えてサーバーを稼働させないでください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにバッテリー・ホルダーを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. バッテリー・ホルダーをブラケットに挿入します。

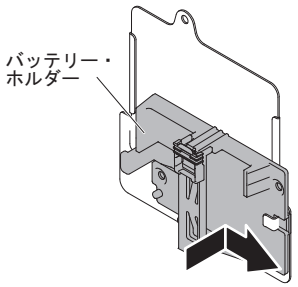


図 54. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのブラケットへのバッテリー・ホルダーの取り付け

6. ねじを締め、バッテリー・ホルダーとブラケットをシャーシに固定します。

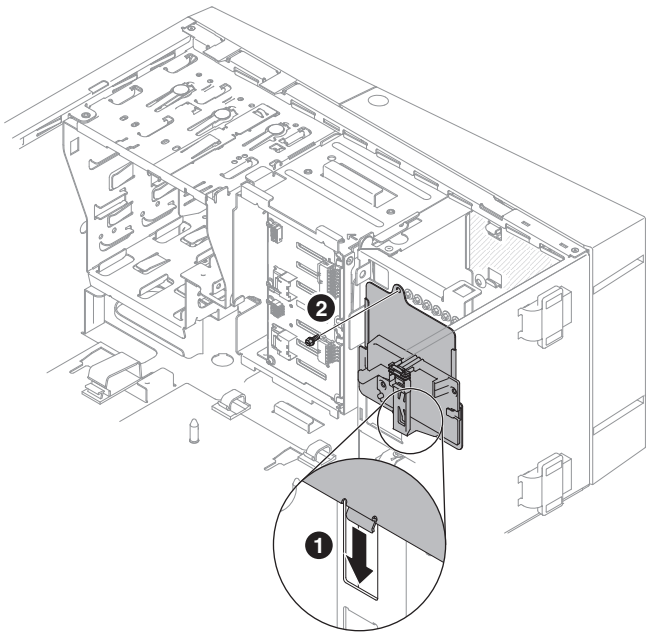


図 55. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのシャーシへのバッテリー・ホルダーの取り付け

7. 他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、 91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

作動温度の機能拡張キットの取り付け

以下の情報を使用して、作動温度の機能拡張キットを取り付けることができます。

重要: システムの冷却と空気の流れを適正に保つために、サーバーのサイド・カバーを取り外したまま 30 分間を超えてサーバーを稼働させないでください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに作動温度の機能拡張キットを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (43 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. 温度センサー・ボードを温度センサー・ホルダーに挿入します。ホルダーをサーバーに取り付け、ケーブルが図に示すように穴を通っていることを確認します。

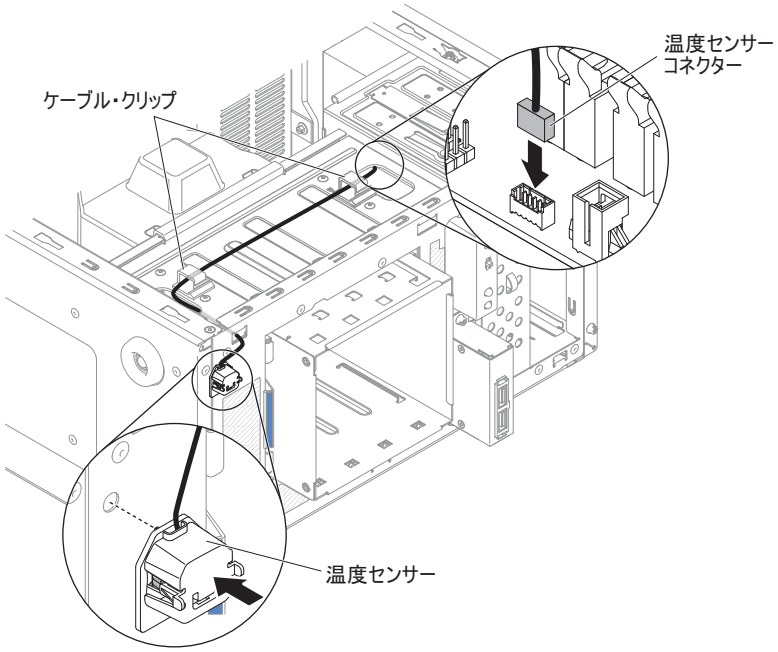


図 56. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの温度センサーの取り付け

7. 温度センサー・コネクターをシステム・ボードに接続します。ケーブルを保護するためにケーブル・クリップを閉じることを忘れないでください。

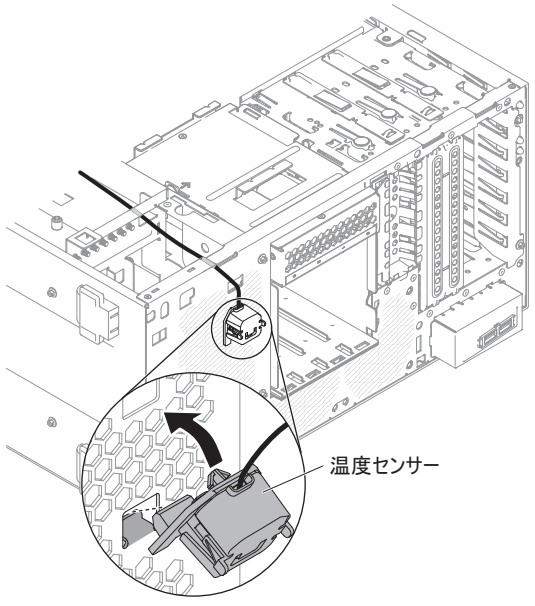


図 57. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・ボードへの温度センサー・コネクターの取り付け

8. 他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、 91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに作動温度の機能拡張キットを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (45 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルを取り外します (46 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。
6. 温度センサー・ボードを温度センサー・ホルダーに挿入します。ホルダーをサーバーのフックに掛けて取り付けます。 図に示すようにケーブルが各穴およびケーブル・クリップを通っていることを確認します。

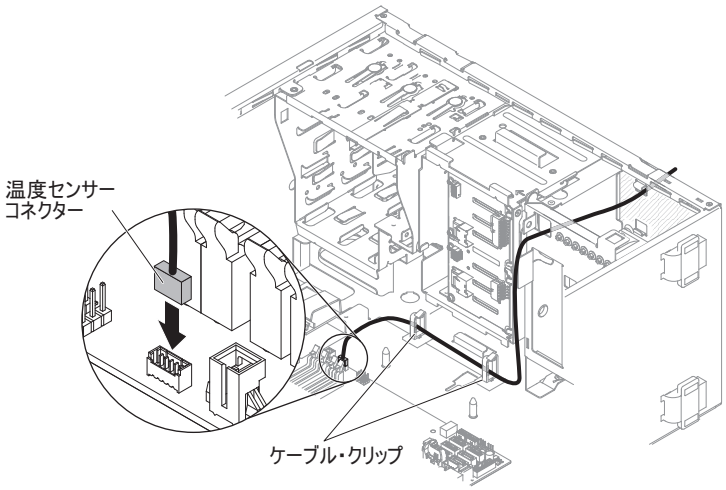


図 58. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの温度センサー・ボードの取り付け

7. 温度センサー・コネクターをシステム・ボードに接続します。
8. 他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。それ以外の場合は、 91 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

取り付けの完了

取り付けを完了するには、この情報を使用します。

このタスクについて

取り付けを完了するには、次のステップを実行してください。

手順

1. エア・バッフルを取り外した場合は、再取り付けします (『ベゼルの交換』を参照)。
2. エア・バッフルを取り外した場合は、再取り付けします (92 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
3. エア・バッフルを取り外した場合は、再取り付けします (93 ページの『上段ベゼルの交換』を参照)。
4. エア・バッフルを取り外した場合は、再取り付けします (94 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
5. サイド・カバーを取り外した場合は、再取り付けします (96 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
6. ケーブルおよび電源コードを再接続します (98 ページの『ケーブルの接続』を参照)。
7. サーバー構成を更新します (100 ページの『サーバー構成の更新』を参照)。
8. サーバーを始動します。 サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認します。
9. (IBM ビジネス・パートナーのみ) 30 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の追加ステップを実行します。

ベゼルの交換

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにベゼルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ベゼル上の 3 つのタブをサーバー前面の対応する穴に挿入します。
3. 所定の位置にしっかりロックされるまで、ベゼルをサーバー側に回転させます。

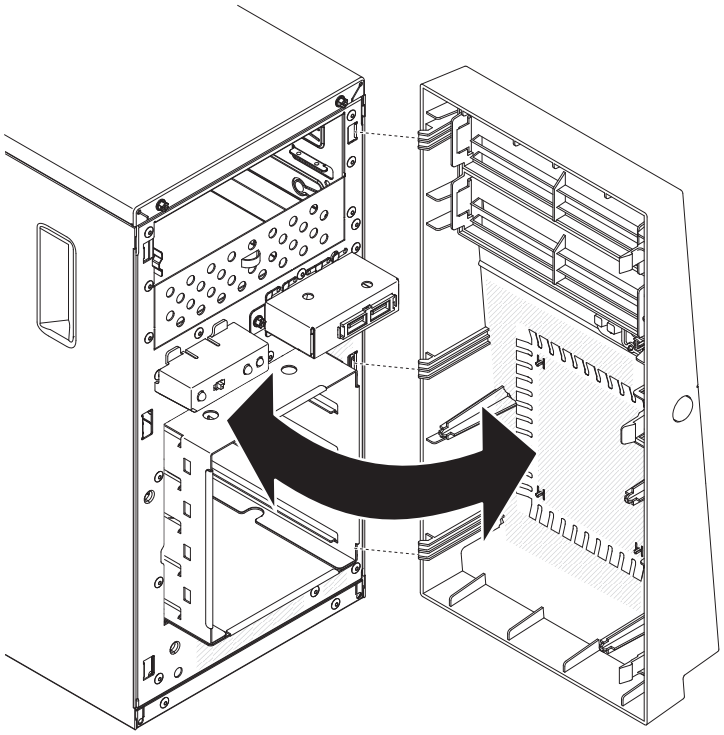


図 59. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのベゼルの取り付け

下段ベゼルの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに下段ベゼルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 下段ベゼルの底部にある 2 つのタブを、シャーシ前面にある対応する穴に挿入します。

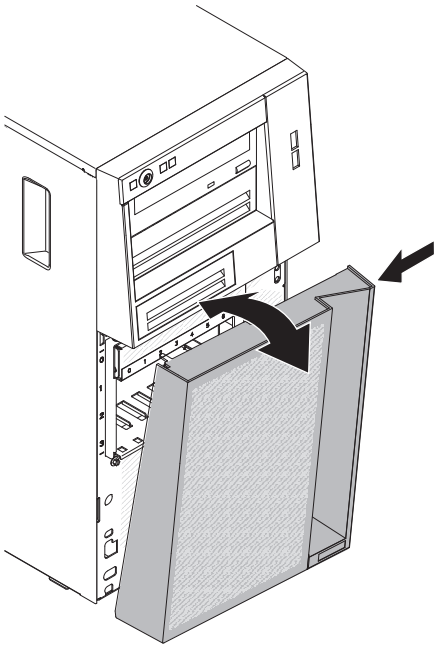


図 60. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの下段ベゼルの取り付け

3. 下段ベゼルの上部をシャーシ方向に回転させます。次に下段ベゼルの右側にある青色のリリース・タブを押して、下段ベゼルが所定の位置にしっかりロックされるまで、完全に閉じます。

上段ベゼルの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに上段ベゼルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 上段ベゼルの右側にある 2 つのタブを、シャーシの右側にある対応する穴に挿入します。

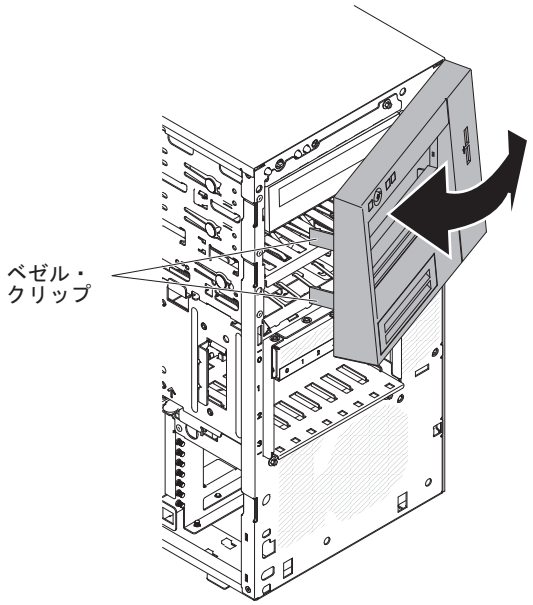


図 61. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの上段ベゼルの取り付け

3. シャーシの左側の対応する凹みにベゼル・クリップの位置が合うまで、上段ベゼルをシャーシの左側方向に回転させて、カチッと音がするまではめ込みます。

エア・バッフルの交換

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにエア・バッフルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. エア・バッフルのタブをシャーシのスロットと位置合わせします。
3. エア・バッフルを下げて、サーバーに差し込みます。

   重要:

   - ケーブルがエア・バッフルの取り付けの妨げになる場合があるため、マイクロプロセッサーの電源ケーブルの配線経路をメモしておきます。

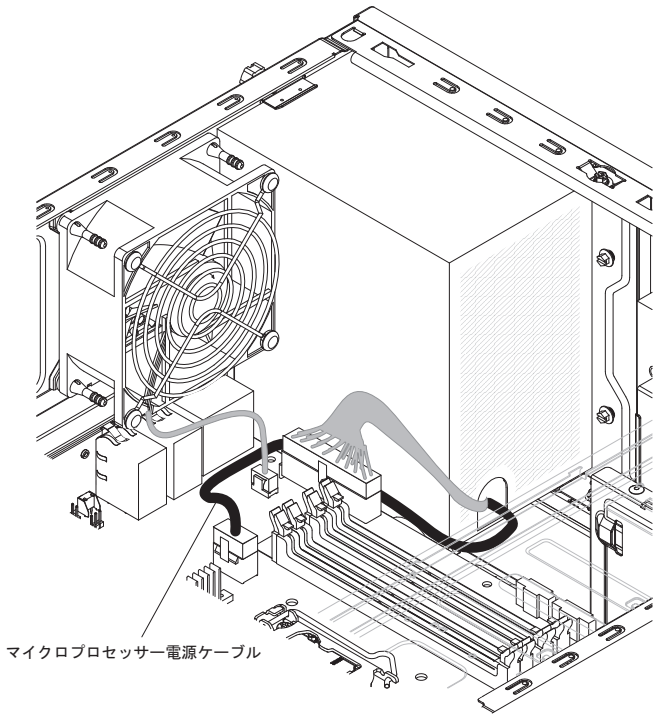


図 62. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのエア・バッフル取り付け時におけるマイクロプロセッサー電源ケーブルの配線

- エア・バッフルのタブがシャーシの穴に挿入されていること、および引っ掛かったり挟まれたりしているケーブルがないことを確認します。
- 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エア・バッフルを再度取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。エア・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

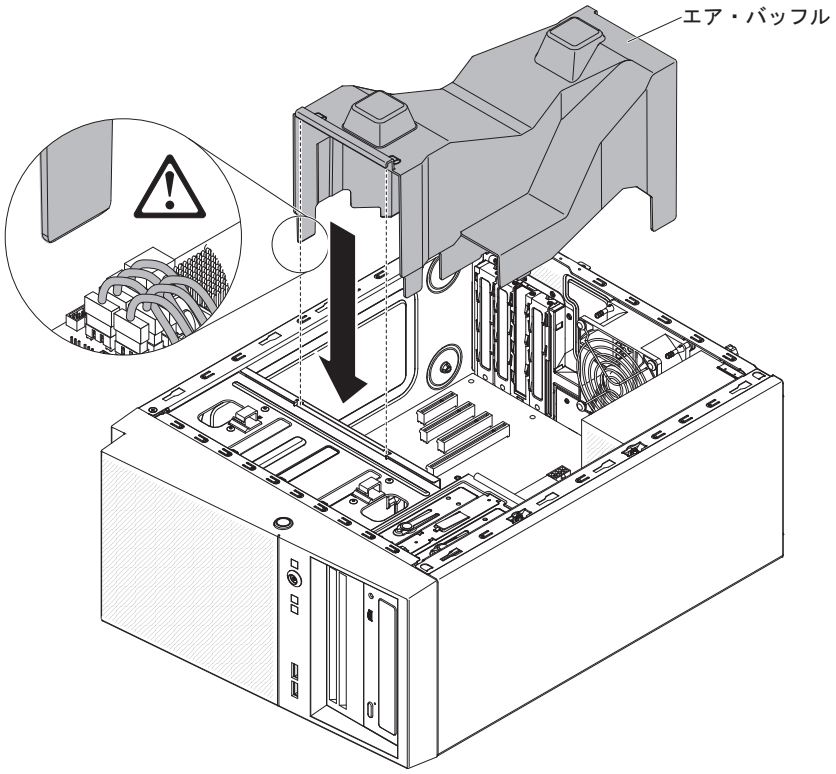


図 63. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのエア・バッフルの取り付け

サイド・カバーの交換

サイド・カバーの交換を行うには、この情報を使用します。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サイド・カバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。 サイド・カバーを取り外して長時間 (30 分以上) サーバーを操作すると、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ 4U サーバー・モデルの場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. すべてのケーブル、アダプター、および他のコンポーネントが正しく取り付けられ、固定されているか、およびサーバー内のツールまたは部品が緩んでいないかチェックしてください。 また、すべての内部ケーブルが正しく配線されているかどうかを確認します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを押さえて、サイド・カバーの後部側から所定の位置にしっかりロックされるまで押し込みます。

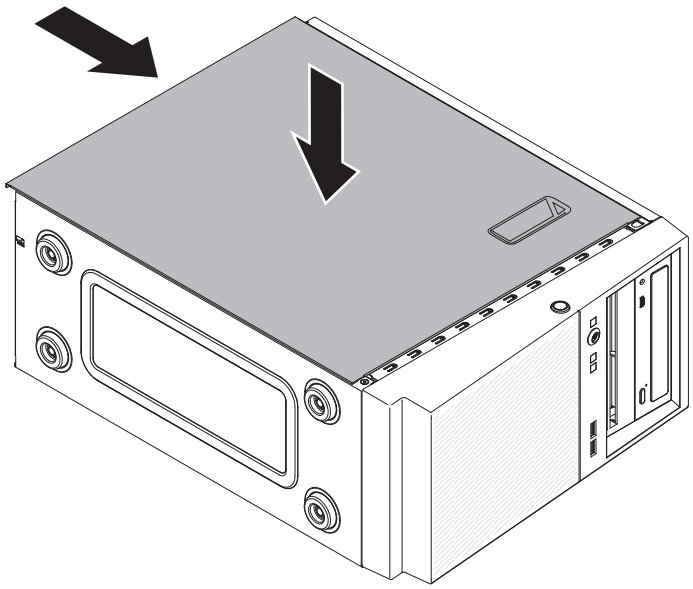


図 64. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのサイド・カバーの取り付け

5. サイド・カバー後部の 2 つのシャーシねじを使用して、サイド・カバーを所定の位置に固定します。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

重要: カバー・ロックは、サイド・カバーを取り付ける前にアンロック (開) 位置にしておく必要があります。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. すべてのケーブル、アダプター、および他のコンポーネントが正しく取り付けられ、固定されているか、およびサーバー内のツールまたは部品が緩んでいないかチェックしてください。 また、すべての内部ケーブルが正しく配線されているかどうかを確認します。
3. 上段および下段のベゼルを取り外した場合は、サイド・カバーを取り付け直す前に、これらのベゼルを再度取り付けます (215 ページの『下段ベゼルの交換』、および 217 ページの『上段ベゼルの交換』を参照)。
4. サイド・カバー底部端のへりをシャーシ底部にある水平の台に合わせ、カバーをシャーシまで回転させます。カバー・リリース・ラッチを下方へ押し、カバーが所定の場所に完全に納まるまでシャーシの中に押し込みます。

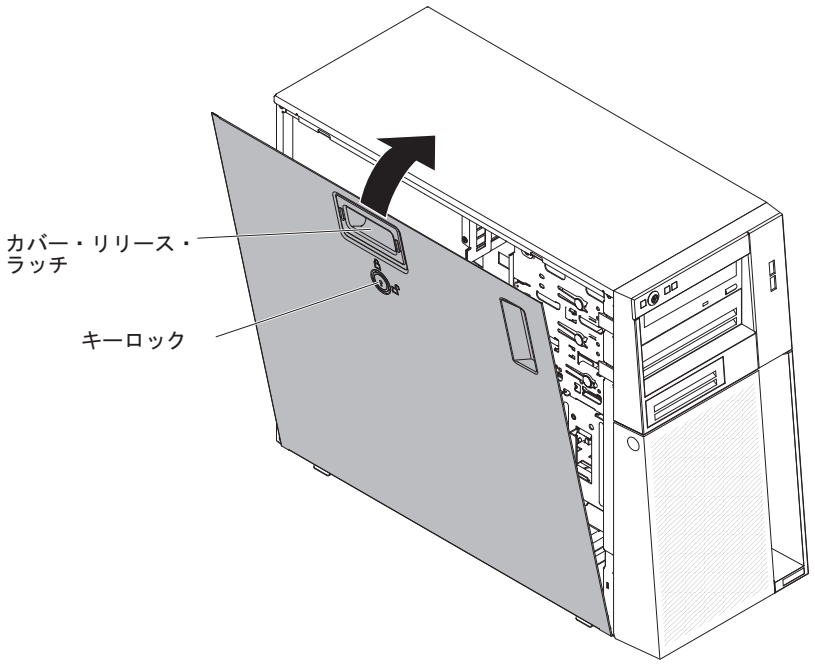


図 65. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのサイド・カバーの取り付け

5. サイド・カバーをロックします。

ケーブルの接続

ケーブルを接続するには、この情報を使用します。

重要: 機器が損傷を受けないようにするために、最後に電源コードを接続します。

サーバー・ケーブルとコネクター・パネルの接続が色分けされている場合は、ケーブルの先端の色とコネクターの色を一致させてください。 例えば、青いケーブルの先端は青いパネル・コネクターに合わせ、赤いケーブルの先端は赤いコネクターに合わせて接続します。

次の図は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデル背面の入出力 (I/O) コネクターを示しています。

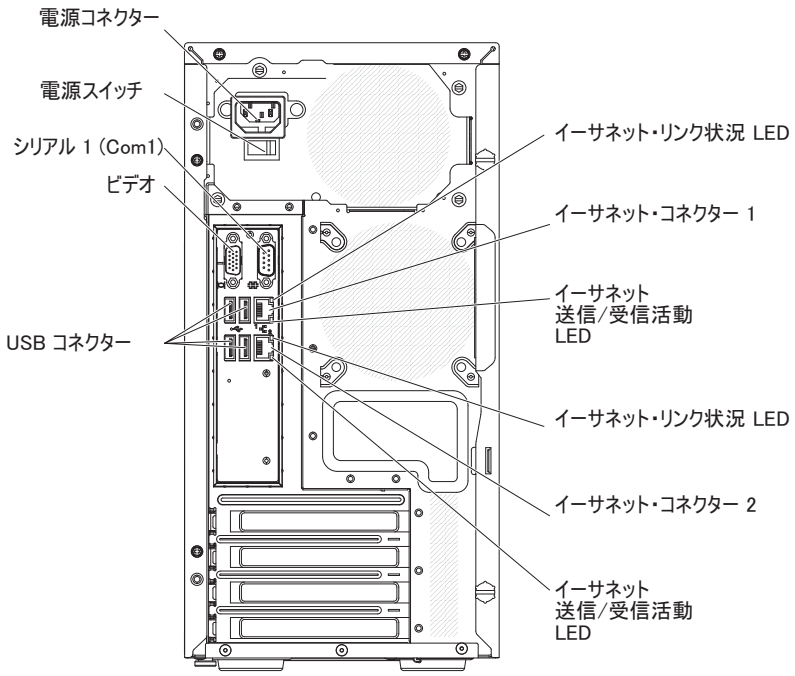


図 66. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデル背面の入出力 (I/O) コネクター

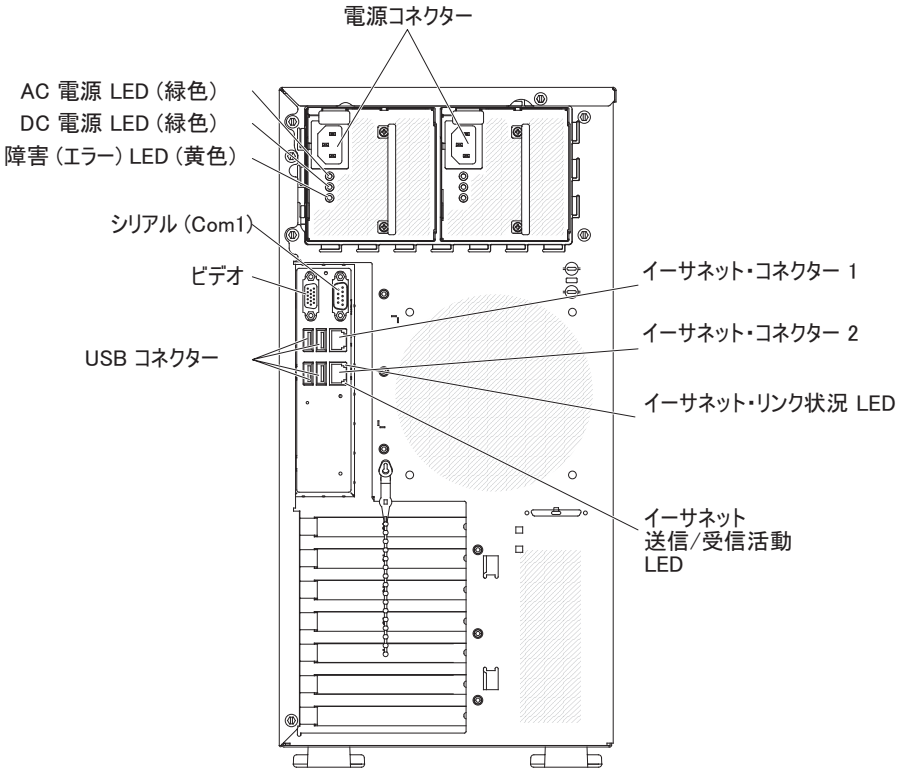


図 67. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル背面の入出力 (I/O) コネクター

サーバー構成の更新

サーバー構成を更新するには、この情報を使用します。

装置を追加または取り外した後で初めてサーバーを始動すると、構成が変更されたことを伝えるメッセージが表示される場合があります。 このとき新しい構成設定値を保存できるように、Setup ユーティリティーが自動的に開始します。

一部のオプション装置の場合、インストールが必要なデバイス・ドライバーがあります。 デバイス・ドライバーのインストールについては、各装置に付属の資料を参照してください。

ご使用のサーバーにオプションの RAID アダプターが取り付け済みで、ハード・ディスクを取り付けまたは取り外した場合、ディスク・アレイを再構成するための情報については、RAID アダプターに付属の資料を参照してください。

内蔵 Gigabit Ethernet コントローラーの構成については、 123 ページの『Gigabit Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

外付けデバイスの接続

外付けデバイスを接続するには、この情報を使用します。

サポートされるオプションのアダプターを取り付けた場合は、外付け装置をサーバーに接続することができます。

外付けデバイスを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーとすべての接続装置の電源をオフにします。
3. 装置に付属の資料の説明に従って、装置の取り付けの準備をして、サーバーに接続します。

注: 外部装置を取り付ける場合は、配線について装置に付属の資料を参照してください。

サーバーのラックへの取り付け

サーバーのラックへ取り付けるには、この情報を使用します。

サーバーをタワー・モデルからラック・モデルに変換するには、ラック・タワー変換キットを使用する必要があります。その後、サーバーをラック・キャビネットに取り付けることができます。サーバー用のラック・タワー変換キットのご注文については、IBM の営業担当員あるいは認定販売店にお問い合わせください。

注:

1. システムをラック・キャビネットに取り付ける場合でも、タワーから以下のアイテムを取り外す必要はありません。
   - 前面ベゼル
   - DVD-ROM ドライブ
   - テープ・ドライブ
   - 前面 USB コネクター・アセンブリー
   - Operator information panel assembly
2. システムをラック・キャビネットに取り付けると、EIA ブラケットと下段ベゼルの間の距離は、約 67 mm になります。 この距離を考慮して、システムをラック・キャビネットに取り付ける際には、ラック・キャビネットのドアを完全に閉めておくようにしてください。

第 3 章 構成情報と説明

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティーの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

システム・ファームウェアを更新するには、以下の情報を使用します。

重要:

1. 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に格納されているすべてのデータをバックアップしてください。手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。
3. 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールする前に、ダウンロードされたアップデートに付属の README および変更ヒストリー・ファイルをお読みください。これらのファイルには、初期ファームウェアまたはデバイス・ドライバー・バージョンから最新バージョンにアップデートする特別な手順を含み、アップデートおよびアップデート・インストール手順に関する重要な情報が記載されています。

Update*Xpress* システム・パックまたは Update*Xpress* CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。 Update*Xpress* システム・パックには、ご使用のサーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。 Update*Xpress* システム・パック・インストーラーを使用して、Update*Xpress* システム・パックおよび個々のファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を獲得し、適用してください。 Update*Xpress* システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

更新をクリックすると、その更新で修正された問題のリストが含まれている情報ページが表示されます。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が Update*Xpress* システム・パックあるいは Update*Xpress* イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。

© Copyright IBM Corp. 2014

サーバーのファームウェアは、定期的に更新されており、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。UEFI ファームウェア、デバイス・ドライバー、および統合管理モジュール (IMM) ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral にアクセスしてください。

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用してファームウェアをインストールします。

サーバー内の装置を交換した場合、その装置のメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、CD または DVD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- IMM2 ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に保管されています。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーおよびシステム・ボード上の ROM に保管されています。
- ServeRAID ファームウェアは、システム・ボードおよび RAID アダプター (取り付けられている場合) 上の ROM に保管されています。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボード上の SAS/SATA コントローラーの ROM に格納されます。

サーバーの構成

ご使用のサーバーには、次の構成プログラムが付属しています。

- **Setup ユーティリティー**

  Setup ユーティリティーは、UEFI ファームウェアの一部です。このユーティリティーを使用して、割り込み要求 (IRQ) 設定の変更、始動装置シーケンスの変更、日時の設定、およびパスワードの設定などの構成タスクを実行します。このプログラムの使用については、 109 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

- **Boot Manager プログラム**

  Boot Manager は、UEFI ファームウェアの一部です。このプログラムを使用して、Setup ユーティリティーに設定された始動シーケンスをオーバーライドし、始動シーケンスの最初の装置を一時的に割り当てます。 このプログラムの使用法について詳しくは、 116 ページの『Boot Manager の使用』を参照してください。

- **IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD**

  ServerGuide プログラムは、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールを提供します。RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本ハードウェア機能を構成し、オペレーティング・システムのインストールを簡略化するには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。 この CD の使用については、 107 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **統合管理モジュール**

統合管理モジュール II (IMM2) は、構成、ファームウェアおよびセンサー・データ・レコード/現場交換可能ユニット (SDR/FRU) データの更新、およびネットワークのリモート管理のために使用します。 IMM の使用については、 118 ページの『統合管理モジュール II (IMM2) の使用』および「*統合管理モジュール II ユーザーズ・ガイド*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

  VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。 ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。 USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクター 3 および 4 に取り付けることができます。組み込みハイパーバイザーの使用法について詳しくは、 122 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

- **リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能**

  リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール (IMM2) に組み込まれた機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

  – システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
  – リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
  – リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスケット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスケット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
  – ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

  IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。 システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。詳しくは、 119 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

- **イーサネット・コントローラー構成**

  イーサネット・コントローラーの構成については、 123 ページの『Gigabit Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・ソフトウェア**

  このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、 124 ページの『Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアの RAID ソフトウェア**

  このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアの RAID サポートを提供します。RAID 用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、 124 ページの『Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **IBM Advanced Settings ユーティリティー (ASU) プログラム**

  このプログラムは、UEFI 設定および IMM 設定を変更するための Setup ユーティリティーの代替手段として使用します。 ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、Setup ユーティリティーを実行するためにサーバーを再始動する必要なしに、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。このプログラムの使用法について詳しくは、 125 ページの『IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム』を参照してください。

- **RAID アレイの構成**

  RAID アレイの構成については、 124 ページの『RAID アレイの構成』を参照してください。

  次の表は、サーバー構成の種類、および RAID アレイの構成と管理に使用できるアプリケーションをリストしています。

表 9. RAID アレイの構成および管理用のサーバー構成とアプリケーション

サーバー構成	RAID アレイの構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID アレイの管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID-M1115 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティー (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI (コマンド・ライン・インターフェース)、および IBM Director
ServeRAID-M5110 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティー (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director
ServeRAID-M5120 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティー (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director

注:

1. ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII) および SAS2IRCU について詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5088601 にアクセスしてください。
2. MegaRAID について詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5073015 にアクセスしてください。

ServerGuide Setup and Installation CD の使用

以下の情報は、ServerGuide Setup and Installation CD の使用についての概要として使用することができます。

ServerGuide Setup and Installation CD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。 ServerGuide プログラムは、サーバーのモデルとインストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。 ServerGuide は、更新済みデバイス・ドライバーを提供し、場合によっては自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

ServerGuide Setup and Installation CD のイメージを http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-GUIDE から無料でダウンロードすることができます。

ServerGuide Setup and Installation CD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム CD が必要です。

ServerGuide の機能

以下の情報は、ServerGuide 機能の概要について説明しています。

フィーチャーおよび機能は、 ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。 ご使用のバージョンについて詳しく知るためには、*ServerGuide Setup and Installation* CD を開始し、オンラインの概説を表示します。 すべての機能がすべてのサーバー・モデルでサポートされているとは限りません。

ServerGuide プログラムは、以下の特長を備えています。

- 使いやすいインターフェース
- ディスケットを使用しないセットアップ、および検出したハードウェアに基づく構成プログラム
- サーバーのモデルと検出されたハードウェア用のデバイス・ドライバーの提供
- セットアップ中に選択可能なオペレーティング・システムの区画サイズとファイル・システムのタイプ

ServerGuide プログラムは、以下のタスクを実行します。

- システム日付と時刻の設定
- インストール済みのハードウェア・オプションの検出と、ほとんどのアダプターおよびデバイス用の更新済みデバイス・ドライバーの提供
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスク不要のインストールを提供します。
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストール済み環境に対するヒントにリンクしたオンライン README ファイルの包含

セットアップおよび構成の概要

ServerGuide のセットアップと構成には、この情報を使用します。

ServerGuide Setup and Installation CD を使用する場合、セットアップ・ディスケットは必要ありません。 この CD を使用して、サポートされているすべての IBM サーバー・モデルを構成できます。セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを備えたサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して論理ドライブを作成できます。

注: フィーチャーおよび機能は、 ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

標準的なオペレーティング・システムのインストール

このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて詳しく説明します。

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。 このプログラムは、ご使用のハードウェアおよびインストールする予定のオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバーを提供します。 このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注: フィーチャーおよび機能は、 ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

1. セットアップ処理が完了すると、オペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。 (インストールを完了するために、ご使用のオペレーティング・システム CD が必要になります。)
2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサー、ハード・ディスク、コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管します。 次に、プログラムは最新のデバイス・ドライバーがあるか CD を調べます。この情報は保管された後、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの選択および取り付けられたハード・ディスクに基づいて、オペレーティング・システムの区画オプションを提供します。
4. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再始動するように指示してきます。 この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

この情報を使用して、ServerGuide を使用しないでサーバーにオペレーティング・システムをインストールすることができます。

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、http://www.ibm.com/supportportal からこのサーバー用のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Setup ユーティリティーの使用

これらの手順を使用して、Setup ユーティリティーを開始することができます。

以下の作業を実行するには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Setup ユーティリティー・プログラムを使用します。

- 構成情報の表示
- 装置と入出力ポートの割り当ての表示と変更
- 日時の設定
- パスワードの設定と変更
- サーバーの始動特性および始動装置順位の設定
- 拡張ハードウェア機構の設定と変更
- 省電力機能の設定値の表示、設定、および変更
- エラー・ログの表示および消去
- 割り込み要求 (IRQ) 設定値の変更
- 構成競合の解決

Setup ユーティリティーの開始

Setup ユーティリティーを開始するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Setup ユーティリティーを開始するには、以下の手順で行います。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。
2. プロンプト「**<F1> Setup**」が表示されたら、F1 キーを押します。管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティーの限られたメニューしか利用できません。
3. 表示または変更する設定を選択します。

Setup ユーティリティーのメニュー選択項目

サーバーの構成データおよび設定を表示または構成するには、Setup ユーティリティー・メインメニューを使用します。

UEFI の Setup ユーティリティーのメインメニューには、次の選択項目が表示されています。ファームウェアのバージョンによっては、メニュー選択がここでの説明と少し異なる場合があります。

- **System Information**

  サーバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。 Setup ユーティリティーの他の選択項目を使用して変更を行った場合は、その変更の一部は System Information に反映されますが、System Information から直接設定を変更することはできません。 この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

  – **System Summary**

    マイクロプロセッサーの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、インストール済みのメモリー容量などの構成情報を表示するには、この項目を選択します。Setup ユーティリティーの他のオプションを使用して構成変更を行った場合、その変更は System Summary に反映されますが、System Summary から直接設定を変更することはできません。

  – **Product Data**

    システム・ボード ID、ファームウェアの改訂レベルまたは発行日、Integrated Management Module と診断コード、およびバージョンと日付を表示するには、この項目を選択します。

  この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **System Settings**

  サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  – **Adapters and UEFI Drivers**

    サーバーに取り付けられた UEFI 1.10 準拠のアダプターとドライバーおよび UEFI 2.0 準拠のアダプターとドライバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。

  – **Processors**

    プロセッサーの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  – **Memory**

    この選択項目を選択し、メモリー設定を表示あるいは変更します。

  – **Devices and I/O Ports**

    この選択項目を選択し、デバイスと入出力ポートの割り当てを表示あるいは変更します。シリアル・ポートの構成、リモート・コンソール・リダイレクトの構成、内蔵イーサネット・コントローラー、SAS/SATA コントローラー、

SATA 光ディスク・ドライブ・チャネル、PCI スロット、およびビデオ・コントローラーの使用可能化または使用不可化を行うことができます。装置を使用不可に設定した場合、その装置を構成することはできず、オペレーティング・システムはその装置を検出できません (これは、装置を切断するのと同等です)。

– **Power**

  消費量、プロセッサー、およびパフォーマンス状態を制御するためにパワー・キャッピングを表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Operating Modes**

  オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。

– **Legacy Support**

  この選択項目を選択して、レガシー・サポートを表示あるいは設定します。

  - **Force Legacy Video on Boot**

    この選択項目を選択して、INT ビデオ・サポートを強制します (オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合)。

  - **Rehook INT 19h**

    装置に対してブート・プロセスの制御を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。 デフォルトは「**Disable**」です。

  - **Legacy Thunk Support**

    UEFI と UEFI に未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスとのデータのやりとりを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

  - **Infinite Boot Retry**

    UEFI によるレガシー・ブート順序の無限再試行を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

  - **BBS Boot**

    BBS 方法のレガシー・ブートを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

– **System Security**

  Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成するには、この選択項目を選択します。

– **Integrated Management Module**

  統合管理モジュールの設定を表示または変更するには、この項目を選択します。

  - **Power Restore Policy**

    電源の切断後に動作のモードを設定するには、この項目を選択します。

  - **Commands on USB Interface**

この選択項目は、IMM の Ethernet over USB インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

- **Network Configuration**

  この選択項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM MAC アドレス、現行 IMM IP アドレス、およびホスト名の表示。固定 IMM IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。固定 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM2 IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM のリセット。

- **Reset IMM to Defaults**

  IMM デフォルト設定の表示またはリセットを行うには、この項目を選択します。

- **Reset IMM**

  IMM をリセットするには、この項目を選択します。

– **Recovery**

この選択項目を選択し、システム・リカバリー・パラメーターを表示あるいは変更します。

- **POST Attempts**

  POST に対する試行の回数値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  • **POST Attempts Limit**

    Nx 回ブート失敗パラメーターを表示または変更するには、この項目を選択します。

- **System Recovery**

  システム・リカバリー設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  • **POST Watchdog Timer**

    この選択項目を選択し、POST ウォッチドッグ・タイマーを表示あるいは使用可能にします。

  • **POST Watchdog Timer Value**

    この選択項目を選択し、POST ローダーのウォッチドッグ・タイマー値を表示あるいは設定します。

  • **Reboot System on NMI**

    この選択項目を選択し、マスク不可割り込み (NMI) が発生するたびにシステムを再始動させる機能を使用可能または使用不可にします。 **Enable** (使用可能) がデフォルトです。

  • **Halt on Severe Error**

重大エラーが検出されるたびにシステムが OS にブートして POST イベント・ビューアーを表示することを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。**Disable** (使用不可) がデフォルトです。

– **Storage**

この選択項目を選択し、ストレージ・デバイス設定を表示あるいは変更します。

– **Network**

この選択項目を選択し、ネットワーク・デバイス・オプション (iSCSI など) を表示あるいは変更します。

– **Drive Health**

ブレード・サーバーに取り付けられているコントローラーの状況を表示するには、この項目を選択します。

- **Date and Time**

この選択項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (*時*:*分*:*秒*) で設定します。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **Start Options**

始動シーケンス、キーボードの NumLock 状態、PXE ブート・オプション、および PCI デバイスのブート優先順位を含めた始動オプションを表示または変更する場合、この項目を選択します。始動オプションの変更は、サーバーを始動すると有効になります。

始動シーケンスは、サーバーがブート・レコードを検出するために装置をチェックする順序を指定します。 サーバーは、最初に検出したブート・レコードから始動します。サーバーに Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアがあり、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合には、Wake on LAN 機能の始動シーケンスを指定できます。例えば、CD-RW/DVD ドライブ内のディスクを検査し、次にハード・ディスクを検査し、その次にネットワーク・アダプターを検査するというような始動シーケンスを定義できます。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **Boot Manager**

この選択項目を選択し、デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブート方法の選択、またはブート順序のデフォルト設定へのリセットを行います。

- **System Event Logs**

この選択項目は、POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・イベント・マネージャーに入る場合に選択します。 エラー・ログでページ間を移動するには、矢印キーを使用できます。この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

システム・イベント・ログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。

重要: サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログをクリアしてください。また、エラーの修復または修正が完了したら、システム・イベント・ログをクリアしてサーバー前面にあるシステム・エラー LED をオフにしてください。

– **POST Event Viewer**

この選択項目を選択して、POST エラー・メッセージを表示する POST イベント・ビューアーに入ります。

– **System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

– **Clear System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを消去する場合に選択します。

• **User Security**

この選択項目を選択し、パスワードを設定、変更または削除します。詳しくは、115 ページの『パスワード』を参照してください。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全および限定メニューに表示されます。

– **Set Power-on Password**

始動パスワードを設定または変更するには、この項目を選択します。 詳しくは、116 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Clear Power-on Password**

始動パスワードをクリアするには、この項目を選択します。 詳しくは、116 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Set Administrator Password**

管理者パスワードを設定または変更する場合、この選択項目を選択します。管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのもので、これによって Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。 管理者パスワードが設定されている場合、Setup ユーティリティーの完全メニューが使用可能になるのは、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力した場合のみです。 詳しくは、116 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

– **Clear Administrator Password**

管理者パスワードをクリアするには、この項目を選択します。 詳しくは、116 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

- **Save Settings**

  この選択項目を選択し、設定値に加えた変更を保存します。

- **Restore Settings**

  この選択項目を選択し、設定値に加えた変更をキャンセルし、前の設定値に戻します。

- **Load Default Settings**

  変更した設定を取り消して、工場出荷時の設定をリストアするには、この項目を選択します。

- **Exit Setup**

  この選択項目を選択し、Setup ユーティリティーを終了します。設定値に加えた変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

パスワード

「**User Security**」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワードを設定、変更、削除できます。

「**User Security**」メニュー選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみあります。

始動パスワードのみを設定している場合、システム始動を完了するため、および Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするために、始動パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するものであり、Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードのみを設定した場合は、システムの始動時にパスワードを入力する必要はありませんが、Setup ユーティリティーのメニューにアクセスする際に、管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザーの始動パスワードおよびシステム管理者の管理者パスワードを設定した場合、システム始動を完了するには始動パスワードを入力する必要があります。システム管理者は、管理者パスワードを入力すると、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、および削除するためのユーザー権限を与えることができます。始動パスワードを入力したユーザーは、Setup ユーティリティーの限定メニューにのみアクセスできます。ユーザーは、システム管理者から権限が与えられている場合、始動パスワードの設定、変更、および削除を行うことができます。

始動パスワード:

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまではシステムの始動は完了しません。 パスワードには、6 文字から 20 文字までの印刷可能な ASCII 文字を任意に組み合わせて使用できます。

始動パスワードが設定されると、Unattended Start モードを使用可能にすることができます。このモードでは、キーボードとマウスはロックされたままですが、オペレーティング・システムは始動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。Setup ユーティリティーを開始して、始動パスワードをリセットします。

  重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。 システム・ボードを交換する必要があります。
- サーバーからバッテリーを取り外し、30 秒待ってから、再度取り付けます。

管理者パスワード:

管理者パスワードを設定している場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。 パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。 システム・ボードを交換する必要があります。

Boot Manager の使用

Boot Manager にはこの情報を使用します。

このタスクについて

ブート・マネージャー・プログラムは標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティー・プログラムであり、Setup ユーティリティーの設定を変更することなく、一時的に最初の始動装置を再定義するために使用できます。

ブート・マネージャー・プログラムを使用するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーを再始動します。
3. 「<F12> Select Boot Device」というプロンプトが表示されたら、F12 を押します。

4. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメニューから項目を選択し、Enter を押します。

タスクの結果

次にサーバーが始動するときは、Setup ユーティリティーに設定された始動シーケンスに戻ります。

バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始

バックアップ・サーバー・ファームウェアを開始するには、この情報を使用します。

システム・ボードには、サーバー・ファームウェア用のバックアップ・コピー領域があります。これはサーバー・ファームウェアの 2 次コピーであり、サーバー・ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されるものです。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合は、このバックアップ・コピーを使用してください。

バックアップ・コピーからサーバーを強制的に始動するには、サーバーの電源をオフにします。次に、UEFI ブート・バックアップ・スイッチの位置を変更し (SW4 のスイッチ 1 を on の位置に変更)、UEFI リカバリー・モードを有効にします。

サーバー・ファームウェアの 1 次コピーがリストアされるまで、バックアップ・コピーを使用してください。 1 次コピーがリストアされた後、サーバーの電源をオフにします。次に、UEFI ブート・バックアップ・スイッチの位置を元に戻します (SW4 のスイッチ 1 を off の位置に変更します)。

Update*Xpress* System Pack Installer

Update*Xpress* System Pack Installer は、ご使用のサーバーでサポートされ、インストールされているデバイス・ドライバーおよびファームウェアを検出し、使用可能なアップデートをインストールします。

Update*Xpress* システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

統合管理モジュール II (IMM2) の使用

統合管理モジュール II (IMM2) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第 2 世代です。これは、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにチップにまとめています。

IMM2 は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートしています。

- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)。
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)
- 2 個のマイクロプロセッサー構成で 1 個のマイクロプロセッサーが内部エラーをシグナル通知した場合の障害時の自動マイクロプロセッサー使用不可および再始動。 1 個のマイクロプロセッサーが障害を起こした場合、サーバーは障害のあるマイクロプロセッサーを使用不可にし、もう 1 個のマイクロプロセッサーを使用して再始動します。
- POST が完了しなかった場合、またはオペレーティング・システムが停止してオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の、自動サーバー再始動 (ASR)。ASR 機能が使用可能になっている場合、IMM2 はオペレーティング・システムのウォッチドッグ・タイマーを監視し、タイムアウト後にシステムをリブートするように構成されている場合があります。そうでない場合、IMM2 は管理者がオペレーティング・システム・メモリー・ダンプのために Light Path 診断パネルの NMI ボタンを押して、マスク不可能割り込み (NMI) を生成することを許可します。ASR は IPMI でサポートされています。
- 仮想メディア・キー。これにより、リモート・プレゼンス・サポート (リモート・ビデオ、リモート・キーボード/マウス、およびリモート・ストレージ) が可能になります。
- ブート・シーケンス操作。
- コマンド・ライン・インターフェース。
- 構成の保管とリストア。
- DIMM エラー支援。Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) により、POST 中に検出した障害のある DIMM が使用不可にされ、IMM2 により、関連したシステム・エラー LED および障害のある DIMM のエラー LED が点灯します。
- 温度、電圧、ファン障害、パワー・サプライ障害、およびパワー・バックプレーン障害用のファン速度制御を備えた環境モニター。
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) Specification V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート。
- 無効システム構成 (CONFIG) LED サポート。
- ファン、パワー・サプライ、マイクロプロセッサー、ハード・ディスクで発生したエラーとシステム・エラーを報告する Light Path 診断 LED インディケーター。
- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新
- マスク不可能割り込み (NMI) の検出および報告
- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー。

- PCI 構成データ。
- 電源/リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)。
- パワー・サプライ入力電力の照会。
- ROM ベースの IMM2 ファームウェアのフラッシュ更新
- Serial over LAN (SOL)。
- Telnet または SSH を介したシリアル・ポート・リダイレクト。
- SMI 処理
- システム・イベント・ログ (SEL) - ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ

IMM2 は、ipmitool 管理ユーティリティー・プログラムを通じて以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

- **コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)**

  コマンド・ライン・インターフェースでは、IPMI 2.0 プロトコルを使用したサーバー管理機能への直接アクセスが可能です。 コマンド・ライン・インターフェースを使用すると、サーバー電源の制御、システム情報の表示、およびサーバーの識別を行うためにコマンドを実行できます。 また、1 つ以上のコマンドをテキスト・ファイルとして保管し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

- **Serial over LAN**

  リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。 リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再始動、サーバーの識別、およびその他の管理機能の実行を行うことができます。 標準の Telnet クライアント・アプリケーションはどれでも SOL 接続にアクセスできます。

IMM2 についての詳細は、「*統合管理モジュール II ユーザーズ・ガイド*」 (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれた機能です。

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスケット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスケット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。

- ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。 システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャーを使用することができます。

IMM ホスト名の取得

以下の情報を使用して、IMM ホスト名を取得します。

このタスクについて

インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。 DHCP サーバーが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を使用します。デフォルトの IPv4 ホスト名は 『IMM-』 (IMM MAC アドレスの最後の 12 文字を追加) です。デフォルトのホスト名は、サーバーの背面にあるパワー・サプライについている IMM ネットワーク・アクセス・タグにも示されています。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) は、IMM のデフォルトのホスト名から導き出されます。IMM LLA は、サーバーの背面にあるパワー・サプライの IMM ネットワーク・アクセス・タグにあります。リンク・ローカル・アドレスを導き出すには、以下の手順を実行します。

手順

1. IMM MAC アドレスの最後の 12 文字をとります (例えば、5CF3FC5EAAD0)。
2. この番号を 16 進文字のペアに分けます (例えば、5C:F3:FC:5E:AA:D0)。
3. 16 進文字を最初の 6 文字と最後の 6 文字に分けます。
4. 12 文字の中央に 『FF』 と 『FE』 を追加します (例えば、5C F3 FC FF FE 5E AA D0)。
5. 最初の 16 進文字のペアを2 進数に変換します (例えば 5=0101、C=1100 で、結果は 01011100 F3 FC FF FE 5E AA D0)。
6. 左から 7 番目の2 進文字数を (0 なら 1 に、1 なら 0 に）反転させます。結果は 01011110 F3 FF FE 5E AA D0 となります。
7. 2 進数を 16 進数 に戻します (例えば、5E F3FCFFFE5EAAD0)。

IMM 用の IP アドレスの取得

IMM 用の IP アドレスを取得するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM の IP アドレスまたはホスト名が必要です。 IMM の IP アドレスは、Setup ユーティリティーを使用して取得できます。また、IMM のホスト名は、IMM ネットワーク・アクセス・タグから取得できます。サーバーには、IMM 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。

IP アドレスを入手するには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。(このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。 素早く F1 を押してください。) 始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定している場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。
3. Setup ユーティリティーのメインメニューから「**System Settings**」を選択します。
4. 次の画面で「**Integrated Management Module**」を選択します。
5. 次の画面で「**Network Configuration**」を選択します。
6. IP アドレスを見つけ、書き留めます。
7. Setup ユーティリティーを終了します。

Web インターフェースへのログオン

以下の情報を使用して、Web インターフェースにログオンします。

このタスクについて

IMM Web インターフェースにログオンするには、次の手順を実行してください。

手順

1. サーバーに接続されているシステムで、Web ブラウザーを開きます。「**アドレス**」または「**URL**」フィールドに、接続する IMM の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

   注: インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。 DHCP ホストが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を割り当てます。 IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。IMM を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。 ログインの試行はシステム・イベント・ログにすべて記録されます。

   注: IMM は、最初はユーザー名 USERID とパスワード PASSW0RD (英字の O でなくゼロ) を使用して設定されます。読み取り/書き込み権限が付与されています。 このデフォルトのパスワードは、初回ログオン時に変更する必要があります。

3. 「**Log in**」をクリックしてセッションを開始します。「System Status and Health」ページにシステム状況のクイック・ビューが表示されます。

タスクの結果

注: IMM GUI を使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「**System Status**」 > 「**System State**」でメッセージ 『Booting OS or in unsupported OS』 が表示される場合は、Windows 2008 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与える場合があります。

```
netsh firewall set icmpsetting type=8 mode=ENABLE
```

デフォルトで、icmp パケットは Windows ファイアウォールによってブロックされます。Web インターフェースと CLI インターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM GUI は「OS booted」状況に変わります。

組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの組み込みハイパーバイザー付き IBM USB フラッシュ・デバイスで使用可能です。

このタスクについて

USB フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクターに取り付けることができます (これらのコネクターの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照してください)。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。 ハイパーバイザー機能をアクティブにするには、USB フラッシュ装置が必要です。

組み込みハイパーバイザー機能の使用を開始するには、Setup ユーティリティーの始動シーケンスに USB フラッシュ・デバイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを始動シーケンスに追加するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。

3. Setup ユーティリティーのメインメニューから「**Boot Manager**」を選択します。
4. 「**Add Boot Option**」を選択し、次に「**Generic Boot Option**」 > 「**Embedded Hypervisor**」を選択します。Enter キーを押してから、Esc を選択します。
5. 「**Change Boot Order**」 > 「**Change the order**」を選択します。 上矢印キーと下矢印キーを使用して「**Embedded Hypervisor**」を選択し、プラス(+) キーとマイナス (-) キーを使用して、ブート順序内で「Embedded Hypervisor」を移動します。「**Embedded Hypervisor**」がブート順序内の正しい位置になったら、Enter キーを押します。「**Commit Changes**」を選択して Enter キーを押します。
6. 「**Save Settings**」を選択し、次に「**Exit Setup**」を選択します。

タスクの結果

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、http://www-03.ibm.com/systems/x/os/vmware/esxi/からイメージをダウンロードすることができます。

追加情報と手順については、「VMware vSphere 4.1 Documentation」(http://www.vmware.com/support/pubs/vs_pages/vsp_pubs_esxi41_e_vc41.html) または「*VMware vSphere Installation and Setup Guide*」(http://pubs.vmware.com/vsphere-50/topic/com.vmware.ICbase/PDF/vsphere-esxi-vcenter-server-50-installation-setup-guide.pdf) を参照してください。

Gigabit Ethernet コントローラーの構成

イーサネット・コントローラーを構成するには、この情報を使用します。

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。このコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps ネットワークへの接続インターフェースと、ネットワーク上でデータの送受信を同時に行うことができる全二重 (FDX) 機能を提供します。サーバーのイーサネット・ポートがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

デフォルトでは、サーバーではイーサネット 1 およびイーサネット 2 が使用可能になっています。イーサネット 3 およびイーサネット 4 は、Features on Demand (FoD) により使用可能にすることができます。 この機能をアクティブにするには、サーバーの再始動が必要になることがあるのに注意してください。 一方、専用モード (イーサネット 2) から共有モード (イーサネット 1) に切り替え、イーサネット 3 およびイーサネット 4 を Features on Demand (FoD) 経由でアクティブにする、あるいは逆の順序で行う時には、サーバーへの電源ケーブルまたはケーブル類を最初に抜いてその後で差し込み戻す (power cycle) ことを忘れないでください。IBM ToolsCenter または IBM Director を使用したアクティベーション・キーのアクティブ化とインストールの自動化の手順など、Features on Demand (FoD) について詳しくは、「IBM System x Features on Demand User's Guide」(/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ の『Help』セクションの下) を参照してください。

ジャンパーを設定したり、コントローラーを構成する必要はありません。ただし、デバイス・ドライバーをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。 デバイス・ドライバーとイ

ーサネット・コントローラーの構成に関する情報について、また、コントローラーの構成に関する更新情報を参照するには、http://www.ibm.com/supportportal/を参照してください。

Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化

Features on Demand Ethernet ソフトウェアを使用可能にするには、この情報を使用します。

統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれている、Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。Features on Demand Ethernet ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」を参照してください。資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックします。

Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化

Features on Demand RAID ソフトウェアを使用可能にするには、この情報を使用します。

統合管理モジュールに組み込まれている RAID 用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。Features on Demand RAID ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」を参照してください。資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックします。

RAID アレイの構成

Setup ユーティリティーを使用して RAID アレイを構成します。

このタスクについて

アレイを構成する特定の手順は、ご使用の RAID コントローラーによって異なります。 詳しくは、ご使用の RAID コントローラー用の説明書を参照してください。RAID コントローラーのユーティリティーにアクセスするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。
2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。 管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティーの限られたメニューしか利用できません。
3. 「**System Settings**」 > 「**Storage**」を選択します。
4. Enter キーを押して、デバイス・ドライバーのリストを最新表示します。

5. ご使用の RAID コントローラーに適したデバイス・ドライバーを選択し、Enter キーを押します。
6. ご使用の RAID コントローラーの説明書にある指示に従います。

IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム

IBM Advanced Settings ユーティリティー (ASU) プログラムは、UEFI 設定の変更を行うための、Setup ユーティリティーの代替となるプログラムです。

ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができるので、Setup ユーティリティーにアクセスするためにシステムを再始動する必要がありません。

また、ASU プログラムを使用して、オプションのリモート・プレゼンス機能またはその他の IMM2 設定を構成できます。 リモート・プレゼンス機能は、システム管理の拡張機能を備えています。

また、ASU プログラムを使用すると、コマンド・ライン・インターフェースから IMM LAN over USB インターフェースを構成することもできます。

セットアップ・コマンドを実行するには、コマンド・ライン・インターフェースを使用します。 すべての設定をファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行できます。 ASU プログラムは、バッチ処理モードを使用したスクリプト環境をサポートします。

ASU プログラムの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-ASU にアクセスしてください。

IBM Systems Director の更新

以下の情報を使用して、IBM Systems Director を更新します。

このタスクについて

サーバーの管理に IBM Systems Director を使用する予定がある場合は、IBM Systems Director に適用可能な最新の更新と暫定修正があるかどうかを確認する必要があります。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

最新バージョンのインストール
このタスクについて

最新バージョンの IBM Systems Director を見つけてインストールするには、次のステップを実行してください。

手順

1. IBM Systems Director の最新バージョンを確認します。
   a. に進みます。
   b. サーバーに付属しているものよりも新しいバージョンの IBM Systems Director がドロップダウン・リストに表示されている場合は、Web ページの指示に従って最新バージョンをダウンロードしてください。
2. IBM Systems Director プログラムをインストールします。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール
このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「**更新の表示**」をクリックします。
3. 「**Check for updates**」をクリックします。表に使用可能な更新が表示されます。
4. インストールする更新を選択して、「Install」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール
このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. インターネットに接続されているシステムで、http://www.ibm.com/support/fixcentral にアクセスします。
3. 「**Product family**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
4. 「**Product**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
5. 「**Installed version**」リストから最新バージョンを選択して、「**Continue**」をクリックします。
6. 使用可能な更新をダウンロードします。

7. ダウンロードしたファイルを管理サーバーにコピーします。
8. 管理サーバーの IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「**管理**」タブをクリックし、「**更新マネージャー**」をクリックします。
9. 「**Import updates**」をクリックして、管理サーバーにコピーしたダウンロード済みファイルの場所を指定します。
10. Web インターフェースのウェルカム・ページに戻り、「**View updates**」をクリックします。
11. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

汎用固有 ID (UUID) の更新

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。 Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースのサーバーの UUID を更新します。

このタスクについて

ASU は、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。 ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。 ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。 ASU をダウンロードし、UUID を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティー (ASU) をダウンロードします。
   a. http://www.ibm.com/supportportal にアクセスします。
   b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
   c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
   d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
   e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で UUID を設定します。 次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、UUID を設定します。
   - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
   - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
   - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。 ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。 アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。

- Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
  - *ibm_rndis_server_os.inf*
  - *device.cat*
- Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
  - *cdc_interface.sh*

4. ASU をインストールした後、次のコマンド構文を使用して UUID を設定します。`asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]`

   ここで、

   <uuid_value>
   ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

   [access_method]
   以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

   - オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

     `[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]`

     ここで、

     imm_internal_ip
     IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。 デフォルト値は 169.254.95.118 です。

     imm_user_id
     IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

     imm_password
     IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

     注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM にアクセスできない場合、ASU は自動的に非認証 KCS アクセス方式を使用します。

     以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

     ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:
     `asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoUUID <uuid_value> --user <user_id> --password <password>`
     ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:
     `asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>`
   - オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

     このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

KCS アクセス方式は、IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。 ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。詳細については、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」を参照してください。「ASU Users Guide」には IBM Web サイトからアクセスできます。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

a. http://www.ibm.com/supportportal にアクセスします。
b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_external_ip
外部 IMM LAN IP アドレス。 デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id
IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password
IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
--user <user_id> --password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

  ToolsCenter Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

DMI/SMBIOS データの更新

DMI/SMBIOS データを更新するには、以下の情報を使用します。

このタスクについて

システム・ボードを交換した場合、Desktop Management Interface (DMI) を更新する必要があります。 Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースのサーバーの DMI を更新します。ASU は複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしたことを確認してください。IBM Web サイトから ASU をダウンロードすることができます。ASU をダウンロードし、DMI を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティー (ASU) をダウンロードします。
   a. http://www.ibm.com/supportportal にアクセスします。
   b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
   c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
   d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
   e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で DMI を設定します。 次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、DMI を設定します。
   - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
   - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
   - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。 ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。 アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
   - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
     – *ibm_rndis_server_os.inf*
     – *device.cat*

- Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
  - *cdc_interface.sh*

4. ASU をインストールした後、以下のコマンドを入力して DMI を設定します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]
```

ここで、

<m/t_model>
サーバーのマシン・タイプおよび型式番号。`mtm xxxxyyy` と入力してください。ここで、*xxxx* はマシン・タイプ、*yyy* はサーバーの型式番号です。

<s/n> サーバーのシリアル番号。`sn zzzzzzz` と入力します。ここで、*zzzzzzz* はシリアル番号です。

<asset_method>
サーバーの資産タグ番号。`asset aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa` と入力します。ここで、*aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa* は資産タグ番号です。

[access_method]
以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

```
[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_internal_ip
IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。 デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id
IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password
IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM にアクセスできない場合、ASU は自動的に非認証 KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --user <imm_user_id>
--password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

  このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

  KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。 ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードするには、以下の手順を実行します。

  注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

  a. http://www.ibm.com/supportportal にアクセスします。
  b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
  c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
  d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
  e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。

- 以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

  ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

  ```
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
  ```

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

  注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

  ```
  host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
  ```

  ここで、

imm_external_ip
外部 IMM LAN IP アドレス。 デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id
IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password
IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

  ToolsCenter Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

第 4 章 トラブルシューティング

この章では、サーバーで発生した問題を解決するために役立つ診断ツールとトラブルシューティング情報について説明します。

この章の情報を使用しても問題の診断や訂正ができない場合は、709 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照して詳しい情報を入手してください。

ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードの説明が記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

IBM または認定保証サービス提供者に連絡する前に、以下の手順を、ここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

手順

1. **問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。** 問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。これを行う対象には、以下の項目があります。
   - ハードウェア・コンポーネント
   - デバイス・ドライバーおよびファームウェア
   - システム・ソフトウェア
   - UEFI ファームウェア
   - システム入力電力またはネットワーク接続
2. **Light Path 診断 LED およびイベント・ログを確認します。** このサーバーは、ハードウェアおよびソフトウェアの問題診断が容易に行えるように設計されています。
   - **Light Path 診断 LED** Light Path 診断 LED の使用については、143 ページの『Light Path 診断』を参照してください。
   - **イベント・ログ:** 通知イベントおよび診断については、151 ページの『イベント・ログ』を参照してください。
   - **ソフトウェアまたはオペレーティング・システムのエラー・コード:** 特定のエラー・コードに関する情報は、ソフトウェアまたはオペレーティング・システムの資料を参照してください。 資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。

© Copyright IBM Corp. 2014

3. **IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、システム・データを収集します。** ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには、Dynamic System Analysis (DSA) を実行します。 IBM または認定保証サービス提供者に連絡する際に、この情報を提供してください。 DSA の実行方法については、「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を参照してください。

   最新バージョンの DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

4. **コードの更新を確認して、適用します。** 多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバーで使用可能である場合があります。 ・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral にアクセスしてください。

   重要: 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー更新をインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

   重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

   a. **UpdateXpress システム更新をインストールします。** UpdateXpress System Pack または UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。 UpdateXpress System Pack には、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびプリブート診断の実行に適切なブート可能メディアを作成することができます。UpdateXpress System Pack について詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-XPRESS および 103 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。Bootable Media Creator について詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-BOMCを参照してください。

      リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress System Pack または UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがある場合は、必ず個別にインストールしてください (ステップ 4b を参照)。

   b. **手動のシステム更新をインストールします。**

      1) **既存のコード・レベルを判別します。**

DSA で、「**Firmware/VPD**」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「**Software**」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

2) **最新レベルではないコードの更新をダウンロードして、インストールします。**

・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral にアクセスしてください。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。 このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

5. **構成の誤りを確認して、訂正します。** サーバーが誤って構成されている場合、それを使用可能にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバーの構成を誤って変更した場合、使用可能であったシステム機能が作動を停止することがあります。

   a. **インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを確認します。** http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us を参照して、サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプション装置、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認してください。 サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、それをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別します。 IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。

   b. **サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。** 多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。 チェックアウト手順の実行については、139 ページの『チェックアウト手順について』を参照してください。サーバーの構成については、103 ページの『第 3 章 構成情報と説明』を参照してください。

6. **コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。** 問題が特定の機能に関連している場合 (例えば、RAID ハード・ディスクが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合) には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

   RAID アダプターおよびネットワーク・アダプターなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

   オペレーティング・システムまたは IBM ソフトウェアやデバイスに関する問題については、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。

7. **トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを確認します。** トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントには、既知の問題および推奨さ

れる解決策が文書化されています。 トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。

8. **トラブルシューティング表を使用します。** 識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、 159 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

   単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。 最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。 その手順で問題を診断できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

   問題が解決しない場合は、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を求めてください。オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

文書化されていない問題

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに IBM によって確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの Light Path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_requestにアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

Service Bulletin

IBM では、IBM System x3100 M5 サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法によって、サポートの Web サイトを常時更新しています。

IBM IBM System x3100 M5 サーバーに使用可能な Service Bulletin を検索するには、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスして、5457 と retain を検索してください。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、サーバーの問題を診断するために行う必要がある一連の作業です。

チェックアウト手順について

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- vii ページの『安全について』ページから始まる『安全について』をお読みください。
- IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (システム・ボード、イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハード・ディスクなど) の基本テスト方式を提供します。 これらのプログラムを使用して、一部の外部装置をテストすることもできます。 問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、診断プログラムを使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

  例外: 複数のエラー・コードあるいは複数の Light Path 診断 LED が 1 つのマイクロプロセッサー・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサー内またはマイクロプロセッサー・ソケット内にある可能性があります。 マイクロプロセッサー問題の診断については、 168 ページの『マイクロプロセッサー問題』を参照してください。
- DSA を実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハード・ディスク・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判別する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハード・ディスク) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合は、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
  - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
  - 1 つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認装置にも接続されている場合。
  - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

  重要: サーバーが共用ハード・ディスク・クラスターの一部である場合は、一度に 1 つだけテストを実行してください。「クイック」テストや「通常」テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハード・ディスク診断テストが使用可能にされることがあります。

- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は 551 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。サーバーが停止されるが、エラー・メッセージが表示されない場合は、 159 ページの『現象別トラブルシューティング』および 178 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- パワー・サプライの問題については、 176 ページの『電源の問題の解決』、 172 ページの『電源問題』、および 147 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、 151 ページの『イベント・ログ』および 567 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順の実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

チェックアウト手順を実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーはクラスターの一部ですか。
   - **いいえ:** ステップ 2 に進みます。
   - **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。 ステップ 2 に進みます。
2. 次のステップを実行してください。
   a. パワー・サプライ LED を検査します (147 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
   b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
   c. すべての内部デバイスおよび外部デバイスの互換性について、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usで確認します。
   d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
   e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
   f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
   g. サーバーの電源を入れます。サーバーが始動しない場合は、 159 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
   h. 前面情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED をチェックします (143 ページの『Light Path 診断』を参照)。
   i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
      - POST の正常終了 (詳しくは、 155 ページの『POST』を参照)。
      - オペレーティング・システム・デスクトップ上の読み取り可能な画面によって示される、始動の正常終了。
3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。

- **いいえ:** 159 ページの『現象別トラブルシューティング』での障害の徴候を見つけ出します。必要があれば、 178 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- **はい:** DSA を実行します (157 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。
  - DSA がエラーを報告する場合は、 567 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』 の指示に従ってください。
  - DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、 178 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

診断ツール

次のツールは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立ちます。

- **イベント・ログ**

  イベント・ログには、サブシステム IMM2、POST、DSA、およびサーバー・ベースボード管理コントローラーのエラーの検出時に生成されるエラー・コードとメッセージがリストされます。 詳しくは、 151 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

- **トラブルシューティング表**

  これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。

- **統合管理モジュール II**

  統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。 IMM は、高度なサービス・プロセッサーの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。 環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。 オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。 IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

  – Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) バージョン 2.0
  – Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3
  – 共通情報モデル (CIM)
  – Web ブラウザー

  統合管理モジュール II (IMM2) の詳細については、 118 ページの『統合管理モジュール II (IMM2) の使用』、 369 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』、および http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346 にある「*統合管理モジュール II ユーザーズ・ガイド*」を参照してください。

- **IBM Dynamic System Analysis**

問題を診断するために、DSA Portable および DSA Preboot の 2 つのエディションの IBM Dynamic System Analysis (DSA) が使用可能です。

– DSA Portable

  DSA Portable は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。DSA Portable は、サーバーのオペレーティング・システム上で稼働し、サーバーに関する以下の情報を収集します。

  - ドライブのヘルス情報
  - ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
  - 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
  - インストールされているアプリケーションおよびホット・フィックス
  - カーネル・モジュール
  - Light Path 診断の状況
  - マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
  - ネットワーク・インターフェースおよび設定
  - RAID コントローラー構成
  - サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
  - システム構成
  - 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

  DSA Portable は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール (IMM) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして IBM サポートに送信する (IBM サポートに必要な場合) か、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

  注: 最新の構成データを使用していることを確認するために、使用可能な最新バージョンの DSA を使用してください。 DSA の資料およびダウンロード情報については、http://www.ibm.com/systems/managementを参照してください。

  追加情報については、 155 ページの『IBM Dynamic System Analysis』および 567 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

– DSA Preboot

  DSA Preboot 診断プログラムは、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されます。 DSA Preboot は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA Preboot は、サーバーに関する以下の情報を収集します。

  - ドライブのヘルス情報
  - ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
  - 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
  - Light Path 診断の状況
  - マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ

- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付け済みの場合) の診断も提供します。

1. Emulex ネットワーク・アダプター
2. IMM I2C バス
3. Light Path 診断パネル
4. メモリー・モジュール
5. マイクロプロセッサー
6. 光ディスク装置 (CD または DVD)
7. SAS または SATA ドライブ

DSA Preboot プログラムをサーバーで実行する場合の詳細については、 157 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。

- **現象別トラブルシューティング**

  これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。 詳しくは、 159 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

Light Path 診断

Light Path 診断は、障害のあるコンポーネントを特定できるようにする LED のシステムです。エラーが発生すると、LED が Light Path 診断パネルのパスに沿って点灯し、次に障害が起こったコンポーネント上で点灯します。多くの場合、LED を所定の順序で見ていくことによりエラーの原因を突き止めることができます。

エラーを示す LED は、サーバーの電源をオフにしても、サーバーがまだ電源に接続されており、パワー・サプライが正常に作動していれば、点灯したままになっています。

サーバーの内部の Light Path 診断 LED を確認する前に、『安全について』(vii ページの『安全について』) および 40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

エラーが発生したら、サーバー前面の Light Path 診断に上の LED を確認してください。

- チェック・ログ LED が点灯している場合、エラー (複数の場合もあり) が発生していることを示します。 Light Path 診断 LED を直接監視しても、エラーの発生元を切り分けたり特定することはできません。 IMM イベント・ログやシステム・エラー・ログで詳細な調査を行う必要がある場合があります。

次の図は、サーバーの前面にある Light Path 診断を示しています。

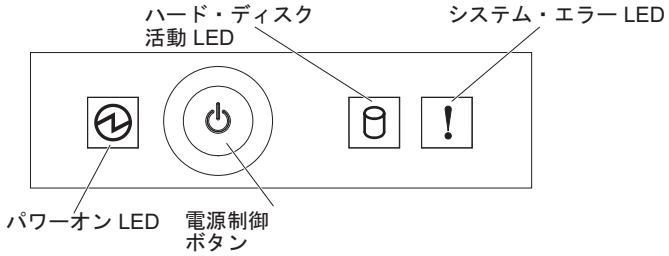


図 68. Light Path 診断

- **電源制御ボタンとパワーオン LED:**

  サーバーの電源を手動でオン / オフするには、このボタンを押します。 パワーオン LED の状態は次のとおりです。

  – **オフ:** AC 電源が存在しないか、あるいは、パワー・サプライまたは LED 自体に障害が起こっています。

  – **高速で点滅 (毎秒 4 回):** サーバーの電源が部分的にオンになっているが、完全にオンになる準備ができていません。 電源制御ボタンが使用不可になっています。この状態は約 1 分から 3 分継続します。

  – **ゆっくり点滅 (毎秒 1 回):** サーバーの電源がオンになる準備ができています。電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。

  – **点灯:** サーバーの電源はオンになっています。

- **ハード・ディスク活動 LED:**

  この LED が点滅しているときは、そのハード・ディスクが使用中であることを示します。

- **システム・エラー LED:**

  この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。システム・ボード上の LED の点灯は、エラーの切り分けにも役立つ場合があります。詳しくは、 141 ページの『診断ツール』を参照してください。

エラー LED

このセクションでは、システム・ボード上のエラー LED と、検出された問題を訂正するための推奨処置について説明します。

図はシステム・ボード LED を示しています。システム・ボードには、エラー LED があり、これらの LED がエラーの発生源を特定するのに役立ちます。診断プログラムを実行して、エラーの原因を検出します (155 ページの『IBM Dynamic System Analysis』 を参照) 。

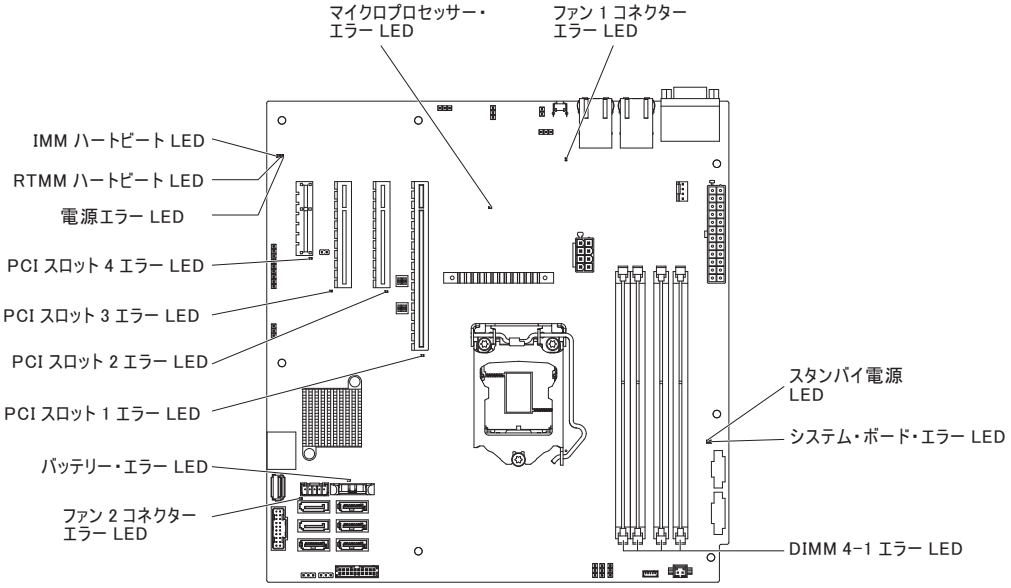


図 69. システム・ボード上の LED の位置

サーバーが AC 給電部に接続されていて、パワー・サプライが正常に作動していれば、サーバーの電源がオンになっていなくても LED が点灯しているように設計されています。オペレーティング・システムがシャットダウンしたときに問題を切り分けるには、この機構が役に立ちます。

注: 給電部からサーバーを切り離すと、LED が点灯しないために LED の表示ができなくなります。給電部を切り離す前にどの LED が点灯しているかをメモしておきます。これには、オペレーション情報パネル上で点灯している LED、およびサーバー内部のシステム・ボードにある LED も含まれます。

ほとんどのエラーは、最初にサーバーのコントロール・パネル・アセンブリーのシステム・エラー LED の点灯によって示されます。この LED が点灯した場合は、サーバー内の別の場所にある 1 つ以上の LED も点灯していることがあり、そこからエラーの原因を突き止めることができます。

LED を確認するためにサーバーの内部で作業するときは、事前に vii ページの『安全について』と 40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

エラーが発生した場合は、次の順序でサーバーの LED を見てください。

1. サーバー前面のコントロール・パネル・アセンブリーをチェックします。システム・エラー LED が点灯しているときは、エラーが発生したことを示します。
2. サーバーの前面および背面をチェックし、コンポーネント LED が点灯しているものがないかを判別します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外し、サーバーの内部を見て、点灯している LED がないかどうかを確認します。サーバー内のいくつかのコンポーネントには LED が付いていて、問題の場所を示すために点灯します。例えば、DIMM エラーでは、システム・ボード上の障害の起きている DIMM のすぐ隣にある LED が点灯します。

4. サーバーのトップ・カバーの内側にあるシステム・サービス・ラベルを見てください。そこには内部コンポーネントの概要が掲載されています。この情報だけでエラーを修復するのに十分な場合がよくあります。

次の表では、システム・ボード上の LED と、検出された問題を訂正するための推奨処置について説明します。

表 10. LED ライトごとに検出された問題を修正するための推奨アクション

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**		
LED	**説明**	**処置**
DIMM エラー LED	メモリー DIMM に障害があるか、誤って取り付けられています。	1. エラー LED が点灯している DIMM を取り外します。 2. DIMM を取り付け直します。 3. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. DIMM b. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード
マイクロプロセッサー・エラー LED	マイクロプロセッサーは、障害が発生しているか、欠落しているか、誤って取り付けられています。 **注:** (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサーが正しい順序で取り付けられていることを確認します (346 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。	1. システム・イベント・ログをチェックして、LED が点灯した理由を判別します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーを取り付け直します。 3. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサー b. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード
システム・ボード・エラー LED	システム・ボード CPU VRD または電源電圧調節装置 (あるいはその両方) に障害があります。	(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 10. LED ライトごとに検出された問題を修正するための推奨アクション (続き)

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**		
LED	**説明**	**処置**
IMM2 ハートビート LED	IMM2 のブート・プロセスの状況を示します。 サーバーが電源に接続されている場合、この LED は短い間隔で点滅して、IMM2 コードがロード中であることを示します。ロードが完了すると、LED は一時的に点滅を停止してから、長い間隔で点滅して、IMM2 が完全に作動可能であることを示します。こうなると、電源制御ボタンを押してサーバーを始動できます。	サーバーを電源に接続してから 30 秒以内に LED が点滅を開始しない場合は、以下のステップを実行してください。 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) ファームウェアを回復します (181 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照)。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
RTMM ハートビート LED	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。	1. この LED が 1 Hz で点滅する場合は、正常に機能しておりアクションは必要ありません。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) LED が点滅していない場合は、システム・ボードを交換します。

パワー・サプライ LED

このセクションでは、サーバーの背面にあるパワー・サプライ LED、および検出された問題を修正するための推奨アクションについて説明します。

サーバーを始動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- 1 個のマイクロプロセッサー
- 1 個の 1 GB DIMM
- パワー・サプライ
- 電源コード
- ServeRAID SAS/SATA アダプター
- 1 個の冷却ファン

以下の図は、4U サーバー・モデルおよび 5U サーバー・モデルの背面にある LED とコネクターをそれぞれ示しています。

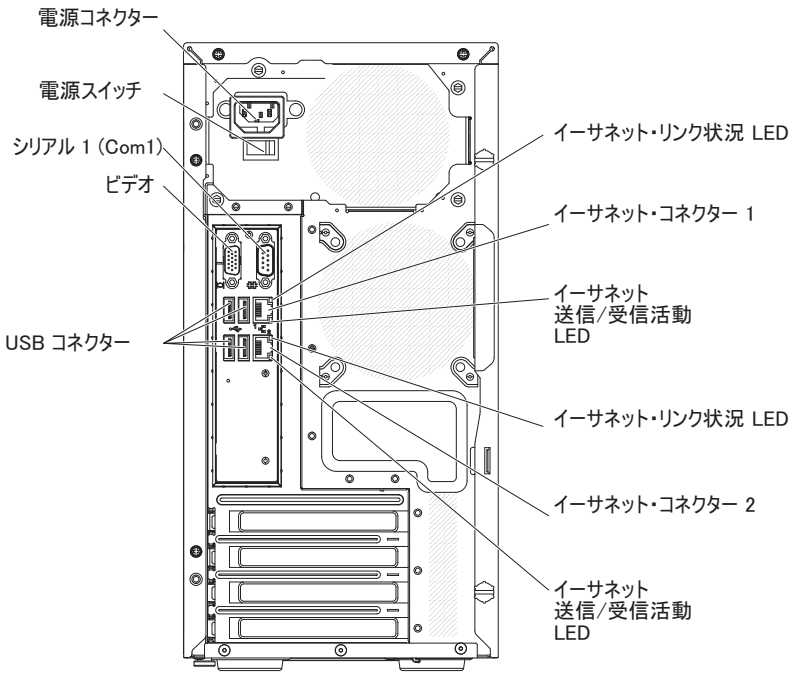


図 70. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの背面にある LED とコネクター (パワー・サプライ LED なし)

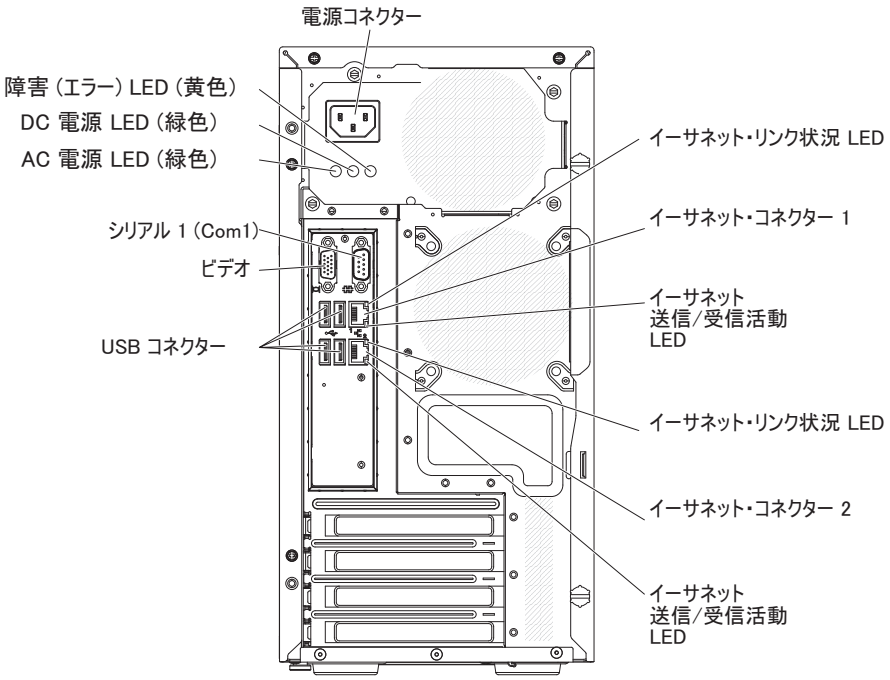


図 71. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの背面にある LED とコネクター (パワー・サプライ LED あり)

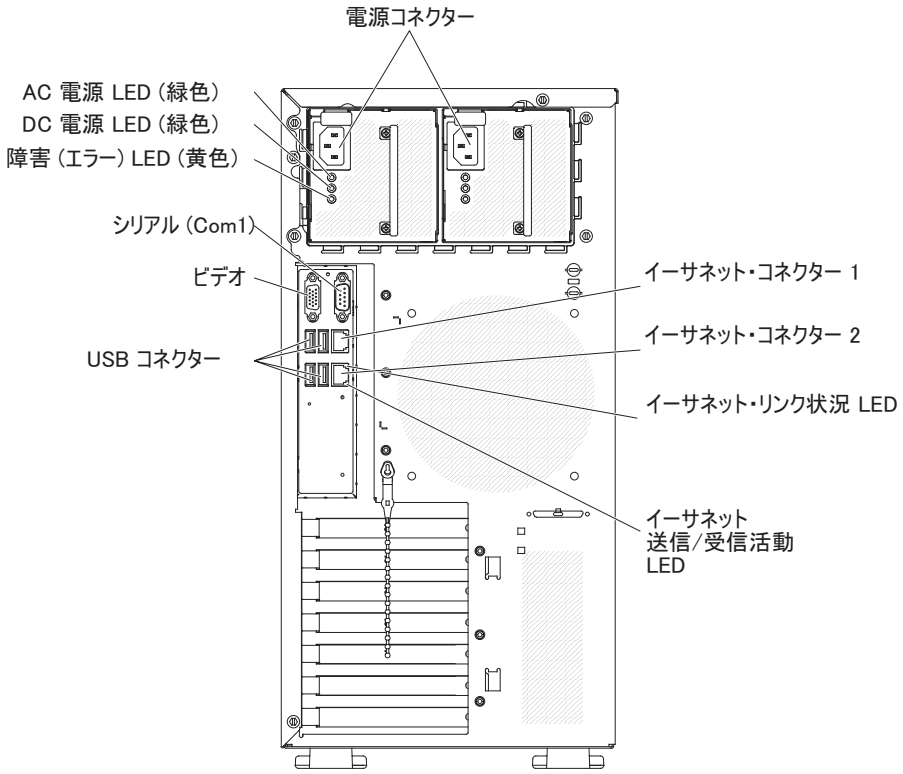


図 72. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの背面にある LED とコネクター

次の表は、パワー・サプライ LED のさまざまな組み合わせによって示される問題と、検出された問題を修正するための推奨アクションを説明します。

表 11. パワー・サプライ LED

AC パワー・サプライ LED					
AC	**DC**	**エラー**	**説明**	**処置**	**注**
オン	オン	オフ	正常に作動		
オフ	オフ	オフ	サーバーに AC 電源が接続されていない、または AC 給電部に問題がある。	1. サーバーへの AC 電源をチェックします。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 3. サーバーを再始動します。エラーが修正されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 4. 問題が解決しない場合は、パワー・サプライを交換します。	AC 電源を接続していないときは、これが正常な状態です。

表 11. パワー・サプライ LED (続き)

AC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	エラー			
オン	オフ	オフ	障害のあるシステム・ボードまたは障害のあるパワー・サプライ	1. サーバーの電源をオフにし、サーバーの電源コードを切り離し、電源コードを再接続します。 2. システム・ボード・エラー (障害) LED が点灯していない場合は、パワー・サプライを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード・エラー LED が点灯している場合は、システム・ボードを交換します。	パワー・サプライが完全に差し込まれていないことを示す典型的な例です。これはシステムの電源をオンにする前の正常な状態です。
オン	オフまたは点滅	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オン	オフ	正常に作動		
オン	オン	オン	パワー・サプライに障害があるが、まだ作動可能	パワー・サプライを交換してください。	

システム・パルス LED

このセクションでは、システムのパワーオンとパワーオフおよびブート進行をモニターする、システム・ボード上のシステム・パルス LED について説明します。

以下の LED はシステム・ボードにあり、システムのパワーオンとパワーオフの順序付けおよびブート進行をモニターします (これらの LED の場所については、 36 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください)。

表 12. システム・パルス LED

LED	説明	処置
RTMM ハートビート	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。	1. LED が 1Hz で点滅する場合は正しく機能しているため、処置は不要です。 2. LED が点滅していない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 12. システム・パルス LED (続き)

LED	説明	処置
IMM2 ハートビート	IMM2 ハートビート・ブート・プロセス。	IMM2 ハートビート順序付けプロセスのさまざまなステージを以下のステップで説明します。 1. この LED が高速 (約 4Hz) で点滅している場合、IMM2 コードがロード・プロセス中であることを示します。 2. この LED が一時的にオフになると、IMM2 コードのロードが完了したことを示します。 3. この LED が一時的にオフになってから低速で点滅し始める場合 (約 1Hz)、IMM2 が完全に作動可能であることを示します。この時点で、電源制御ボタンを押してサーバーの電源をオンにすることができます。 4. 給電部をサーバーに接続してから 30 秒以内にこの LED が点滅しない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

イベント・ログ

POST イベント・ログ、システム・イベント・ログ、統合管理モジュール (IMM2) イベント・ログ、および DSA イベント・ログには、エラー・コードとメッセージが表示されます。

- **POST イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードとメッセージが入っています。 POST イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーから表示できます (109 ページの『Setup ユーティリティーの開始』を参照)。POST エラー・コードについて詳しくは、 551 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。
- **システム・イベント・ログ:** このログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。 システム・イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーおよび Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (IPMI イベント・ログとして) 表示することができます。

  システム・イベント・ログにはサイズの制限があります。 ログがフルになっても、新しい項目が既存の項目を上書きしません。したがって、Setup ユーティリティーを使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する必要があります。 エラーのトラブルシューティング中に最新のイベントを分析できるようにするには、システム・イベント・ログを保管してからクリアする必要がある場合があります。 システム・イベント・ログについて詳しくは、 369 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』を参照してください。

  メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細は画面の右側に表示されます。1 つの項目から次の項目に移動するには、上矢印キー (↑) および下矢印キー (↓) を使用します。

一部の IMM センサーは、それぞれの設定値に達するとログされる表明イベントを発生させる場合があります。 設定値の状態が存続しない場合は、対応する表明解除イベントがログされます。ただし、すべてのイベントが表明型のイベントであるわけではありません。

- **統合管理モジュール II (IMM2) イベント・ログ:** このログにはすべての IMM、POST およびシステム管理割り込み (SMI) イベントのフィルタリングされたサブセットが入っています。IMM Web インターフェースから IMM イベント・ログを表示することができます。 詳しくは、 121 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。IMM イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することもできます。 IMM エラー・メッセージについて詳しくは、 369 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』を参照してください。
- **DSA イベント・ログ:** このログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムによって生成されるもので、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。DSA イベント・ログは DSA プログラムから表示できます (153 ページの『サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する』を参照)。DSA および DSA メッセージについて詳しくは、 155 ページの『IBM Dynamic System Analysis』および 567 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

セットアップ・ユーティリティーを使用してイベント・ログを表示する

Setup ユーティリティーからイベント・ログを表示するには、この情報を使用します。

このタスクについて

POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「**<F1> Setup**」が表示されたら、F1 キーを押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. 「**System Event Logs**」を選択し、次のいずれかの手順を使用します。
   - POST イベント・ログを表示するには、「**POST Event Viewers**」を選択します。
   - システム・イベント・ログを表示するには、「**System Event Log**」を選択します。

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示するには、この情報を使用します。

サーバーがハング状態でなく、IMM がネットワークに接続されている場合は、サーバーを再始動せずに1 つ以上のイベント・ログを表示する方式を使用できます。

Dynamic System Analysis (DSA) の Portable エディションをすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、または IMM イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、DSA Preboot を使用するにはサーバーを再始動する必要があります。DSA Portable をインストールする場合、あるいは DSA Preboot の CD イメージの新バージョンの有無を確認し、ダウンロードする場合は、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

IPMItool がサーバーにインストール済みの場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示できます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMItool が付属しています。 IPMI の概要については、http://www.ibm.com/developerworks/linux/blueprints/ にアクセスして「**Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on IBM Linux platforms**」をクリックします。

IMM イベント・ログは、統合管理モジュール II (IMM2) Web インターフェースの「**Event Log**」リンクを通して表示できます。詳しくは、 121 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。最初の 3 つの状態に対しては、通常サーバーの再始動は必要ありません。

表 13. イベント・ログを表示する方法

状態	処置
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されている。	以下の方法のいずれかを使用します。 • DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM2 に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。

表 13. イベント・ログを表示する方法 (続き)

状態	処置
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されていない。	• DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM2 に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーはハング状態ではなく、統合管理モジュール II (IMM2) がネットワークに接続されている。	Web ブラウザーで IMM2 の IP アドレスを入力し、「**Event Log**」ページに進みます。詳しくは、 120 ページの『IMM ホスト名の取得』および 121 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。
サーバーは停止しており、IMM との間で通信を行うことができない。	• DSA Preboot がインストールされている場合は、サーバーを再始動し、F2 を押して DSA Preboot を開始し、イベント・ログを表示します (詳しくは、 157 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • 代わりに、サーバーを再始動し、F1 を押して Setup ユーティリティーを開始して、POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することもできます。詳しくは、 152 ページの『セットアップ・ユーティリティーを使用してイベント・ログを表示する』を参照してください。

イベント・ログの消去

イベント・ログを消去するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イベント・ログを消去する場合は、以下のステップを実行してください。

注: サーバーが再始動されるたびに、POST エラー・ログは自動的に消去されます。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「**<F1> Setup**」が表示されたら、F1 キーを押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. IMM システム・イベント・ログを消去するには、「**System Event Logs**」 > 「**Clear System Event Log**」を選択してから、Enter キーを 2 回押します。

POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション装置の動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストを「パワーオン・セルフテスト」、すなわち POST と呼びます。

注: このサーバーは、サーバー状況に関してビープ・コードを使用しません。

始動パスワードが設定されている場合、POST が実行されるようにするには、プロンプトに従ってパスワードを入力し、**Enter** キーを押す必要があります。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが表示されます。詳しくは、551 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが POST イベント・ログに送信されます。詳しくは、151 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

IBM Dynamic System Analysis

IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。

DSA は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリー情報 (PCI および USB 情報を含む)
- インストール済みのアプリケーションおよびホット・フィックス (DSA Portable のみで使用可能)
- カーネル・モジュール (DSA Portable のみで使用可能)
- Light Path 診断の状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報
- IMM2 構成情報
- IMM2 環境情報
- オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、567 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、178 ページの『未解決問題の解決』を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注: DSA プリブートは、プログラムを始動した際、応答しないように見える場合があります。 これは、プログラムのロード中は正常な動作です。

サーバーの DSA コードが最新バージョンであることを確認してください。 DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を入手するには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

DSA のエディション

以下の 2 つのエディションの Dynamic System Analysis が使用可能です。

- **DSA Portable**

  DSA Portable エディションは、オペレーティング・システムの内部で実行されます。実行するためにサーバーを再始動する必要はありません。 このエディションは、Web からダウンロードする自己解凍型ファイルとしてパッケージされています。 このファイルは、実行すると一時フォルダーに自己解凍され、ハードウェアおよびオペレーティング・システムに関する情報の包括的な収集を実行します。実行後には、一時ファイルおよびフォルダーを自動的に削除し、データ収集および診断の結果をサーバーに残します。

  サーバーを始動できない場合は、DSA Portable を使用してください。

- **DSA Preboot**

  DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再始動する必要があります。 DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD、DVD、ISO、USB、または PXE などのブート可能メディアを作成することができます。 詳細については、BoMC の「ユーザー・ガイド」(http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-BOMC) を参照してください。他のエディションの DSA の機能に加えて、DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行するとサーバーが停止する場合があります (デバイスのリセットやネットワーク接続の喪失など)。 このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

  DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付けられている場合) に対する診断を行います。

  – Emulex ネットワーク・アダプター
  – 光ディスク装置 (CD または DVD)
  – テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
  – メモリー
  – マイクロプロセッサー
  – チェックポイント・パネル
  – I2C バス
  – SAS ドライブおよび SATA ドライブ
  – LSI コントローラー

– Broadcom ネットワーク・アダプター
– Fusion IO ストレージ
– Intel GPU
– Nvidia GPU

サーバーを再始動できる場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSAに進んでください。

DSA Preboot 診断プログラムの実行

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: DSA メモリー・テストは、実行するのに最大 30 分かかります。 問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

DSA プリブート診断プログラムを実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべての装置の電源をオフにします。
2. すべての接続されている装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。
3. プロンプト「**<F2> Diagnostics**」が表示されたら、F2 を押します。

   注: DSA プリブート診断プログラムは、プログラムを始動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。 これは、プログラムのロード中は正常な動作です。 ロード・プロセスには、最大 10 分かかります。
4. オプションとして、「**Quit to DSA**」を選択してスタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了することができます。

   注: スタンドアロン・メモリー診断環境を終了後、サーバーを再始動して、スタンドアロン・メモリー診断環境に再度アクセスする必要があります。
5. 「**gui**」と入力するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「**cmd**」と入力して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。
6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

タスクの結果

診断プログラムでハードウェアのエラーが検出されないのに、通常のサーバー操作時に問題が続く場合は、ソフトウェアのエラーが原因である場合があります。 ソフトウェアの問題と思われる場合は、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

1 つの問題について複数のエラー・メッセージが出されることがあります。 その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。 通常、次回に診断プログラムを実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

テストの途中でサーバーが停止し、続行できなくなった場合には、サーバーを再始動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。 問題が解決しない場合は、サーバーの停止時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

Passed: テストはエラーなしに完了しました。

Failed: テストでエラーが検出されました。

Aborted: サーバー構成が原因で、テストが進行できませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送

テスト・ログ結果を表示し、DSA コレクションを転送するには、この情報を使用します。

このタスクについて

テストの完了時に結果を確認するためにテスト・ログを表示するには、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は「Status」列で「**Success**」リンクをクリックし、DSA 対話式メニューを実行している場合は `:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了するか、またはグラフィカル・ユーザー・インターフェースの「**Diagnostic Event Log**」を選択します。DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで `copy` コマンドを入力します。

手順

- DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を実行している場合は、「Status」列で「**Success**」リンクをクリックします。
- DSA 対話式メニュー (CLI) を実行している場合は、`:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了してから、「**completed tests**」を選択して結果を表示します。

タスクの結果

サーバーの問題の診断に役立てるために、DSA エラー・ログを IBM サポートに送信することもできます。

自動サービス要求 (コール・ホーム)

IBM は、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に IBM サポートをコールできるツールを提供しています。

これらのツールは、IBM サポートによる問題診断処理の迅速化に役立ちます。以下のセクションでは、コール・ホーム・ツールについて説明します。

IBM Electronic Service Agent

IBM エレクトロニック・サービス・エージェントは、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリー情報のモニター、追跡、取り込みを行い、保守可能な問題を IBM サポートに直接報告します。

データを手動で収集するように選択することもできます。これは最小のシステム・リソースしか使用せず、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。IBM エレクトロニック・サービス・エージェントの詳細な情報またはダウンロードが必要な場合は、http://www-01.ibm.com/support/esa/ にアクセスしてください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題の検出時に生成される UEFI/POST、IMM2、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、551 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』、 369 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』、および 567 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

現象別トラブルシューティング

トラブルシューティング表を利用して、識別可能な現象がある問題に対する解決策を見つけてください。

このタスクについて

これらの表の中に該当の問題に対する解決策が見つからない場合、サーバーのテストについては 567 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を、DSA Preboot プログラムの実行に関する追加情報は 157 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。問題の解決に役立つ追加情報については、 135 ページの『ここから開始します』を参照してください。

新しいソフトウェアまたは新しいオプション装置を追加した直後にサーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、次のステップを実行します。

手順

1. 前面情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED (143 ページの『Light Path 診断』を参照) をチェックします。
2. 追加したばかりのソフトウェアまたは装置を取り除きます。

3. IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します (DSA の使用法については、 567 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照)。
4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しい装置を取り付け直します。

一般的な問題

表 14. 一般的な現象と処置

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
カバー・ラッチが破損している、LED が機能しない、あるいはこれと類似の問題が発生した。	その部品が CRU の場合は交換します。その部品がマイクロプロセッサーまたはシステム・ボードの場合は、トレーニングを受けた技術員が部品を交換する必要があります。
画面はオンになっているが、サーバーが停止している。F1 を押しても Setup ユーティリティーを開始できない。	1. 詳しくは、 185 ページの『Nx 回ブート失敗』を参照してください。 2. 詳しくは、 181 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

ハード・ディスクの問題

表 15. ハード・ディスクの現象と処置

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
ハード・ディスク診断テストで認識されないドライブがある。	診断テストで示されたドライブを取り外し、再度ハード・ディスク診断テストを実行します。残りのドライブが認識される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
ハード・ディスク診断テスト中にサーバーが応答しなくなる。	サーバーが応答を停止したときにテストしていたハード・ディスクを取り外し、再度診断テストを実行します。ハード・ディスクの診断テストが正常に実行される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
オペレーティング・システムの始動中にハード・ディスクが検出されない。	すべてのハード・ディスクとケーブルを取り付け直し、再度ハード・ディスク診断テストを実行します。
ハード・ディスクがハード・ディスク診断テストにパスしたが、問題は継続する。	SCSI ハード・ディスク診断テストを実行します (157 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 **注:** このテストは、RAID アレイを備えるサーバー、または SATA ハード・ディスクを備えるサーバーでは使用できません。
ハード・ディスクの障害が発生し、関連した黄色のハード・ディスク状況 LED が点灯している。(ホット・スワップ・ハード・ディスク)	1. RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーと、そのコントローラーに接続されたデバイスを再構成します。 2. DSA ディスク・ドライブ・テストを実行します (155 ページの『IBM Dynamic System Analysis』を参照)。 3. ドライブがテストを失敗する場合、ドライブを交換します。

表 15. ハード・ディスクの現象と処置 (続き)

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
新たに取り付けたハード・ディスクが認識されない。	1. 関連した黄色のハード・ディスク状況 LED を確認します。LED が点灯している場合、ドライブに障害があることを示します。 2. LED が点灯している場合、ベイからドライブを外し、45 秒間待ちます。その後ドライブ・アセンブリーがハード・ディスク・バックプレーンに接続していることを確認して、ドライブを再度取り付けます。 3. 関連する緑色のハード・ディスク活動 LED および黄色の状況 LED を確認します。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯していない場合、コントローラーがドライブを認識し、正常に作動していることを示します。DSA ハード・ディスク・テストを実行して、ドライブが検出されているかどうかを判別してください。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED がゆっくり点滅している場合、コントローラーがドライブを認識し、再作成していることを示します。 • いずれの LED も点灯または点滅していない場合は、ハード・ディスク・バックプレーンを確認します (ステップ 4 に進む)。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯している場合、ドライブを交換します。LED の活動状況が変わらない場合は、ステップ 4 に進みます。LED の活動に変化がある場合は、ステップ 1 に戻ります。 4. ハード・ディスク・バックプレーンが正しく取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられている場合、バックプレーンを曲げたり、動かすことなく、ドライブ・アセンブリーをバックプレーンに正常に接続することができます。 5. バックプレーン電源ケーブルを取り付け直し、ステップ 1 から 3 までを繰り返します。 6. バックプレーン信号ケーブルを取り付け直し、ステップ 1 から 3 までを繰り返します。 7. バックプレーン構成ケーブルを取り付け直し、ステップ 1 から 3 までを繰り返します。 8. バックプレーン信号ケーブルまたはバックプレーンに問題がある可能性があります。 • 影響を受けたバックプレーン信号ケーブルを交換します。 • 影響を受けたバックプレーンを交換します。 9. SAS/SATA アダプターおよびハード・ディスクに対して DSA テストを実行します (155 ページの『IBM Dynamic System Analysis』を参照)。 • アダプターがテストにパスしたがドライブが認識されない場合は、バックプレーン信号ケーブルを交換してテストを再度実行します。 • バックプレーンを交換します。 • アダプターがテストに失敗する場合は、バックプレーン信号ケーブルをアダプターから取り外してから再度テストを実行します。 • アダプターがこのテストに失敗する場合は、アダプターを交換します。 10. 179 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。
複数のハード・ディスクに障害が起こりました。	ハード・ディスク、SAS/SATA RAID アダプター、およびサーバーのデバイス・ドライバーとファームウェアが最新レベルになっていることを確認します。 **重要:** 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
複数のハード・ディスクがオフラインです。	1. ストレージ・サブシステム・ログを検討して、バックプレーンやケーブルなどの問題が、ストレージ・サブシステム内で起きていないか確認します。 2. 179 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。
交換したハード・ディスクが再ビルドされない。	1. ハード・ディスクがアダプターに認識されているか (緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しているか) 確認します。 2. SAS/SATA RAID アダプターの資料を検討して、正しい構成パラメーターおよび設定値か判別します。

表 15. ハード・ディスクの現象と処置 (続き)

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
緑色のハード・ディスク活動 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。 (ホット・スワップ・ハード・ディスク)	1. ドライブの使用中に緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しない場合は、DSA ディスク・ドライブ・テストを実行します (155 ページの『IBM Dynamic System Analysis』を参照)。 2. 以下のいずれかの手順を使用します。 • ドライブがテストをパスする場合、バックプレーンを交換します。 • ドライブがテストを失敗する場合、ドライブを交換します。
黄色のハード・ディスク状況 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。 (ホット・スワップ・ハード・ディスク)	1. 黄色のハード・ディスク LED と RAID アダプター・ソフトウェアがドライブに対して同じ状況を示さない場合は、次のステップを行います。 a. サーバーの電源をオフにします。 b. SAS/SATA アダプターを取り付け直します。 c. バックプレーン構成ケーブル、信号ケーブル、およびバックプレーン電源ケーブルを取り付け直します。 d. ハード・ディスクを取り付け直します。 e. サーバーの電源を入れ、ハード・ディスク LED の活動を確認します。 2. 179 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。

CD/DVD ドライブの問題

表 16. CD/DVD ドライブの現象と処置

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
オプションの DVD ドライブが認識されない。	1. 次の点を確認します。 • DVD ドライブが接続されている SATA コネクター (1 次または 2 次) が Setup ユーティリティーで使用可能になっているか。 • ケーブルおよびジャンパーがすべて正しく取り付けられているか。 • DVD ドライブ用の正しいデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 3. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. DVD ドライブ b. DVD ドライブ・ケーブル 4. ステップ 3 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 16. CD/DVD ドライブの現象と処置 (続き)

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
CD または DVD が正しく作動しない。	1. CD または DVD をクリーニングします。 2. CD または DVD を新規 CD または DVD メディアと取り替えます。 3. DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 4. DVD ドライブを取り付け直します。 5. DVD ドライブを交換します。
DVD ドライブ・トレイが正常に作動しない。	1. サーバーの電源がオンになっていることを確認します。 2. まっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先をトレイ解放穴に差し込みます。 3. DVD ドライブを取り付け直します。 4. DVD ドライブを交換します。

ハイパーバイザーの問題

表 17. ハイパーバイザーの現象と処置

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが予期したブート順序にリストされない、ブート・デバイスのリストに表示されない、または類似の問題が発生した。	1. オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、始動時にブート・マネージャーの `<F12> Select Boot Device` で選択されていることを確認します。 2. 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがコネクターに正しく取り付けられていることを確認します (257 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し』および 260 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの再取り付け』を参照)。 3. オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。 4. 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。

再現性の低い問題

再現性の低い問題を解決するには、この情報を使用します。

表 18. 再現性の低い問題と処置

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
時々起こる問題、または診断が困難な問題。	1. 次の点を確認します。 • すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続装置にしっかりと接続されている。 • サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れている。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。これにより、サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。 2. システム・エラー・ログまたは IMM イベント・ログを検査します (151 ページの『イベント・ログ』を参照)。
サーバーが時々リセット (再始動) される。	1. POST 中にリセットが発生し、POST ウォッチドッグ・タイマーが使用可能になっている場合 (Setup ユーティリティーで「**System Settings**」 > 「**Recovery**」 > 「**System Recovery**」 > 「**POST Watchdog Timer**」の順にクリックして、POST ウォッチドッグの設定を確認します)、ウォッチドッグ・タイムアウト値 (「**POST Watchdog Timer**」) に十分な時間が設定されていることを確認します。POST 中にサーバーが引き続きリセットする場合は、551 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』および 567 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。 2. どちらの条件も当てはまらない場合は、システム・エラー・ログまたは IMM システム・イベント・ログをチェックしてください (151 ページの『イベント・ログ』を参照)。

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題

表 19. キーボード、マウス、または USB デバイスの現象と処置

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 2. USB キーボードを使用している場合は、Setup ユーティリティーを実行してキーボードなし操作を有効にします。 3. USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 4. キーボードを交換します。
マウスまたは USB デバイスが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • マウスまたは USB デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されているか。 • マウスまたは USB デバイスのドライバーが正しくインストールされているか。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 • マウス・オプションが Setup ユーティリティーで有効にされている。 2. USB マウスまたは USB デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたは USB デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 3. マウスまたは USB デバイスを交換します。

メモリーの問題

表 20. メモリーの問題と処置

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
表示されたシステム・メモリーの容量が、実際に取り付けたメモリーの容量より少ない。	**注:** DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 次の点を確認します。 • オペレーター情報パネル上のどのエラー LED も点灯していない。 • システム・ボード上の DIMM エラー LED が点灯していない。 • メモリー・ミラーリング・チャネルが不一致の原因ではない。 • メモリー・モジュールが正しく取り付けられている。 • 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。 • メモリーを変更した場合、Setup ユーティリティーでメモリー構成を更新した。 • メモリーのすべてのバンクが使用可能になっている。 サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に使用不可にしたか、メモリー・バンクが手動で使用不可にされた可能性があります。 • サーバーを最小メモリー構成にした場合にメモリー・ミスマッチがない。 2. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 3. POST エラー・ログを確認します。 • DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって使用不可にされていた場合は、その DIMM を交換します。 • DIMM がユーザーまたは POST によって使用不可にされた場合は、DIMM を取り付け直します。次に Setup ユーティリティーを実行して、DIMM を使用可能にします。 4. Setup ユーティリティーですべての DIMM が初期化されていることを確認し、次にメモリー診断を実行します (157 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 5. (同じマイクロプロセッサーの) チャネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 6. Setup ユーティリティーを使用してすべての DIMM を再度使用可能にしてから、サーバーを再始動します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサー 2 の DIMM コネクター (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサーに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクターに関するものでないことを確認します。 8. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 20. メモリーの問題と処置 (続き)

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
1 つのチャネル内の複数の DIMM に障害があることが確認されている。	**注:** DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再始動します。 2. 障害が確認された DIMM のうち、最も番号が大きい DIMM を取り外し、正常であることが既知の同一の DIMM と交換してから、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。識別されたすべての DIMM を交換した後も障害が続く場合は、ステップ 4 に進みます。 3. 取り外した DIMM を一度に 1 つずつ元のコネクターに戻し、各 DIMM ごとにサーバーを再始動し、ある DIMM が障害を起こすまで繰り返します。障害を起こした各 DIMM を既知の正常な同一 DIMM と交換して、各 DIMM の交換後、そのつどサーバーを再始動します。取り外したすべての DIMM がテストされるまで、ステップ 3 を繰り返します。 4. 識別された DIMM のうち、最も番号が大きい DIMM を交換し、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。 5. (同じマイクロプロセッサーの) チャネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサー 2 の DIMM コネクター (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサーに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクターに関するものでないことを確認します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

マイクロプロセッサー問題

表 21. マイクロプロセッサーの現象と処置

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
サーバーをオンにすると、サーバーが直接 POST イベント・ビューアーになる。	1. Light Path 診断 LED によって示されたエラーをすべて解決します (143 ページの『Light Path 診断』を参照)。 2. サーバーがすべてのマイクロプロセッサーをサポートし、マイクロプロセッサーの速度とキャッシュ・サイズが相互に一致していることを確認します。マイクロプロセッサー情報を表示するには、Setup ユーティリティーを実行して「**System Information**」 > 「**System Summary**」 > 「**Processor Details**」を選択します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 1 が正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 を取り外して、サーバーを再始動します。 5. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー b. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

モニターの問題

一部の IBM モニターには、独自のセルフテスト機能が備わっています。 モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属している資料を参照して、モニターをテストおよび調整します。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

表 22. モニターおよびビデオの現象と処置

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
モニターのテスト。	1. モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 2. サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサーバーでテストしてみます。 3. 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした場合は、ビデオ・デバイス・ドライバーに問題があることが考えられます。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 22. モニターおよびビデオの現象と処置 (続き)

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
画面に何も表示されない。	1. サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクターに直接接続してみます。 2. オプションのビデオ・アダプターを取り付けていると、IMM2 リモート・プレゼンス機能は使用不可になります。 IMM2 リモート・プレゼンス機能を使用するには、オプションのビデオ・アダプターを取り外します。 3. サーバーの電源をオンにしたときにサーバーにグラフィック・アダプターが取り付けられている場合、約 3 分後に IBM ロゴが画面上に表示されます。 これは、システムのロード中は正常な動作です。 4. 次の点を確認します。 • サーバーの電源がオンになっている。サーバーに電源供給されていない場合は、 172 ページの『電源問題』を参照してください。 • モニターのケーブルが正しく接続されている。 • モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。 5. モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します (該当する場合)。 6. 損傷したサーバー・ファームウェアがビデオに影響を及ぼしていないことを確認します。 103 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 7. システム・ボードのチェックポイント LED を監視し、コードが変化する場合は、ステップ 6 に進みます。 8. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. モニター b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。 9. 178 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
サーバーの電源をオンにした時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブランクになる。	1. 次の点を確認します。 • アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。 • アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. ビデオ診断を実行します (157 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。 178 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

表 22. モニターおよびビデオの現象と処置 (続き)

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ。	1. モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他の装置 (変圧器、電気製品、蛍光灯、および他のモニターなど) の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。これが発生した場合は、モニターの電源を切ります。 **重要:** 電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。 デバイスとモニターの間を 305 mm 以上離し、モニターをオンにします。 **注:** a. ディスケット・ドライブの読み取り/書き込みエラーを防ぐため、モニターと外付けディスケット・ドライブの間を 76 mm 以上にします。. b. IBM 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測できない問題が起こるおそれがあります。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。
画面に誤った文字が表示される。	1. 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します (103 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。

ネットワーク接続の問題

表 23. ネットワーク接続の問題と処置

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
SSL が使用可能にされた状態で LDAP アカウントを使用したログインが失敗する。	1. ライセンス・キーが有効であることを確認します。 2. 新規のライセンス・キーを生成して、再度ログインします。

オプション装置の問題

表 24. オプション装置の問題と処置

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
新たに取り付けた IBM オプション装置が作動しない。	1. 次の点を確認します。 • 装置がサーバー用に設計されている (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照)。 • 装置に付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 • 取り付けた他の装置やケーブルの接続が緩んでいない。 • Setup ユーティリティーで構成情報を更新した。メモリーまたは他の装置を変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 2. 取り付けたばかりの装置を取り付け直します。 3. 取り付けたばかりの装置を交換します。
前に動作していた IBM オプション装置が動作しなくなった。	1. 装置のケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。 2. 装置にテスト手順が付属している場合は、その手順を使用して装置をテストします。 3. 障害のある装置を取り付け直します。 4. 障害のある装置を交換します。

電源問題

表 25. 電源の問題と処置

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
電源制御ボタンが作動せず、リセット・ボタンが作動しない (サーバーが始動しない)。 **注:** 電源制御ボタンは、サーバーが電源に接続された後、約 5 秒から 10 秒経過するまで機能しません。	1. 電源制御ボタンが正しく機能していることを確認します。 a. サーバーの電源コードを切り離します。 b. 電源コードを再接続します。 c. (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 1a および 1b を繰り返します。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 • サーバーが始動しない場合は、強制パワーオン・ジャンパーを使用して電源制御ボタンをバイパスします (34 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照)。サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。 それでも問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 2. 以下のようにして、リセット・ボタンが正しく機能していることを確認します。 • サーバーの電源コードを切り離します。 • 電源コードを再接続します。 3. 次の点を確認します。 a. 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。 b. 取り付けたメモリーのタイプが正しい。 c. DIMM が完全に取り付けられているか。 d. パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。 e. マイクロプロセッサーが正しい順序で取り付けられている。 4. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. DIMM b. (トレーニングを受けた技術員のみ) 電源スイッチ・コネクター c. (トレーニングを受けた技術員のみ) 電源バックプレーン 5. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. DIMM b. (トレーニングを受けた技術員のみ) 電源スイッチ・コネクター c. (トレーニングを受けた技術員のみ) 電源バックプレーン d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード 6. オプション装置を取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再始動してください。 これでサーバーが始動する場合は、パワー・サプライがサポートできる数を超える装置が取り付けられていることが考えられます。 7. 147 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。 8. 178 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

表 25. 電源の問題と処置 (続き)

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
サーバーの電源がオフにならない。	1. ACPI オペレーティング・システムまたは非 ACPI オペレーティング・システムの使用の有無を調べます。非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、次のステップを実行してください。 a. Ctrl+Alt+Delete を押します。 b. 電源制御ボタンを 5 秒以上押してサーバーの電源をオフにします。 c. サーバーを再始動します。 d. もしサーバーが POST で障害を起こし電源制御ボタンが働かない場合は、電源コードを 5 秒間外してから、電源コードを再接続してサーバーを再始動してください。 2. それでも問題が解決しない場合、または ACPI 対応オペレーティング・システムを使用している場合は、システム・ボードの問題が考えられます。
サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。	178 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

シリアル・ポートの問題

表 26. シリアル・ポートの問題と処置

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
オペレーティング・システムによって識別されたシリアル・ポートの数が、取り付けられたシリアル・ポートの数より少ない。	1. 次の点を確認します。 • Setup ユーティリティーで各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも使用不可にされていない。 • シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。 2. シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。 3. シリアル・ポート・アダプターを交換します。

表 26. シリアル・ポートの問題と処置 (続き)

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
シリアル装置が動作しない。	1. 次の点を確認します。 • その装置がサーバーと互換性があるか。 • シリアル・ポートが使用可能で、固有のアドレスが割り当てられているか。 • 装置が正しいコネクターに接続されているか。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. 障害を起こしているシリアル装置 b. シリアル・ケーブル 3. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. 障害を起こしているシリアル装置 b. シリアル・ケーブル c. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

ServerGuide の問題

表 27. *ServerGuide* の問題と処置

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
ServerGuide Setup and Installation CD が始動しない。	1. サーバーが ServerGuide プログラムをサポートしており、始動可能 (ブート可能) な DVD ドライブを備えていることを確認します。 2. 始動 (ブート) シーケンスの設定が変更された場合は、DVD ドライブがその始動シーケンスの最初になっていることを確認します。 3. 複数の DVD ドライブが取り付けられている場合は、 1 次ドライブとして 1 つのドライブだけが設定されていることを確認してください。その 1 次ドライブから CD を始動してください。
ServeRAID マネージャー・プログラムが、取り付けられているすべてのドライブを認識できないか、またはオペレーティング・システムをインストールできない。	1. ハード・ディスクが正しく接続されていることを確認します。 2. SAS ハード・ディスクのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。
オペレーティング・システムのインストール・プログラムがよくループする。	ハード・ディスク上でさらに多くのスペースを使用可能にしてください。

表 27. ServerGuide の問題と処置 (続き)

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムの CD を始動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートされていることを確認してください。 サポートされるオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-GUIDE にアクセスし、ご使用の ServerGuide バージョン用のリンクをクリックして、サポートされる Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスクロールダウンします。
オペレーティング・システムをインストールできない。オプションを選択できない。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認します。サポートしている場合は、論理ドライブが定義されていないか (SCSI RAID サーバーの場合)、または ServerGuide システム区画が存在していません。ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認します。

ソフトウェアの問題

表 28. ソフトウェアの問題と処置

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
ソフトウェアが原因と思われる問題	1. その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 • サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。必要なメモリーを確認するには、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。アダプターまたはメモリーを取り付けた直後の場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 • そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。 • 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。 • このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。 2. ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。 3. ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。

USB ポートの問題

表 29. USB ポートの問題と処置

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。** • **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**	
現象	**処置**
USB 装置が動作しない。	1. 次の点を確認します。 • 正しい USB デバイス・ドライバーがインストールされている。 • オペレーティング・システムが USB 装置をサポートしている。 2. Setup ユーティリティーで USB 構成オプションが正しく設定されていることを確認します (詳しくは、 109 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。 3. USB ハブを使用している場合は、USB 装置をハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。

電源の問題の解決

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。 例えば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。 電源問題を診断する場合は、以下の一般手順を使用します。

手順

1. サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。
2. 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。また、短絡があるかどうか (例えば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか) を調べます。
3. Light Path 診断上で点灯している LED を確認します (143 ページの『Light Path 診断』を参照)。
4. サーバーがサーバーの始動に必要な最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部装置および外部装置へのケーブルおよび電源コードを切り離します (178 ページの『未解決問題の解決』を参照)。
5. すべての AC 電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。 サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよび装置を一度に 1 つずつ取り付け直します。

次のタスク

サーバーが最小構成でも始動しない場合は、 147 ページの『パワー・サプライ LED』を参照して、問題が特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に 1

つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーの問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。イーサネット・コントローラーの情報については、オペレーティング・システムの資料を参照し、イーサネット・コントローラー・デバイス・ドライバーの README ファイルを参照してください。

以下の手順を試してみてください。

手順

1. サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバーがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
2. イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
   - ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されていることが必要です。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。
   - イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するよう設定した場合は、カテゴリー 5 の配線を使用する必要があります。
   - 2 つのサーバーを (ハブを使用せずに) 直接接続する場合、または X ポートを備えるハブを使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブが X ポートを備えているかどうか判別するには、ポートのラベルを調べてください。ラベルに X が記載されている場合は、ハブは X ポートを備えています。
3. ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。
4. サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクター、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。
   - イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク状況 LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクターまたはケーブルに欠陥があるか、またはハブに問題がある可能性があります。
   - イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
5. サーバー背面の LAN 活動 LED をチェックしてください。LAN 活動 LED は、イーサネット・ネットワークでデータがアクティブであるときに点灯しま

す。 LAN 活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。

6. 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェックします。
7. クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを確認します。
8.

次のタスク

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

未解決問題の解決

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できない場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用して未解決問題を解決してください。

このタスクについて

障害 (継続的または再現性の低い) の原因がソフトウェアの問題にあると思われる場合は、 175 ページの『ソフトウェアの問題』を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの破損またはサーバー・ファームウェアの破損が、未解決問題の原因となる場合があります。 CMOS データをリセットするには、CMOS クリア・ジャンパー (JP1) を使用して CMOS メモリーを消去し、始動パスワードを変更します。詳しくは、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照してください。 UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、 181 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. 障害を特定できるまで、以下の装置を一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。
   - 外付け装置
   - サージ抑制装置 (サーバー上)
   - プリンター、マウス、および IBM 以外の装置。
   - 各アダプター
   - ハード・ディスク

   注: サーバーの始動に必要な最小構成は、1 つのマイクロプロセッサーと 1 つの 2 GB DIMM です。

4. サーバーの電源を入れます。問題が解決しない場合は、次のコンポーネントを次の順序で確かめてください。
   a. パワー・サプライ
   b. メモリー
   c. マイクロプロセッサー
   d. システム・ボード

次のタスク

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

ネットワーキングの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストにパスした場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。可能であれば、IBM に支援を要求するときはこれらの情報を準備しておいてください。

可能であれば、IBM に支援を要求するときはこれらの情報を準備しておいてください。

4U サーバー・モデルと 5U サーバー・モデルのそれぞれについて、モデル番号とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバー前面の ID ラベルに記載してあります。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

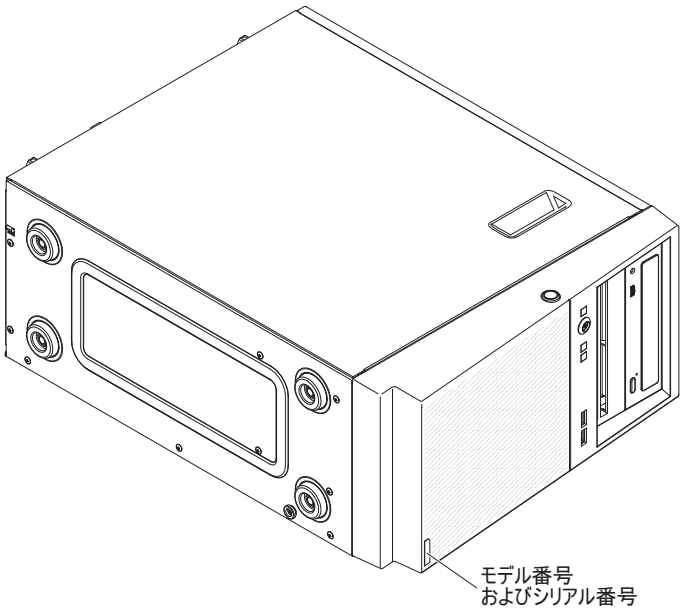


図 73. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの ID ラベル

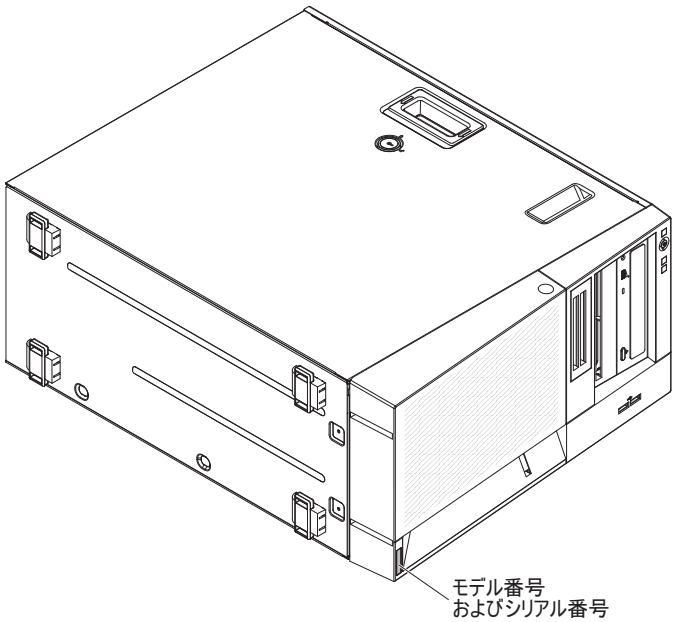


図 74. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの ID ラベル

- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサーまたはハード・ディスクのアップグレード
- 障害の現象
  - サーバーは診断テストに失敗しますか?
  - 起こったことは何ですか？ いつ？ どこで？
  - 障害は単一のサーバーで発生するのか、または複数のサーバーで発生するのか。
  - その障害は再現可能か。

  - これまでにこのサーバー構成が正常に作動したことがあったか。
  - その構成で障害が発生する前に何か変更したか。
  - この障害を報告するのは初めてか。
- 診断プログラムのタイプおよびバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が厳密に同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- 構成オプションの設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

IBM に保守を依頼する方法については、709 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)

サーバー・ファームウェアをリカバリーするには、この情報を使用します。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- **インバンド方式:** ブート・ブロック・ジャンパー (自動ブート・リカバリー) またはサーバーの Firmware Update Package Service Pack を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーする。
- **アウト・オブ・バンド方式:** 最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを使用し、IMM Web Interface からファームウェアを更新する。

注: サーバー更新パッケージは、以下のいずれかから入手できます。

- ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェアの更新をダウンロードする。
- IBM サービス技術員に連絡する。

ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードするには、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、1 次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。UEFI ファームウェアのブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。1 次バンク内のサーバー・ファームウェアが破損した場合、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2)でバックアップ・バンクを手動でブートできます。または、イメージが破損している場合には、Automated Boot Recovery 機能を使用して自動的にバックアップ・バンクをブートできます。

インバンドの手動リカバリー方式

このセクションでは、インバンドの手動リカバリー方式について詳しく説明します。

このタスクについて

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボード上の UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーを見つけます。

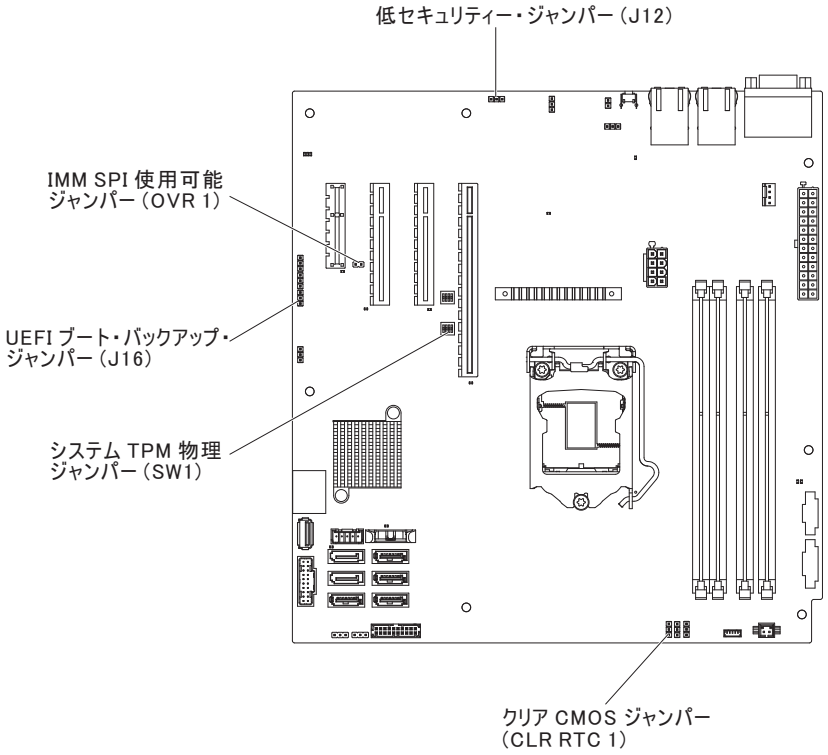


図 75. システム・ボード上のスイッチ、ジャンパー、およびボタンの位置

5. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーをピン 1 および 2 からピン 2 および 3 に移動して、UEFI リカバリー・モードを使用可能にします。
6. サーバーのカバーを取り付け直し、電源コードをすべて再接続します。
7. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
8. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
9. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
10. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してから、サーバーのサイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
11. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーをピン 2 および 3 からプライマリー位置 (ピン 1 および 2) に戻します。
12. カバーを再び取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
13. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
14. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。これによって 1 次バンクがリカバリーされない場合、引き続き次のステップを実行します。
15. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
16. システム・バッテリーを取り外すことにより、CMOS をリセットします (318 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。

17. システム・バッテリーをサーバーから約 5 分から 15 分間取り外したままにします。
18. システム・バッテリーを再取り付けします (320 ページの『システム・バッテリーの交換』を参照)。
19. カバーを再び取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
20. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
21. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
22. これらのリカバリー作業で問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してサポートを依頼してください。

インバンドの自動ブート・リカバリー方式

このセクションでは、インバンドの自動ブート・リカバリー方式について詳しく説明します。

このタスクについて

注: Light Path 診断パネルのシステム・ボード LED が点灯し、ログ項目が表示される場合、または `Booting Backup Image` がファームウェア・スプラッシュ画面に表示される場合は、この方式を使用します。それ以外の場合はインバンド手動リカバリー方式を使用してください。

手順

1. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
2. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
3. サーバーを再始動します。
4. ファームウェア・スプラッシュ画面で、1 次バンクに復元するようにプロンプトが出されたら、F3 を押します。サーバーは 1 次バンクからブートします。

アウト・オブ・バンド方式

IMM2 資料「*Integrated Management Module II User's Guide*」 (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

自動ブート・リカバリー (ABR)

自動ブート・リカバリー (ABR) にはこの情報を使用します。

このタスクについて

サーバーが始動するときに、統合管理モジュール II が 1 次バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユーザーに 1 次バンクのファームウェアを回復する機会を与えます。UEFI ファームウェアを回復する指示については、181 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。1 次バンクのファームウェアを回復したら、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーを再始動します。
2. 「**Press F3 to restore to primary**」のプロンプトが表示されたら、F3 を押して 1 次バンクからサーバーを始動します。

Nx 回ブート失敗

Nx 回ブート失敗にはこの情報を使用します。

装置の追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更、およびファームウェアまたはアプリケーションのコードの問題により、サーバーの POST (パワーオン・セルフテスト) が失敗することがあります。これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーは自動的に再始動し、POST を再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再始動する必要があります。

指定された回数の連続試行 (自動でも手動でも) の後、Nx 回ブート失敗機能により、サーバーはデフォルトの UEFI 構成に復帰し、Setup ユーティリティーが開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再始動できるようにします。サーバーがデフォルトの構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Nx 回ブート失敗機能をトリガーする連続再始動試行回数を指定するには、Setup ユーティリティーで、「**System Settings**」 > 「**Recovery**」 > 「**POST Attempts**」 > 「**POST Attempts Limit**」をクリックします。選択可能なオプションは、3、6、9、および 255 (Nx 回ブート失敗機能を使用不可にする) です。

第 5 章 部品リスト、IBM System x3100 M5 Type 5457

IBM System x3100 M5 Type 5457 の部品リスト

この章で説明する交換可能なコンポーネントは、『交換可能なサーバー・コンポーネント』で特に指定されている場合を除き、IBM System x3100 M5 Type 5457 サーバーで利用が可能です。更新された部品リストについては、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。

交換可能なサーバー・コンポーネント

IBM System x3100 M5 Type 5457 の交換可能なサーバー・コンポーネント。

交換可能なコンポーネントは、構造部品と現場交換可能ユニット (FRU) から構成されます。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。構成部品のリストについては、197 ページの『構成部品』を参照してください。
- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「*保証情報*」資料を参照してください。 サービスと支援を受ける方法について詳しくは、709 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

最新のオプション・サポート計画については、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。

次の図は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの主要コンポーネントを示しています。本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次の表を参照してください。

© Copyright IBM Corp. 2014

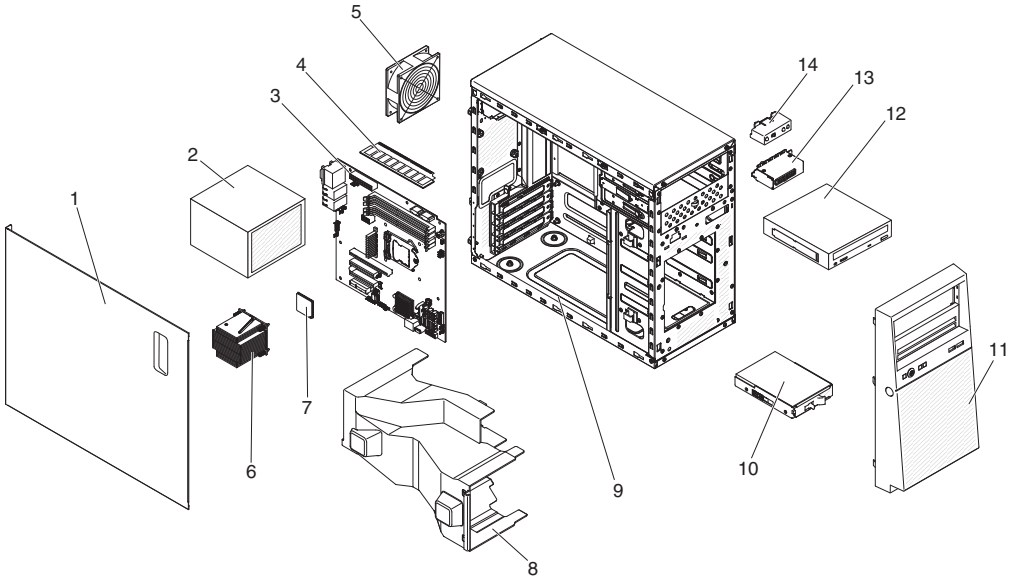


図 76. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのサーバー・コンポーネント

下表にはサーバー交換可能コンポーネントの部品番号が記載されています。

表 30. 部品リスト (非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデル)

索引番号	サーバー・コンポーネントの説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
2	パワー・サプライ、300W、固定	00AL206	
2	パワー・サプライ、350W、固定	00AL205	
3	システム・ボード		46W9038
4	メモリー、4 GB 2Rx8 UDIMM、1600 MHz、DDR3	00D5014	
4	メモリー、8 GB 2Rx8 UDIMM、1600 MHz、DDR3	00D5018	
5	システム・ファン、背面	00AL089	
6	ヒートシンク		00Y8238
7	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 4360、3.7 GHz、4 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA424
7	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 4350、3.6 GHz、4 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA425
7	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 4150、3.5 GHz、3 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA427
7	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 4150T、3.0 GHz、3 MB、1600 MHz、35 W (2 コア)		00KA428
7	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G3450、3.4 GHz、3 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA429
7	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G3220、3.0 GHz、3 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA430
7	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G3240、3.1 GHz、3 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA431

表 30. 部品リスト (非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデル) (続き)

索引番号	サーバー・コンポーネントの説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
7	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G3240T、2.7 GHz、3 MB、1600 MHz、35 W (2 コア)		00KA432
7	マイクロプロセッサー、Intel Celeron G1840、2.8 GHz、2 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA434
7	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G3440、3.3 GHz、3 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA450
7	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1231 v3、3.4 GHz、8 MB、1600 MHz、80 W (4 コア)		00KA451
7	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1241 v3、3.5 GHz、8 MB、1600 MHz、80 W (4 コア)		00KA452
7	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1271 v3、3.6 GHz、8 MB、1600 MHz、80 W (4 コア)		00KA453
7	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1281 v3、3.7 GHz、8 MB、1600 MHz、95 W (4 コア)		00KA454
7	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1275L v3、2.7 GHz、8 MB、1600 MHz、45 W (4 コア)		00KA455
7	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1240L v3、2.0 GHz、8 MB、1600 MHz、25 W (4 コア)		00KA456
7	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1220 v3、3.1 GHz、8 MB、1600 MHz、80 W (4 コア)		00Y8235
7	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1220Lv3、1.1 GHz、4 MB キャッシュ、1600 MHz、13 W (2 コア)		00AM097
10	DVD-ROM ドライブ	43W8466	
10	DVD マルチ・バーナー・ドライブ	43W8467	
11	ハード・ディスク、3.5 型 シンプル・スワップ、500 GB、7.2 K	81Y9803	
11	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、1 TB、7.2 K	81Y9807	
11	ハード・ディスク、3.5 型 シンプル・スワップ、2 TB、7.2 K	81Y9811	
11	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、3 TB、7.2 K	81Y9815	
13	4U シャーシ用前面 USB コネクター・ホルダー	00AL691	
14	Operator information panel assembly	00AL924	
	温度センサー・キット	46W9221	
	バッテリー、3.0 V	33F8354	
	ケーブル、SAS 680R ケーブル	00D2814	
	ケーブル、SAS 700 mm ケーブル	00D2817	
	ケーブル、4U シャーシ用 USB	00Y8282	
	ケーブル、3.5 型 SATA	00Y8279	
	ケーブル、3.5 型バックプレーン信号ケーブル	46W9217	
	ケーブル、2.5 型バックプレーン信号ケーブル	46W9218	
	ケーブル、24 インチ SATA	25R5635	
	ケーブル、1 M	39R6530	
	ケーブル、3 M	39R6532	

表 30. 部品リスト (非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデル) (続き)

索引番号	サーバー・コンポーネントの説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	ケーブル、SAS Y ケーブル	44E8878	
	ケーブル、USB 1 m	44E8893	
	ケーブル、USB ドングル	44E8894	
	ケーブル、パワー・サプライ変換コネクター	00D8861	
	ケーブル、パワー・サプライ変換コネクター	00D2749	
	ケーブル、USB 変換	39M2909	
	ケーブル、USB	46M6475	
	ケーブル、USB	46M6477	
	ケーブル、USB	81Y3643	
	コード、4 M から 4.3 M 回線	39M5076	
	コード、1.5 M 回線	39M5375	
	コード、4.3 M 回線	39M5378	
	コード、PDU ジャンパー	30M5392	
	コード、PDU C19 60A 3P (ライン付き)	39Y8926	
	コード、C13 PDU (ラインなし)	46W1588	
	保持ブラケット (前面)、アダプター	13N2993	
	ServeRAID M1115 SAS/SATA コントローラー	46C8928	
	ServeRAID H1110 SAS/SATA コントローラー	81Y4494	
	ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB キャッシュ (RAID 5 アップグレード)	81Y4485	
	ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	46C9027	
	ServeRAID M5110 SAS/SATA コントローラー	00AE807	
	ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー	00AE811	
	6 Gb SAS ホスト・バス・アダプター (HBA)	46C8935	
	N2115 SAS/SATA HBA	46C8989	
	N2125 SAS/SATA HBA	46C9011	
	10 Gb SFP+ SR 光トランシーバー	46C9297	
	Brocade 8Gb FC シングル・ポート・ホスト・バス・アダプター	46M6061	
	Brocade 8Gb FC デュアル・ポート・ホスト・バス・アダプター	46M6062	
	Brocade 16Gb FC シングル・ポート HBA	81Y1671	
	Brocade 16Gb FC デュアル・ポート HBA	81Y1678	
	Broadcom NetXtreme II デュアル・ポート 10Gb アダプター	49Y7912	
	Broadcom NetXtreme I デュアル・ポート GbE アダプター	90Y9373	
	Broadcom NetXtreme I クアッド・ポート GbE アダプター	90Y9355	
	Intel X520-DA2 デュアル・ポート 10Gb 仮想ファブリック・アダプター	49Y7962	
	Intel X540-T2 デュアル・ポート 10 Gb BaseT アダプター	49Y7972	
	Intel I340-T2 イーサネット・デュアル・ポート・アダプター	94Y5166	

表 30. 部品リスト (非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデル) (続き)

索引番号	サーバー・コンポーネントの説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	Intel I340-T4 Intel・クアッド・ポート・アダプター	94Y5167	
	Intel PRO/1000 PF サーバー・アダプター	42C1752	
	QLogic 8200 デュアル・ポート 10 Gb SFP+ VFA アダプター	90Y4605	
	Emulex 10 GbE 仮想ファブリック・アダプター III	95Y3766	
	Mellanox ConnectX-3 10 GbE アダプター	00D9692	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro K600	90Y2383	
	QLogic 16Gb FC シングル・ポート HBA	00Y3340	
	QLogic 16Gb FC デュアル・ポート HBA	00Y3344	
	QLogic 8Gb FC シングル・ポート HBA	00Y5628	
	QLogic 8Gb FC デュアル・ポート HBA	00Y5629	
	Emulex 8Gb FC シングル・ポート HBA	42D0491	
	Emulex 8Gb FC デュアル・ポート HBA	42D0500	
	Emulex 16Gb FC デュアル・ポート HBA	00D8548	
	QLogic 10Gb 仮想ファブリックおよび SR 光トランシーバー	42C1816	
	Internal USB 3 RDX carrier/dock	46C2346	
	Internal USB RDX carrier/dock	46C5380	
	RDX 320 GB カートリッジ	46C5394	
	RDX 500 GB カートリッジ	46C5395	
	RSPDU+ 24C13 30A	46W1562	
	RSPDU 24C13 3P	46W1568	
	RSPDU 24C13 1P	46W1570	
	RSPDU+ 12C19/1	46W1574	
	RSPDU 12C19/12	46W1578	
	RPDU+ 9C19/3C1	46W1582	
	60A 3 相 PDU	46W1612	
	60A 3 相 PDU	46W1614	
	NEMA PDU	39Y8913	
	IEC Rack PDU	39Y8914	
	DPI FE PDU	39Y8916	
	ハーフハイト LTO Gen 4 SAS テープ・ドライブ	46X5672	
	ハーフハイト LTO Gen 5 SAS テープ・ドライブ	46X5683	
	ドライブ、5.25 型、80 GB、USB	99Y3870	
	マウス、USB	39Y9875	
	4U シャーシ用 thermal solution fan kit	00AL719	
	4U シャーシ用 USB ケーブル・ホルダー	00AL691	
	4U シャーシ用作動温度の機能拡張キット	00AL720	
	3.5 型シンプル・スワップ・ハードウェア RAID アップグレード・キット	00Y8280	
	各種ハードウェア	00AL703	

消耗部品 (別途購入する部品) は、 IBM の「保証の内容と制限」の対象外です。以下の消耗部品は、小売店で購入できます。

索引	説明	部品番号
	バッテリー、 ServeRAID-M5100 シリーズ	81Y4491

次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの主要コンポーネントを示しています。本書の図は、ご使用のハードウェアと若干異なる場合があります。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合は、上記の表を参照してください。

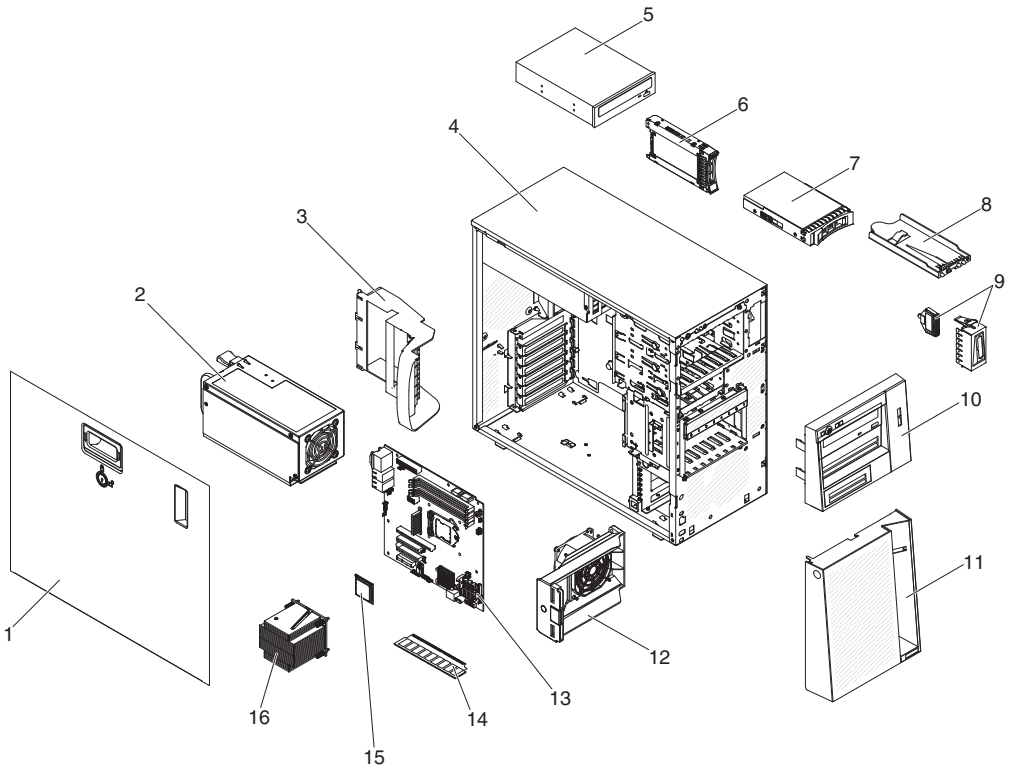


図 77. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのサーバー・コンポーネント

表 31. 部品リスト (ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル)

索引番号	サーバー・コンポーネントの説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
2	パワー・サプライ、冗長、430 ワット	00AL204	
5	DVD-ROM ドライブ	43W8466	
5	DVD マルチ・バーナー・ドライブ	43W8467	
6	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、900 GB、10 K	81Y9651	
6	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、900 GB、10 K、SED	81Y9663	
6	ハード・ディスク、2.5 型 ホット・スワップ、 300 GB、15 K	81Y9671	
6	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K	81Y9691	

表 31. 部品リスト (ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル) (続き)

索引番号	サーバー・コンポーネントの説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
6	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 250 GB、7.2 K	81Y9735	
6	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 500 GB、7.2 K	81Y9739	
6	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K	81Y9743	
6	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、256 GB	90Y8664	
6	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、600 GB、10 K	90Y8873	
6	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、300 GB、10 K	90Y8878	
6	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、600 GB、10 K、SED	90Y8909	
6	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 146 GB、15 K	90Y8927	
6	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 500 GB、7.2 K	90Y8954	
6	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 500 GB、7.2 K	42D0708	
7	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、300 GB、15 K	49Y6093	
7	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、450 GB、15 K	49Y6098	
7	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、600 GB、15 K	49Y6103	
7	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、 500 GB、7.2 K	81Y9787	
7	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K	81Y9791	
7	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、2 TB、7.2 K	81Y9795	
7	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、3 TB、7.2 K	81Y9799	
8	Operator information panel assembly	49Y8456	
9	5U シャーシ用前面 USB コネクター・ホルダー	00AL692	
12	2.5 型ハード・ディスク・ファン・ダクト	00AL088	
12	3.5 型ハード・ディスク・ファン・ダクト	00AL684	
13	システム・ボード		46W9038
14	メモリー、4 GB 2Rx8 UDIMM、1600 MHz、DDR3	00D5014	
14	メモリー、8 GB 2Rx8 UDIMM、1600 MHz、DDR3	00D5018	
15	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 4360、3.7 GHz、4 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA424
15	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 4350、3.6 GHz、4 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA425
15	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 4150、3.5 GHz、3 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA427
15	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 4150T、3.0 GHz、3 MB、1600 MHz、35 W (2 コア)		00KA428
15	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G3450、3.4 GHz、3 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA429
15	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G3220、3.0 GHz、3 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA430
15	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G3240、3.1 GHz、3 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA431
15	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G3240T、2.7 GHz、3 MB、1600 MHz、35 W (2 コア)		00KA432

表 31. 部品リスト (ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル) (続き)

索引番号	サーバー・コンポーネントの説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
15	マイクロプロセッサー、Intel Celeron G1840、2.8 GHz、2 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA434
15	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G3440、3.3 GHz、3 MB、1600 MHz、54 W (2 コア)		00KA450
15	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1231 v3、3.4 GHz、8 MB、1600 MHz、80 W (4 コア)		00KA451
15	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1241 v3、3.5 GHz、8 MB、1600 MHz、80 W (4 コア)		00KA452
15	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1271 v3、3.6 GHz、8 MB、1600 MHz、80 W (4 コア)		00KA453
15	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1281 v3、3.7 GHz、8 MB、1600 MHz、95 W (4 コア)		00KA454
15	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1275L v3、2.7 GHz、8 MB、1600 MHz、45 W (4 コア)		00KA455
15	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1240L v3、2.0 GHz、8 MB、1600 MHz、25 W (4 コア)		00KA456
15	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1220 v3、3.1 GHz、8 MB、1600 MHz、80 W (4 コア)		00Y8235
15	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1220Lv3、1.1 GHz、4 MB キャッシュ、1600 MHz、13 W (2 コア)		00AM097
16	ヒートシンク		00Y8238
	温度センサー・キット	46W9221	
	バッテリー、3.0 V	33F8354	
	ケーブル、SAS 680R ケーブル	00D2814	
	ケーブル、SAS 700 mm ケーブル	00D2817	
	ケーブル、5U シャーシ用 USB	00KA532	
	ケーブル、3.5 型 SATA	00Y8279	
	ケーブル、3.5 型バックプレーン信号ケーブル	46W9217	
	ケーブル、2.5 型バックプレーン信号ケーブル	46W9218	
	ケーブル、24 インチ SATA	25R5635	
	ケーブル、1 M	39R6530	
	ケーブル、3 M	39R6532	
	ケーブル、SAS Y ケーブル	44E8878	
	ケーブル、USB 1 m	44E8893	
	ケーブル、USB ドングル	44E8894	
	ケーブル、パワー・サプライ変換コネクター	00D8861	
	ケーブル、パワー・サプライ変換コネクター	00D2749	
	ケーブル、USB 変換	39M2909	
	ケーブル、USB	46M6475	
	ケーブル、USB	46M6477	
	ケーブル、USB	81Y3643	

表 31. 部品リスト (ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル) (続き)

索引番号	サーバー・コンポーネントの説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	コード、4 M から 4.3 M 回線	39M5076	
	コード、1.5 M 回線	39M5375	
	コード、4.3 M 回線	39M5378	
	コード、PDU ジャンパー	30M5392	
	コード、PDU C19 60A 3P (ライン付き)	39Y8926	
	コード、C13 PDU (ラインなし)	46W1588	
	保持ブラケット (前面)、アダプター	13N2993	
	ServeRAID M1115 SAS/SATA コントローラー	46C8928	
	ServeRAID H1110 SAS/SATA コントローラー	81Y4494	
	ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB キャッシュ (RAID 5 アップグレード)	81Y4485	
	ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	46C9027	
	ServeRAID M5110 SAS/SATA コントローラー	00AE807	
	ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー	00AE811	
	6 Gb SAS ホスト・バス・アダプター (HBA)	46C8935	
	N2115 SAS/SATA HBA	46C8989	
	N2125 SAS/SATA HBA	46C9011	
	10 Gb SFP+ SR 光トランシーバー	46C9297	
	Brocade 8Gb FC シングル・ポート・ホスト・バス・アダプター	46M6061	
	Brocade 8Gb FC デュアル・ポート・ホスト・バス・アダプター	46M6062	
	Brocade 16Gb FC シングル・ポート HBA	81Y1671	
	Brocade 16Gb FC デュアル・ポート HBA	81Y1678	
	Broadcom NetXtreme II デュアル・ポート 10Gb アダプター	49Y7912	
	Broadcom NetXtreme I デュアル・ポート GbE アダプター	90Y9373	
	Broadcom NetXtreme I クアッド・ポート GbE アダプター	90Y9355	
	Intel X520-DA2 デュアル・ポート 10Gb 仮想ファブリック・アダプター	49Y7962	
	Intel X540-T2 デュアル・ポート 10 Gb BaseT アダプター	49Y7972	
	Intel I340-T2 イーサネット・デュアル・ポート・アダプター	94Y5166	
	Intel I340-T4 Intel・クアッド・ポート・アダプター	94Y5167	
	Intel PRO/1000 PF サーバー・アダプター	42C1752	
	QLogic 8200 デュアル・ポート 10 Gb SFP+ VFA アダプター	90Y4605	
	Emulex 10 GbE 仮想ファブリック・アダプター III	95Y3766	
	Mellanox ConnectX-3 10 GbE アダプター	00D9692	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro K600	90Y2383	
	QLogic 16Gb FC シングル・ポート HBA	00Y3340	
	QLogic 16Gb FC デュアル・ポート HBA	00Y3344	
	QLogic 8Gb FC シングル・ポート HBA	00Y5628	

表 31. 部品リスト (ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル) (続き)

索引番号	サーバー・コンポーネントの説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	QLogic 8Gb FC デュアル・ポート HBA	00Y5629	
	Emulex 8Gb FC シングル・ポート HBA	42D0491	
	Emulex 8Gb FC デュアル・ポート HBA	42D0500	
	Emulex 16Gb FC デュアル・ポート HBA	00D8548	
	QLogic 10Gb 仮想ファブリックおよび SR 光トランシーバー	42C1816	
	パワー・サプライ・ケージ、430 ワット		49Y8459
	2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク CR2 バックプレーン	46W9187	
	3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン	49Y4462	
	Internal USB 3 RDX carrier/dock	46C2346	
	Internal USB RDX carrier/dock	46C5380	
	RDX 320 GB カートリッジ	46C5394	
	RDX 500 GB カートリッジ	46C5395	
	RSPDU+ 24C13 30A	46W1562	
	RSPDU 24C13 3P	46W1568	
	RSPDU 24C13 1P	46W1570	
	RSPDU+ 12C19/1	46W1574	
	RSPDU 12C19/12	46W1578	
	RPDU+ 9C19/3C1	46W1582	
	60A 3 相 PDU	46W1612	
	60A 3 相 PDU	46W1614	
	NEMA PDU	39Y8913	
	IEC Rack PDU	39Y8914	
	DPI FE PDU	39Y8916	
	ハーフハイト LTO Gen 4 SAS テープ・ドライブ	46X5672	
	ハーフハイト LTO Gen 5 SAS テープ・ドライブ	46X5683	
	ドライブ、5.25 型、80 GB、USB	99Y3870	
	マウス、USB	39Y9875	
	5U シャーシ用 thermal solution fan kit	00AL001	
	5U シャーシ用 USB ケーブル・ホルダー	00AL692	
	5U シャーシ用作動温度の機能拡張キット	00AL721	
	各種ハードウェア	00AL703	

消耗部品 (別途購入する部品) は、 IBM の「保証の内容と制限」の対象外です。以下の消耗部品は、小売店で購入できます。

索引	説明	部品番号
	バッテリー、 ServeRAID-M5100 シリーズ	81Y4491

構成部品

構造部品は、IBM の「保証の内容と制限」の対象外です。 構造部品は IBM 小売店で注文できます。

以下の構造部品は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデル用です。これらの部品は小売店で購入できます。

表 32. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの構造部品 (Type 5457)。

索引	説明	部品番号
1	サイド・カバー・アセンブリー	00AL701
8	エアー・バッフル	00AL109
9	4U シャーシ・アセンブリー	00AL700
12	ベゼル	13N2450
12	ベゼル	00AL690
	シンプル・スワップ・ハード・ディスク・ケージ、3.5 型ドライブ	00AL689
	フィラー、パワー・サプライ	00D8860
	フィラー、DVD-ROM ドライブ	13N2450
	脚、シャーシ	13N2985
	EMC シールド・キット、光ディスク・ドライブ/テープ・ドライブ	13N2997
	キット、保持器具 (光ディスク・ドライブおよびディスケット・ドライブ用)	39R9369
	EMC シールド	49Y8455
	フィラー、PCI カード	81Y7472
	4U シャーシ用 DVD ドライブ保持ブラケット	81Y7473
	4U シャーシ用 PCI アダプター保持ブラケット	81Y7474
	シールド・キット、シンプル・スワップ 3.5 型ハード・ディスク	81Y7479
	シャーシ台座	81Y7483
	ラック用各種ハードウェア	00N7193
	ラック・キット・アセンブリー	00Y7580
	ホルダー、バッテリー (保持器具)	00Y8545
	下部カバー	39R9363
	ラック・シャーシ	39Y9760
	ケーブル管理アーム	39Y9761
	各種ハードウェア	39Y9837
	ねじ、M3x5 ねじ 4 本	42C3933
	フリクション・スライド	69Y4391
	リモート RAID バッテリー/電源モジュール・トレイ	94Y7609
	3U ブラケット・キット	94Y7628
	EIA ブラケット	39Y9758
	サイド/トップ・カバー	49Y8446

以下の構造部品は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル用です。これらの部品は小売店で購入できます。

表 33. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの構造部品 (Type 5457)。

索引	説明	部品番号
1	サイド・カバー、ロック付き	49Y8447
3	5U シャーシ用保持ブラケット (背面)、アダプター	00AL013
4	5U シャーシ・アセンブリー	00AL688
10	ベゼル、上段	00AL687
11	ベゼル、下段 (3.5 型ハード・ディスク用)	00AL693
11	ベゼル、下段 (2.5 型ハード・ディスク用)	90Y5210
	ハード・ディスク・ケージ、3.5 型ドライブ	00AL685
	ハード・ディスク・ケージ、2.5 型ドライブ	00D8852
	フィラー、パワー・サプライ	00D8860
	フィラー、DVD-ROM ドライブ	13N2450
	脚、シャーシ	13N2985
	EMC シールド・キット、光ディスク・ドライブ/テープ・ドライブ	13N2997
	キーロック、ランダム・キー	26K7364
	キット、保持器具 (光ディスク・ドライブおよびディスケット・ドライブ用)	39R9369
	EMC シールド	49Y8455
	フィラー、PCI カード	81Y7472
	シャーシ台座	81Y7483
	ラック用各種ハードウェア	00N7193
	ラック・キット・アセンブリー	00Y7580
	ホルダー、バッテリー (保持器具)	00Y8545
	下部カバー	39R9363
	ラック・シャーシ	39Y9760
	ケーブル管理アーム	39Y9761
	各種ハードウェア	39Y9837
	ねじ、M3x5 ねじ 4 本	42C3933
	5U シャーシ用タワーからラックへの移行キット	42R5348
	5U シャーシ用ハードウェア RAID バッテリー・ホルダー	00AL722
	フリクション・スライド	69Y4391
	リモート RAID バッテリー/電源モジュール・トレイ	94Y7609
	3U ブラケット・キット	94Y7628
	EIA ブラケット	39Y9758
	キーロック・アセンブリー	26K7363
	サイド/トップ・カバー	49Y8446

構成部品は、以下の手順で注文してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

1. http://www.ibm.com にアクセスしてください。
2. 「**Products**」メニューから「**Upgrades, accessories & parts**」を選択します。

3. 「**Obtain maintenance parts**」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注文します。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの IBM 担当員にお問い合わせください。

電源コード

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。 感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用される IBM 電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) にリストされており、Canadian Standards Association (CSA) の認証を受けています。

115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、Type SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルトで動作するユニット (米国で使用) の場合、最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 芯コード、最大長 15 フィートおよびタンデム・ブレード、定格 15 アンペア、250 ボルトの接地タイプ接続プラグで構成される、UL リストと CSA 認定のコード・セットを使用します。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。 これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお求めいただけます。

電源コードの部品番号	**説明**
39M5200	電源コード (4.3 m) 100 V: IEC320 C13 - NEMA 5-15P
39M5378	ジャンパー電源コード (4.3 m) 100-200 V/PDU: IEC320 C13 - IEC320 C14

電源コードの 部品番号	説明
39M5392	Afghanistan, Albania, Algeria, Andorra, Angola, Armenia, Austria, Azerbaijan, Belarus, Belgium, Benin, Bosnia and Herzegovina, Bulgaria, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Cameroon, Cape Verde, Central African Republic, Chad, Comoros, Congo (Democratic Republic of), Congo (Republic of), Cote D'Ivoire (Ivory Coast), Croatia (Republic of), Czech Republic, Dahomey, Djibouti, Egypt, Equatorial Guinea, Eritrea, Estonia, Ethiopia, Finland, France, French Guyana, French Polynesia, Germany, Greece, Guadeloupe, Guinea, Guinea Bissau, Hungary, Iceland, Indonesia, Iran, Kazakhstan, Kyrgyzstan, Laos (People's Democratic Republic of), Latvia, Lebanon, Lithuania, Luxembourg, Macedonia (former Yugoslav Republic of), Madagascar, Mali, Martinique, Mauritania, Mauritius, Mayotte, Moldova (Republic of), Monaco, Mongolia, Morocco, Mozambique, Netherlands, New Caledonia, Niger, Norway, Poland, Portugal, Reunion, Romania, Russian Federation, Rwanda, Sao Tome and Principe, Saudi Arabia, Senegal, Serbia, Slovakia, Slovenia (Republic of), Somalia, Spain, Suriname, Sweden, Syrian Arab Republic, Tajikistan, Tahiti, Togo, Tunisia, Turkey, Turkmenistan, Ukraine, Upper Volta, Uzbekistan, Vanuatu, Vietnam, Wallis and Futuna, Yugoslavia (Federal Republic of), Zaire
39M5130 39M5179	Denmark
39M5144	Bangladesh, Lesotho, Macao, Maldives, Namibia, Nepal, Pakistan, Samoa, South Africa, Sri Lanka, Swaziland, Uganda
39M5151	Abu Dhabi, Bahrain, Botswana, Brunei Darussalam, Channel Islands, China (Hong Kong S.A.R.), Cyprus, Dominica, Gambia, Ghana, Grenada, Iraq, Ireland, Jordan, Kenya, Kuwait, Liberia, Malawi, Malaysia, Malta, Myanmar (Burma), Nigeria, Oman, Polynesia, Qatar, Saint Kitts and Nevis, Saint Lucia, Saint Vincent and the Grenadines, Seychelles, Sierra Leone, Singapore, Sudan, Tanzania (United Republic of), Trinidad and Tobago, United Arab Emirates (Dubai), United Kingdom, Yemen, Zambia, Zimbabwe
39M5158	Liechtenstein, Switzerland
39M5165	Chile, Italy, Libyan Arab Jamahiriya
39M5172	Israel
39M5095	220 - 240 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5081	110 - 120 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5076 39M5512	United States of America
39M5463	Taiwan

電源コードの 部品番号	説明
39M5087	Thailand
39M5219	Korea (Democratic People's Republic of), Korea (Republic of)
39M5199	日本
39M5068	Argentina, Paraguay, Uruguay
39M5226	India
39M5240 39M5241	Brazil
39M5375 39M5378 39M5509	Canada, Germany, United States of America

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

交換可能なコンポーネントには、次のタイプがあります。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

コンポーネントが、構造部品であるか、Tier 1 CRU であるか、Tier 2 CRU であるかを判別するには、187 ページの『第 5 章 部品リスト、IBM System x3100 M5 Type 5457』を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「*保証情報*」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法について詳しくは、709 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

装置またはコンポーネントの返却

装置またはコンポーネントに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

© Copyright IBM Corp. 2014

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内の構造部品またはコンポーネントの取り外しと交換について説明します。

構成部品の取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内の構造部品の取り外しと交換について説明します。

構成部品の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構成部品の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

サイド・カバーの取り外し

サイド・カバーの取り外しを行うには、この情報を使用します。

重要: サイド・カバーを外した状態で 30 分より長くサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する場合があります。 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サイド・カバーを取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ 4U サーバー・モデルの場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (27 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サーバー背面の 2 つのシャーシねじを取り外します。
5. 後部のサイド・カバー・ハンドルを引き、同時に前部のサイド・カバー・ハンドルを押します。

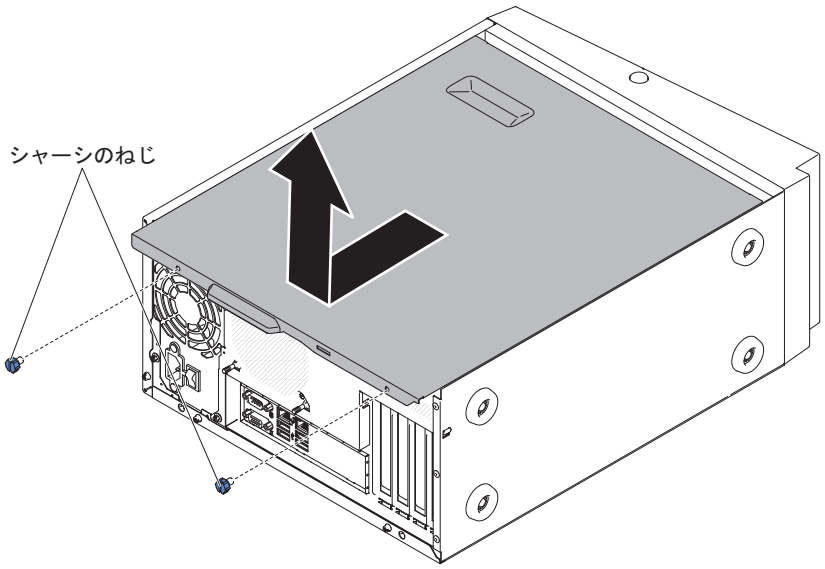


図 78. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのサイド・カバーの取り外し

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

6. サイド・カバーに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (27 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)。
3. サイド・カバーのロックを解除し、次にカバー・リリース・ラッチを (図に示しているとおりに) 押し下げてカバーを取り外します。

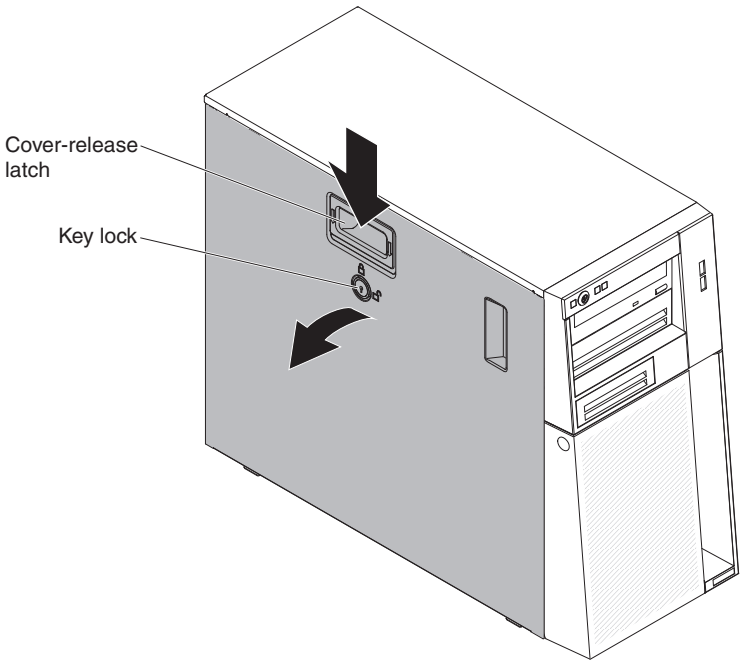


図 79. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのサイド・カバーの取り外し

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

4. サイド・カバーに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

サイド・カバーの交換

サイド・カバーの交換を行うには、この情報を使用します。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サイド・カバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。 サイド・カバーを取り外して長時間 (30 分以上) サーバーを操作すると、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ 4U サーバー・モデルの場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. すべてのケーブル、アダプター、および他のコンポーネントが正しく取り付けられ、固定されているか、およびサーバー内のツールまたは部品が緩んでいないかチェックしてください。 また、すべての内部ケーブルが正しく配線されているかどうかを確認します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

4. サイド・カバーを押さえて、サイド・カバーの後部側から所定の位置にしっかりロックされるまで押し込みます。

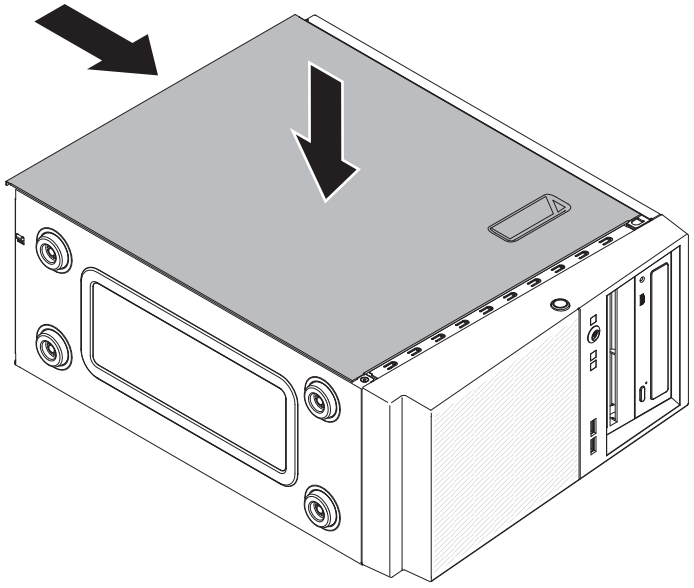


図 80. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのサイド・カバーの取り付け

5. サイド・カバー後部の 2 つのシャーシねじを使用して、サイド・カバーを所定の位置に固定します。
6. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

重要: カバー・ロックは、サイド・カバーを取り付ける前にアンロック (開) 位置にしておく必要があります。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. すべてのケーブル、アダプター、および他のコンポーネントが正しく取り付けられ、固定されているか、およびサーバー内のツールまたは部品が緩んでいないかチェックしてください。 また、すべての内部ケーブルが正しく配線されているかどうかを確認します。
3. 上段および下段のベゼルを取り外した場合は、サイド・カバーを取り付け直す前に、これらのベゼルを再度取り付けます (215 ページの『下段ベゼルの交換』、および 217 ページの『上段ベゼルの交換』を参照)。
4. サイド・カバー底部端のへりをシャーシ底部にある水平の台に合わせ、カバーをシャーシまで回転させます。カバー・リリース・ラッチを下方へ押し、カバーが所定の場所に完全に納まるまでシャーシの中に押し込みます。

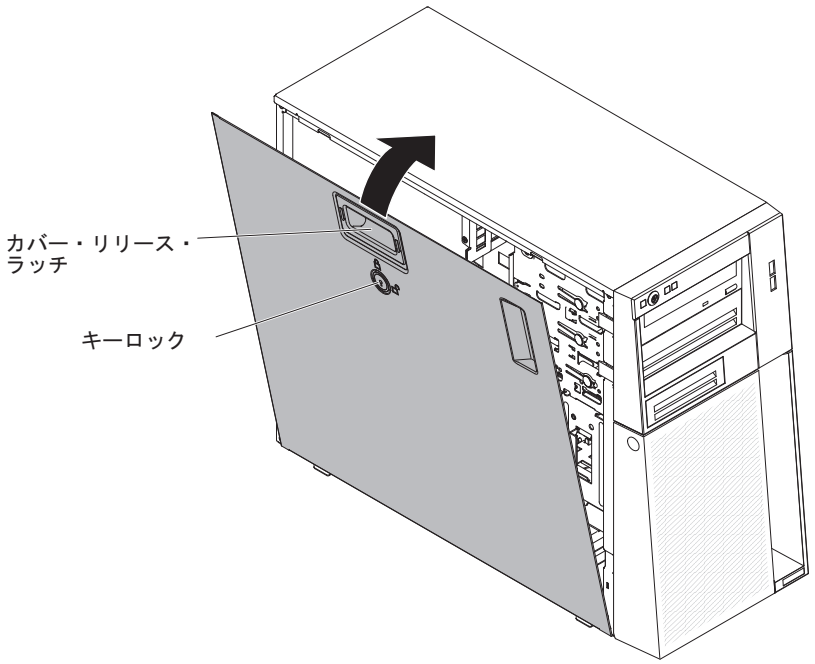


図 81. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのサイド・カバーの取り付け

5. サイド・カバーをロックします。
6. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

エア・バッフルの取り外し

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

エア・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (27 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. エア・バッフルの上部をつかみ、エア・バッフルを持ち上げてサーバーから取り外します。

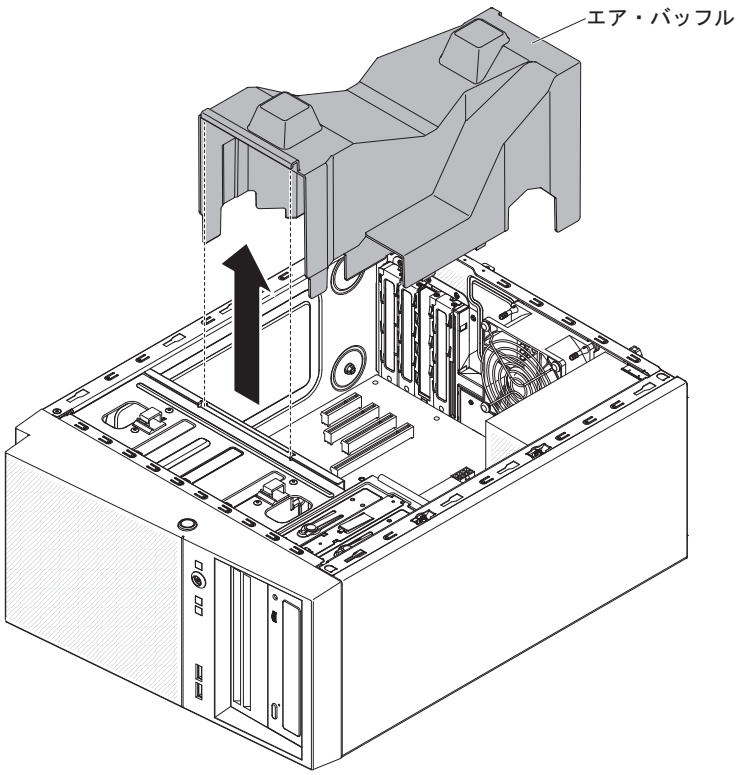


図 82. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのエア・バッフルの取り外し

重要: 適切な冷却と通気を確保するために、サーバーの電源を入れる前に、エア・バッフルを再取り付けし、すべてのケーブルが邪魔になっていないことを確認してください。エア・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

6. エア・バッフルの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

エア・バッフルの交換

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにエア・バッフルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. エア・バッフルのタブをシャーシのスロットと位置合わせします。
3. エア・バッフルを下げて、サーバーに差し込みます。

   重要:

   - ケーブルがエア・バッフルの取り付けの妨げになる場合があるため、マイクロプロセッサーの電源ケーブルの配線経路をメモしておきます。

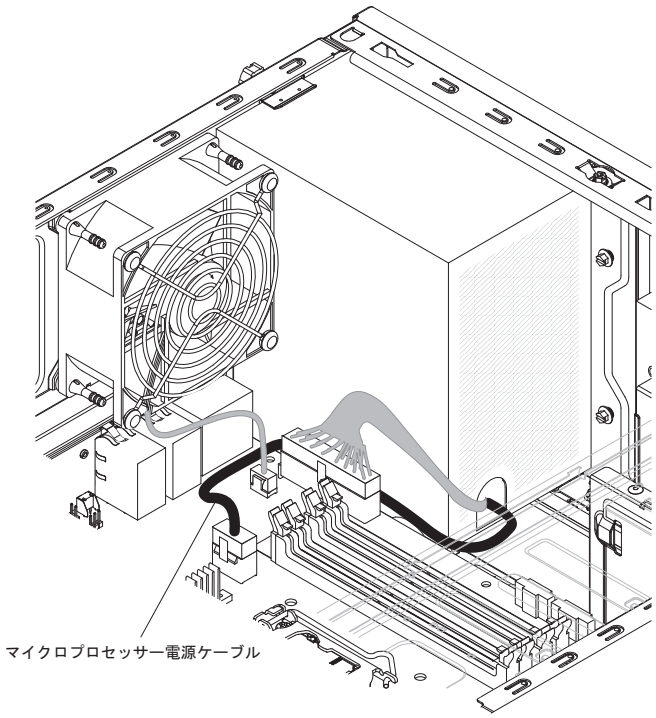


図 83. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのエア・バッフル取り付け時におけるマイクロプロセッサー電源ケーブルの配線

- エア・バッフルのタブがシャーシの穴に挿入されていること、および引っ掛かったり挟まれたりしているケーブルがないことを確認します。
- 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エア・バッフルを再度取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。エア・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

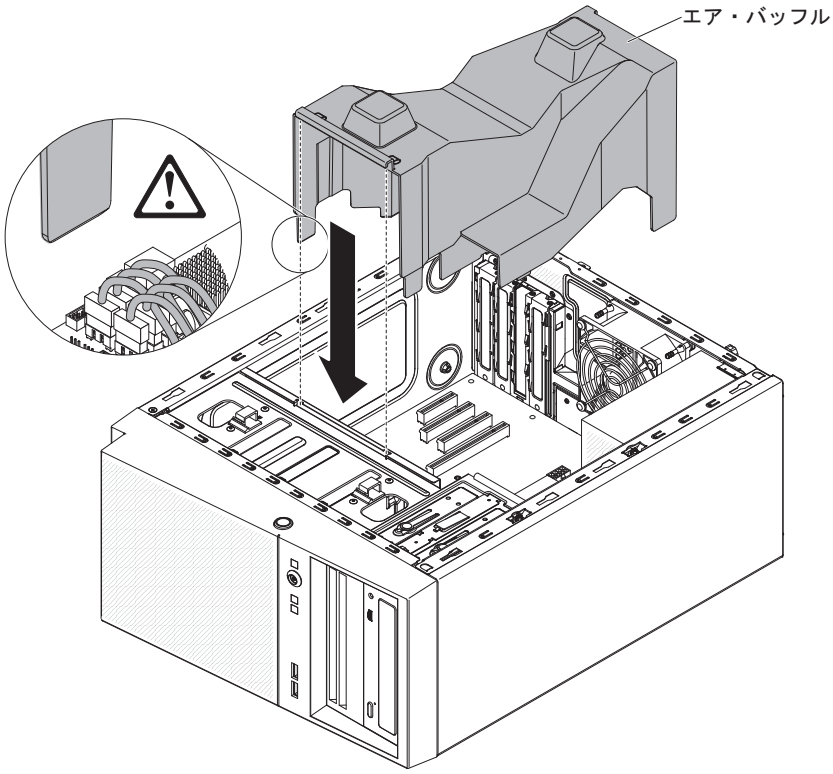


図 84. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのエア・バッフルの取り付け

4. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
5. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ベゼルの取り外し

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

ベイ 3 から 6 のドライブなどの、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの一部のデバイスについて作業を行う場合、デバイスにアクセスするために最初にベゼルを取り外す必要があります。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ベゼルの左端のボタンを押してから、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させて外し、脇に置いておきます。

   注: ベゼルを回転させると、特定の位置でシャーシから自動的に外れる場合があります。

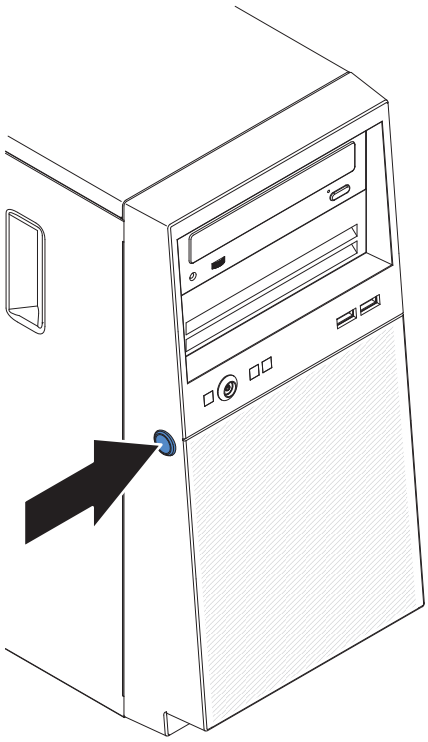


図 85. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのベゼルの取り外し (1)

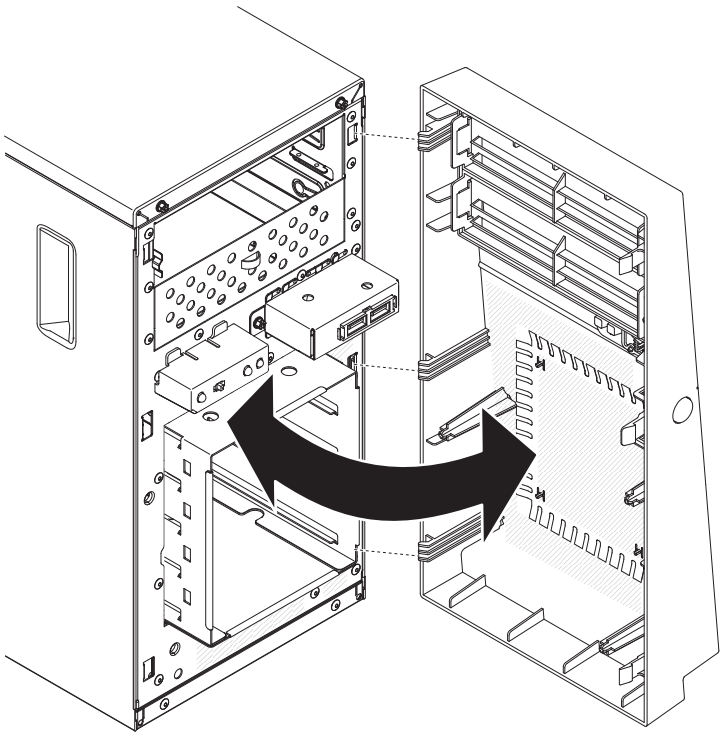


図 86. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのベゼルの取り外し (2)

3. ベゼルに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

ベゼルの交換

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにベゼルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ベゼル上の 3 つのタブをサーバー前面の対応する穴に挿入します。
3. 所定の位置にしっかりロックされるまで、ベゼルをサーバー側に回転させます。

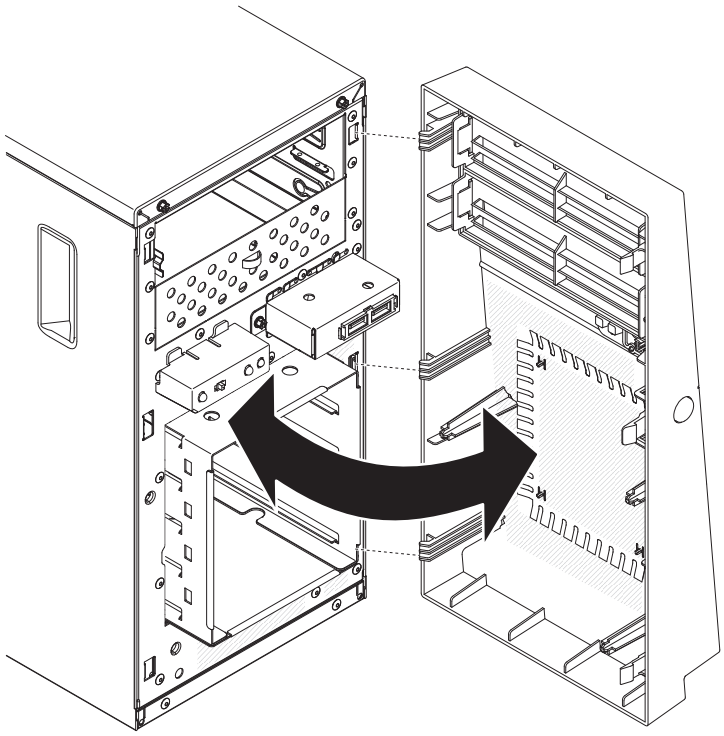


図 87. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのベゼルの取り付け

4. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

下段ベゼルの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのハード・ディスクにアクセスするには、まず下段ベゼルを取り外す必要があります。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 非ホット・スワップ・コンポーネントを交換する場合は、サーバーと接続装置すべての電源をオフにして、すべての電源コードと外部ケーブルをサーバーから切り離します。
3. 下段ベゼルの右側にある青いリリース・ボタンを押して、下段ベゼルを下方に回転させ、シャーシから外します。

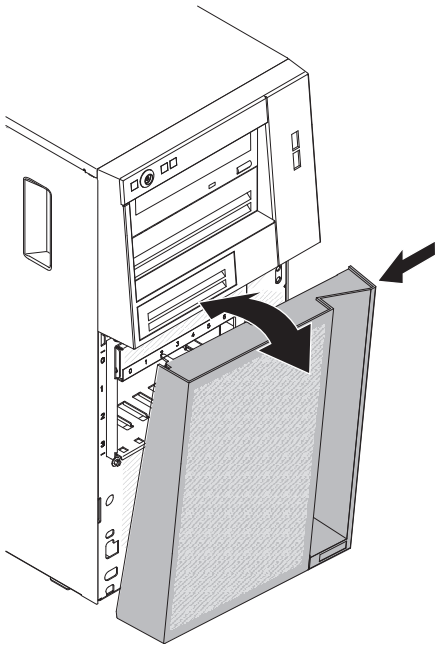


図 88. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの下段ベゼルの取り外し

4. 下段ベゼルに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

下段ベゼルの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに下段ベゼルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 下段ベゼルの底部にある 2 つのタブを、シャーシ前面にある対応する穴に挿入します。

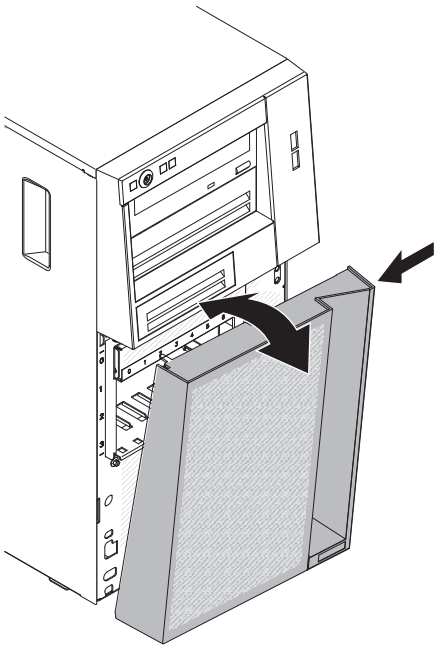


図 89. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの下段ベゼルの取り付け

3. 下段ベゼルの上部をシャーシ方向に回転させます。次に下段ベゼルの右側にある青色のリリース・タブを押して、下段ベゼルが所定の位置にしっかりロックされるまで、完全に閉じます。
4. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

上段ベゼルの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの DVD ドライブまたはテープ・ドライブにアクセスするには、まず上段ベゼルを取り外して、デバイスにアクセスする必要があります。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデルの上段ベゼルを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 非ホット・スワップ・コンポーネントを交換する場合は、サーバーと接続装置すべての電源をオフにして、すべての電源コードと外部ケーブルをサーバーから切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (45 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルの左側にある 2 つのベゼル・クリップを慎重に引き出し、上段ベゼルをサーバーの右側に向けて回転させて、右側にある 2 つのタブをシャーシから外します。

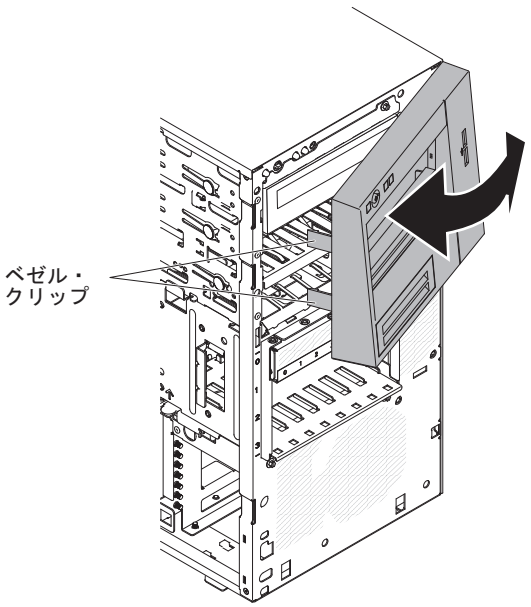


図 90. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの下段ベゼルの取り外し

6. 上段ベゼルに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

上段ベゼルの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに上段ベゼルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 上段ベゼルの右側にある 2 つのタブを、シャーシの右側にある対応する穴に挿入します。

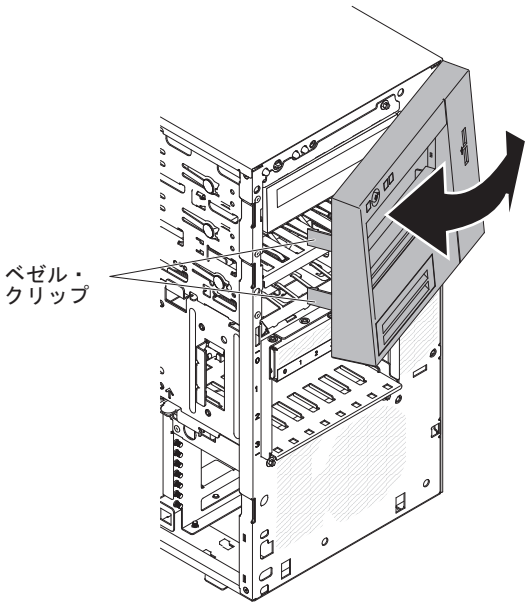


図 91. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの上段ベゼルの取り付け

3. シャーシの左側の対応する凹みにベゼル・クリップの位置が合うまで、上段ベゼルをシャーシの左側方向に回転させて、カチッと音がするまではめ込みます。
4. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (215 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
5. 下段ベゼルを取り外します (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
6. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ハード・ディスク・ケージの取り外し

ハード・ディスク・ケージを取り外すには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルのハード・ディスク・ケージを取り外すには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (43 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
7. シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外します (245 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
8. シンプル・スワップ・バックプレートを取り外します (263 ページの『シンプル・スワップ・バックプレートの取り外し』を参照)。
9. ドライブ・ケージのリリース・ラッチを押したままにします。

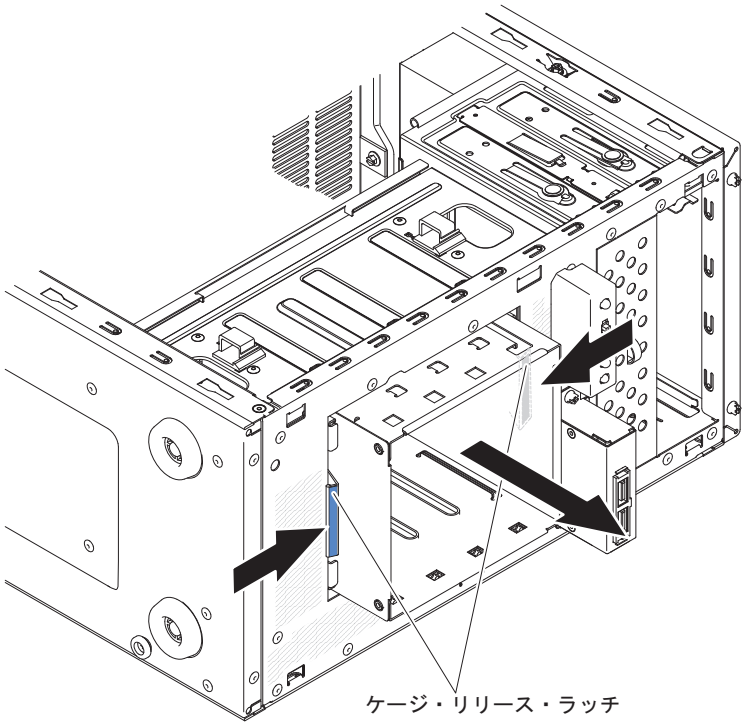


図 92. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのハード・ディスク・ケージの取り外し

10. ハード・ディスクのドライブ・ケージを、シャーシの開口部から慎重に引き出します。
11. ドライブ・ケージに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのハード・ディスク・ケージを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (45 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. ハード・ディスク・ケージに取り付けられているホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスクを取り外します (249 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
6. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

7. ハード・ディスク・ファン・ダクトを取り外します (252 ページの『ハード・ディスク・ファン・ダクトの取り外し』を参照)。
8. ケーブル・クリップからハード・ディスク・ケーブルを取り外します。
9. ドライブ・ケージのリリース・タブを押しながら、ケージ上部の保持タブが所定の位置にロックされるまで、ドライブ・ケージを回転させてシャーシから外に出します。

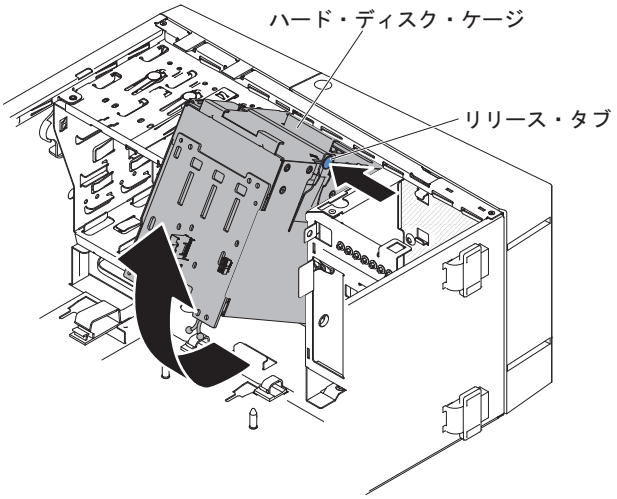


図 93. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでハード・ディスク・ケージを回転させてシャーシから取り出す

10. 電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルをハード・ディスク・バックプレーンから切り離します (配線について詳しくは、 273 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し』を参照)。
11. 図に示すようにねじを取り外します。

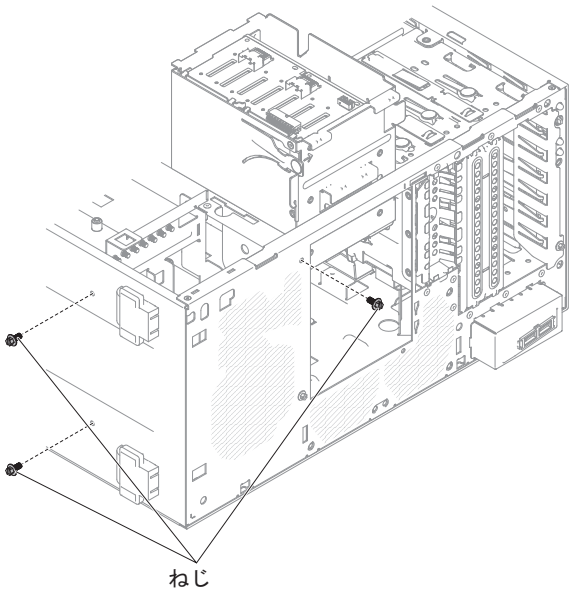


図 94. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのハード・ディスク・ケージねじの取り外し

12. ハード・ディスク・ケージを持ち上げてシャーシから取り外します。

    注: ハード・ディスク・ケージをサーバーから取り外すには、ハード・ディスク・ケージをわずかにねじるように回さなければならない場合があります。

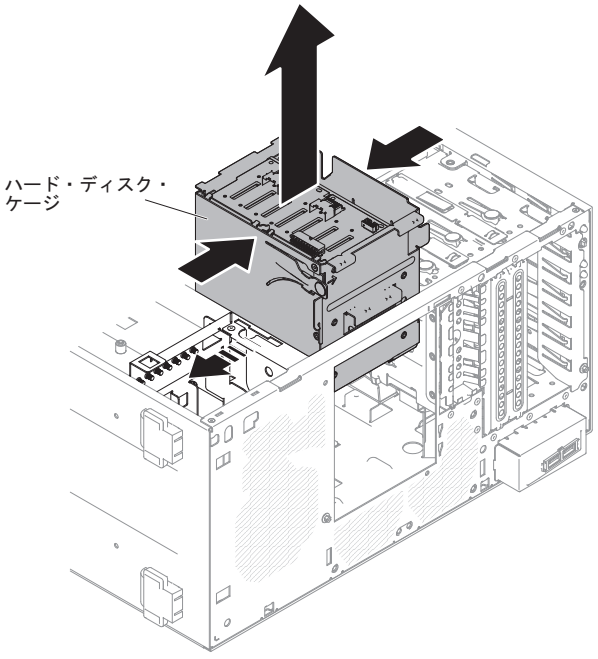


図 95. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのハード・ディスク・ケージの取り外し

ハード・ディスク・ケージの交換

ハード・ディスク・ケージを交換するには、以下の情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルにハード・ディスク・ケージを取り付けるには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ハード・ディスクのドライブ・ケージを、リリース・ラッチがカチッと音がして所定の位置に収まるまで押し込みます。

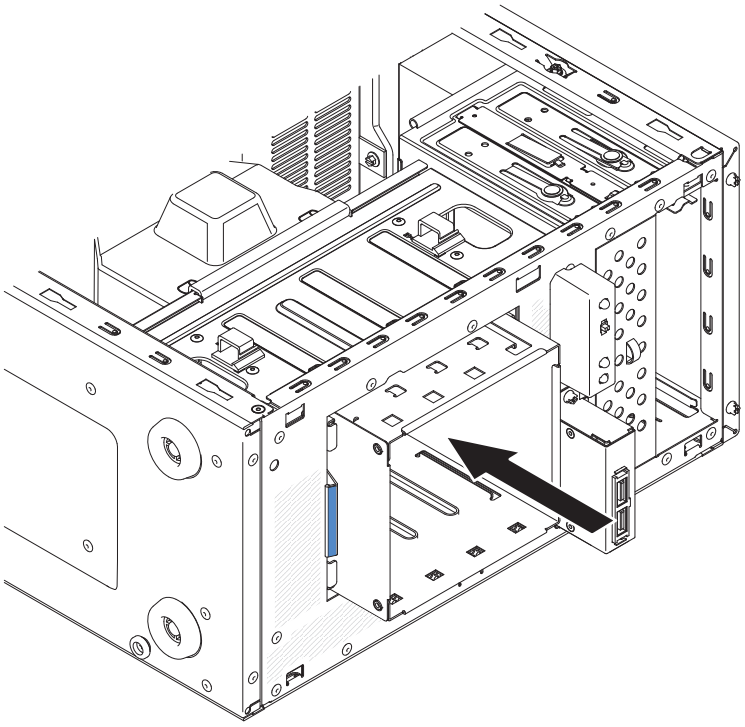


図 96. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのハード・ディスク・ケージの取り付け

注: バックプレートがディスク・ドライブ・ケージに既に取り付けられていることを確認します (265 ページの『シンプル・スワップ・バックプレートの交換』を参照)。

3. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
4. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
5. サーバーを元どおり垂直に立てます。
6. ベゼルを取り付けます (213 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
7. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにハード・ディスク・ケージを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ハード・ディスク・ケージを下げて、シャーシに差し込みます。

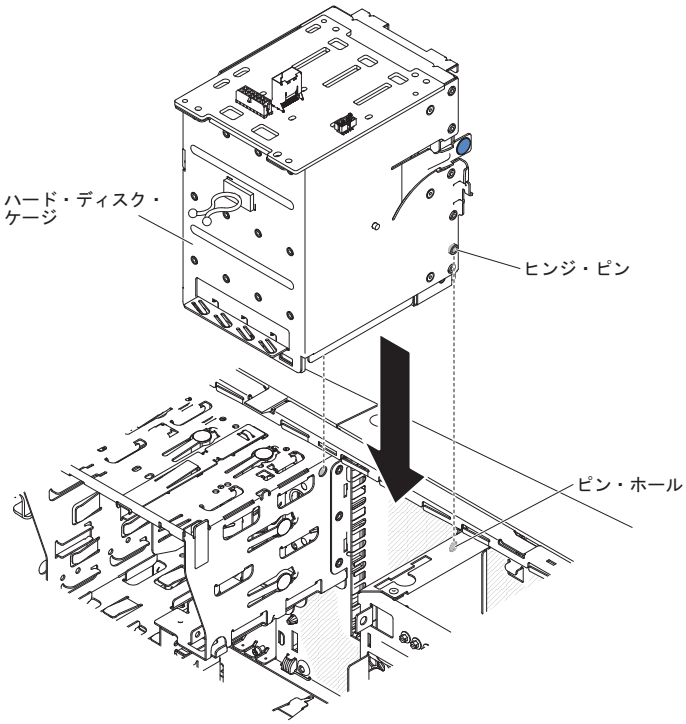


図 97. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのハード・ディスク・ケージの取り付け

3. ハード・ディスク・ケージをシャーシに固定するねじを取り付けます。

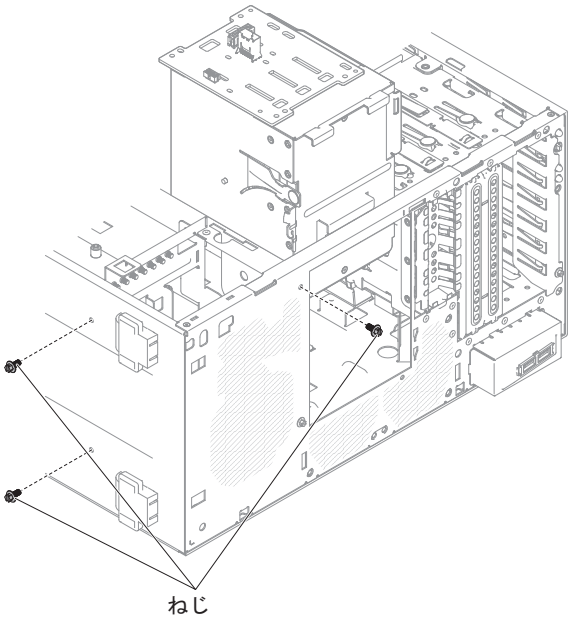


図 98. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのハード・ディスク・ケージねじの取り付け

4. 電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルをハード・ディスク・バックプレーンに接続します (配線について詳しくは、 276 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの交換』を参照)。
5. ケージ側面の保持タブを押しながら、ドライブ・ケージが所定の位置にロックされるまで、ドライブ・ケージを回転させてシャーシ内に入れます。

   注: 保持タブを押したままにするには、ケージを少し持ち上げる必要がある場合があります。

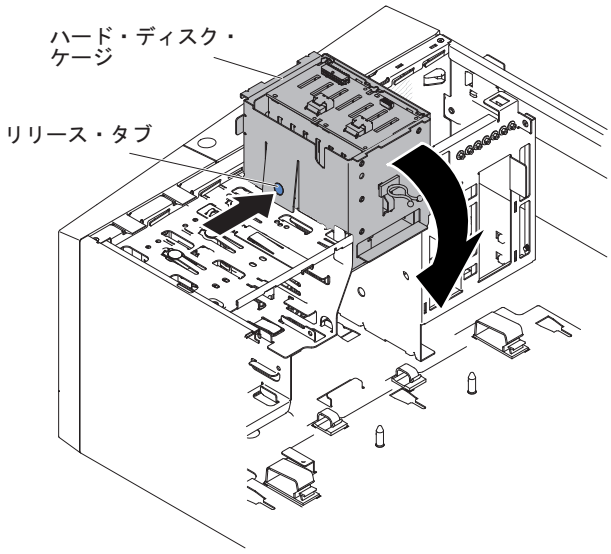


図 99. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでハード・ディスク・ケージを回転させてシャーシ内に取り付ける

6. ハード・ディスク・ファン・ダクトをハード・ディスク・ケージに取り付けます (255 ページの『ハード・ディスク・ファン・ダクトの交換』を参照)。
7. サーバーを元どおり垂直に立てます。
8. ハード・ディスク・ケージから取り外したホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けます (250 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
9. 下段ベゼルを取り付けます (215 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
10. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
11. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

5U サーバー・モデルからのバッテリー・ホルダーの取り外し

バッテリー・ホルダーを 5U サーバー・モデルから取り外すには、この情報を使用します。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルからバッテリー・ホルダーを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. ねじを外して、バッテリー・ホルダーとブラケットをシャーシから取り外します。

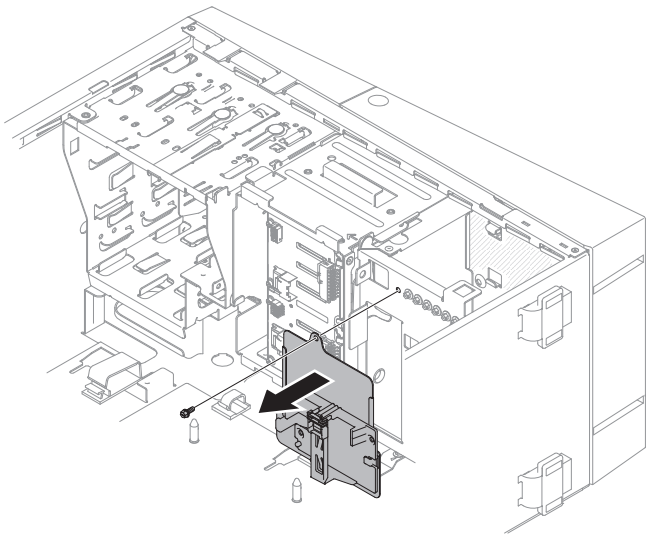


図 100. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでのシャーシからのバッテリー・ホルダーとブラケットの取り外し

6. バッテリー・ホルダーをスロットからスライドさせてブラケットから取り外します。

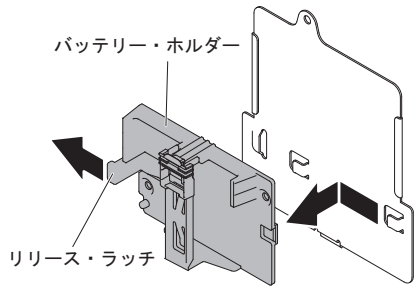


図 101. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでのブラケットからのバッテリー・ホルダーの取り外し

7. バッテリー・ホルダーからラッチ保持具を取り外します。

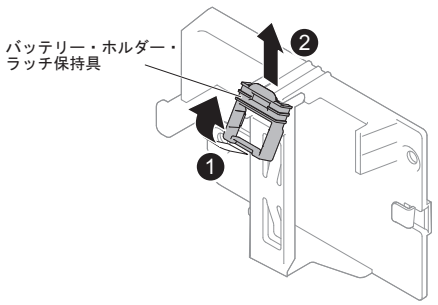


図 102. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでのバッテリー・ホルダーからのラッチ保持具の取り外し

8. バッテリーに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

5U サーバー・モデルでのバッテリー・ホルダーの交換

5U サーバー・モデルのバッテリー・ホルダーを交換するには、この情報を使用します。

重要: システムの冷却と空気の流れを適正に保つために、サーバーのサイド・カバーを取り外したまま 30 分間を超えてサーバーを稼働させないでください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにバッテリー・ホルダーを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ラッチ保持具をバッテリー・ホルダーに接続します。

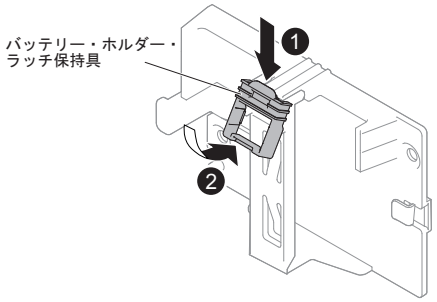


図 103. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでのバッテリー・ホルダーへのラッチ保持具の接続

3. バッテリー・ホルダーをブラケットに挿入します。

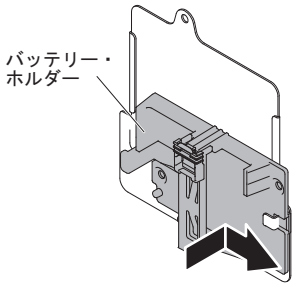


図 104. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでのブラケットへのバッテリー・ホルダーの取り付け

4. ねじを締め、バッテリー・ホルダーとブラケットをシャーシに固定します。

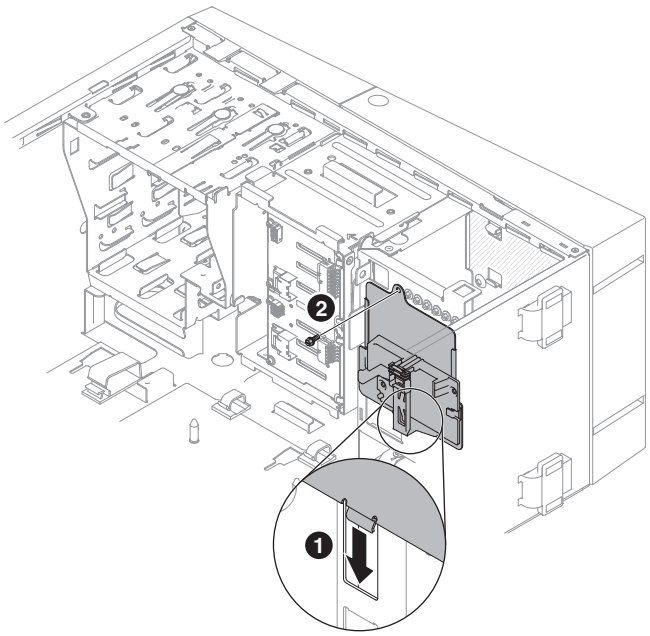


図 105. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでのシャーシへのバッテリー・ホルダーとブラケットの取り付け

5. サーバーを元どおり垂直に立てます。
6. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
7. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

Tier 1 CRU の取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内の Tier 1 CRU の取り外しと交換について説明します。

Tier 1 の CRU の交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、お客様がご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

内蔵ドライブの取り外しと取り付け

内蔵ドライブの取り外しと取り付けを行うには、この情報を使用します。

次の図は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの、4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・ドライブ・ベイの位置を示しています。

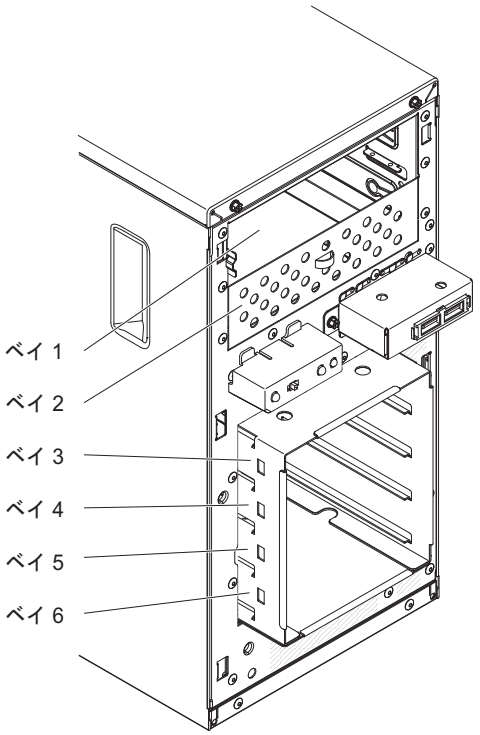


図 106. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの、4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・ドライブ・ベイの位置

次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの、8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブ・ベイの位置を示しています。

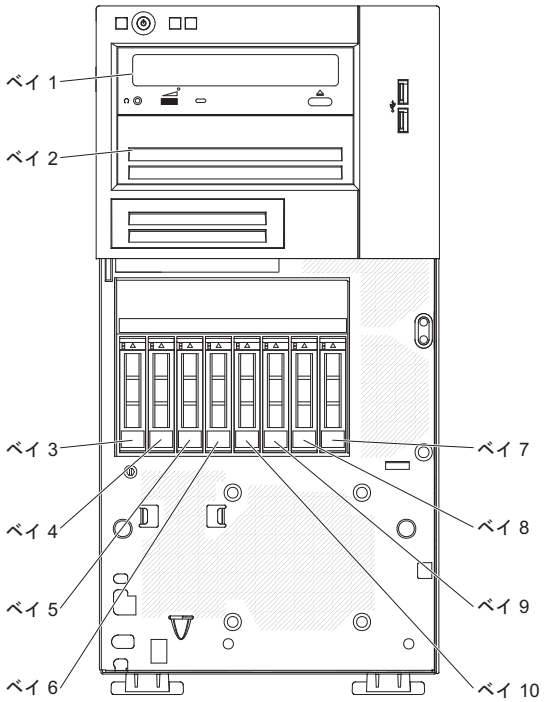


図 107. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの、8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブ・ベイの位置

次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの、4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブ・ベイの位置を示しています。

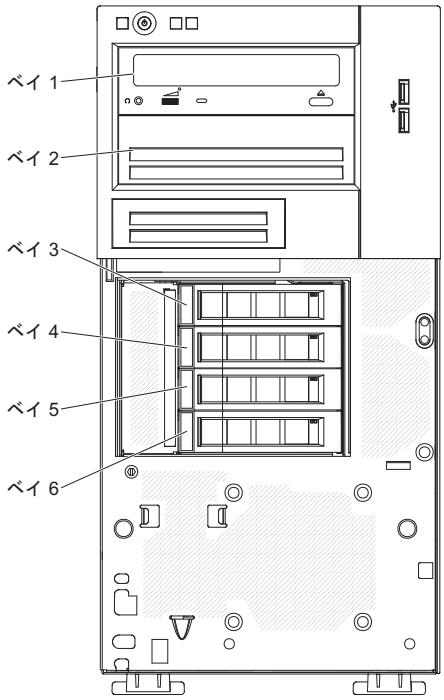


図 108. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの、4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブ・ベイの位置

以下の注意書きは、このサーバーがサポートしているドライブのタイプ、およびドライブを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。
- ドライブに付属の説明を参照して、ドライブにジャンパーまたはスイッチの設定が必要かどうかを確認します。 SATA デバイスを取り付けようとしている場合、必ず、そのデバイス用の SATA ID を設定します。
- オプションの外付けテープ・ドライブ、DVD-ROM ドライブは、取り外し可能メディア・ドライブの例です。取り外し可能メディア・ドライブは、ベイ 1 および 2 にのみ取り付けることができます。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイおよび PCI スロットをカバーするか、使用することによって保護されます。ドライブまたは PCI アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合のために、ベイあるいは PCI アダプター・スロット・カバーから外した、EMC シールドおよびフィラー・パネルを保管しておきます。
- サーバーでサポートされているオプションの完全なリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us を参照してください。

DVD ドライブの取り外し:

DVD ドライブを取り外すには、以下の情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの DVD ドライブを取り外すには、以下の手順を実行します。 ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (43 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. 取り外すドライブから電源ケーブルを取り外してから、信号ケーブルを取り外します。
7. サーバーを元どおり垂直に立てます。
8. ベイの側面にある青色のリリース・ボタンを押したまま、ドライブを解放します。その後、サーバーの前面からドライブを引き出します。

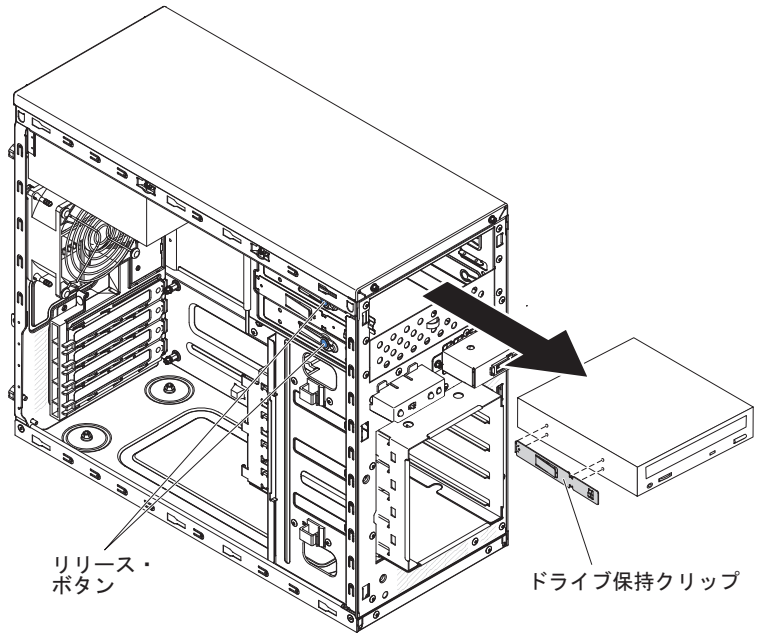
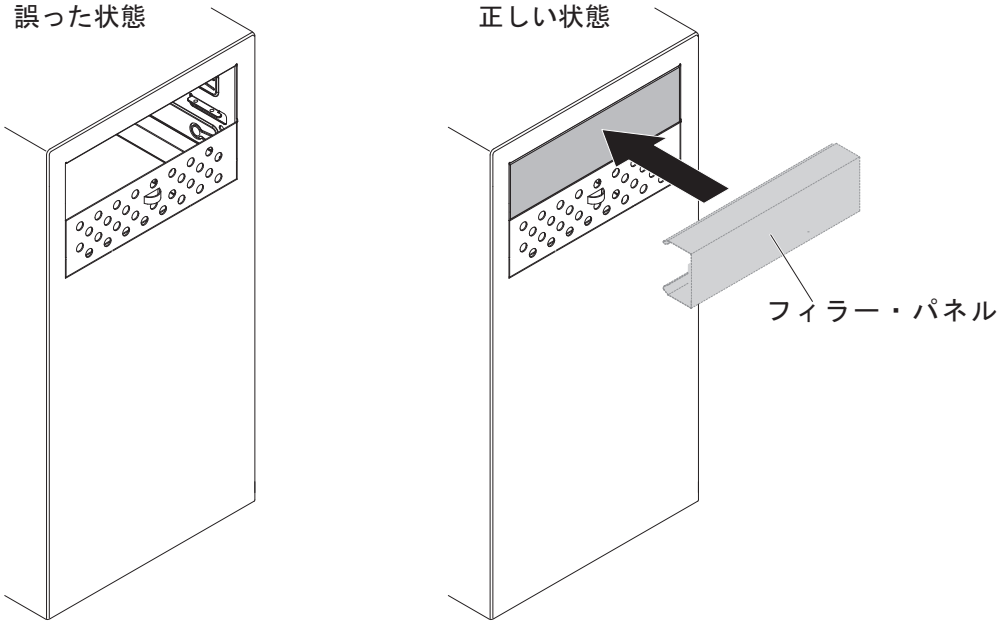


図 109. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの DVD ドライブの取り外し

9. ドライブの側面からドライブ保持クリップを取り外します。クリップは、交換用ドライブを取り付けるときに使用するために保管しておきます。
10. ドライブに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

重要: システムの信頼性と電磁適合性 (EMC) を確保するために、テープ・ドライブも CD/DVD ドライブも取り付けられていない場合は、必ずフィラー・パネル (部品番号 00KC799) をドライブ・ベイに取り付けてください。「



ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの DVD ドライブを取り外すには、以下の手順を実行します。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (45 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルを取り外します (46 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。
6. 取り外すドライブから、電源ケーブルと信号ケーブルを取り外します。
7. ベイの側面にある青色のリリース・ボタンを押したまま、ドライブを解放します。その後、サーバーの前面からドライブを引き出します。

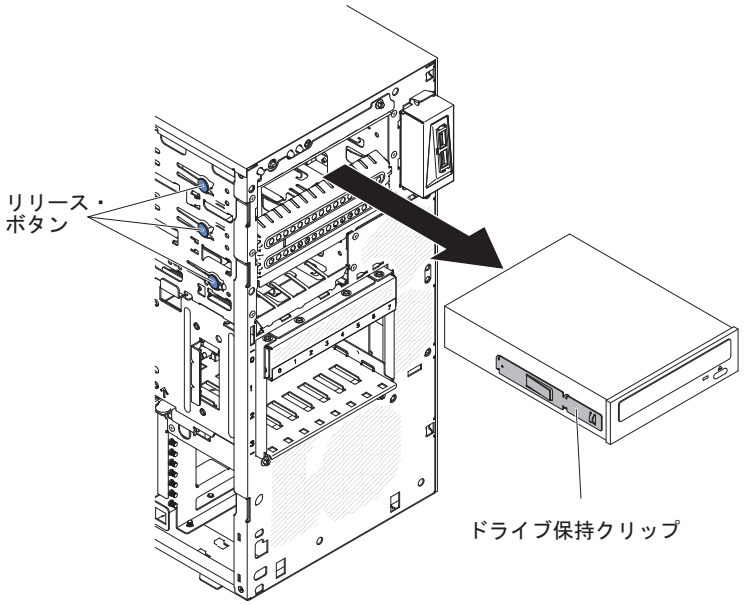
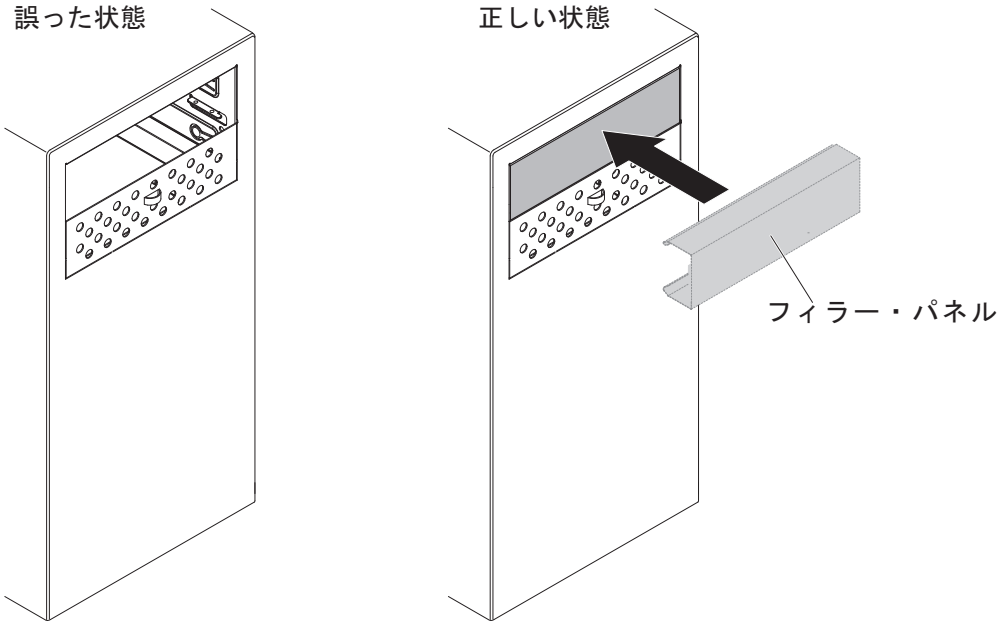


図 110. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの DVD ドライブの取り外し

8. ドライブの側面からドライブ保持クリップを取り外します。クリップは、交換用ドライブを取り付けるときに使用するために保管しておきます。
9. ドライブに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

重要: システムの信頼性と電磁適合性 (EMC) を確保するために、テープ・ドライブも CD/DVD ドライブも取り付けられていない場合は、必ずフィラー・パネル (部品番号 00KC799) をドライブ・ベイに取り付けてください。「



DVD ドライブの交換:

DVD ドライブを交換するには、この情報を使用します。

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- すべてのケーブル、および新しいドライブに付属する資料で指定されている他の装置が揃っていることを確認します。
- 新しいドライブに付属の説明を調べて、ドライブにスイッチまたはジャンパーの設定が必要かどうかを確認します。
- 古いドライブの側面に付いていた青色の光学式ドライブ・レールを取り外して、新しいドライブの取り付けに使用できるように用意します。

注: レーザーを含むドライブを取り付ける場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

安全 3

注意:
レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- **カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**

危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。

次のことに注意してください。カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil A Laser de Classe 1

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに DVD ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ジャンパーまたはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

   注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。
3. 新規の DVD ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、DVD ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
4. サーバーを元どおり垂直に立てます。
5. ドライブ保持クリップをベイ 1 またはベイ 2 のドライブ側面から取り外します。ドライブ保持クリップを前へスライドさせてドライブ・ケージを取り外します。次に、ドライブ保持クリップをドライブ側面にあるねじ穴にカチッと音がするまではめ込みます。
6. ドライブをベイ内に押し込みます。

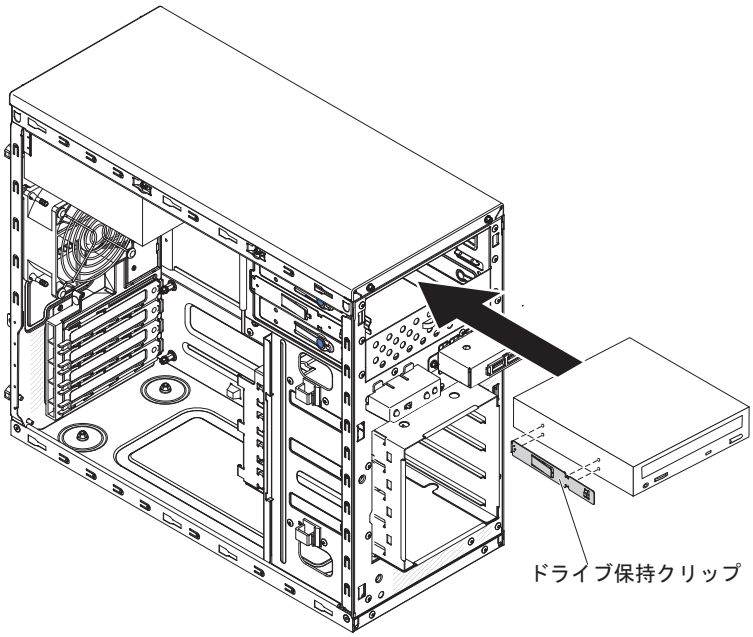


図 111. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの DVD ドライブの取り付け

7. サーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
8. 電源ケーブル (電源コネクター P9) および信号ケーブルをドライブに接続します。

   注: 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサーとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。
9. 他に取り付けるか取り外すドライブがある場合は、この時点でそれを行います。
10. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
11. ベゼルを取り付けます (213 ページの『ベゼルの交換』を参照)。

    注: 取り付け済みドライブをブロックしているフィラーがあれば、それを取り外します。
12. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに DVD ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ジャンパーまたはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。

3. 新規の DVD ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、DVD ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
4. 前のドライブから取り外したドライブの保持クリップを新しいドライブの側面に取り付けます。
5. ドライブをベイ内に押し込みます。

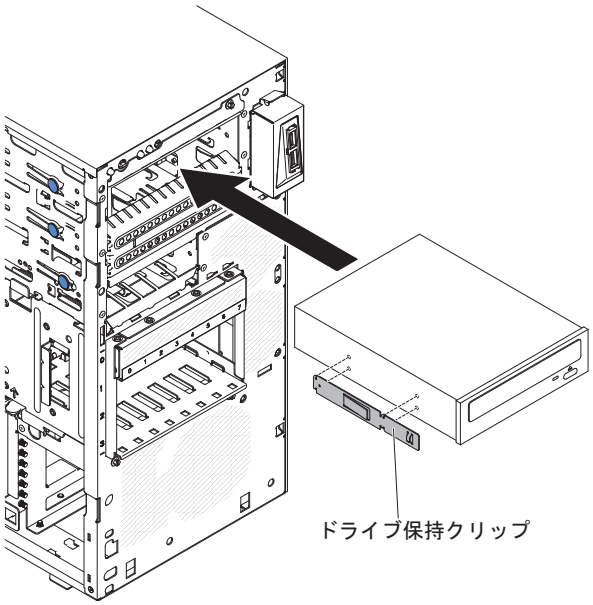


図 112. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの DVD ドライブの取り付け

6. 電源ケーブルおよび信号ケーブルをドライブに接続します。

   注: 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサーとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。
7. 上段ベゼルを取り付けます (217 ページの『上段ベゼルの交換』を参照)。
8. 下段ベゼルを取り付けます (215 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
9. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
10. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

テープ・ドライブの取り外し:

テープ・ドライブを取り外すには、以下の情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの テープ・ドライブを取り外すには、以下の手順を実行します。 ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (43 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. 取り外すドライブから電源ケーブルを取り外してから、信号ケーブルを取り外します。
7. サーバーを元どおり垂直に立てます。
8. ベイの側面にある青色のリリース・ボタンを押したまま、ドライブを解放します。その後、サーバーの前面からドライブを引き出します。

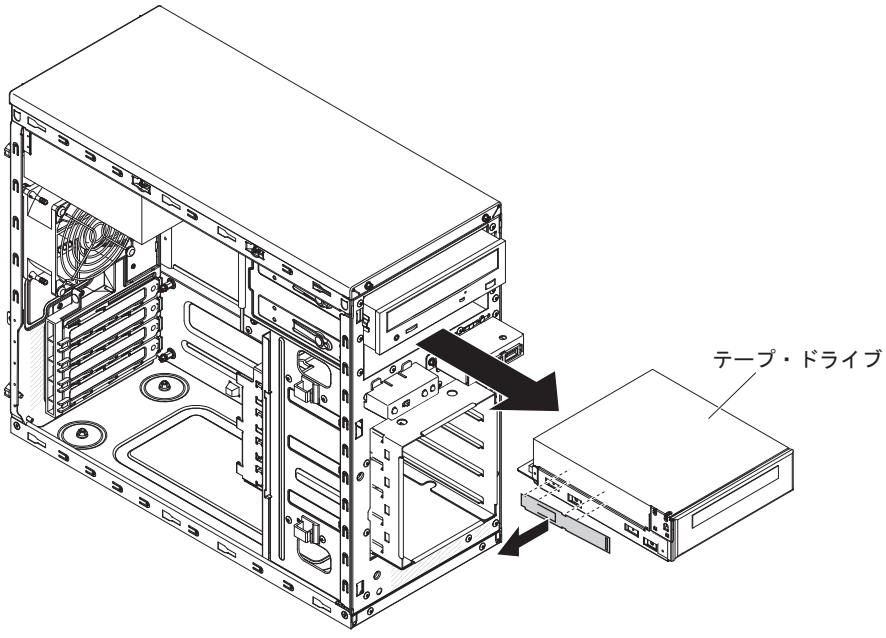
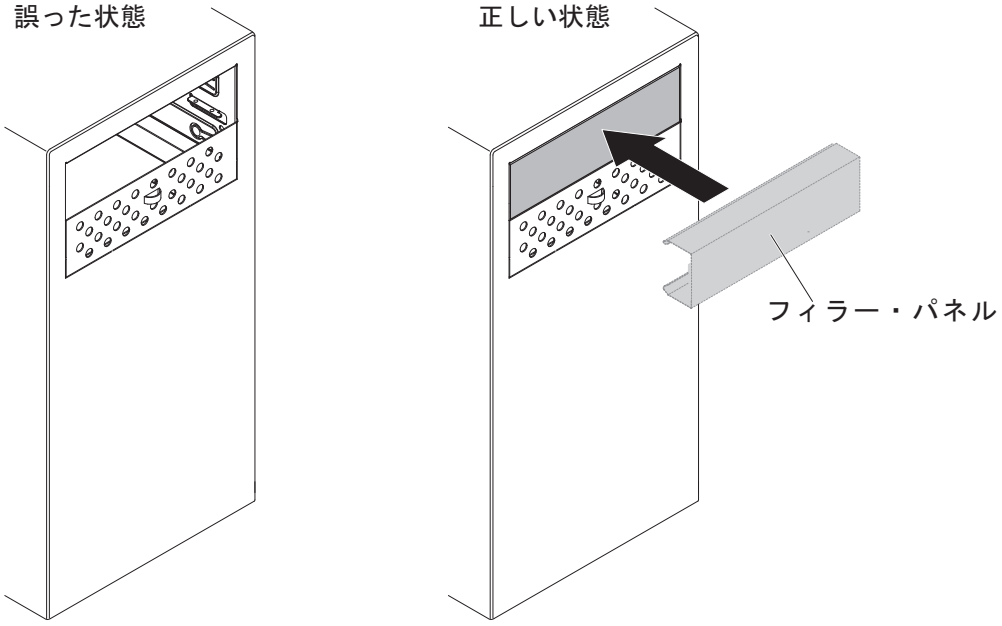


図 113. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのテープ・ドライブの取り外し

9. ドライブの側面からドライブ保持クリップを取り外します。クリップは、交換用ドライブを取り付けるときに使用するために保管しておきます。
10. ドライブに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

重要: システムの信頼性と電磁適合性 (EMC) を確保するために、テープ・ドライブも CD/DVD ドライブも取り付けられていない場合は、必ずフィラー・パネル (部品番号 00KC799) をドライブ・ベイに取り付けてください。「



ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのテープ・ドライブを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (45 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルを取り外します (46 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。
6. 取り外すドライブから、電源ケーブルと信号ケーブルを取り外します。
7. ベイの側面にある青色のリリース・ボタンを押したまま、ドライブを解放します。その後、サーバーの前面からドライブを引き出します。
8. ドライブの側面からドライブ保持クリップを取り外します。クリップは、交換用ドライブを取り付けるときに使用するために保管しておきます。

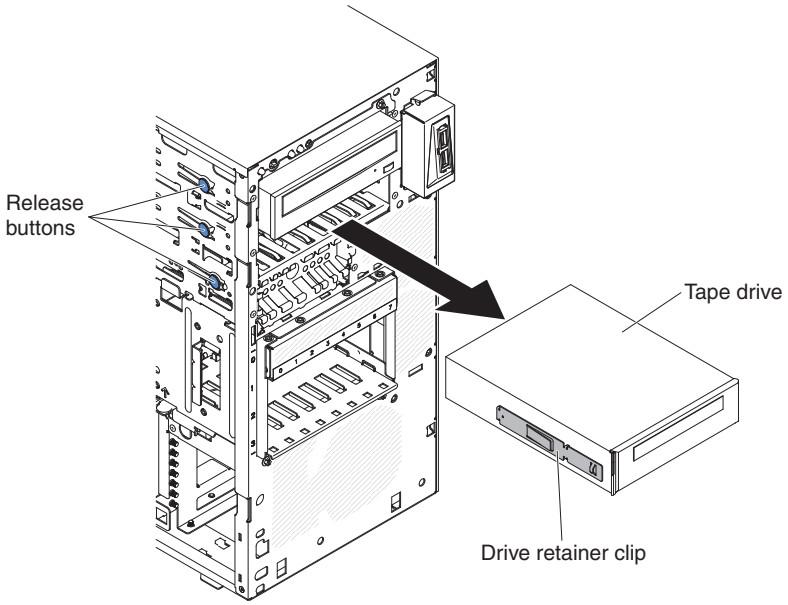
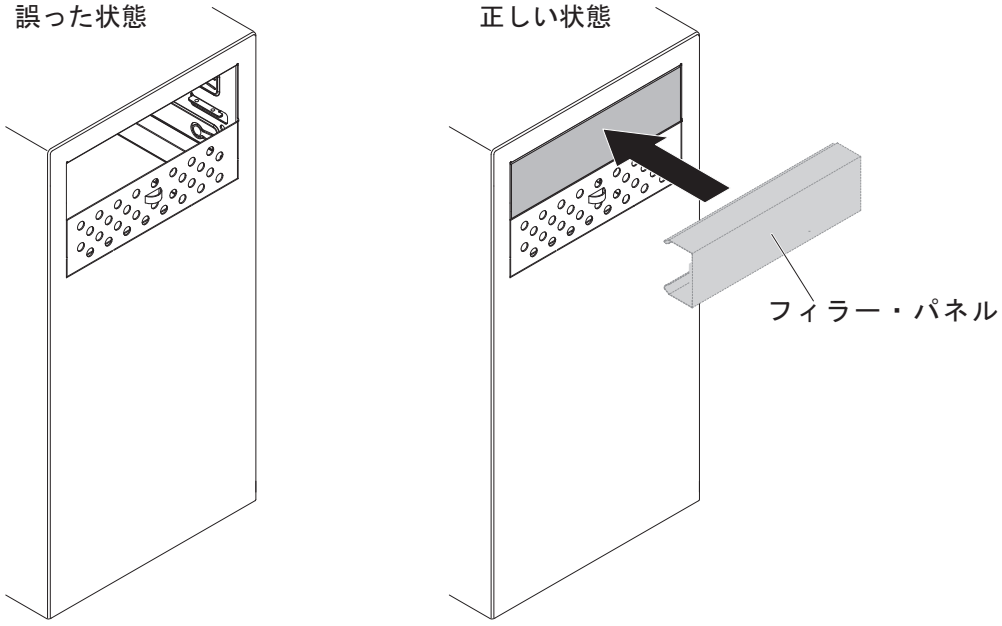


図 114. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのテープ・ドライブの取り外し

9. ドライブに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

重要: システムの信頼性と電磁適合性 (EMC) を確保するために、テープ・ドライブも CD/DVD ドライブも取り付けられていない場合は、必ずフィラー・パネル (部品番号 00KC799) をドライブ・ベイに取り付けてください。「



テープ・ドライブの交換:

テープ・ドライブを交換するには、この情報を使用します。

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- 新規ドライブに付属の資料で指定されているすべてのケーブルおよび他の装置が準備されている。
- 新規ドライブに付属の手順を確認し、ドライブのスイッチあるいはジャンパーを設定する必要があるかを判別している。
- 古いドライブの側面からドライブ保持クリップを取り外し、新規ドライブの取り付けに使用できるようにしている。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにテープ・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
3. ドライブに付属の資料に従って、ドライブ上のジャンパーまたはスイッチを設定します。
4. サーバーを元どおり垂直に立てます。
5. フィラーがドライブ・ケージに取り付けられている場合は、それを取り外します。
6. ドライブ保持クリップをベイ 1 またはベイ 2 のドライブ側面から取り外します。ドライブ保持クリップを前へスライドさせてドライブ・ケージを取り外します。次に、ドライブ保持クリップをドライブ側面にあるねじ穴にカチッと音がするまではめ込みます。
7. ドライブをベイ内に押し込みます。

   注: テープ・ドライブは、ベイ 1 または 2 にのみ取り付け可能です。

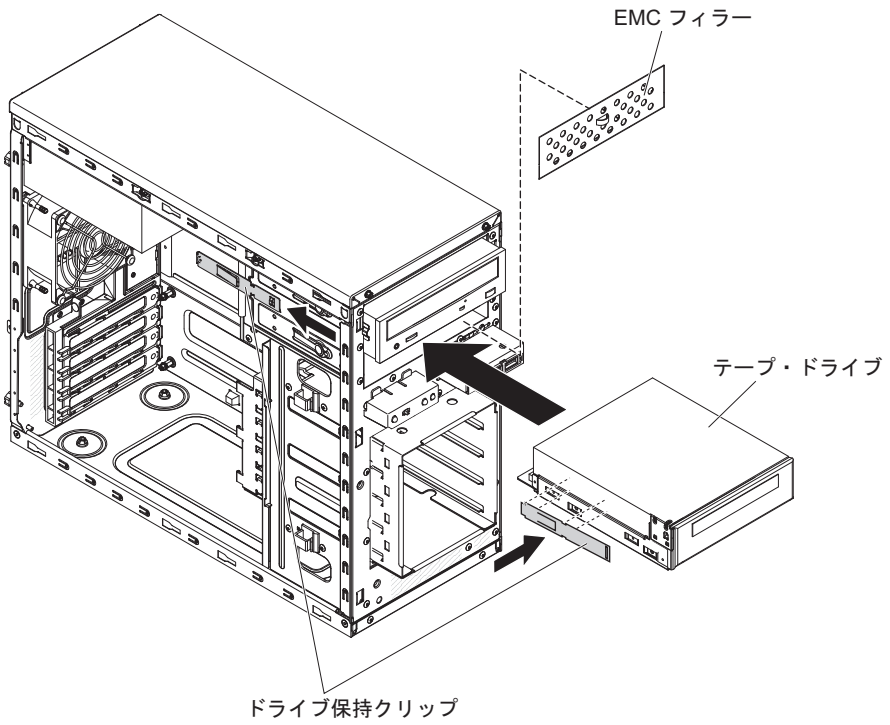


図 115. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのテープ・ドライブの取り付け

8. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
9. 該当する信号ケーブルの一方の端をドライブの背面に接続し、このケーブルの他方の端がシステム・ボード上の該当するコネクターに接続されていることを確認します。
10. 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサーとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。
11. 他に取り付けるか取り外すドライブがある場合は、この時点でそれを行います。
12. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
13. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
14. サーバーを元どおり垂直に立てます。
15. ベゼルを取り付けます (213 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
16. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

重要: テープ・ドライブを取り付けない場合は、必ず、フィラーを元どおりベイに再取り付けしてください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにテープ・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
3. ドライブに付属の資料に従って、ドライブ上のジャンパーまたはスイッチを設定します。
4. フィラーがドライブ・ケージに取り付けられている場合は、それを取り外します。
5. 前のドライブから取り外したドライブ保持クリップを新しいドライブの側面にあるねじ穴に取り付けます。
6. ドライブをベイ内に押し込みます。

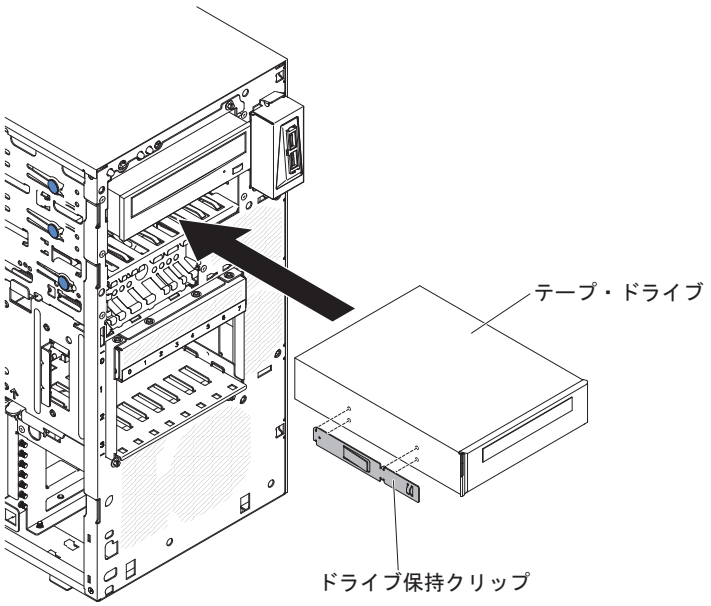


図 116. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのテープ・ドライブの取り付け

7. 該当する信号ケーブルの一方の端をドライブの背面に接続し、このケーブルの他方の端がシステム・ボード上の該当するコネクターに接続されていることを確認します。
8. 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサーとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。
9. 電源ケーブルをドライブの背面に接続します。このコネクターは一方向にしか差し込めません。
10. 上段ベゼルを取り付けます (217 ページの『上段ベゼルの交換』を参照)。

11. 下段ベゼルを取り付けます (215 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
12. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
13. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し:

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

重要: シンプル・スワップ ハード・ディスクはホット・スワップできません。 シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外しまたは取り付けの前に、サーバーの電源をすべて切ってください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (43 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. 指で黒いドライブ・ハンドルをつかみながら、別の指で青色のリリース・ラッチを右側へスライドさせてドライブを解放し、ハード・ディスクをドライブ・ベイから引き出します。

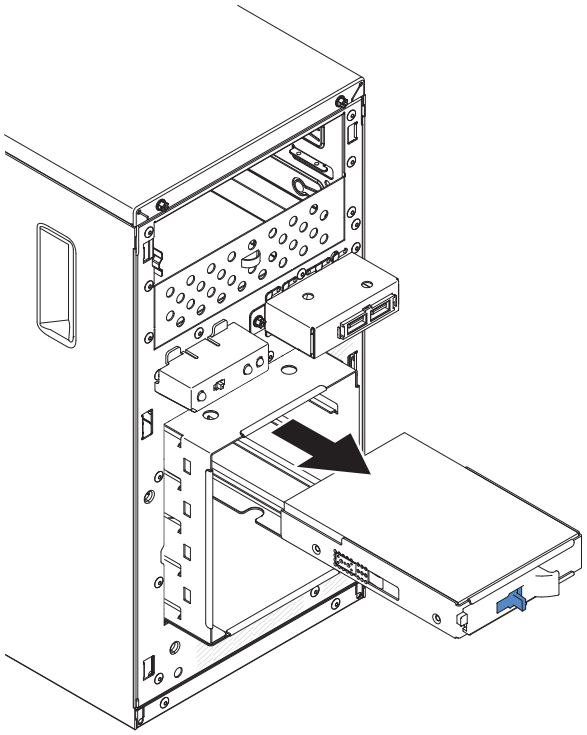


図 117. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

5. ドライブ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換:

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでは、最大 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクがサポートされます。これらのハード・ディスクにはサーバーの前面からアクセスできます。

注: 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでは、3TB 以下のハード・ディスク・オプションのみがサポートされます。

シンプル・スワップ・ドライブの取り外しまたは取り付けを行う場合は、事前にサーバーの電源をすべて切断する必要があります。シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。

上部のベイから開始して下部のベイに向かって (ベイ 3、4、5 の後に 6) ドライブを取り付けます。 次の表は、ハード・ディスクの ID をリストしています。

表 34. シンプル・スワップ・ドライブの ID

ドライブ・ベイ	HDD ID
3	0
4	1

表 34. シンプル・スワップ・ドライブの ID (続き)

ドライブ・ベイ	HDD ID
5	2
6	3

- シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクは、システム・ボード上の SATA 0 から SATA 3 コネクターに以下のように接続されます。
  - システム・ボード終端のケーブル・コネクター 0 は、システム・ボードの SATA 0 コネクターに接続されます。
  - システム・ボード終端のケーブル・コネクター 1 は、システム・ボードの SATA 1 コネクターに接続されます。
  - システム・ボード終端のケーブル・コネクター 2 は、システム・ボードの SATA 2 コネクターに接続されます。
  - システム・ボード終端のケーブル・コネクター 3 は、システム・ボードの SATA 3 コネクターに接続されます。
-
  - ハード・ディスク 0 は、システム・ボードの SATA 0 コネクターに接続されます。
  - ハード・ディスク 1 は、システム・ボードの SATA 1 コネクターに接続されます。
  - ハード・ディスク 2 は、システム・ボードの SATA 2 コネクターに接続されます。
  - ハード・ディスク 3 は、システム・ボードの SATA 3 コネクターに接続されます。

注: RAID モードの場合:

1. uEFI セットアップ・メニューでは:
   - ドライブ 0 は、ハード・ディスク 0 を意味します。
   - ドライブ 1 は、ハード・ディスク 1 を意味します。
   - ドライブ 2 は、ハード・ディスク 2 を意味します。
   - ドライブ 3 は、ハード・ディスク 3 を意味します。
2. MegaRAID Storage Manager ユーティリティーでは:
   - スロット 0 は、ハード・ディスク 0 を意味します。
   - スロット 1 は、ハード・ディスク 1 を意味します。
   - スロット 2 は、ハード・ディスク 2 を意味します。
   - スロット 3 は、ハード・ディスク 3 を意味します。

重要: シンプル・スワップ ハード・ディスクはホット・スワップできません。 シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外しまたは取り付けの前に、サーバーの電源をすべて切ってください。

注: サーバーに ServeRAID アダプターが取り付けられている場合は、SATA 信号ケーブルの他方の端を ServeRAID アダプターに接続してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルにシンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
3. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールに合わせます (最初にドライブのコネクターの端を合わせます)。
4. 黒いドライブ・ハンドルをつかみ、青色のリリース・ラッチを右にスライドさせます。次に、ドライブ・アセンブリーを慎重にドライブ・ベイに差し入れ、止まるまで押し込んで、ラッチを開放します。

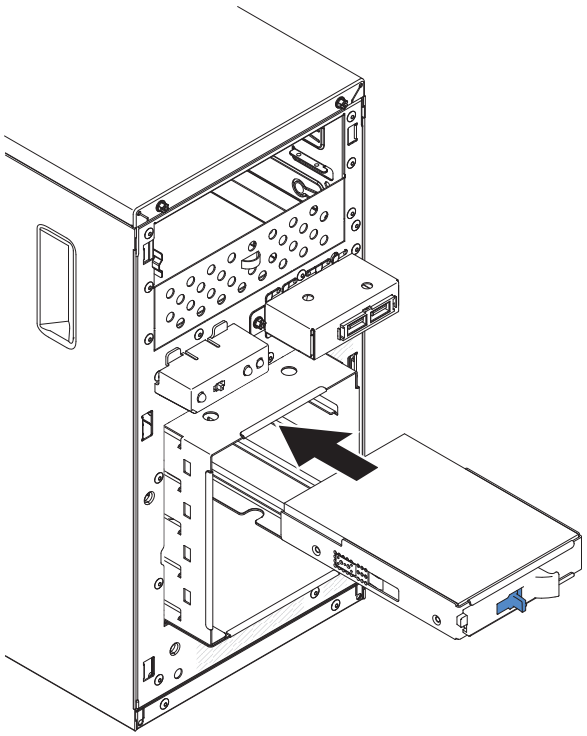


図 118. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシンプル・スワップ ハード・ディスクの取り付け

5. 他に取り付けるか取り外すドライブがある場合は、この時点でそれを行います。
6. ベゼルを取り付けます (213 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
7. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し:

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

重要: システムの冷却を正常に保つため、ドライブ・ベイに 1 台以上のハード・ディスクを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

   注: ホット・スワップ・ドライブ・ベイからホット・スワップ・ドライブを取り外すために、サーバーの電源をオフにする必要はありません。
2. 下段ベゼルを取り外します (45 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
3. 取り外すドライブ・アセンブリーのドライブ・トレイ・ハンドルを回転させて、オープン位置にします。

   次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルからの 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外しを示しています。

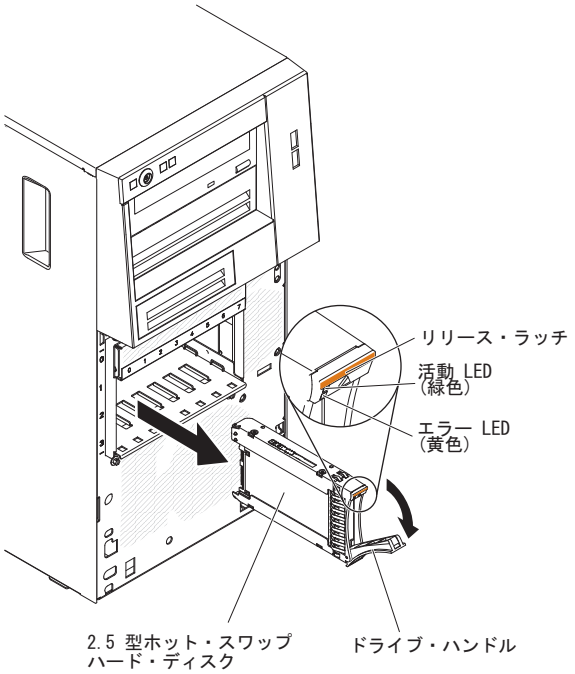


図 119. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルからの 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外しを示しています。

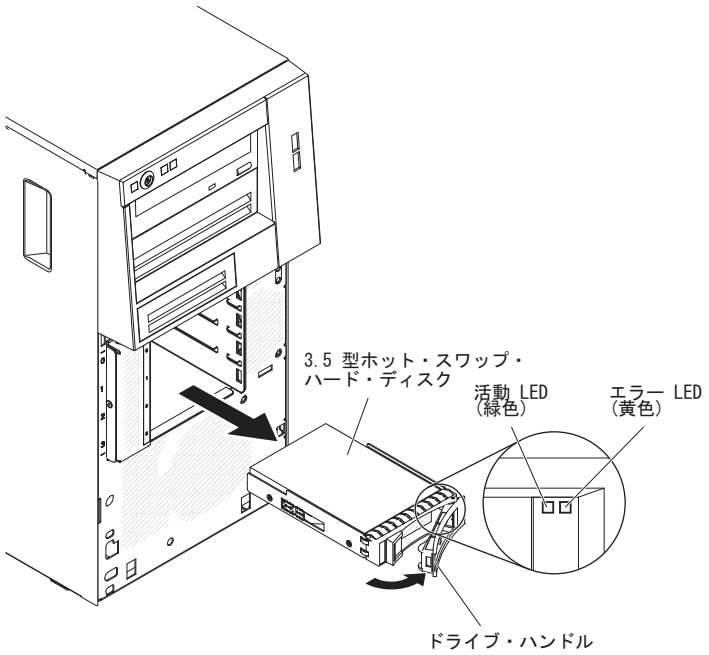


図 120. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

4. 取り外すドライブ・アセンブリーのハンドルを持って、アセンブリーをベイから引き出します。
5. ドライブ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換:

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- ホット・スワップ・ドライブは、すべて SAS ハード・ディスク、またはすべて SATA ハード・ディスクのどちらかにする必要があります。2 つのタイプを組み合わせることはできません。
- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、ドライブ・ベイに 1 台以上のハード・ディスクを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。
- ホット・スワップ・ドライブをホット・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付けを示しています。

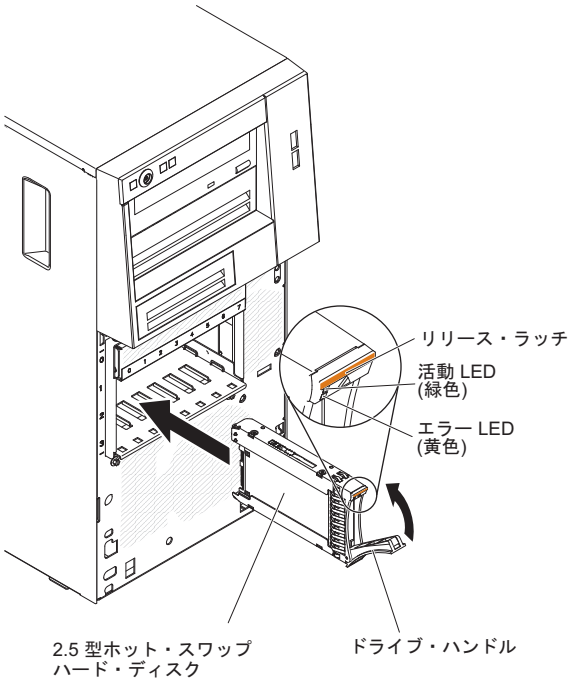


図 121. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付けを示しています。

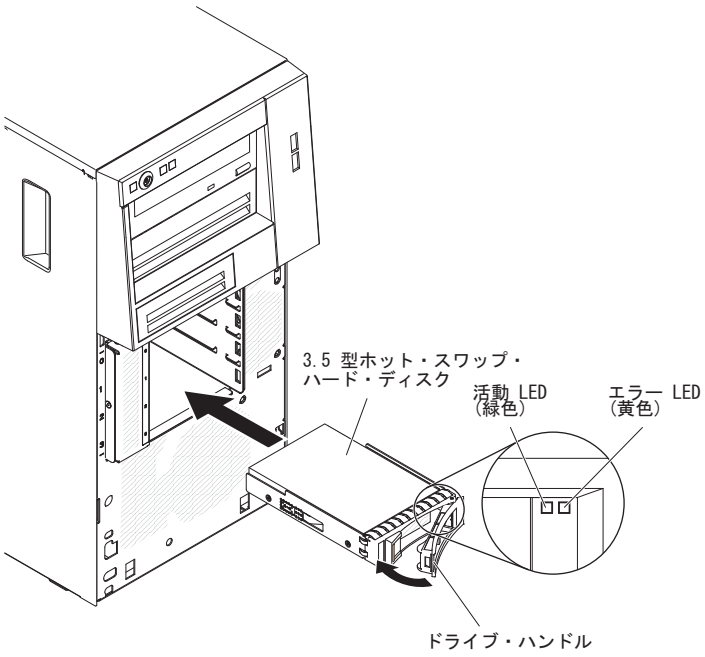


図 122. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

2. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
3. ドライブ・トレイ・ハンドルが開いた位置になっていることを確認します。
4. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールに合わせます。その後、ドライブが止まるまで、ドライブ・アセンブリーをドライブ・ベイ内に静かにスライドさせます。
5. ドライブ・トレイ・ハンドルを閉じた位置まで回転させます。
6. ハード・ディスク状況インディケーターをチェックして、ハード・ディスクが正しく稼働していることを確認します。 (ドライブが認識されるように、サーバーを再始動する必要が生じる場合があります。) ドライブの黄色のハード・ディスク状況 LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があることを示しています。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合は、そのドライブにアクセス中であることを示しています。

   注: ServeRAID コントローラーを使用してRAID 操作するように、サーバーが構成されている場合は、ハード・ディスクを交換した後にディスク・アレイを再構成しなければならない場合があります。RAID 操作についての追加情報、および ServeRAID マネージャーを使用するための詳細な手順については、ServeRAID 資料を参照してください。
7. 下段ベゼルを取り付けます (215 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。

ハード・ディスク・ファン・ダクトの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのハード・ディスク・ファン・ダクトを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
2. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. ハード・ディスク・ファン・ダクト・ケーブルを固定している保持クリップを外してから、システム・ボードからハード・ディスク・ファン・ダクト・ケーブルを取り外します。

   以下は、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

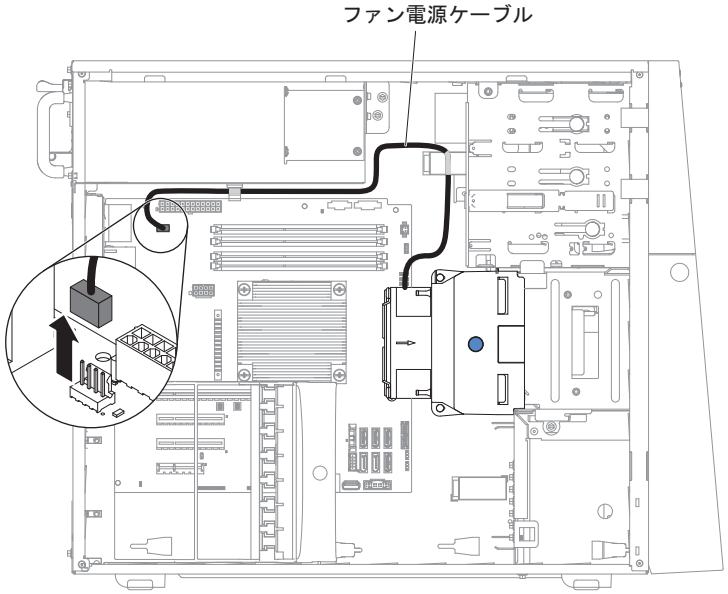


図 123. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 2.5 型ハード・ディスク・ファン・ダクト・ケーブルの取り外し

以下は、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

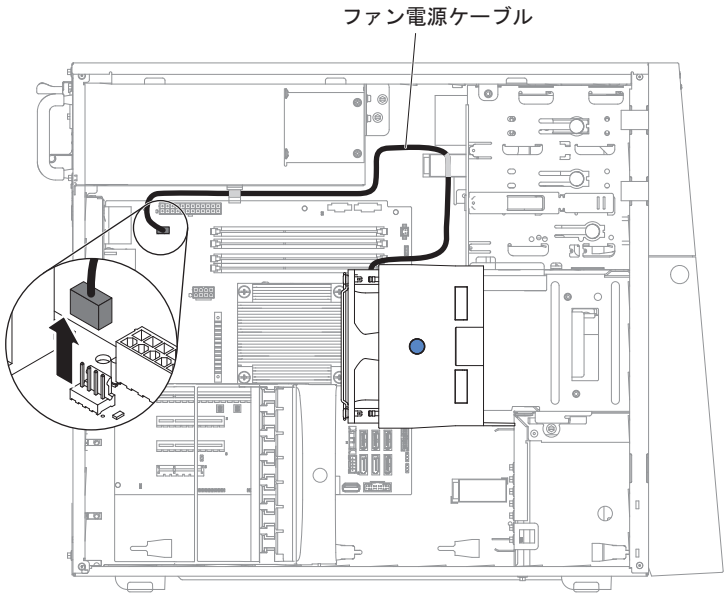


図 124. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 3.5 型ハード・ディスク・ファン・ダクト・ケーブルの取り外し

5. 青のタッチ・ポイントでハード・ディスク・ファン・ダクトを掴み、シャーシの外に持ち上げます。

以下は、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

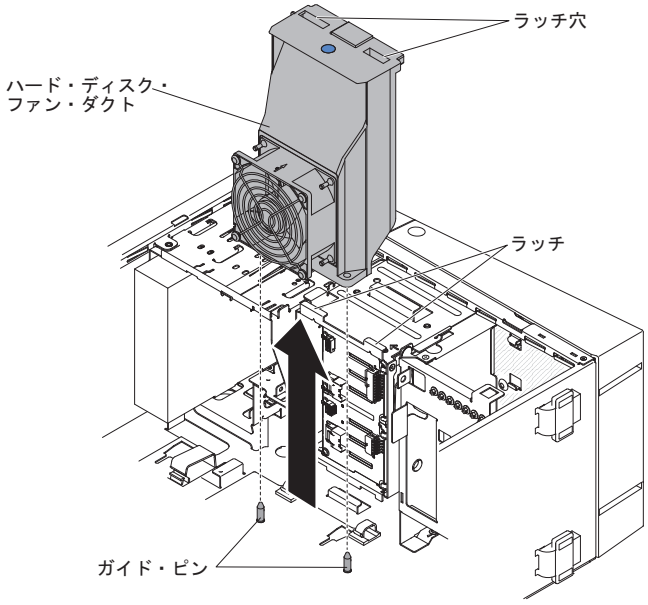


図 125. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 2.5 型ハード・ディスク・ファン・ダクトの取り外し

以下は、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

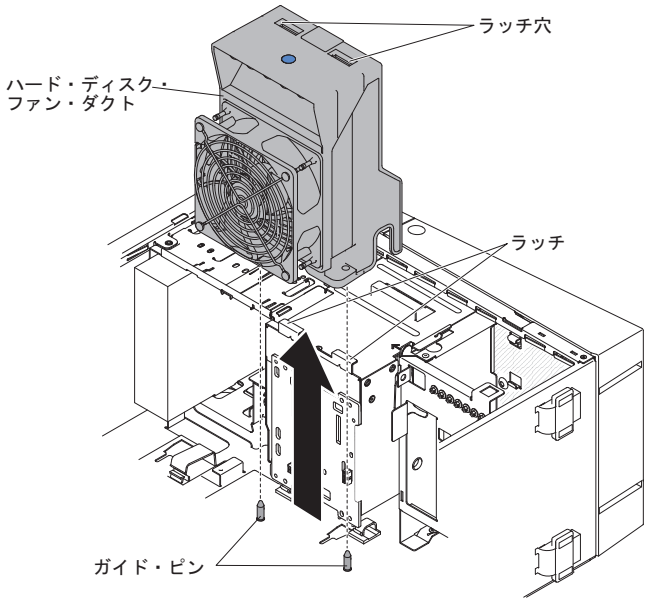


図 126. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 3.5 型ハード・ディスク・ファン・ダクトの取り外し

6. ファンに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ハード・ディスク・ファン・ダクトの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

重要: システムの冷却と空気の流れを適正に保つために、サーバーのサイド・カバーを取り外したまま 30 分間を超えてサーバーを稼働させないでください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにハード・ディスク・ファン・ダクトを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. シャーシ上の 2 つのガイド・ピンと 2 つのラッチがハード・ディスク・ファン・ダクトの対応する穴に確実に突き出るように、ハード・ディスク・ファン・ダクトをシャーシに下ろします。

   以下は、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

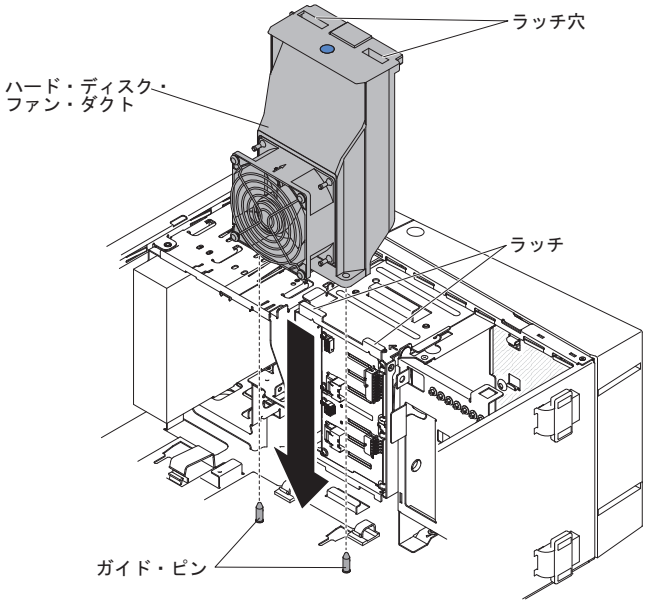


図 127. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでの 2.5 型ハード・ディスク・ファン・ダクトの取り付け

   以下は、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

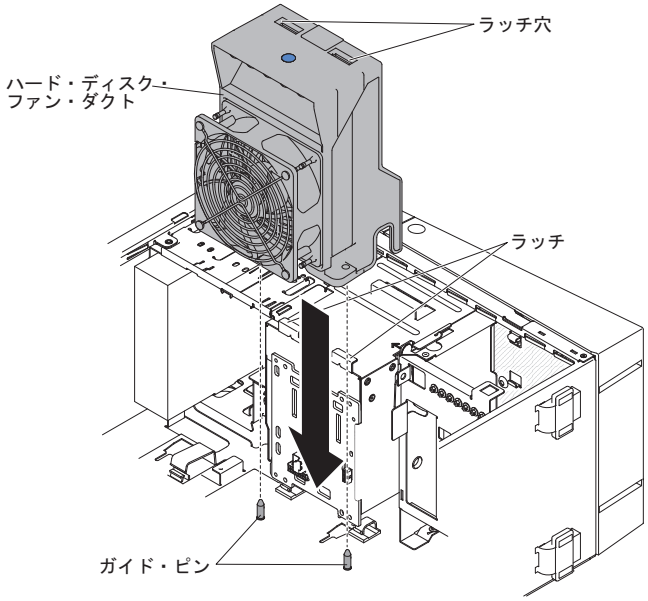


図 128. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでの 3.5 型ハード・ディスク・ファン・ダクトの取り付け

3. ハード・ディスク・ファン・ダクト・ケーブルをシステム・ボードに接続します (ファン・アセンブリー・コネクターの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』 を参照)。

   重要: ハード・ディスク・ファン・ダクト・ケーブルを対応の保持クリップに忘れずに挿入します。

   以下は、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

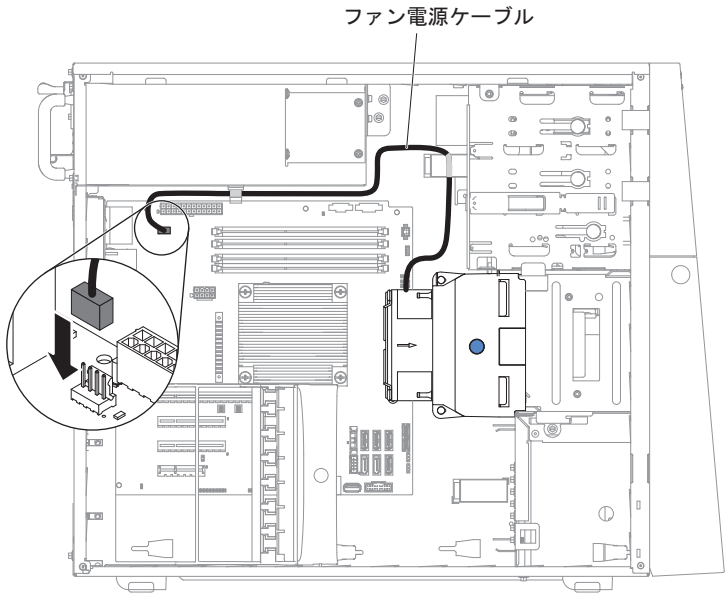


図 129. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでの 2.5 型ハード・ディスク・ファン・ダクト・ケーブルの取り付け

以下は、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

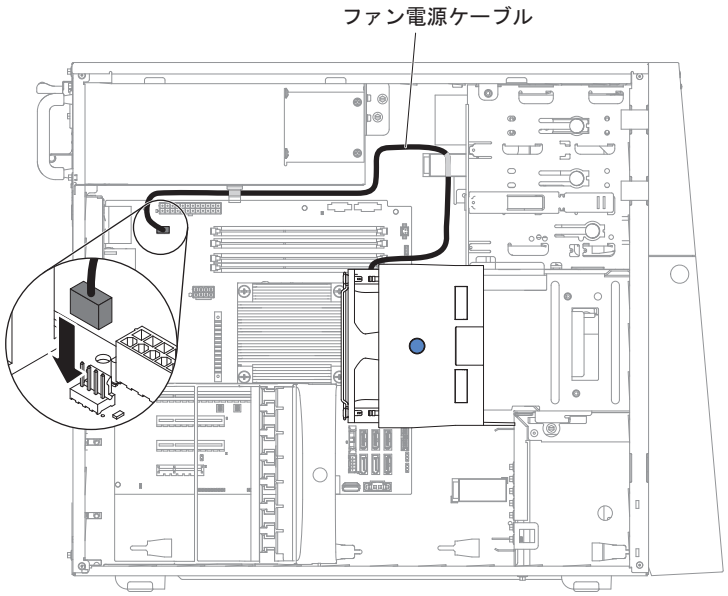


図 130. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでの 3.5 型ハード・ディスク・ファン・ダクト・ケーブルの取り付け

4. サーバーを元どおり垂直に立てます。
5. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
6. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外すには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの USB ハイパーバイザー・キーを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。

5. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
6. システム・ボード上で USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスのコネクターを見付けます。

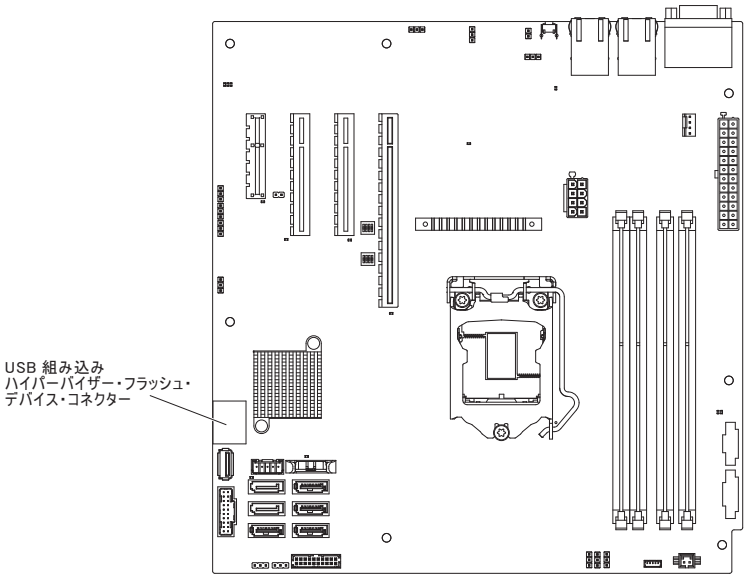


図 131. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・ボードでの USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスのコネクターの位置

7. フラッシュ・デバイス・コネクター上のロック・バーをロック解除位置にスライドさせ、USB フラッシュ・デバイスをコネクターから引き抜きます。

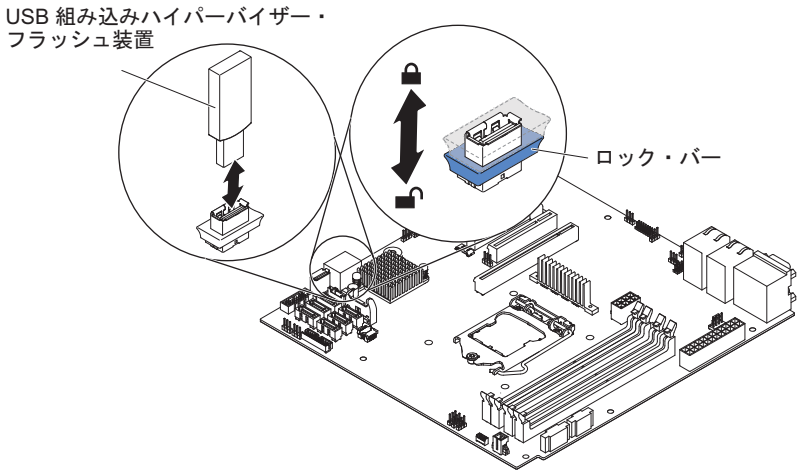


図 132. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・ボードからの USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

8. ハイパーバイザー・メモリー・キーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

注: ハイパーバイザー USB ドライブを探す必要がないようにサーバーを構成する必要があります。ハイパーバイザーのサポートを使用不可にする方法については、 104 ページの『サーバーの構成』を参照してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのシステム・ボードを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 背面アダプター保持ブラケットを開 (ロック解除) 位置まで回転させます。
6. システム・ボード上で USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスのコネクターを見付けます。

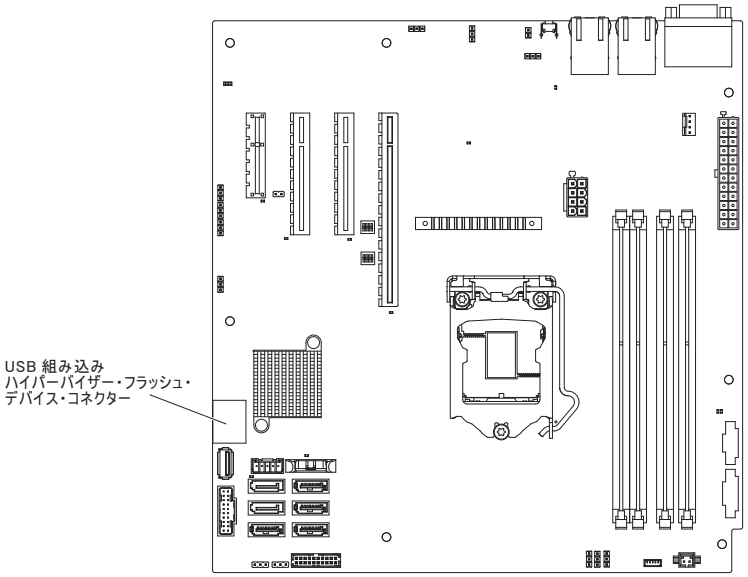


図 133. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのシステム・ボードでの USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスのコネクターの位置

7. フラッシュ・デバイス・コネクター上のロック・バーをロック解除位置にスライドさせ、USB フラッシュ・デバイスをコネクターから引き抜きます。

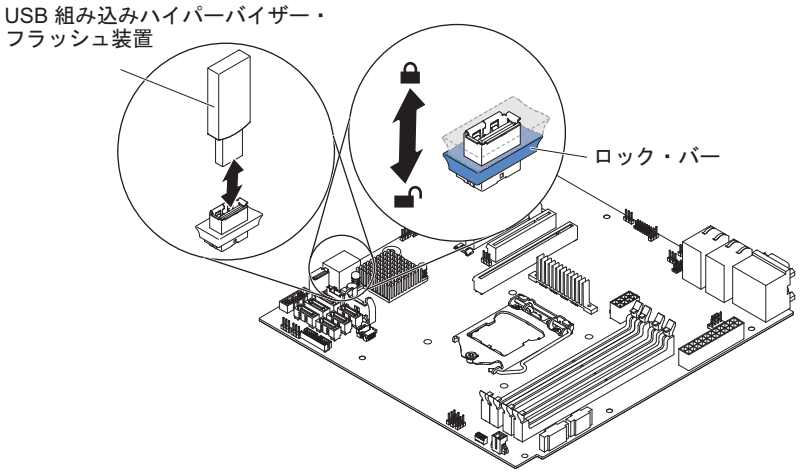


図 134. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのシステム・ボードからの USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

8. ハイパーバイザー・メモリー・キーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

   注: ハイパーバイザー USB ドライブを探す必要がないようにサーバーを構成する必要があります。ハイパーバイザーのサポートを使用不可にする方法については、104 ページの『サーバーの構成』を参照してください。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの再取り付け

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを再取り付けするには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けるには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. システム・ボード上で USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスのコネクターを見付けます。

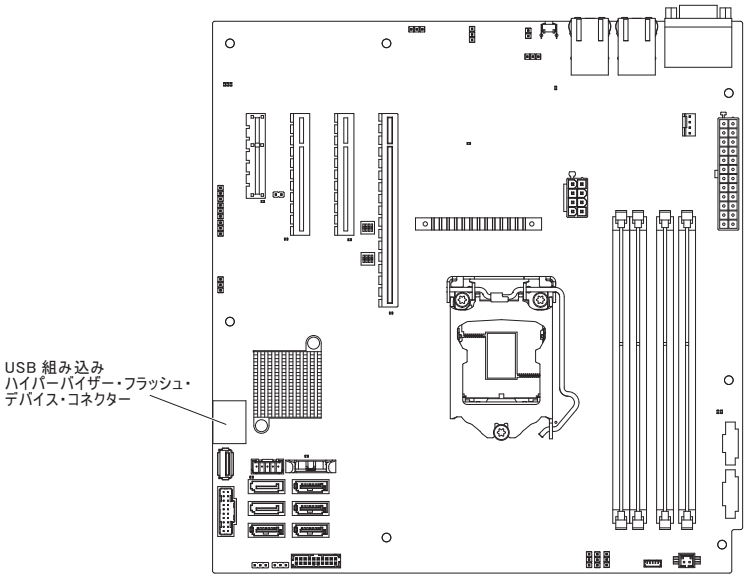


図 135. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・ボードでの USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスのコネクターの位置

3. USB フラッシュ・デバイスをシステム・ボード上のコネクターと位置合わせし、しっかりと装着されるまでコネクターに押し入れます。
4. ロック・バーをライザー・カード・アセンブリーの方向にロック位置までスライドさせ、しっかりと装着します。

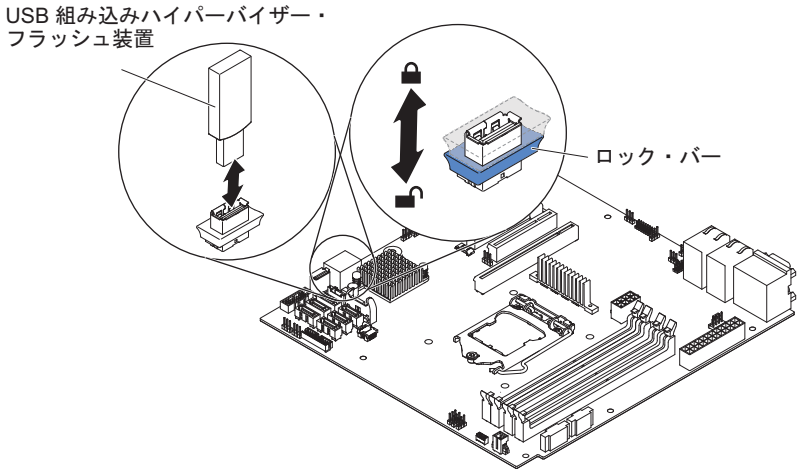


図 136. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

5. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
6. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
7. サーバーを元どおり垂直に立てます。
8. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにシステム・ボードを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. システム・ボード上で USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスのコネクターを見付けます。

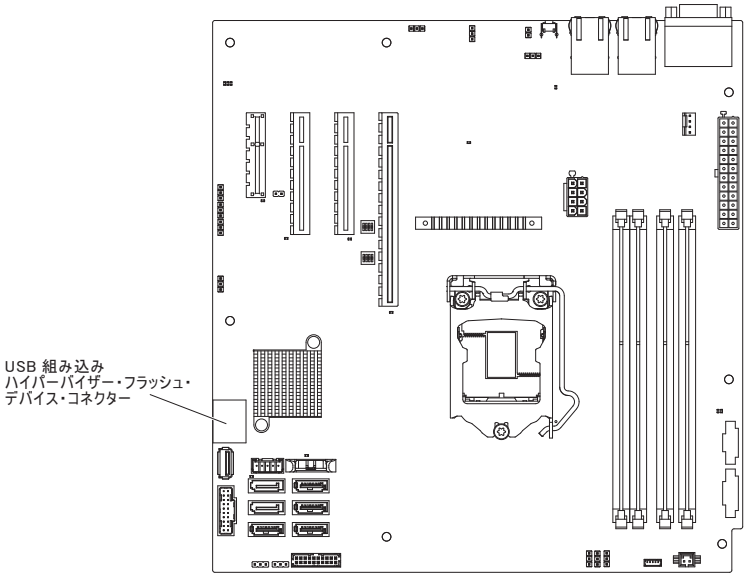


図 137. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのシステム・ボードでの USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスのコネクターの位置

3. USB フラッシュ・デバイスをシステム・ボード上のコネクターと位置合わせし、しっかりと装着されるまでコネクターに押し入れます。
4. ロック・バーをライザー・カード・アセンブリーの方向にロック位置までスライドさせ、しっかりと装着します。

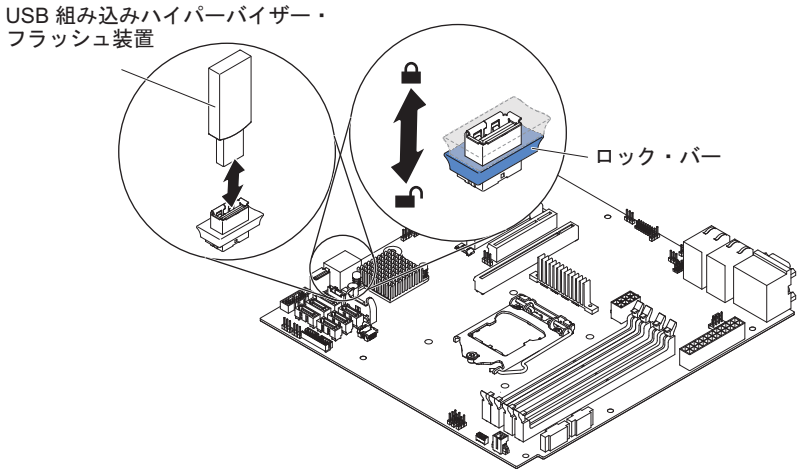


図 138. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

5. 背面アダプター保持ブラケットを閉 (ロック) 位置に回転させます。
6. サーバーを元どおり垂直に立てます。
7. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
8. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

シンプル・スワップ・バックプレートの取り外し

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルのシンプル・スワップ・バックプレートを取り外すには、以下の手順を実行します。

注: この手順を完了するために、ドライバーが必要です。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (43 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
7. ハード・ディスク・ケージに取り付けられているシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外します (245 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。

8. シンプル・スワップ・バックプレートを取り外すには、そのバックプレートを外側にスライドしてから回転させて、ハード・ディスク・ケージから取り外します。

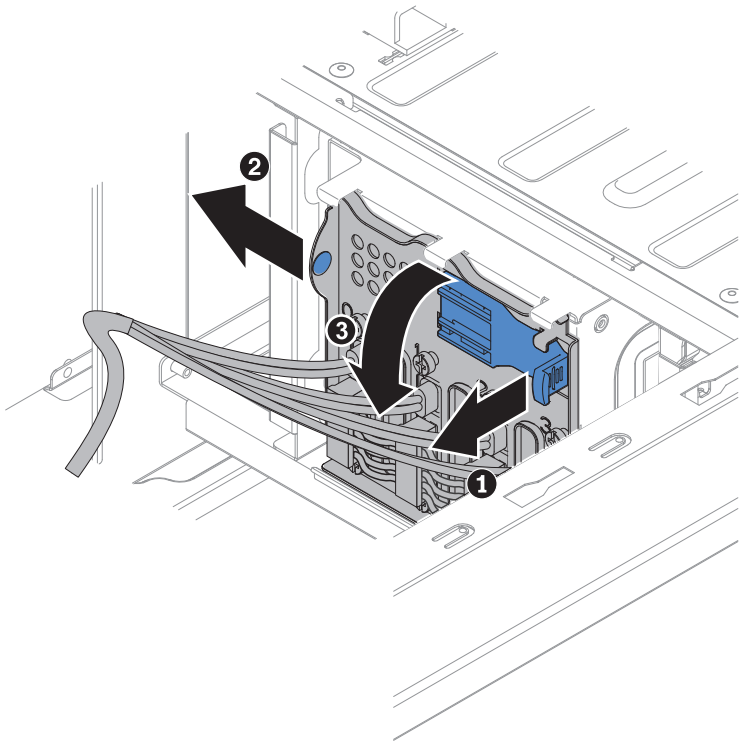


図 139. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシンプル・スワップ・バックプレートの取り外し

9. 電源ケーブルをシンプル・スワップ・バックプレートから切り離した後、信号ケーブルをシステム・ボードから切り離します。

   注: シンプル・スワップ・バックプレート上の信号ケーブルは取り外すことができません。

10. シンプル・スワップ・バックプレートの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

シンプル・スワップ・バックプレートの交換

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルにシンプル・スワップ・バックプレートを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ドライブ・ケージのリリース・ラッチを押して、ハード・ディスク・ケージを引き出します。

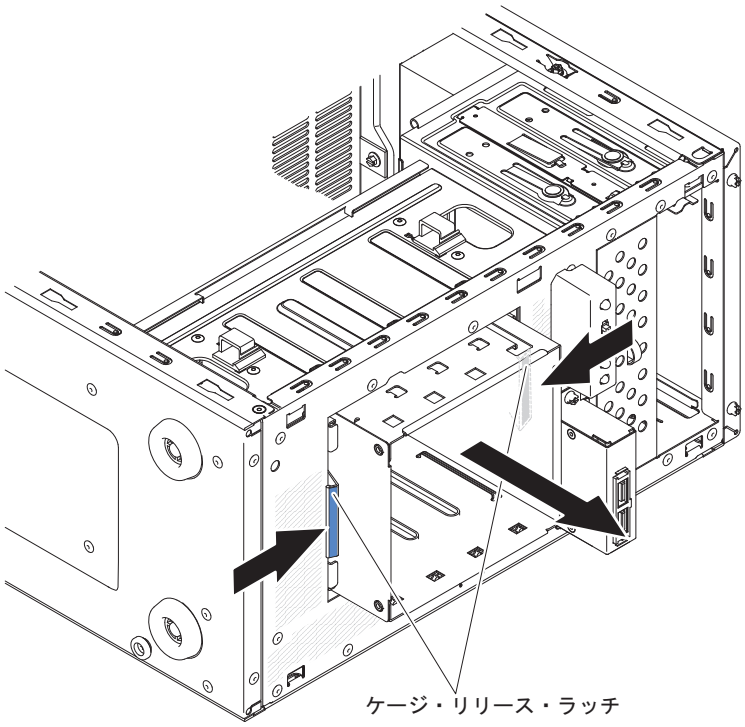


図 140. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのハード・ディスク・ケージの取り外し

3. シンプル・スワップ・バックプレートの下端を、タブとハード・ディスク・ケージの下部の縁の間 (緑色の区域) に位置合わせし、バックプレートをハード・ディスク・ケージに向かって回転させ、内側にスライドします。

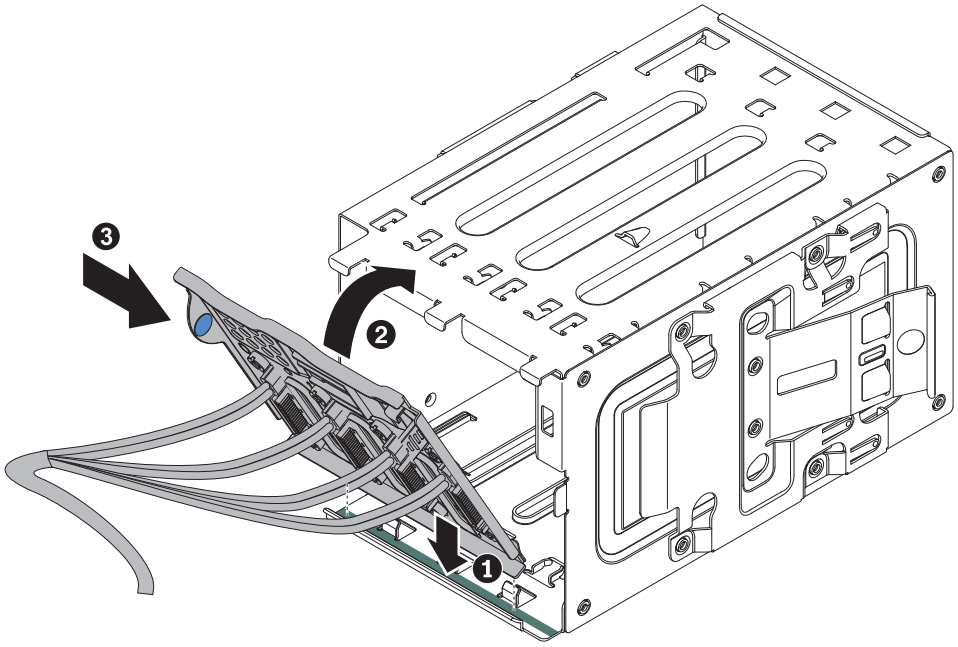


図 141. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでのハード・ディスク・ケージへのシンプル・スワップ・バックプレートの取り付け

4. ハード・ディスク・ケージをシャーシ前面の開口部に半分だけ挿入します。

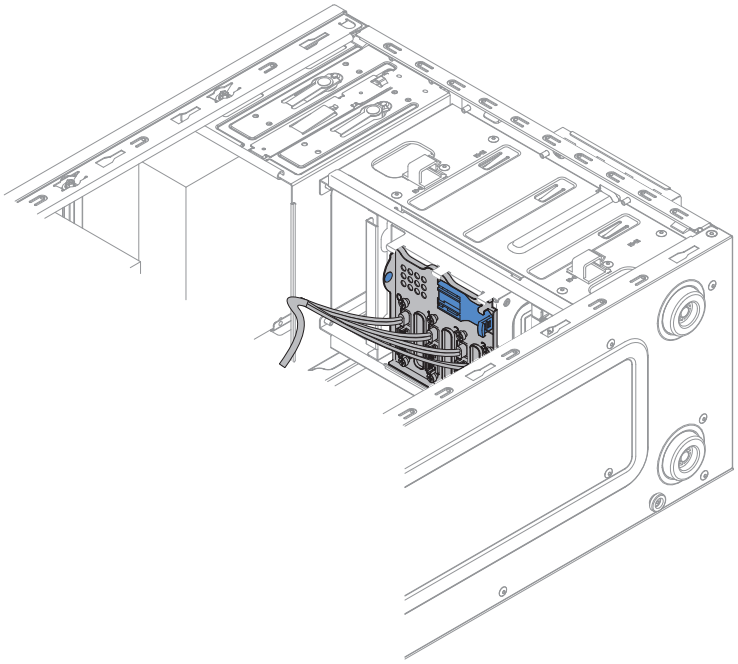


図 142. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでハード・ディスク・ケージをシャーシに半分だけ挿入する

5. ハード・ディスクの電源ケーブルをバックプレートに接続します (コネクター P3 はベイ 3 に、コネクター P4 はベイ 4 に、コネクター P5 はベイ 5 に、コネクター P6 はベイ 6 に接続)。

6. ハード・ディスクの信号ケーブルを、システム・ボードの SATA コネクターまたはアダプター (取り付けられている場合) のコネクターに接続します。

   注: LSI RAID ユーティリティーでは、SATA 1 はドライブ・ベイ 2 のハード・ディスクを表し、SATA 2 はドライブ・ベイ 1 のハード・ディスクを表します (246 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。

   次の図で、システム・ボード上の SATA コネクターを示します。

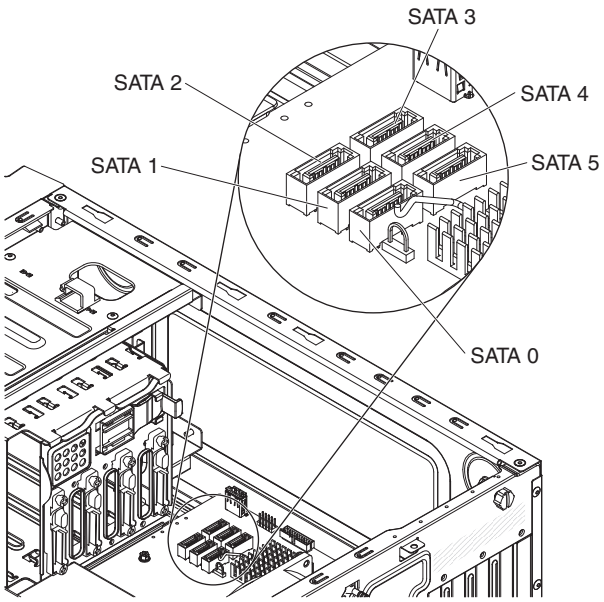


図 143. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・ボード上の SATA コネクターの位置

7. ハード・ディスク・ケージを、リリース・ラッチがカチッと音をたてて所定の位置に収まるまで押し込みます。

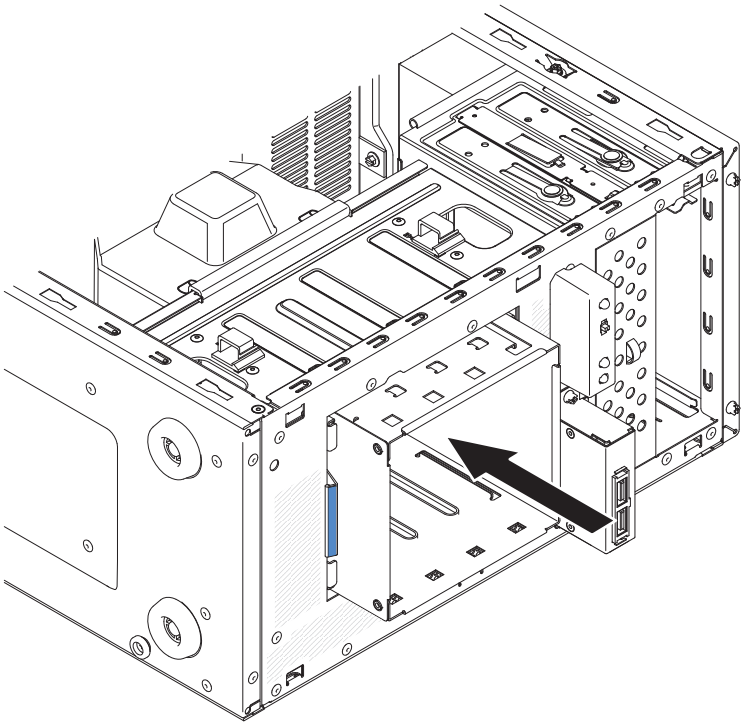


図 144. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでハード・ディスク・ケージをシャーシに押し込む

8. ハード・ディスク・ケージから取り外したシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けます (246 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
9. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
10. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
11. サーバーを元どおり垂直に立てます。
12. ベゼルを取り付けます (213 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
13. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ソフトウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートの、ハードウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートとの取り替え

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

ソフトウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートをハードウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートと取り換えるには、以下のステップを行います。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. シンプル・スワップ・バックプレートを取り外します (263 ページの『シンプル・スワップ・バックプレートの取り外し』を参照)。
4. シンプル・スワップ・バックプレートの下端を、タブとハード・ディスク・ケージの下部の縁の間 (グレーに色付けされた区域) に位置合わせし、バックプレートをハード・ディスク・ケージに向かって回転させ、内側にスライドします。

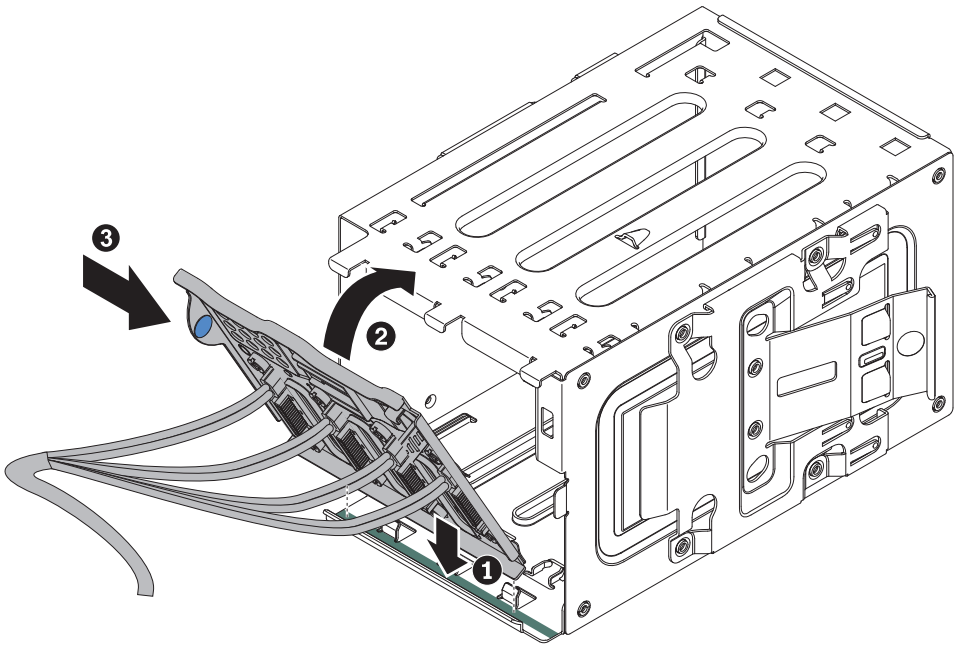


図 145. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでのハード・ディスク・ケージへのシンプル・スワップ・バックプレートの取り付け

5. ハード・ディスク・ケージをシャーシ前面の開口部に半分だけ挿入します。

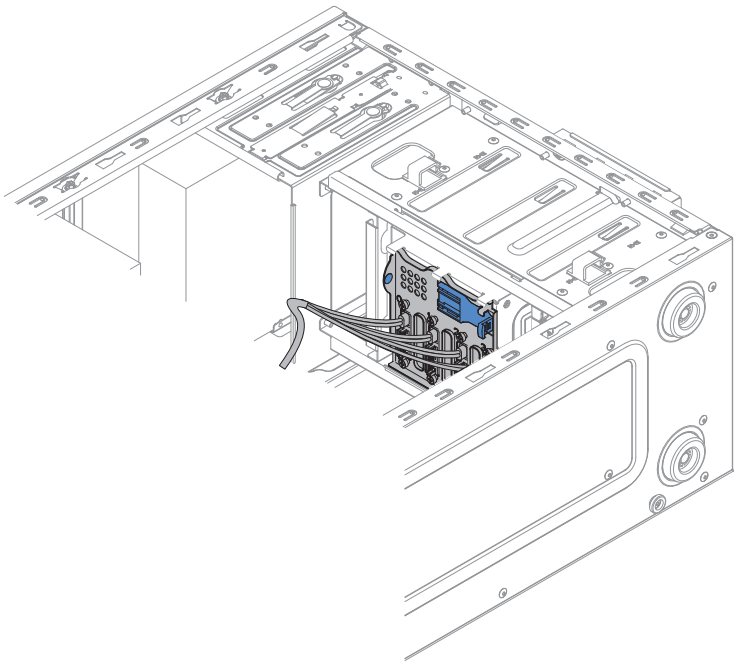


図 146. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでハード・ディスク・ケージをシャーシに半分だけ挿入する

6. ハード・ディスクの電源ケーブルをバックプレートに接続します (コネクター P3 はベイ 3 に、コネクター P4 はベイ 4 に、コネクター P5 はベイ 5 に、コネクター P6 はベイ 6 に接続)。
7. ハード・ディスクの信号ケーブルをアダプター上の SAS コネクターに接続します。

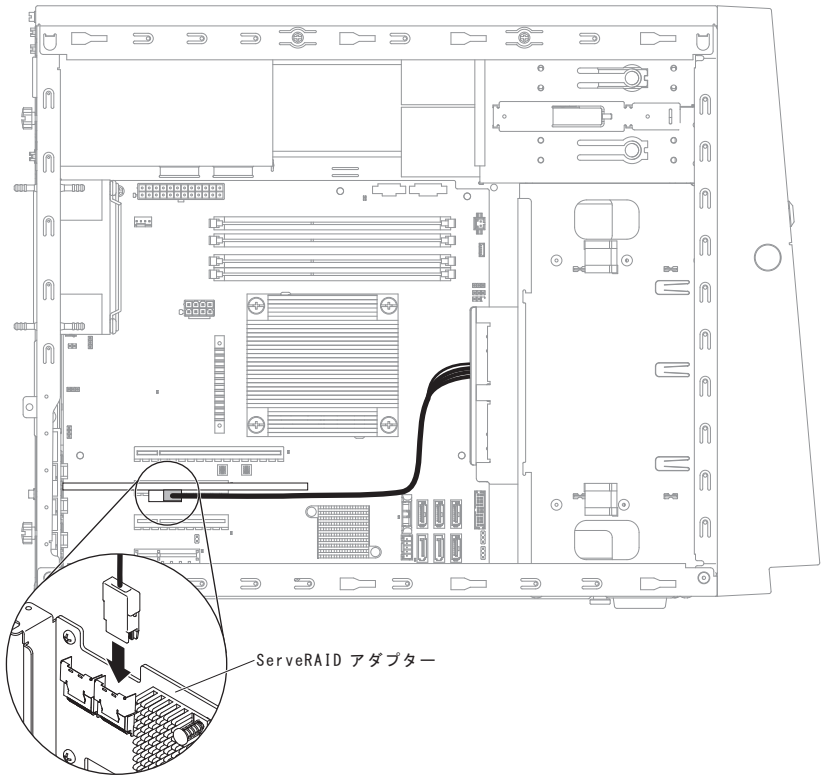


図 147. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでのアダプター上の SAS コネクターへのハード・ディスク信号ケーブルの接続

8. ケーブルを保持クリップで固定します。
9. ハード・ディスク・ケージを、リリース・ラッチがカチッと音をたてて所定の位置に収まるまで押し込みます。

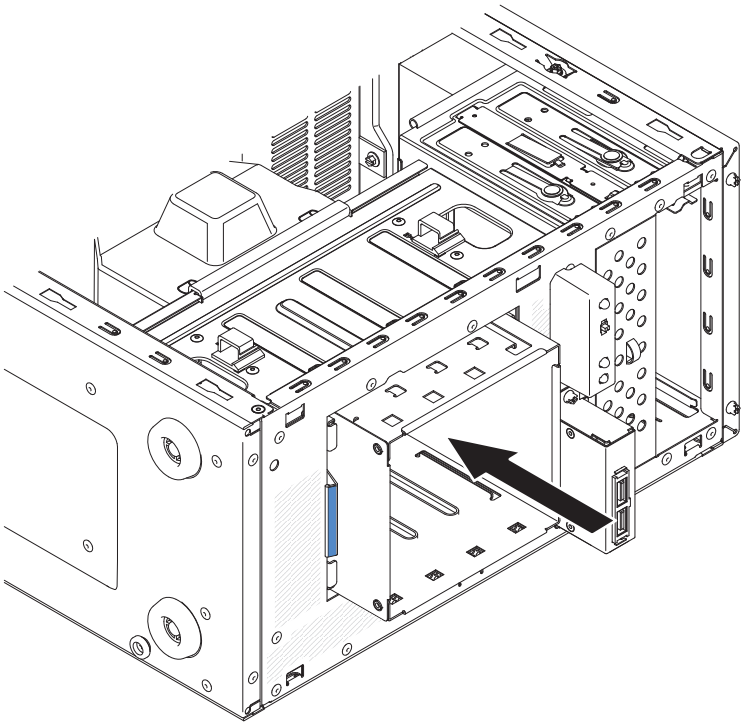


図 148. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでハード・ディスク・ケージをシャーシに押し込む

10. ハード・ディスク・ケージから取り外したシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けます (246 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
11. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
12. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
13. サーバーを元どおり垂直に立てます。
14. ベゼルを取り付けます (213 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
15. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのホット・スワップ・バックプレーンを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (45 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. ハード・ディスク・ケージに取り付けられているホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスクを取り外します (249 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
6. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
7. ハード・ディスク・ファン・ダクトを取り外します (252 ページの『ハード・ディスク・ファン・ダクトの取り外し』を参照)。これを行うには、ケーブルをケーブル・クリップから取り外す必要があります。
8. ハード・ディスク・ケージのリリース・タブを押しながら、ハード・ディスク・ケージ上部の保持タブが所定の位置にロックされるまでそのケージを回転させ、シャーシから取り外します。

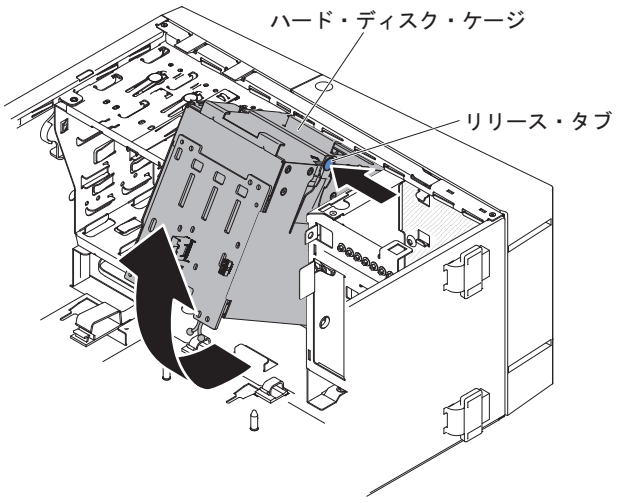


図 149. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでハード・ディスク・ケージを回転させてシャーシから取り出す

9. 電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルをハード・ディスク・バックプレーンから取り外します。

以下は、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

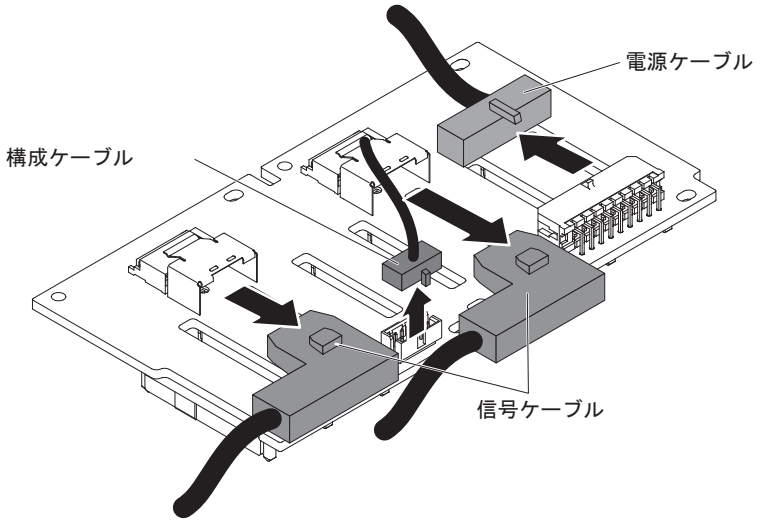


図 150. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクのバックプレーン・ケーブルの取り外し

以下は、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

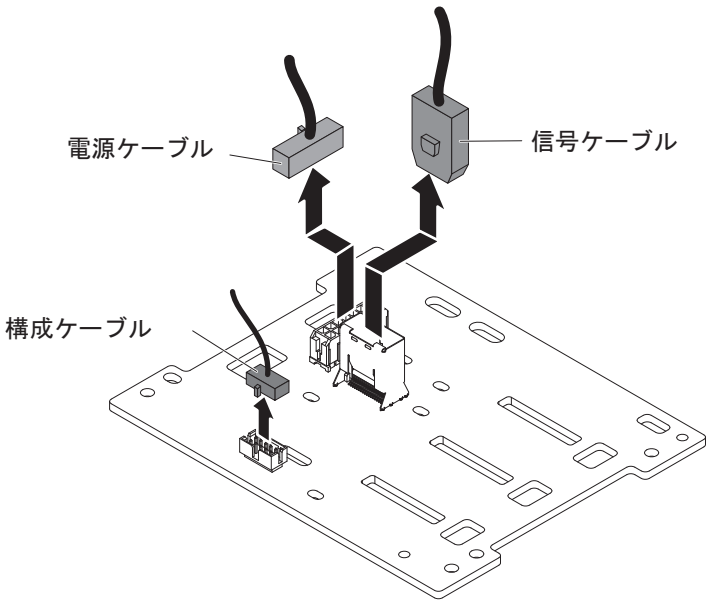


図 151. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクのバックプレーン・ケーブルの取り外し

10. SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーンをドライブ・ケージに固定しているねじを取り外します。

    注:

- 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを支えるバックプレーンでは合計 4 つのねじを取り外す必要があります。
- 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを支えるバックプレーンでは合計 2 つのねじを取り外す必要があります。

以下は、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

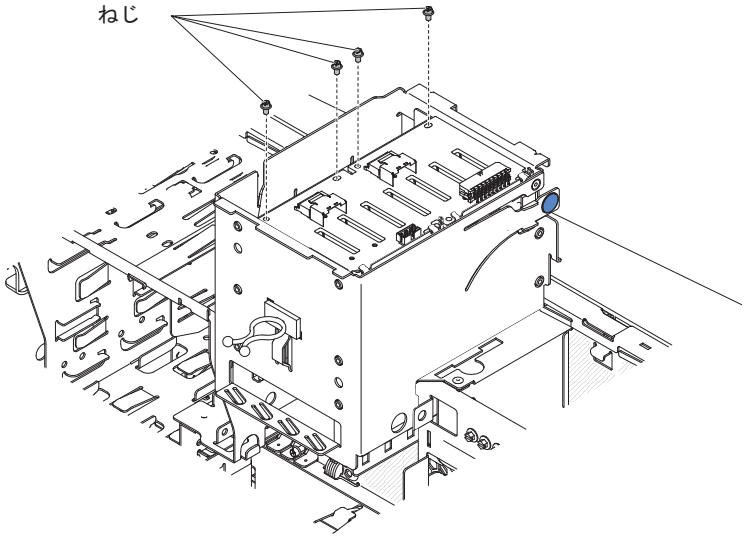


図 152. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクのバックプレーンねじの取り外し

以下は、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

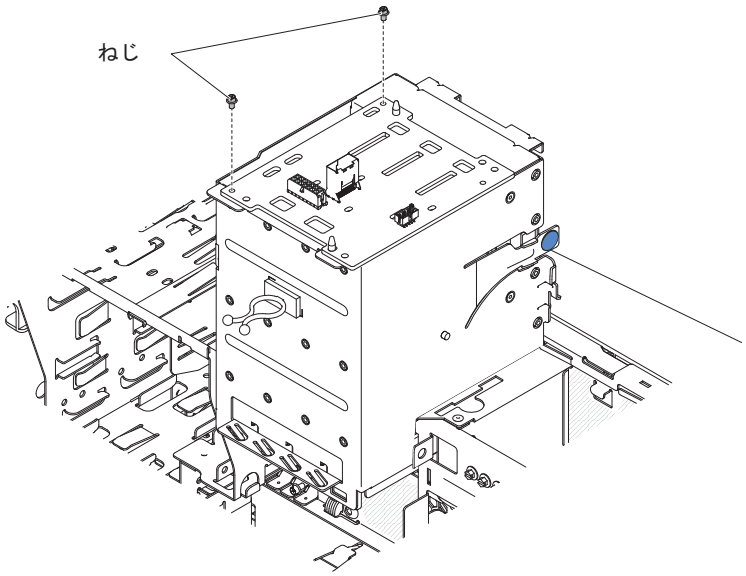


図 153. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクのバックプレーンねじの取り外し

11. ホット・スワップ・バックプレーンを持ち上げてドライブ・ケージ下部の縁から取り外し、脇に置きます。
12. SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーンに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにハード・ディスク・バックプレーンを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの下端をドライブ・ケージ下部の縁に合わせます。
3. 電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルをハード・ディスク・バックプレーンに接続します。

   注: ハードウェア ServeRAID のポート 1 が、バックプレーンのポート 1 に接続されるようにします。同様に、ハードウェア ServeRAID のポート 0 が、バックプレーンのポート 0 に接続されている必要があります。

   以下は、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

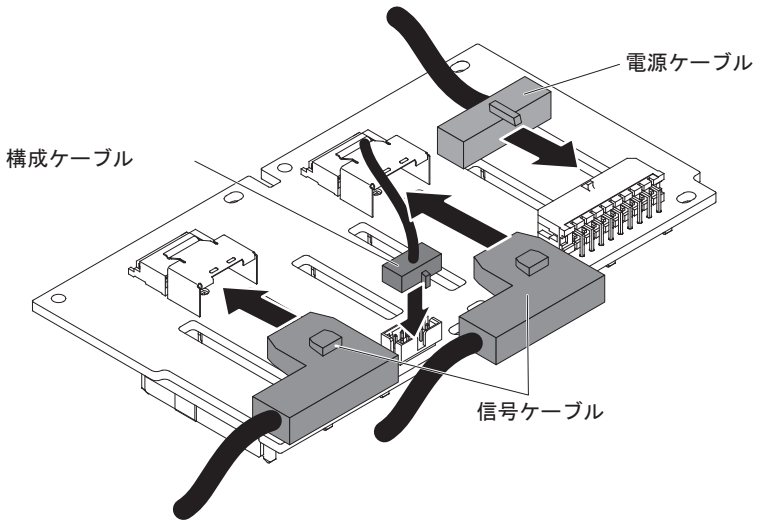


図 154. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクのバックプレーン・ケーブルの取り付け

   以下は、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

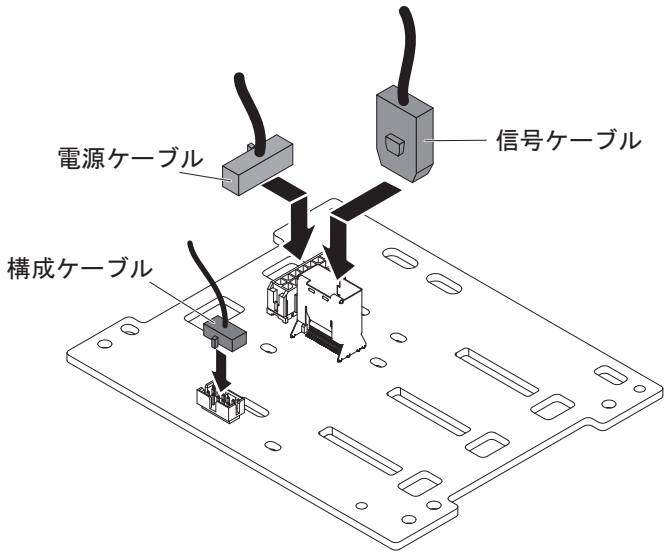


図 155. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクのバックプレーン・ケーブルの取り付け

4. ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンをドライブ・ケージに固定するねじを取り付けます。

   注:

   - 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを支えるバックプレーンでは合計 4 つのねじを取り付ける必要があります。
   - 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを支えるバックプレーンでは合計 2 つのねじを取り付ける必要があります。

   以下は、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

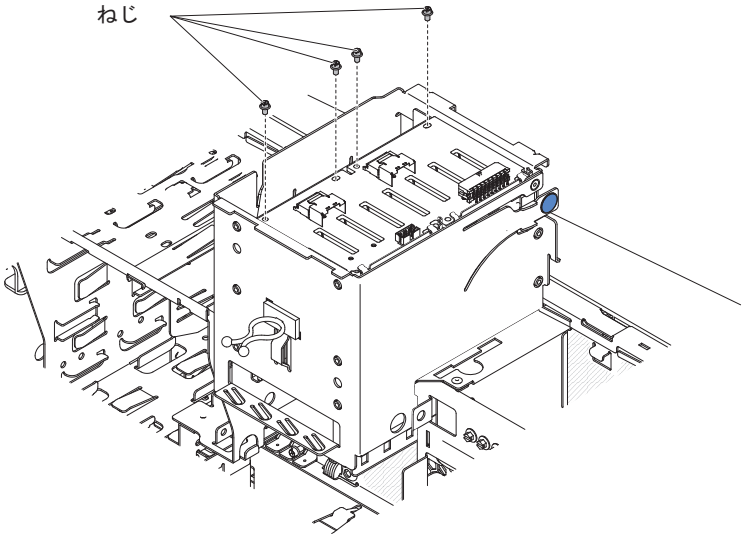


図 156. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクのバックプレーンねじの取り付け

以下は、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが取り付けられた 5U サーバー・モデルの図です。

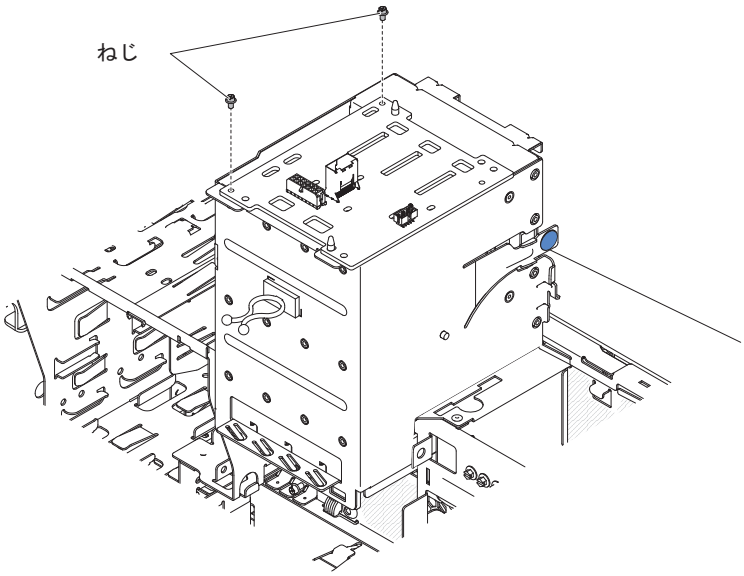


図 157. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクのバックプレーンねじの取り付け

5. ケージ側面の保持タブを押しながら、ドライブ・ケージが所定の位置にロックされるまで、ドライブ・ケージを回転させてシャーシ内に入れます。

   注: 保持タブを押したままにするには、ケージを少し持ち上げる必要がある場合があります。

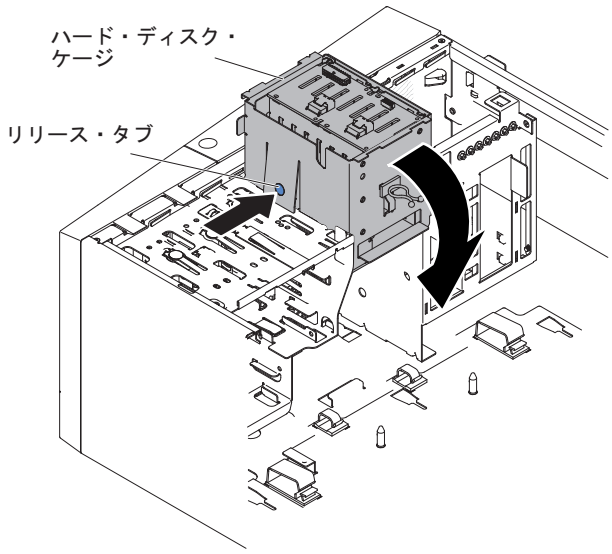


図 158. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでハード・ディスク・ケージを回転させてシャーシ内に取り付ける

6. ハード・ディスク・ファン・ダクトをハード・ディスク・ケージに取り付けます (255 ページの『ハード・ディスク・ファン・ダクトの交換』を参照)。

7. サーバーを元どおり垂直に立てます。
8. ハード・ディスク・ケージから取り外したホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けます (250 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
9. 下段ベゼルを取り付けます (215 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
10. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
11. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

オペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し

オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのオペレーター情報パネル・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (43 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
7. オペレーター情報パネル・アセンブリー・ケーブルをシステム・ボードから切り離し、ケーブルの配線経路のメモを取っておきます (オペレーター情報パネル・コネクターの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
8. サーバーを元どおり垂直に立てます。
9. オペレーター情報パネル・アセンブリーの上部を押し、アセンブリーをサーバー下部に向かって回転させます。次に、オペレーター情報パネル・アセンブリーをシャーシから取り外します。

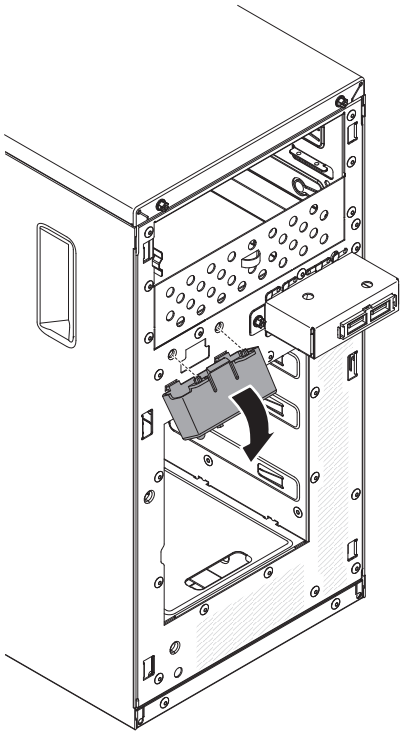


図 159. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのオペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し

注: 開口部から、慎重にケーブルを引き出します。LED がオペレーター情報パネル・アセンブリーから切り離されることのないようにしてください。

10. オペレーター情報パネル・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのオペレーター情報パネル・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (45 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルを取り外します (46 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。
6. ベイ 1 およびベイ 2 のドライブを前方に少しスライドさせます (詳しくは、232 ページの『DVD ドライブの取り外し』および 239 ページの『テープ・ドライブの取り外し』を参照)。これらのドライブを取り外す必要はありません。
7. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

8. ホット・スワップ・パワー・サプライおよびホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージを取り外します (298 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し』 および 336 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージの取り外し』 を参照)。
9. オペレーター情報パネル・アセンブリー・ケーブルをシステム・ボードから切り離し、ケーブルの配線経路のメモを取っておきます (オペレーター情報パネル・コネクターの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
10. オペレーター情報パネル・アセンブリーのリリース・タブを押し、アセンブリーをサーバーの後部に向けて引きます。その後に、オペレーター情報パネル・アセンブリーをシャーシから取り外します。

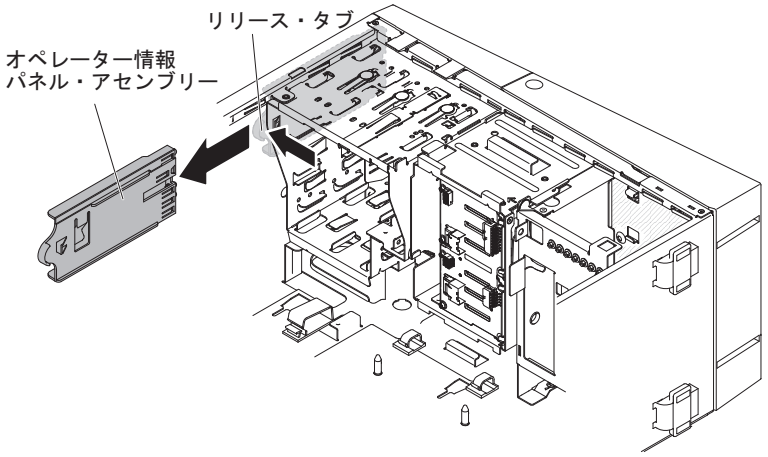


図 160. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのオペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し

11. オペレーター情報パネル・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オペレーター情報パネル・アセンブリーの交換

オペレーター情報パネル・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにオペレーター情報パネル・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. オペレーター情報パネル・アセンブリー・ケーブルを、開口部に挿入して再配線します。

   注: 開口部から、慎重にケーブルを引き出します。LED がオペレーター情報パネル・アセンブリーから切り離されることのないようにしてください。

3. オペレーター情報パネル・アセンブリーの下部タブを対応する穴に挿入し、アセンブリーをシャーシに向かって回転させます。

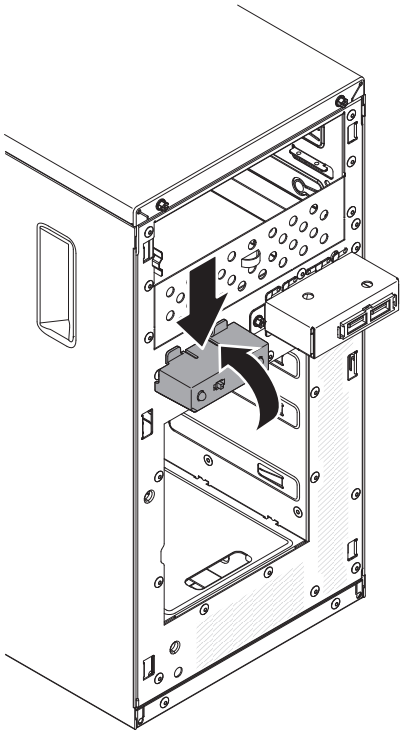


図 161. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのオペレーター情報パネル・アセンブリーの取り付け

4. カチッと音がして所定の位置にはまるまで、オペレーター情報パネル・アセンブリーをシャーシに向かって押します。
5. オペレーター情報パネル・アセンブリー・ケーブルを再配線し、システム・ボードに接続します (オペレーター情報パネル・アセンブリー・コネクターの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
6. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
7. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
8. サーバーを元どおり垂直に立てます。
9. ベゼルを取り付けます (213 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
10. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにオペレーター情報パネル・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

3. オペレーター情報パネル・アセンブリーの前端を、ベイ 1 の上の溝に合わせます。
4. カチッと音がして所定の位置にはまるまで、シャーシ前面の方にオペレーター情報パネル・アセンブリーを押し込みます。

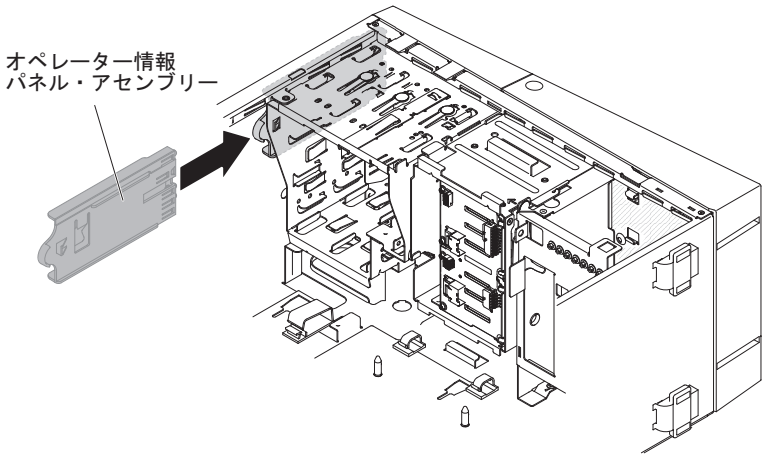


図 162. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのオペレーター情報パネル・アセンブリーの取り付け

5. オペレーター情報パネル・アセンブリー・ケーブルを再配線し、システム・ボードに接続します (オペレーター情報パネル・アセンブリー・コネクターの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
6. パワー・サプライ・ケージとパワー・サプライを取り付けます (338 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージの交換』および 300 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライの交換』を参照)。
7. ベイ 1 とベイ 2 のドライブをドライブ・ベイに押し込みます (詳しくは、235 ページの『DVD ドライブの交換』および 242 ページの『テープ・ドライブの交換』を参照)。
8. サーバーを元どおり垂直に立てます。
9. 上段ベゼルを取り付けます (217 ページの『上段ベゼルの交換』を参照)。
10. 下段ベゼルを取り付けます (215 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
11. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
12. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

前面 USB コネクター・アセンブリーの取り外し

前面 USB アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの前面 USB コネクター・アセンブリーを取り外すには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (43 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
7. ラッチを押して前面 USB ケーブルをシステム・ボードから切り離し、ケーブルの配線経路のメモを取っておきます (前面 USB コネクター・アセンブリーの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

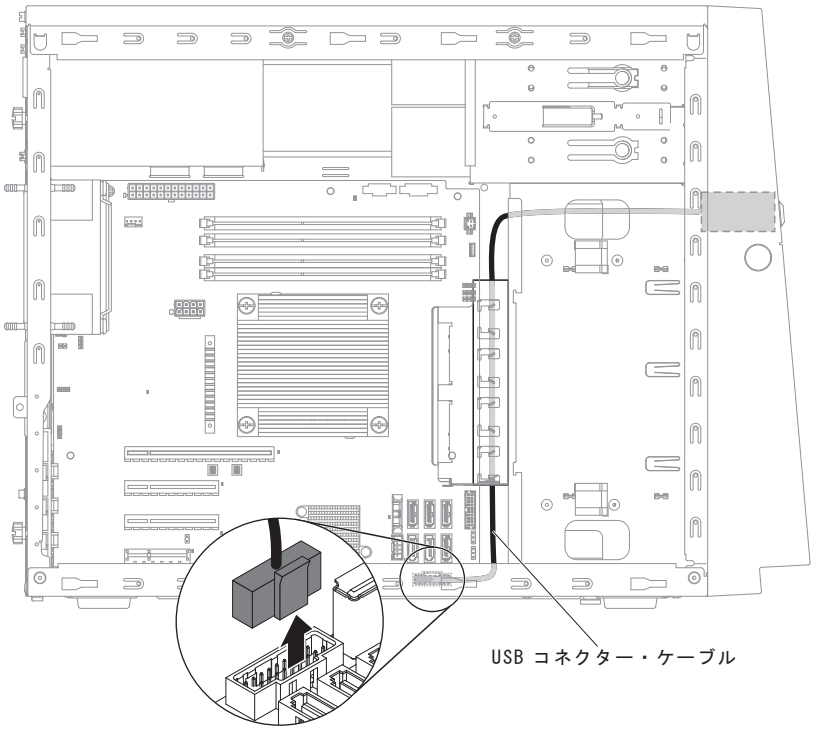


図 163. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの前面 USB ケーブルの取り外し

8. 前面 USB ハウジングのねじを緩め、ハウジングの上部をシャーシの外側に傾けて、ハウジングをシャーシの開口部から取り出します。
9. アセンブリーをハウジングの後部から引き出します。

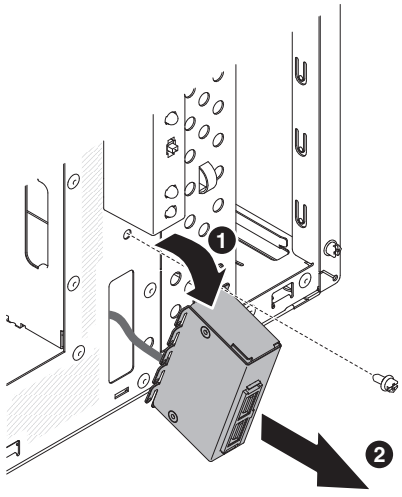


図 164. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの前面 USB コネクター・アセンブリーの取り外し

10. 前面 USB ケーブルをシャーシの開口部から慎重に引き出します。
11. 前面 USB コネクター・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの前面 USB コネクター・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (45 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルを取り外します (46 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。
6. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
7. ラッチを押して前面 USB ケーブルをシステム・ボードから切り離し、ケーブルの配線経路のメモを取っておきます (前面 USB コネクター・アセンブリーの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

   注: いずれかの SATA ケーブルが作業プロセスを妨げている場合は、SATA ケーブルを切り離すことをお勧めします。

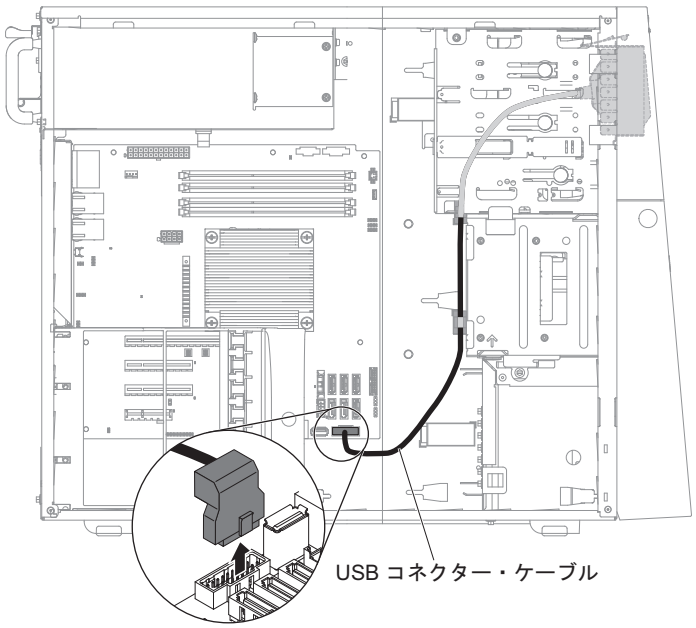


図 165. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの前面 USB ケーブルの取り外し

8. サーバーを元どおり垂直に立てます。
9. ハード・ディスク・ファン・ダクトを取り外します (252 ページの『ハード・ディスク・ファン・ダクトの取り外し』を参照)。

10. 前面 USB ハウジングの上部にある解放タブを押し下げたまま、ハウジングの上部をシャーシの外側に傾けて、ハウジングをシャーシの開口部から取り出します。

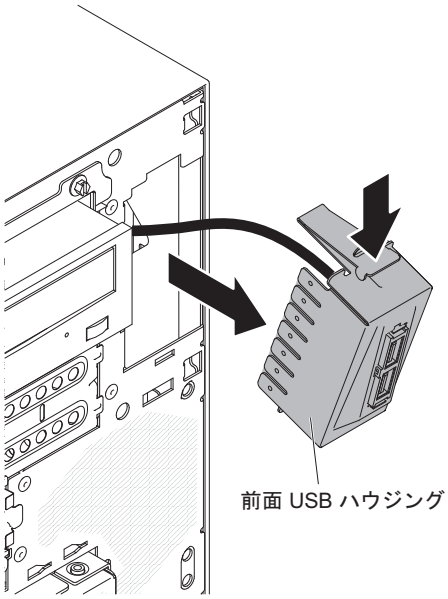


図 166. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの前面 USB コネクター・アセンブリーの取り外し (1)

11. 前面 USB コネクター・アセンブリーの両側にあるスプリング・クリップをつまんで、アセンブリーをハウジングの後部から引き出します。

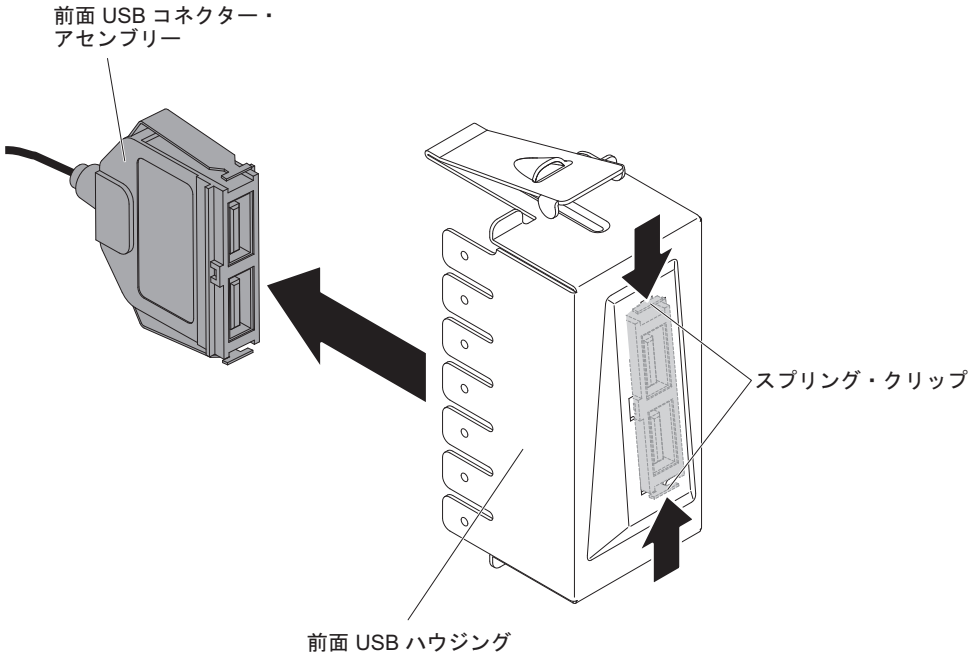


図 167. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの前面 USB コネクター・アセンブリーの取り外し (2)

12. 前面 USB ケーブルをシャーシの開口部から慎重に引き出します。

13. 前面 USB コネクター・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

前面 USB コネクター・アセンブリーの交換

前面 USB アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに前面 USB コネクター・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. シャーシ前面の開口部を通して前面 USB ケーブルを慎重に挿入します。
3. USB ハウジング底部端のタブを、シャーシの開口部の底部に合わせます。

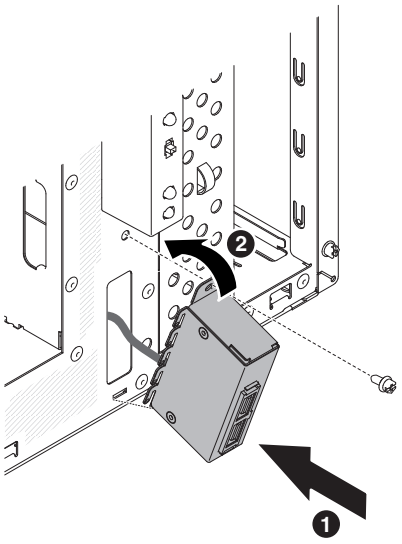


図 168. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの前面 USB コネクター・アセンブリーの取り付け

4. USB ハウジングの上部を傾けて所定の位置に最後まではめ込みます。
5. 前面 USB ハウジングをねじで固定します。
6. 前面 USB ケーブルを再配線し、システム・ボード上の前面 USB コネクターに接続します (前面 USB コネクターの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

   注: いずれかの SATA ケーブルが作業プロセスを妨げている場合は、SATA ケーブルを切り離すことをお勧めします。

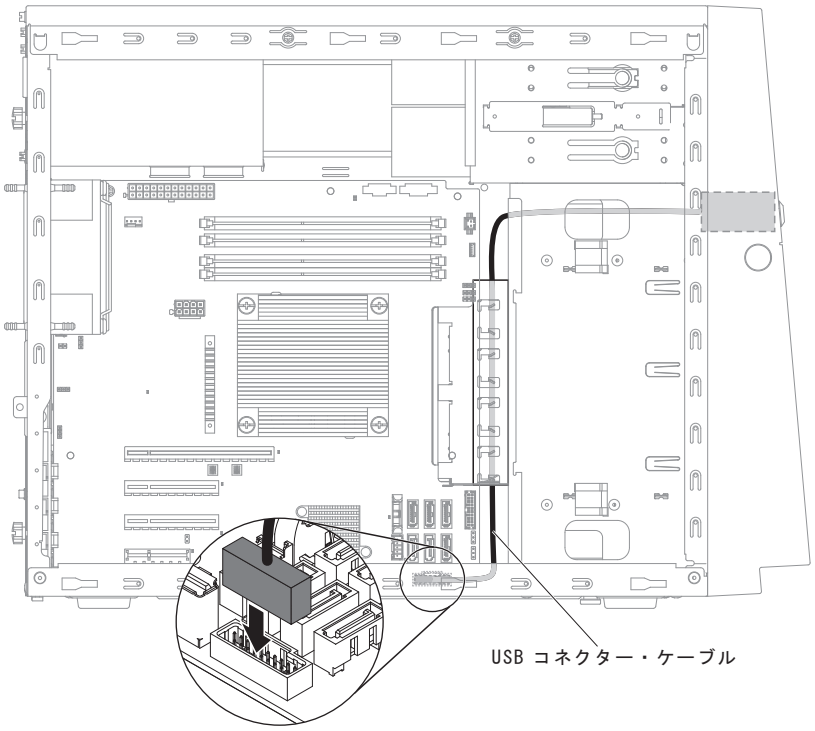


図 169. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの前面 USB ケーブルの取り付け

7. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
8. サイド・カバーを取り付けます (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
9. サーバーを元どおり垂直に立てます。
10. ベゼルを取り付けます (213 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
11. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに前面 USB コネクター・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. シャーシ前面の開口部を通して前面 USB ケーブルを慎重に挿入します。
3. 前面 USB コネクター・アセンブリーの両側にあるスプリング・クリップをつまんで、アセンブリーをハウジングの後部からハウジングに挿入します。

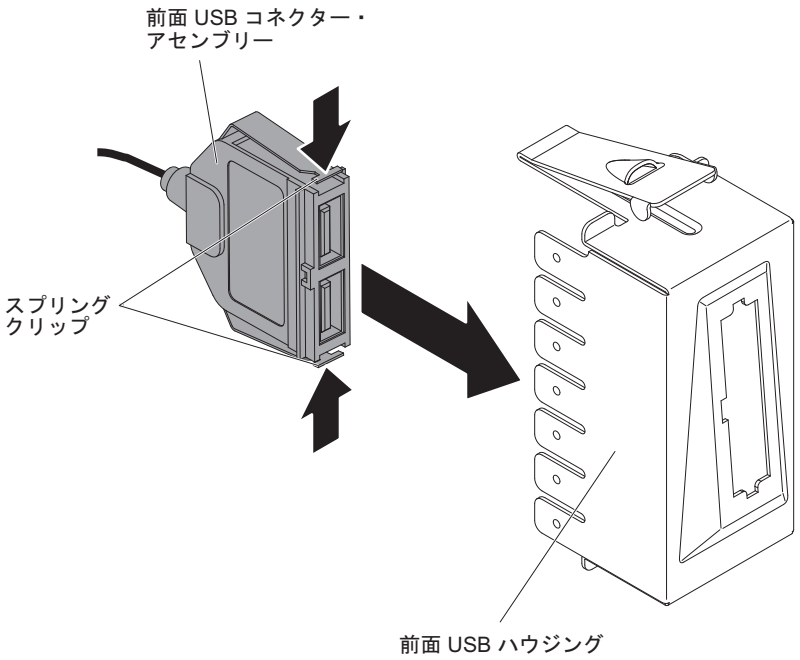


図 170. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの前面 USB コネクター・アセンブリーの取り付け (1)

4. ハウジング底部の端をシャーシの開口部の底部に合わせ、ハウジングの上部を傾けてカチッと音がするまで所定の位置にはめ込みます。

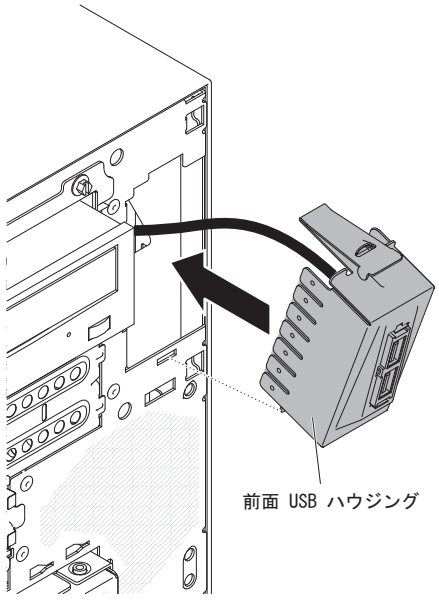


図 171. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの前面 USB コネクター・アセンブリーの取り付け (2)

5. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

6. 前面 USB ケーブルを再配線し、システム・ボード上の前面 USB コネクターに接続します (前面 USB コネクターの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

   注: ケーブルは必ずケーブル・クリップを通して配線してください。

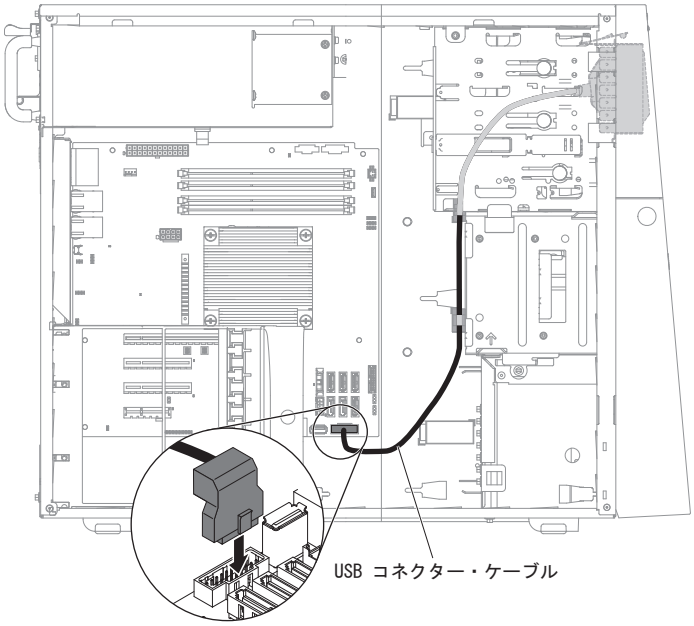


図 172. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの前面 USB ケーブルの取り付け

7. ハード・ディスク・ファン・ダクトを取り付けます (255 ページの『ハード・ディスク・ファン・ダクトの交換』を参照)。
8. サーバーを元どおり垂直に立てます。
9. 上段ベゼルを取り付けます (217 ページの『上段ベゼルの交換』を参照)。
10. 下段ベゼルを取り付けます (215 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
11. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
12. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

後部アダプターの保持ブラケットの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの背面アダプター保持ブラケットを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
2. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. すべてのアダプターを取り外し (必要な場合)、アダプターを帯電防止された面に置きます (302 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。

   注: アダプターを取り外す前に、各アダプターが取り付けられていた場所をメモしておくと便利です。
5. 背面アダプター保持ブラケットを開 (ロック解除) 位置まで回転させます。
6. ヒンジ・ポイントの一方の端のブラケットを掴んで、(ブラケットをサーバー前面へゆっくり回転させながら) ブラケットがヒンジ・ピンから抜けるまで内側に引きます。その後、ヒンジ・ポイントのもう一方の端のブラケットをつかんで同様にブラケットを内側に引き、サーバーから後部アダプターの保持ブラケットを取り外します。

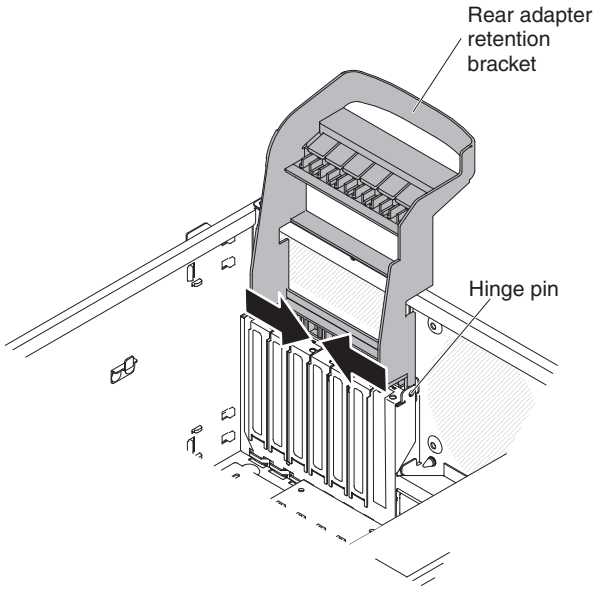


図 173. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの背面アダプター保持ブラケットの取り外し

後部アダプターの保持ブラケットの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに背面アダプター保持ブラケットを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 1 つのヒンジ・ポイントの穴がシャーシ上のヒンジ・ピンと揃うように、後部アダプターの保持ブラケットを位置合わせします。その後、ヒンジ・ピンをシャーシ上の穴に通します。
3. 後部アダプターの保持ブラケットを回転させて、反対側のヒンジ・ポイントの穴がシャーシ上のヒンジ・ピンの向こう側にカチッと収まるようにします。

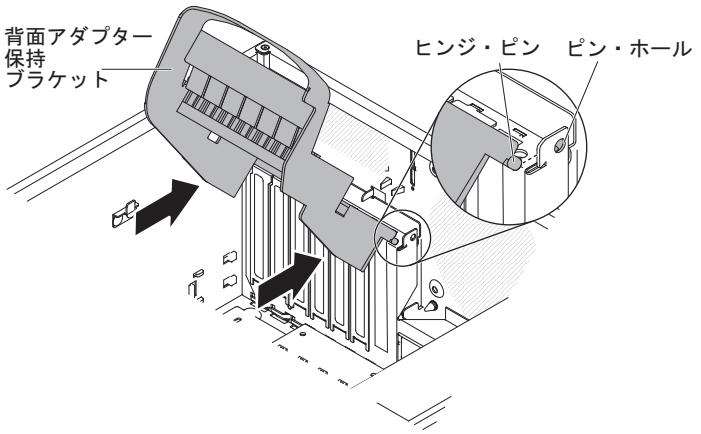


図 174. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの背面アダプター保持ブラケットの取り付け

4. アダプターを取り付けます。
5. サーバーを元どおり垂直に立てます。
6. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
7. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

非ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

固定パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行うときは、以下の予防措置を講じてください。

安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。 これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの非ホット・スワップ・パワー・サプライを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ハード・ディスクの電源ケーブルをバックプレートから取り外します。
7. パワー・サプライからシステム・ボードおよびすべての内部コンポーネントへのケーブルを切り離します。すべてのパワー・サプライ・ケーブルの経路をメモしておきます。パワー・サプライを取り付ける際に、同じようにパワー・サプライ・ケーブルを配線する必要があります。

8. パワー・サプライを支えながら、パワー・サプライをシャーシに固定している 6 本のねじを取り外します。その後、パワー・サプライをシャーシから取り出します。ねじは、交換用パワー・サプライを取り付けるときに使用するために、保存しておきます。

   重要: 取り付けねじを取り外す際は、必ずパワー・サプライを支えてください。6 つすべてのねじを取り外した後、パワー・サプライの取り付けが緩み、サーバー内の他のコンポーネントを損傷する可能性があります。

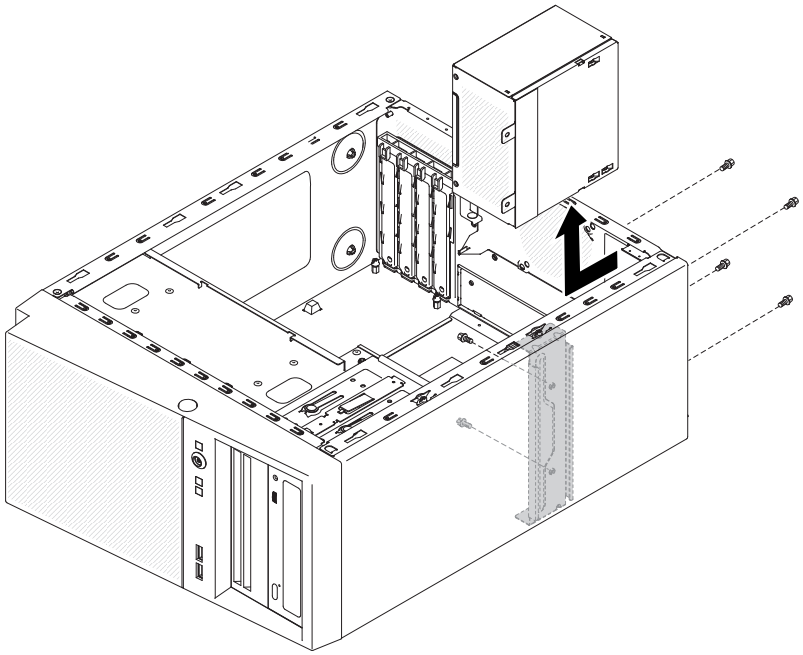


図 175. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの非ホット・スワップ・パワー・サプライねじの取り外し

   注: パワー・サプライの取り外しは、底部を上に押し上げると簡単に行うことができます。ケーブルを引っ張らないでください。

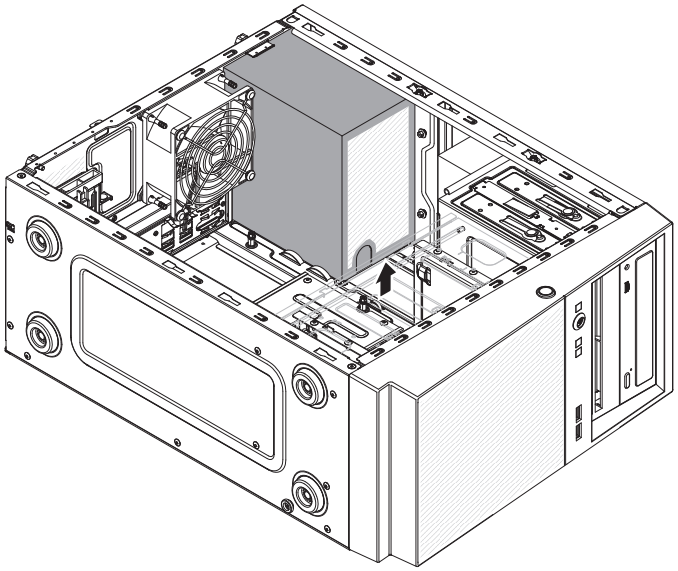


図 176. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの非ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し

9. パワー・サプライに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライの交換

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

安全 8

注意:
パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルに非ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. パワー・サプライのねじ穴がシャーシ背面の対応する穴と位置が合うように、パワー・サプライをシャーシ内に設置します。

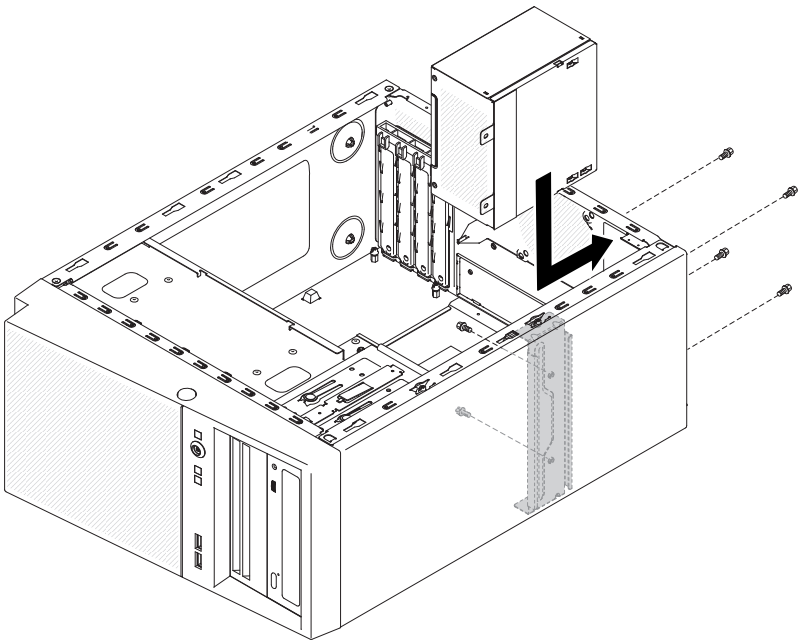


図 177. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの非ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け (1)

注: パワー・サプライの上部および下部が、開口部の上下のタブと位置が合っていることを確認してください。

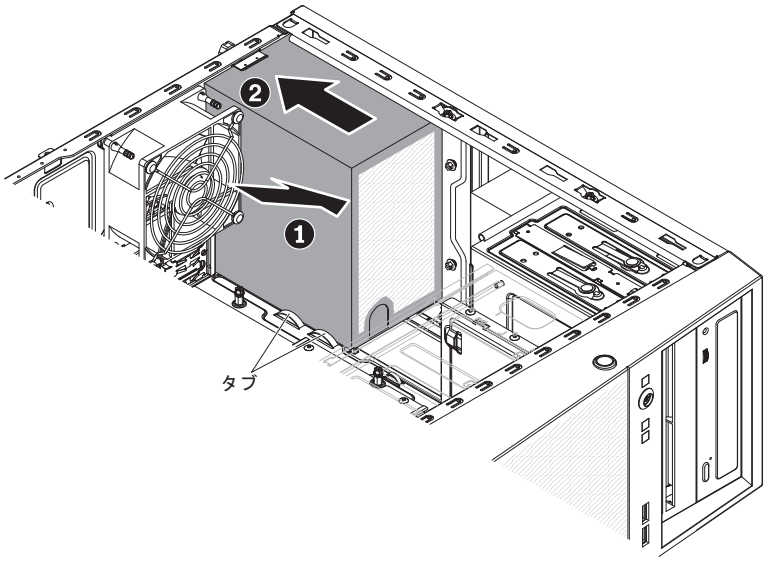


図 178. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの非ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け (2)

3. パワー・サプライをシャーシに固定する 6 つのねじを取り付けます。

4. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
5. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
6. サーバーを元どおり垂直に立てます。
7. ベゼルを取り付けます (213 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
8. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

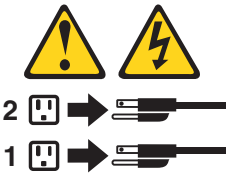
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行う場合は、以下の予防措置を順守してください。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

重要: 通常の運用中は、適切な冷却のために、各パワー・サプライ・ベイにホット・スワップ・パワー・サプライまたはホット・スワップ・パワー・サプライ・フィラーのいずれかを取り付けておく必要があります。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのホット・スワップ・パワー・サプライを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 取り外すパワー・サプライから電源コードを取り外します。
3. オレンジ色のリリース・レバーを押し下げ、ハンドルを使用してパワー・サプライをベイから引き出します。

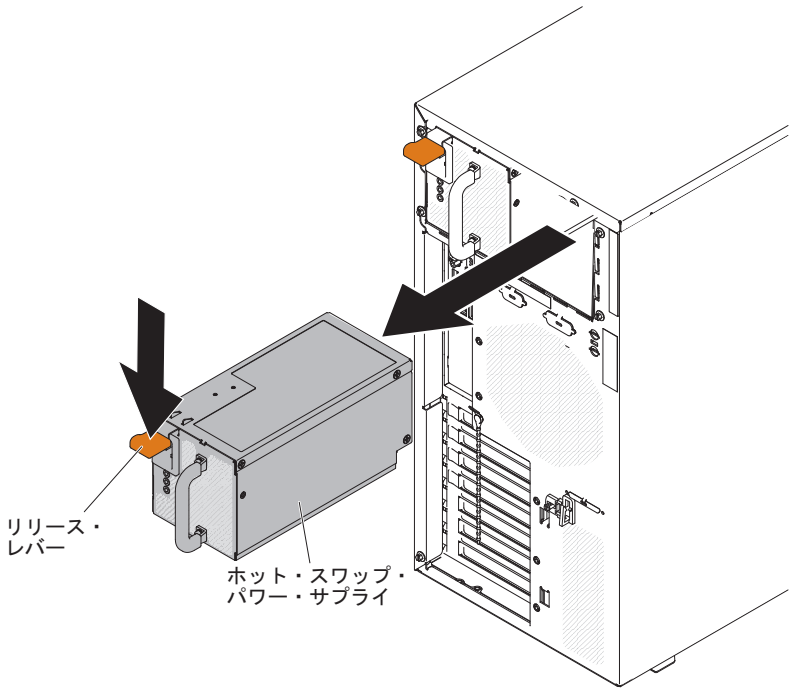


図 179. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し

4. パワー・サプライに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

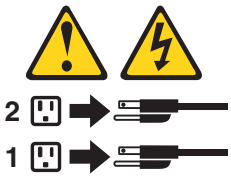
以下の項目は、サーバーがサポートするパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付ける際に考慮すべきその他の事項について説明しています。

- 取り付けるパワー・サプライをサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
- このサーバーには、430 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライが 1 つ標準装備されています。入力電圧は 110 V AC または 220 V AC (自動検知) です。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。
- サーバーは、1 個のパワー・サプライで、最大構成で稼働することができます。冗長性をサポートするために、2 個目のホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける必要があります。

注: サーバー内で高効率パワー・サプライと高効率ではないパワー・サプライを混用することはできません。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。 これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

重要: 通常の運用中は、適切に冷却するために、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライまたはパワー・サプライ・フィラーのいずれかを取り付けておく必要があります。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. パワー・サプライをベイ・ガイドに入れます。

3. ハンドルを使用して、所定の位置にロックされるまで、パワー・サプライをシャーシの前面に押し込みます。

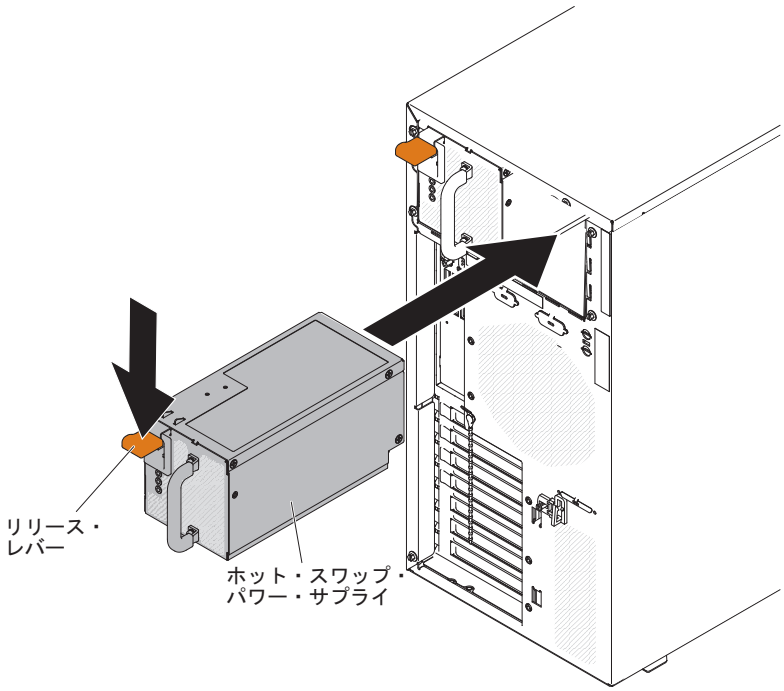


図 180. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

4. 電源コードの片方の端をパワー・サプライの背面のコネクターに接続し、電源コードのもう片方の端を正しく接地された電源コンセントに接続します。
5. パワー・サプライ背面の AC 電源 LED および DC 電源 LED が両方とも点灯し、パワー・サプライが正常に作動していることを確認します。

アダプターの取り外し

アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのアダプターを取り外すには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。

6. アダプターからのケーブル、および ServeRAID アダプターへのアクセスの邪魔になるケーブルをすべて切り離します。
7. 後部アダプターの保持ブラケットの端を持ち上げて、シャーシの穴からタブを外します。

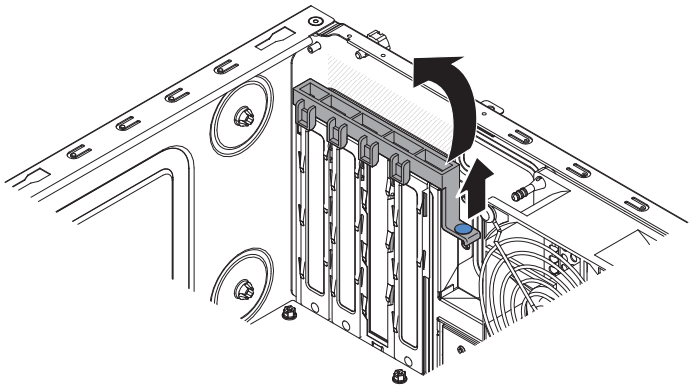


図 181. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの後部アダプターの保持ブラケットの取り外し

8. アダプターの後部に拡張スロットのねじを取り外します (ある場合)。
9. アダプターの上端または上部の両隅を慎重に掴み、アダプターをサーバーから引き抜きます。

   重要: 空のスロットにはすべて拡張スロット・カバーを取り付けておく必要があります。これにより、コンピューターの電波障害の規制が守られ、かつコンピューターのコンポーネントへの適切な通気が保たれます。

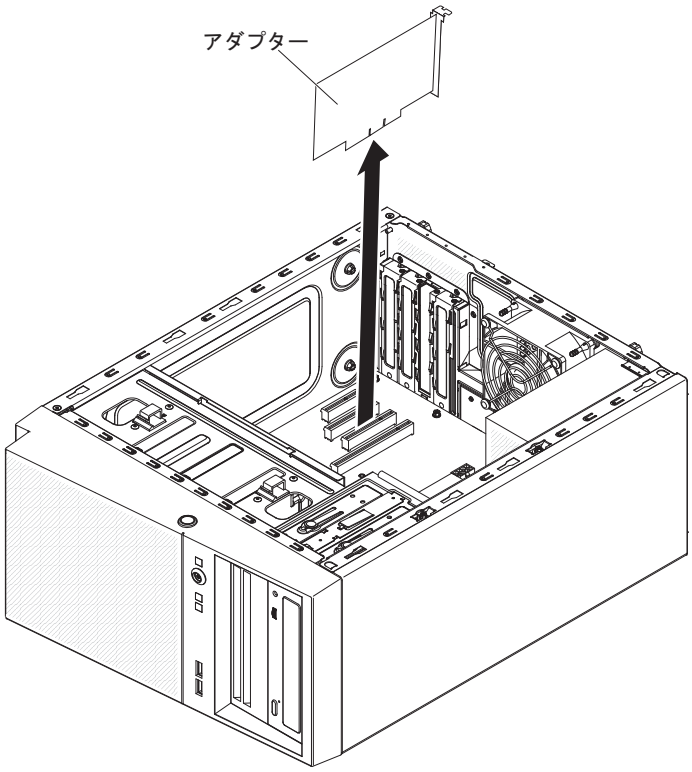


図 182. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのアダプターの取り外し

10. アダプターを交換しない場合は、拡張スロットの開口部に拡張スロット・カバーを取り付けます。
11. アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのアダプターを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。サーバーを強く倒さないようにしてください。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. アダプターからのケーブル、およびアダプターへのアクセスの邪魔になるケーブルをすべて切り離します。

6. 背面アダプター保持ブラケットを開 (ロック解除) 位置まで回転させます。
7. アダプターの上端または上部の両隅を注意しながら手でつかみ、サーバーからアダプターを引き出します。

   重要: 空のスロットにはすべて拡張スロット・カバーを取り付けておく必要があります。これにより、コンピューターの電波障害の規制が守られ、かつコンピューターのコンポーネントへの適切な通気が保たれます。

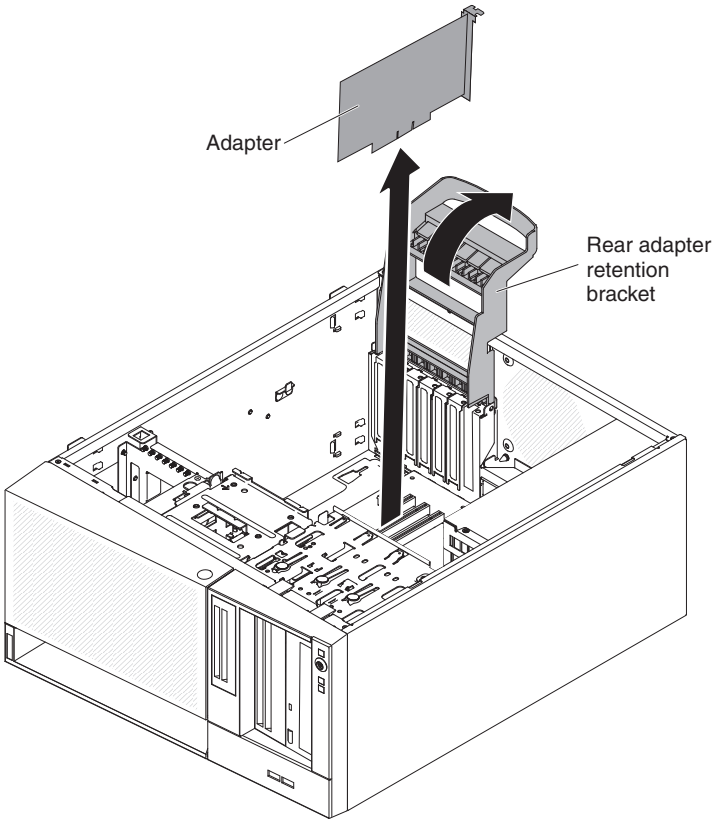


図 183. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのアダプターの取り外し

8. アダプターを交換しない場合は、拡張スロットの開口部に拡張スロット・カバーを取り付けます。
9. アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

アダプターの交換

以下の情報を使用して、アダプターを交換します。

重要: Intel x520 デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター (オプション部品番号 49Y7960) を取り付ける場合、サーバーに取り付け可能な最大数は 2 個です。

拡張スロットおよびコネクターの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに交換用アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 要件、制限事項、あるいは配線手順については、アダプターに付属の手順を確認してください。 アダプターを取り付ける前にケーブルを配線すると作業が容易になる場合があります。
3. アダプター付属の配線手順がある場合は、それに従ってジャンパーまたはスイッチを設定します。
4. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。 次に、アダプターを帯電防止パッケージから取り出します。 アダプター上のコンポーネントや金メッキしてあるコネクターには、触れないでください。
5. アダプターに付属の配線手順がある場合は、それに従ってください。アダプターを取り付ける前に、アダプター・ケーブルを配線しておきます。
6. アダプター付属の配線手順がある場合は、それに従ってジャンパーまたはスイッチを設定します。
7. シャーシに固定しているねじを外し、拡張スロット・カバーを取り外します。拡張スロット・カバーとねじは、将来使用できるように安全な場所に保管してください。

   注: 空のスロットにはすべて拡張スロット・カバーを取り付けておく必要があります。 これによりサーバーの電子放射規格が維持され、サーバー・コンポーネントの適切な通気が確保されます。
8. アダプターの上端または上の両方の角を注意して持ち、拡張スロット・ガイドの位置に合わせます。次にアダプターをしっかりと 拡張スロットに押し込みます。

   重要: サーバーの電源をオンにする前に、アダプターが拡張スロットの中に正しく収まっていることを確認してください。アダプターの取り付けが不完全な場合は、システム・ボードまたはアダプターが損傷を受けるおそれがあります。

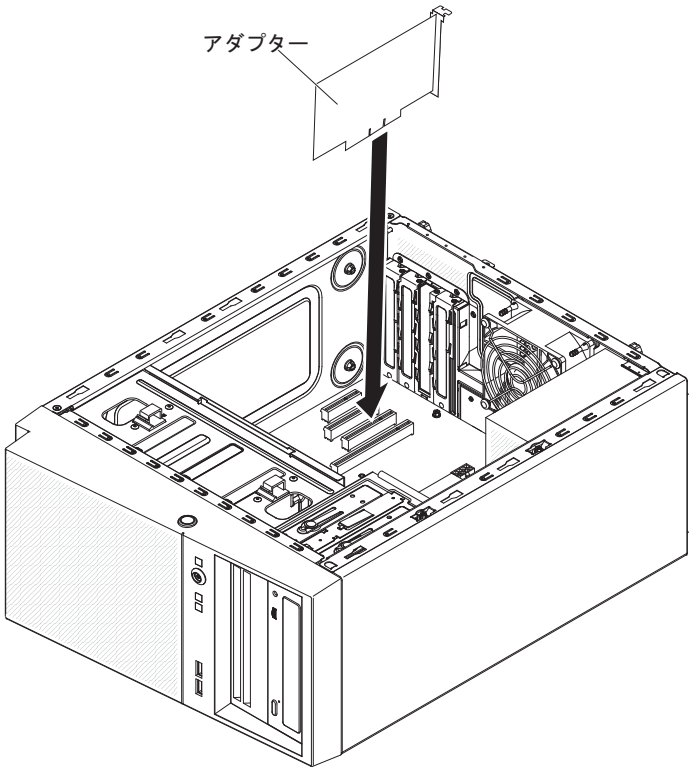


図 184. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのアダプターの取り付け

9. ヒンジ・ポイントのいずれかにある穴とシャーシのヒンジ・ピンが位置合わせされるように後部アダプターの保持ブラケットを配置したら、ヒンジ・ピンをシャーシの穴に通します。

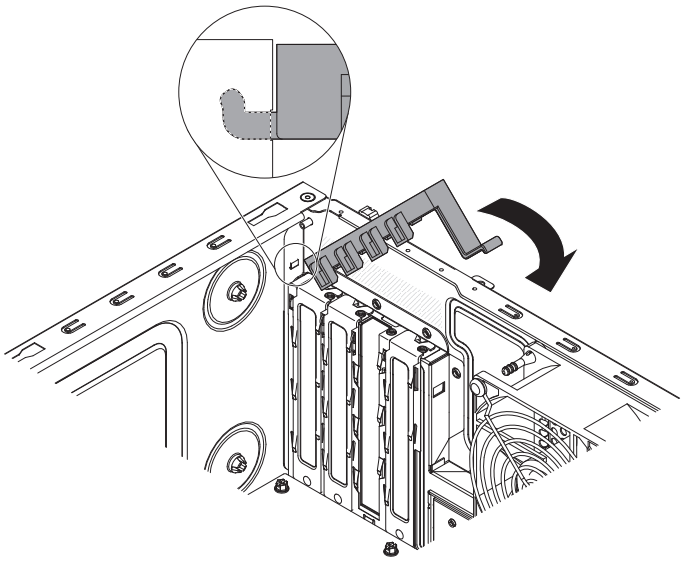


図 185. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの後部アダプターの保持ブラケットの取り付け

10. 後部アダプターの保持ブラケットを所定の位置に回転させ、反対側のヒンジ・ポイントにある穴がシャーシのヒンジ・ピンにはまるようにします。
11. 必要なケーブルをすべてアダプターに接続します。 システム・ファンからの空気の流れを妨害しないようにケーブルを配線します。
12. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
13. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
14. サーバーを元どおり垂直に立てます。
15. ベゼルを取り付けます (213 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
16. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに交換用アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 要件、制限事項、あるいは配線手順については、アダプターに付属の手順を確認してください。 アダプターを取り付ける前にケーブルを配線すると作業が容易になる場合があります。
3. アダプター付属の配線手順がある場合は、それに従ってジャンパーまたはスイッチを設定します。
4. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。 次に、アダプターを帯電防止パッケージから取り出します。 アダプター上のコンポーネントや金メッキしてあるコネクターには、触れないでください。
5. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
6. シャーシに固定しているねじを外し、拡張スロット・カバーを取り外します。拡張スロット・カバーとねじは、将来使用できるように安全な場所に保管してください。

   注: 空のスロットにはすべて拡張スロット・カバーを取り付けておく必要があります。 これによりサーバーの電子放射規格が維持され、サーバー・コンポーネントの適切な通気が確保されます。
7. アダプターの上端または上の隅を注意して持ち、帯電防止パッケージから拡張スロットにアダプターを直接移します。アダプターを拡張スロット・ガイドの位置に合わせ、拡張スロットにアダプターをしっかり と押し込みます。

   重要: サーバーの電源をオンにする前に、アダプターが拡張スロットの中に正しく収まっていることを確認してください。 アダプターの取り付けが不完全な場合は、システム・ボードまたはアダプターが損傷を受けるおそれがあります。

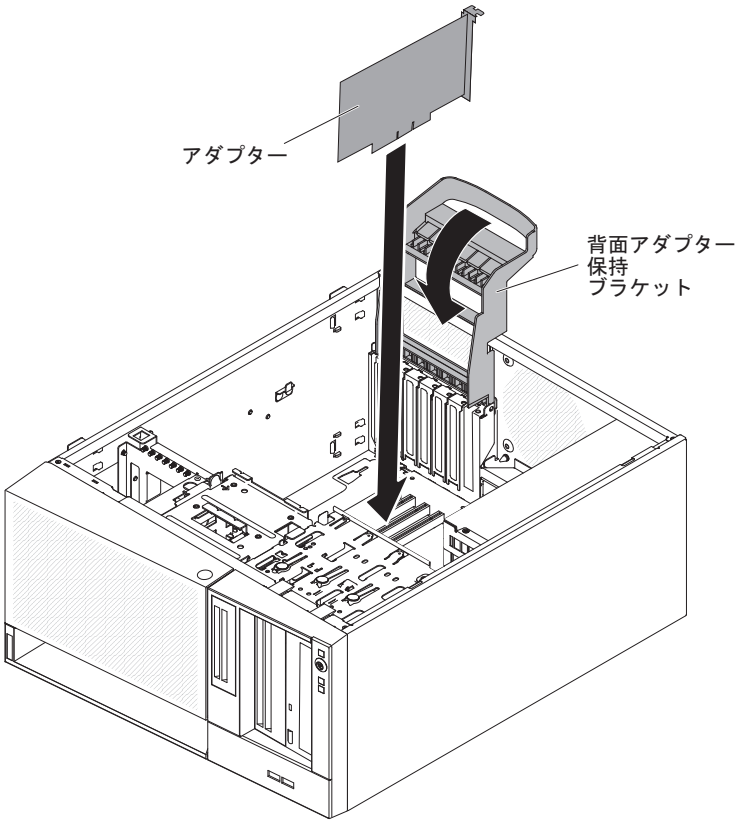


図 186. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのアダプターの取り付け

8. 必要なケーブルをアダプターに接続します。ファンからの空気の流れを妨げないようにケーブルを配線します。
9. 背面アダプター保持ブラケットを閉 (ロック) 位置に回転させます。
10. サーバーを元どおり垂直に立てます。
11. サイド・カバーを取り付けてロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
12. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

メモリー・モジュールの取り外し

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り外します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
6. 交換する DIMM を含む DIMM コネクターを見付けます (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

   重要: DIMM 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷したりしないように、クリップの開閉は静かに行ってください。
7. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

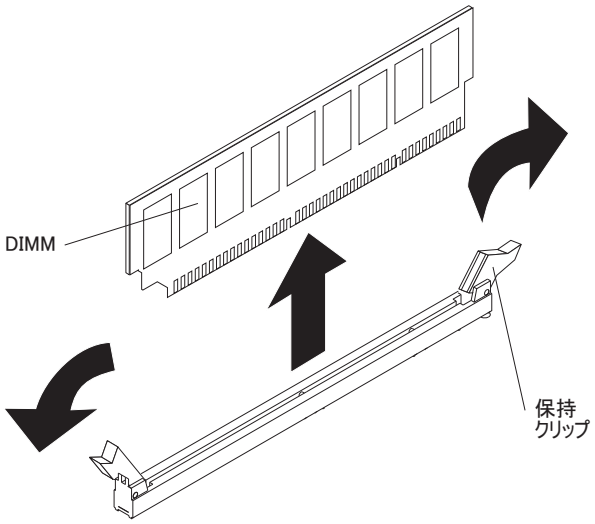


図 187. DIMM の取り外し

8. DIMM の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、以下の手順を実行します。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 交換する DIMM を含む DIMM コネクターを見付けます (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

   重要: DIMM 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷したりしないように、クリップの開閉は静かに行ってください。
6. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

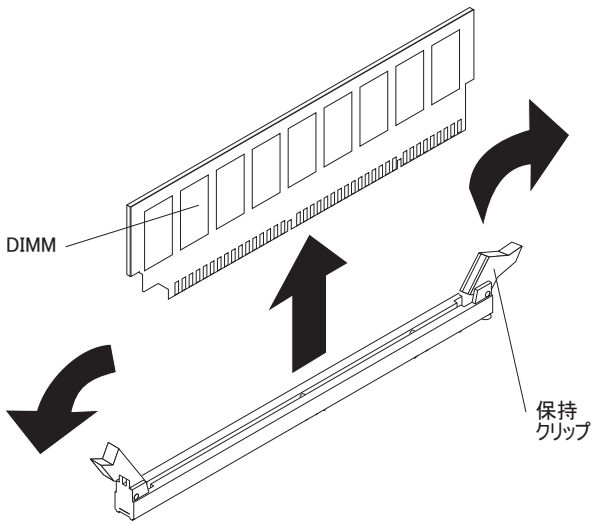


図 188. DIMM の取り外し

7. DIMM の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

メモリー・モジュールの交換

メモリー・モジュールを交換するには、以下の情報を使用します。

以下の注意書きは、このサーバーがサポートするデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のタイプ、および DIMM を取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- このサーバーは、業界標準の 1066 MHz、1333 MHz、および 1600 MHz、PC3-12800 (single-rank または dual-rank) DDR3、registered または unbuffered SDRAM 搭載でエラー修正コード (ECC) 付きの DIMM をサポートしています。このサーバーがサポートするオプションのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us にアクセスしてお客様の国を選択し、このサーバーのオプションのリストに進みます。
- サーバーがサポートするメモリーの最大量は、サーバーに取り付けるメモリーのタイプに依存します。
- 使用可能なメモリーの容量は、システム構成に応じて減少します。 メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。 取り付け済みメモリーの合計量と構成済みのメモリー量を表示するには、Setup ユーティリティーを実行してください。 追加情報については、Setup ユーティリティーの使用を参照してください。
- サーバーの最大作動速度は、サーバーに取り付けられた最も遅い DIMM により決まります。
- DIMM のペアを DIMM コネクター 1 および 3 に取り付ける場合は、DIMM コネクター 1 および 3 に取り付ける DIMM のサイズと速度が相互に一致している必要があります。 ただし、DIMM コネクター 2 と 4 に取り付けた DIMM とサイズおよび速度が同じである必要はありません。
- 互換性があれば、さまざまなメーカーの DIMM を同じペアに使用することができます。
- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージがシステムにより表示されます。サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、その他の接地システムを利用してください。

  重要: サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、その他の接地システムを利用してください。
- DDR3 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。

  *ggg e*R*x**ff*-PC3-*wwwwwm-aa-bb-cc*

ここで、

– *ggg* は、DIMM の合計容量 (例えば、1GB、2GB、または 4GB) です。
– *e* はランク数です。
  - 1 = single-rank
  - 2 = dual-rank
  - 4 = quad-rank
– *ff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。
  - 4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)
  - 8 = x8 編成
  - 16 = x16 編成
– *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。
  - 8500 = 8.53 GBps (PC3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
  - 10600 = 10.66 GBps (PC3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
  - 12800 = 12.8 GBps (PC3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
– *m* は、DIMM のタイプです。
  - E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)
  - R = Registered DIMM (RDIMM)
  - U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
– *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
– *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
– *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。
– *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを調べてください。ラベルの情報は、xxxxx nRxxx PC3-xxxxx-xx-xx-xxx の形式になっています。 6 番目の数値の位置にある数表示は、DIMM が single-rank (n=1) または dual-rank (n=2) であることを示しています。

Unbuffered DIMM (UDIMM):

以下の注では、UDIMM の取り付け時に考慮すべき事項について説明します。

- メモリー・チャネルは、取り付け済みの DIMM 間に共通する最低周波数で作動します。
- このサーバーで使用可能な UDIMM オプションは、1 GB、2 GB、4 GB、および 8 GB (使用可能な場合) の DIMM です。
- このサーバーは、チャネル当たり最大 2 つの single-rank または dual-rank UDIMM をサポートします。

次の表は、サポートされている UDIMM 装着構成のリストです。

表 35. チャネル当たりの UDIMM 装着構成

チャネルごとの DIMM コネクター	各チャネルに取り付けられた DIMM	DIMM のタイプ	DIMM の速度	DIMM ごとのランク (すべての組み合わせ)
2	1	Unbuffered DDR3 ECC	1333, 1600	single-rank、dual-rank
2	2	Unbuffered DDR3 ECC	1333, 1600	single-rank、dual-rank

次の表は、ランク付き UDIMM を使用したときの最大 DIMM 装着構成のリストです。

表 36. ランク付き UDIMM を使用した最大メモリー装着構成 (モデルにより異なる)

UDIMM の数	DIMM のタイプ	サイズ	メモリー合計
4	single-rank UDIMM	1 GB	4 GB
4	dual-rank UDIMM	2 GB	8 GB
4	dual-rank UDIMM	4 GB	16 GB
4	dual-rank UDIMM	8 GB (使用可能な場合)	32 GB

次の表は、システム・パフォーマンスを最適化するための UDIMM メモリーの装着構成の規則を示しています。

表 37. UDIMM 装着構成の規則

DIMM コネクター 1	DIMM コネクター 2	DIMM コネクター 3	DIMM コネクター 4
装着済み	空の状態	空の状態	空の状態
装着済み	空の状態	装着済み	空の状態
装着済み	装着済み	装着済み	装着済み

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。

注: 本書の図は、ご使用のモデルと多少異なる場合があります。

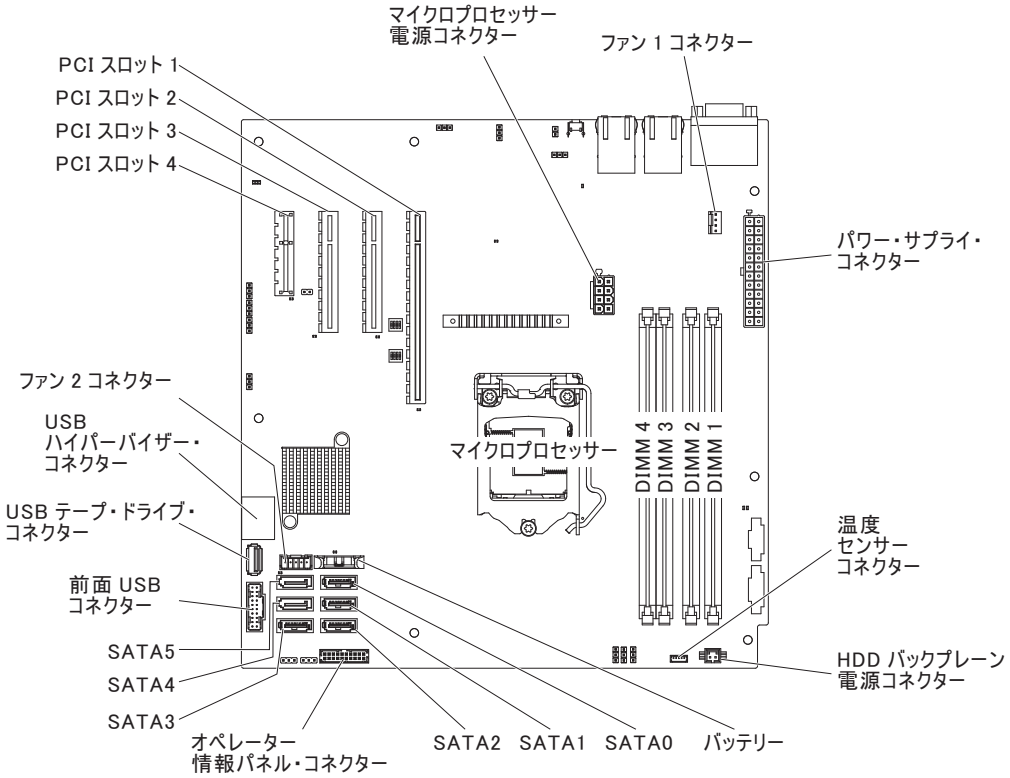


図 189. システム・ボード上の DIMM コネクター

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題が起きないよう、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに DIMM を取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. システム・ボードの DIMM コネクターを見付けます。 DIMM を取り付けるコネクターを決定します。 次の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

表 38. DIMM の取り付け順序

DIMM の数	**取り付け順序 (コネクター)**
最初の DIMM ペア	1、3
2 番目の DIMM ペア	2、4

3. 保持クリップを開き、必要に応じて既存の DIMM を取り外します。

重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。

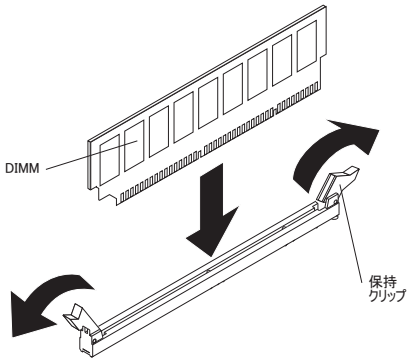


図 190. DIMM の取り付け

4. DIMM が入っている帯電防止パッケージをサーバー外側の塗装されていない金属面に触れさせます。 その上で、DIMM をパッケージから取り出します。
5. DIMM の切り欠きがコネクターと合うように DIMM を正しく位置合わせします。
6. DIMM の端を、DIMM コネクターの両端にあるスロットの位置に合わせて、DIMM をコネクターに挿入します。
7. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。 DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップはカチッとロック位置にはまります。

   注: DIMM と保持クリップとの間にすき間があるときは、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。
8. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
9. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
10. サーバーを元どおり垂直に立てます。
11. ベゼルを取り付けます (213 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
12. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに DIMM を取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. システム・ボードの DIMM コネクターを見付けます。 DIMM を取り付けるコネクターを決定します。 次の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

表 39. DIMM の取り付け順序

DIMM の数	取り付け順序 (コネクター)
最初の DIMM ペア	1、3
2 番目の DIMM ペア	2、4

3. 保持クリップを開き、必要な場合は既存の DIMM を取り外します。

   重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。

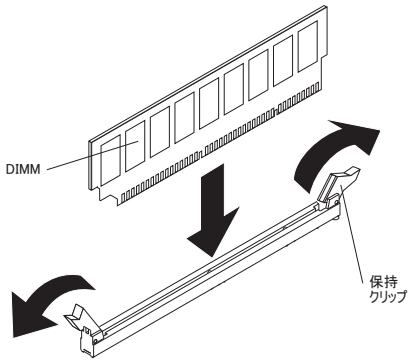


図 191. DIMM の取り付け

4. DIMM が入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、新規の DIMM をパッケージから取り外します。
5. DIMM の切り欠きがコネクターと合うように DIMM を正しく位置合わせします。
6. DIMM の端を、DIMM コネクターの両端にあるスロットの位置に合わせて、DIMM をコネクターに挿入します。 DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。 DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップはカチッとロック位置にはまります。 DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく取り付けられていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。
7. サーバーを元どおり垂直に立てます。
8. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
9. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

システム・バッテリーの取り外し

システム・バッテリーを取り外すには、この情報を使用します。

以下の注では、バッテリーの交換時に考慮すべき事項について説明します。

- IBM は安全性を考慮してこの製品を設計しました。起こりうる危険な事態を防止するために、リチウム・バッテリーの正しい取り扱いが必要です。バッテリーを交換する場合、以下の説明を厳守する必要があります。

  注: 米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。
- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定のビジネス・パートナーにご連絡ください。

  注: バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。

  安全 2

  注意:
  リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。 システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。 バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

  次のことはしないでください。
  - **水に投げ込む、あるいは浸す**
  - **100℃ (華氏 212 度) を超える過熱**
  - **修理または分解**

  バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのバッテリーを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
6. システム・ボード上のバッテリーの位置を確認します (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
7. 以下の手順で、バッテリーを取り外します。
   a. 指を 1 本使ってバッテリーをソケットから外れるように押して、横に傾けます。
   b. バッテリーをソケットから持ち上げて取り外します。

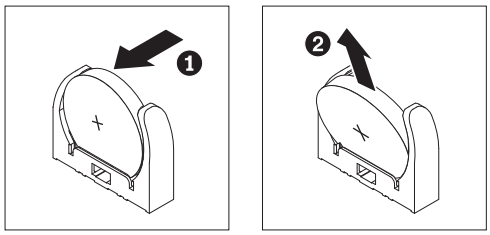


図 192. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・バッテリーの取り外し

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのバッテリーを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. システム・ボード上のバッテリーの位置を確認します (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
6. 以下の手順で、バッテリーを取り外します。
   a. 指を 1 本使ってバッテリーをソケットから外れるように押して、横に傾けます。
   b. バッテリーをソケットから持ち上げて取り外します。

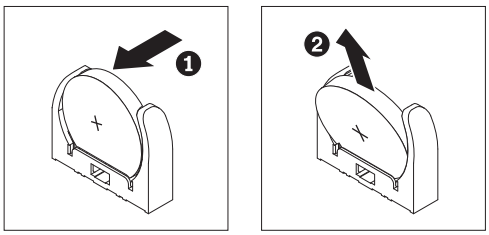


図 193. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのシステム・バッテリーの取り外し

システム・バッテリーの交換

システム・バッテリーを交換するには、この情報を使用します。

以下の注では、サーバー内でシステム・ボード・バッテリーを交換するときに考慮する必要のある事項について説明します。

- システム・ボード・バッテリーを交換するときは、同じ製造元の同じタイプのリチウム・バッテリーと交換する必要があります。
- 交換バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-426-7378 に、カナダ内では 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、 IBM 営業担当員または認可販売店に電話してください。
- システム・ボード・バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。
- 起こり得る危険を回避するために、以下の安全の注記をお読みになり、それに従ってください。

安全 2

注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。 システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。 バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100℃ (華氏 212 度) を超える過熱**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに交換のバッテリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 交換バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
3. 以下のようにしてバッテリーを挿入します。
   a. バッテリーを、小さい方の側がソケットに向くようにして縦に持ちます。
   b. バッテリーを傾けてソケット内に滑り込ませてから、ソケットに押し込んで定位置に収めます。バッテリー・クリップがバッテリーをしっかり保持していることを確認します。

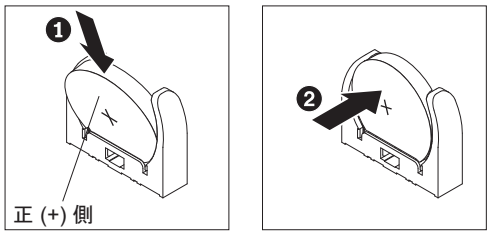


図 194. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・バッテリーの取り付け

4. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
5. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
6. サーバーを元どおり垂直に立てます。
7. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。
8. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムを開始して、構成を再設定します。
   - システムの日付と時刻を設定します。
   - 始動パスワードを設定します。
   - サーバーを再構成します。

   詳しくは、 110 ページの『Setup ユーティリティーのメニュー選択項目』を参照してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに交換のバッテリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

2. 交換バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
3. 以下のようにしてバッテリーを挿入します。
   a. バッテリーの向きを、プラス側が上を向くようにします。
   b. バッテリーを傾けてソケット内に滑り込ませます。

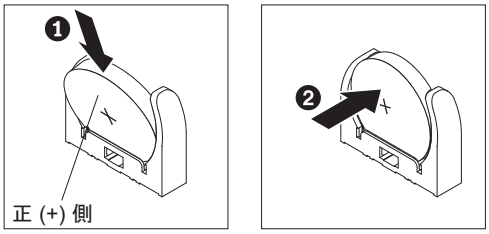


図 195. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのシステム・バッテリーの取り付け

   c. バッテリーをソケットの中に押し下げ、定位置に収めます。バッテリー・クリップがバッテリーをしっかり保持していることを確認します。
4. サーバーを元どおり垂直に立てます。
5. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
6. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。
7. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムを開始して、構成を再設定します。
   - システムの日付と時刻を設定します。
   - 始動パスワードを設定します。
   - サーバーを再構成します。

   詳しくは、 110 ページの『Setup ユーティリティーのメニュー選択項目』を参照してください。

背面システム・ファンの取り外し

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの背面システム・ファンを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
2. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
3. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。

4. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
5. システム・ボード上でファンとファン・コネクターへのアクセスを妨げているアダプターをすべて取り外します (302 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
6. 次のように、システム・ファンを取り外します。
   a. ファン・ケーブルをシステム・ボードから取り外します (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
   b. 片手でシステム・ファンを支えながら、ゴムのグロメットをシャーシの外側に引き、ファンをサーバーの前面方向に引いてゴムのグロメットをシャーシの穴を通して取り外します。このステップを繰り返して、残りすべてのゴムのグロメットを取り外します。
   c. システム・ファンを持ち上げてシャーシから取り出します。

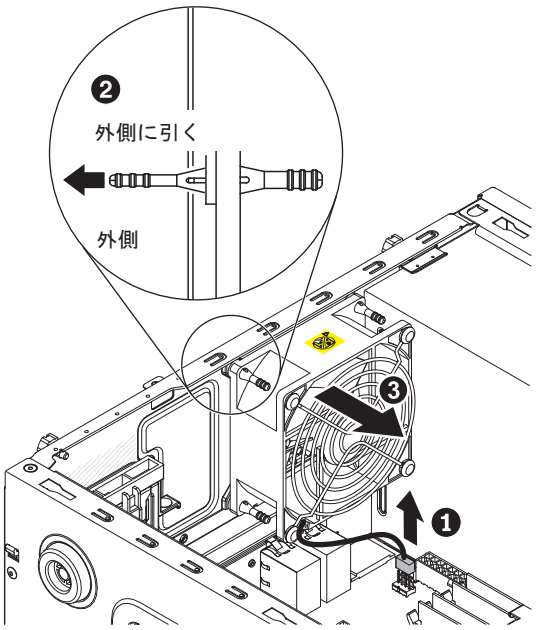


図 196. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・ファンの取り外し

7. ファンに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

背面システム・ファンの交換

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

重要: システムの冷却と空気の流れを適正に保つために、サーバーのサイド・カバーを取り外したまま 30 分間を超えてサーバーを稼働させないでください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに背面システム・ファンを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 交換用ファンはラバー・グロメットが取り付けられて出荷されますが、配送中に脱落している場合があります。ラバー・グロメットがファンから脱落している場合は、ファンにグロメットを取り付けてから作業を続行します。ラジオ・ペンチを使用し、ファンの穴を通してグロメットを引っ張ります。
3. グロメットがシャーシの穴から突き出るようにファンを位置付け、ラジオ・ペンチを使用してシャーシの外側から穴を通してグロメットを引っ張ります。

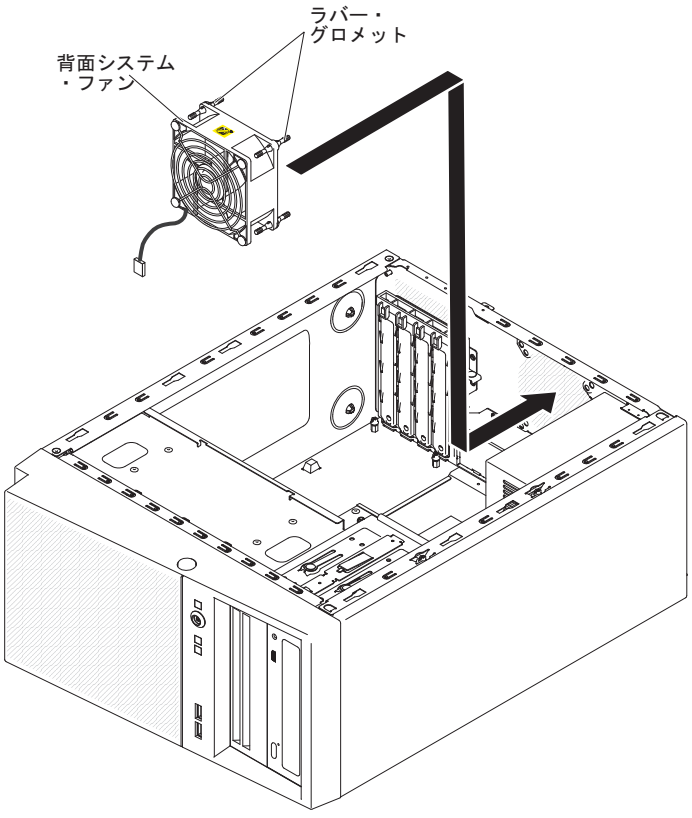


図 197. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・ファンの取り付け (1)

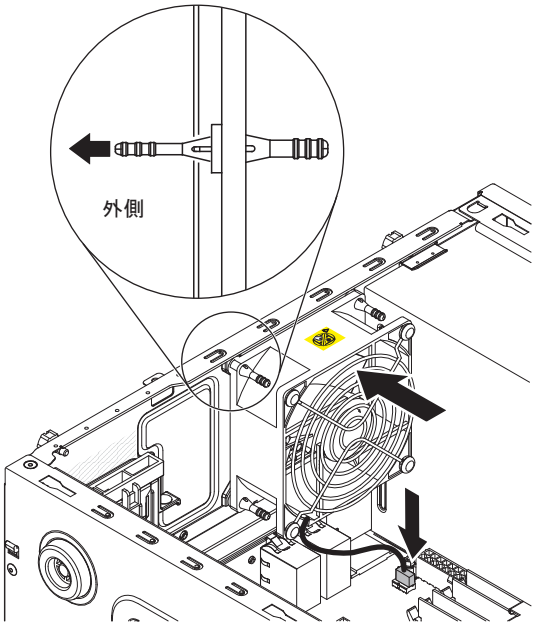


図 198. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・ファンの取り付け (2)

4. ファン・ケーブルをシステム・ボードに接続します (背面ファン・コネクターの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
5. 取り外したアダプターをすべて取り付けます (306 ページの『アダプターの交換』を参照)。
6. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
7. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
8. サーバーを元どおり垂直に立てます。
9. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

thermal solution fan kit の取り外し

以下の情報を使用して、thermal solution fan kit を取り外すことができます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの thermal solution fan kit を取り外すには、以下の手順を実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

4. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
6. 以下のようにして thermal solution fan kit を取り外します。

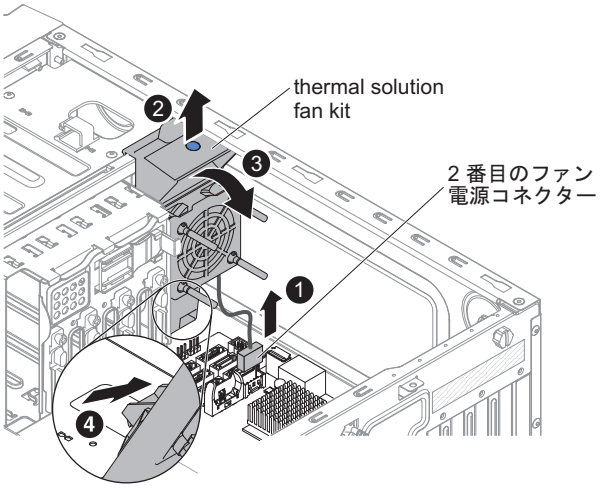


図 199. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの thermal solution fan kit の取り外し

   a. ファン・ケーブルをシステム・ボードから取り外します (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
   b. 片手でシステム・ファンを支えながら、ゴムのグロメットをシャーシの外側に引き、ファンをサーバーの前面方向に引いてゴムのグロメットをシャーシの穴を通して取り外します。このステップを繰り返して、残りすべてのゴムのグロメットを取り外します。
   c. システム・ファンを持ち上げてシャーシから取り出します。
7. thermal solution fan kit に返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの thermal solution fan kit を取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 以下のようにして thermal solution fan kit を取り外します。

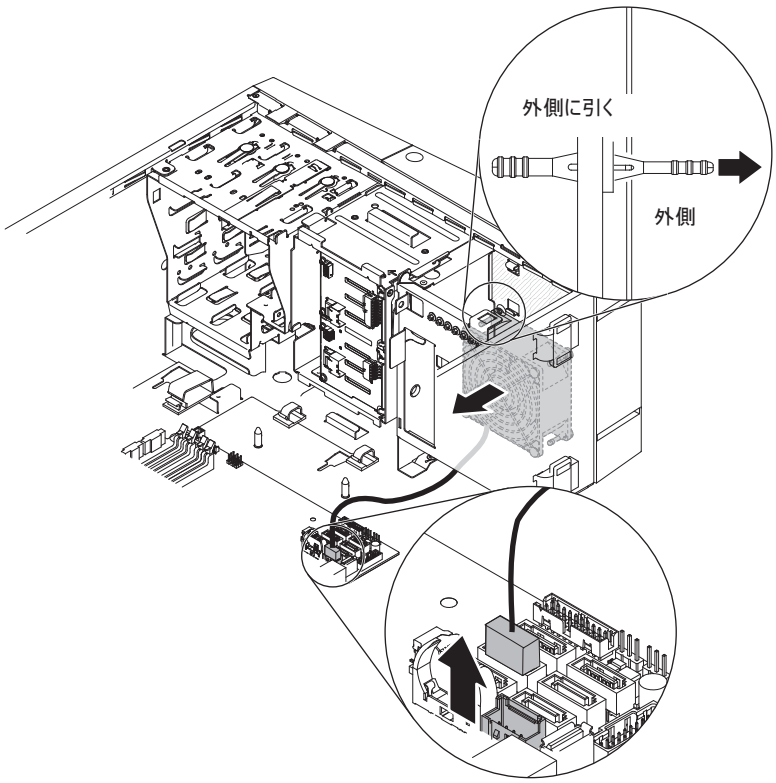


図 200. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの thermal solution fan kit の取り外し

a. ファン・ケーブルをシステム・ボードから取り外します (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

b. システム・ファンの青色のタッチ・ポイントをつかみ、システム・ファンを持ち上げてシャーシから外します。

6. thermal solution fan kit に返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

thermal solution fan kit の交換

thermal solution fan kit を交換するには、以下の情報を使用します。

重要:

1. システムの冷却と空気の流れを適正に保つために、サーバーのサイド・カバーを取り外したまま 30 分間を超えてサーバーを稼働させないでください。
2. システム・ボード上のアダプター・スロットに 2 つ目のアダプターを取り付ける場合は、IBM thermal solution fan kit オプションを取り付けてシステムに適切な冷却と空気の流れを確保する必要があります。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、部品番号は 46W9177 です。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、部品番号は 00Y8200 です。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに thermal solution fan kit を取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 以下のようにして thermal solution fan kit を挿入します。
   a. システム・ファンの青色の点をつかんでサーバー内に下ろし、シャーシの中に納まるのを確認します。
   b. ファン・ケーブルをシステム・ボードに接続します (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

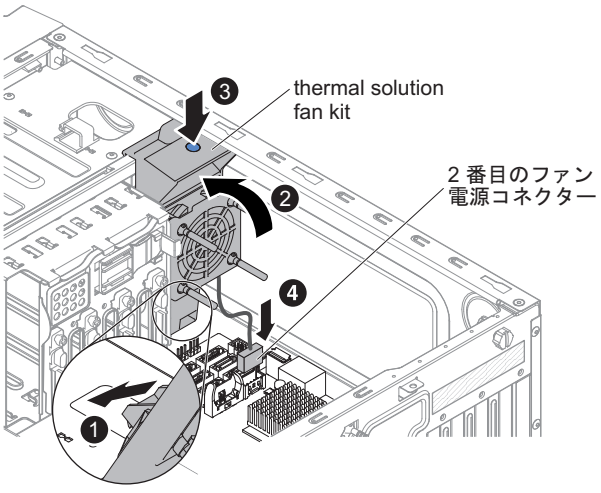


図 201. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの thermal solution fan kit の取り付け

3. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
4. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
5. サーバーを元どおり垂直に立てます。

6. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに thermal solution fan kit を取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 以下のようにして thermal solution fan kit を挿入します。

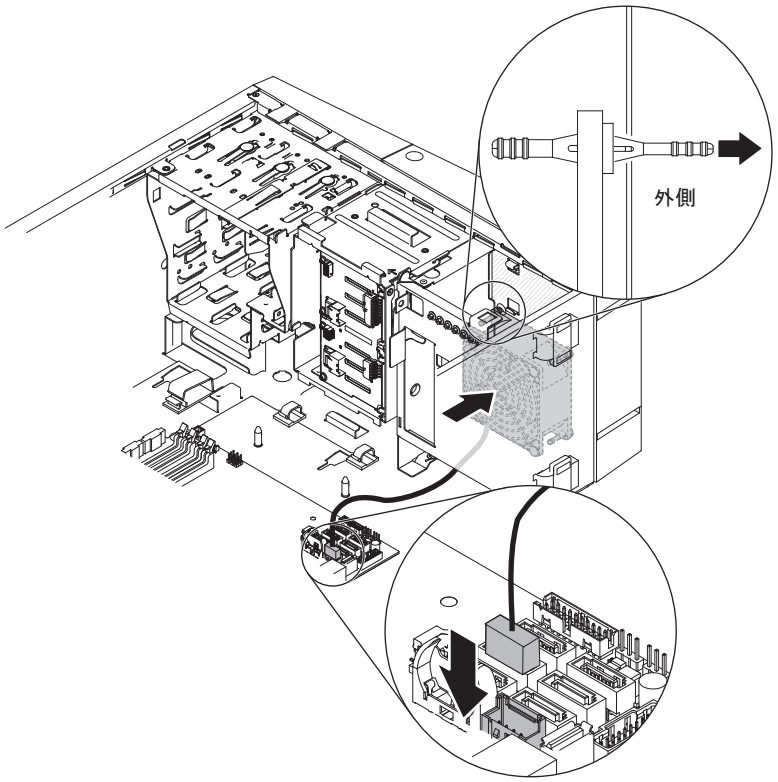


図 202. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの thermal solution fan kit の取り付け

   a. グロメットがシャーシの穴から突き出るようにファンを位置付け、ラジオ・ペンチを使用してシャーシの外側から穴を通してグロメットを引っ張ります。
   b. ファン・ケーブルをシステム・ボードに接続します (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
3. サーバーを元どおり垂直に立てます。
4. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
5. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

作動温度の機能拡張キットの取り外し

以下の情報を使用して、作動温度の機能拡張キットを取り外すことができます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの作動温度の機能拡張キットを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (43 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. システム・ボードから温度センサー・コネクターを切り離し、ケーブル・クリップを開きます。

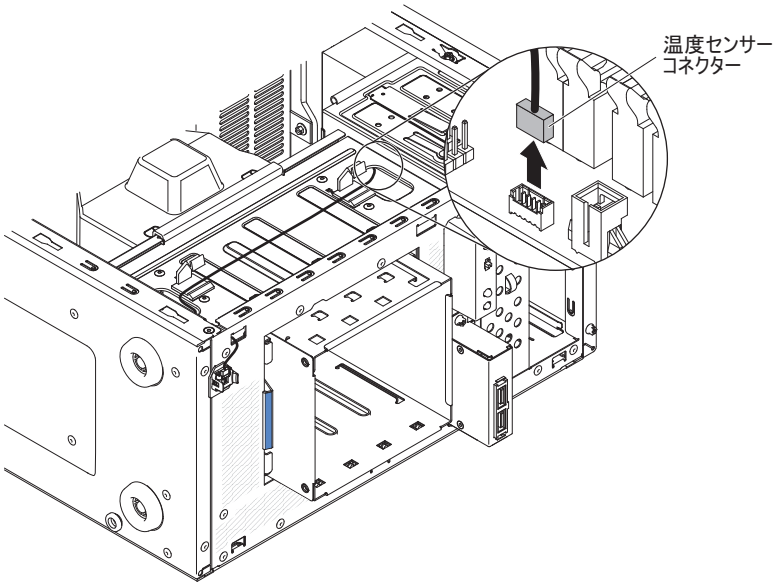


図 203. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・ボードからの温度センサー・コネクターの取り外し

7. 温度センサー・ボード・ホルダーの固定クリップを引いて外側に開き、温度センサー・ボードを取り外します。

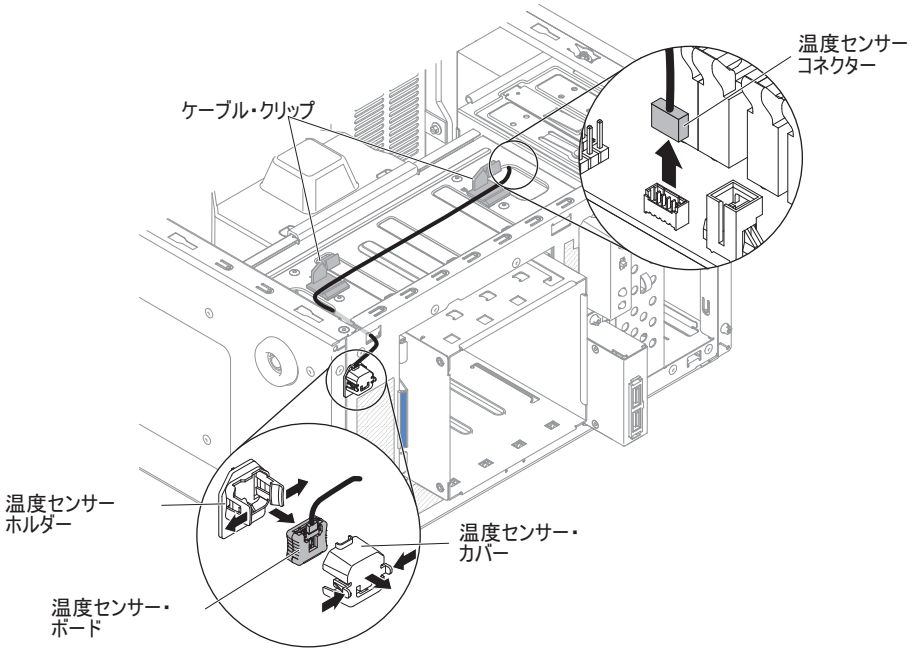


図 204. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの温度センサー・ボードの取り外し

8. thermal solution fan kit に返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの作動温度の機能拡張キットを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (45 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルを取り外します (46 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。
6. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
7. システム・ボードから温度センサー・コネクターを切り離し、ケーブル・クリップを開きます。

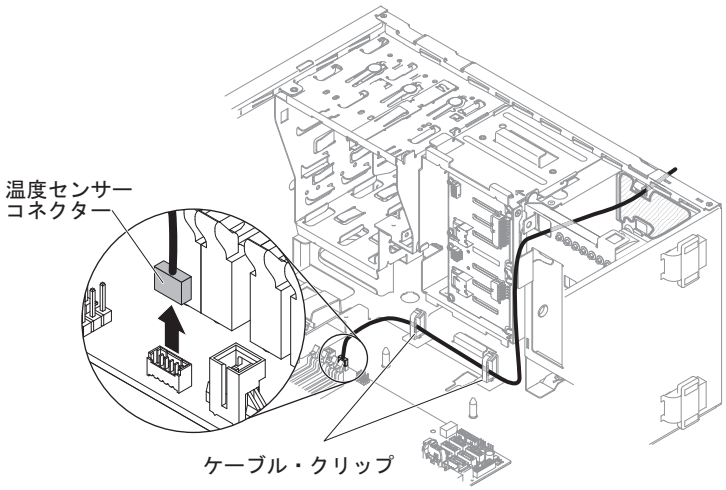


図 205. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのシステム・ボードからの温度センサー・コネクターの取り外し

8. 温度センサー・ボード・ホルダーの固定クリップを引いて外側に開き、温度センサー・ボードを取り外します。

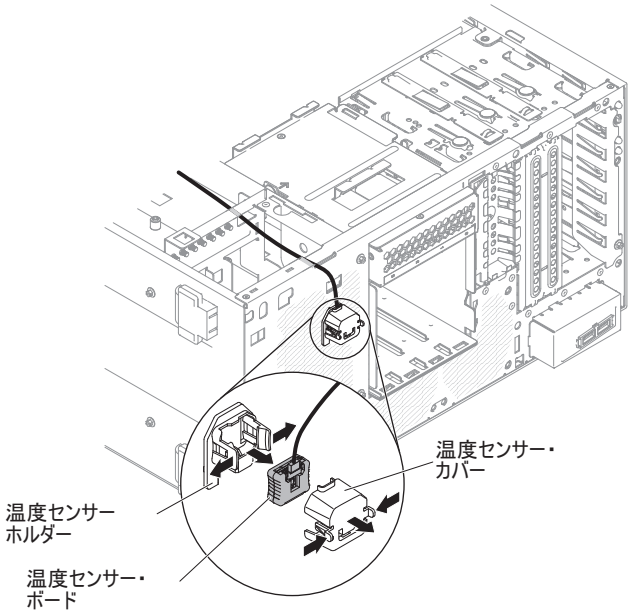


図 206. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの温度センサー・ボードの取り外し

9. thermal solution fan kit に返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

作動温度の機能拡張キットの交換

以下の情報を使用して、作動温度の機能拡張キットを交換することができます。

重要: システムの冷却と空気の流れを適正に保つために、サーバーのサイド・カバーを取り外したまま 30 分間を超えてサーバーを稼働させないでください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに作動温度の機能拡張キットを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 温度センサー・ボードを温度センサー・ホルダーに挿入します。図に示すようにケーブルが穴を通っていることを確認し、温度センサー・コネクターをシステム・ボードに接続します。ケーブル・クリップを閉じてケーブルを固定することを忘れないでください。

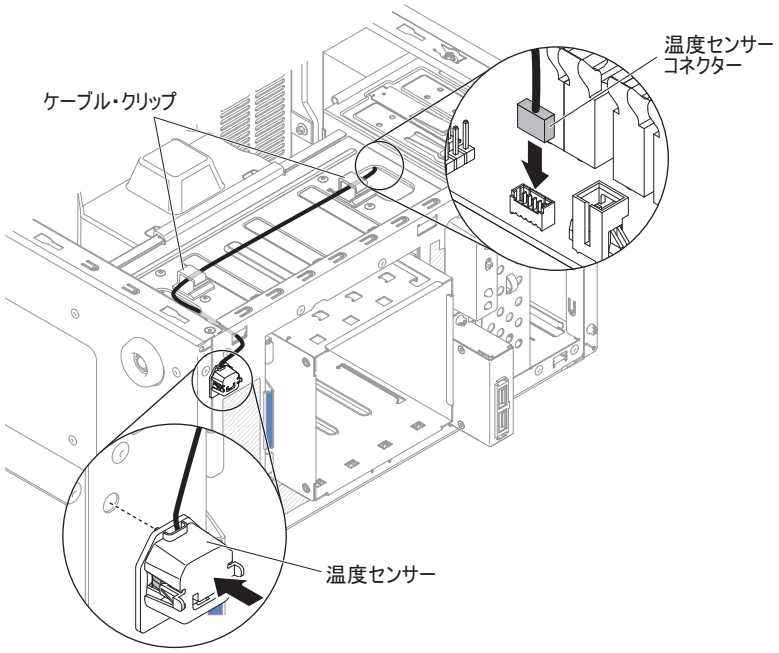


図 207. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの温度センサー・ボードの取り付け

3. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
4. サーバーを元どおり垂直に立てます。
5. ベゼルを取り付けます (213 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
6. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルに作動温度の機能拡張キットを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 温度センサー・ボードを温度センサー・ホルダーに挿入し、そのホルダーをシャーシに取り付けます。図に示すようにケーブルが各穴を通っていることを確認します。

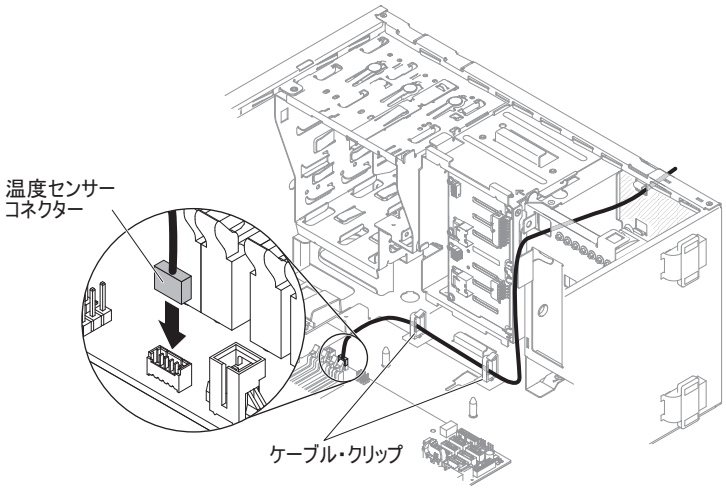


図 208. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの温度センサー・ボードの取り付け

3. 温度センサー・コネクターをシステム・ボードに接続します。ケーブル・クリップを閉じてケーブルを固定することを忘れないでください。

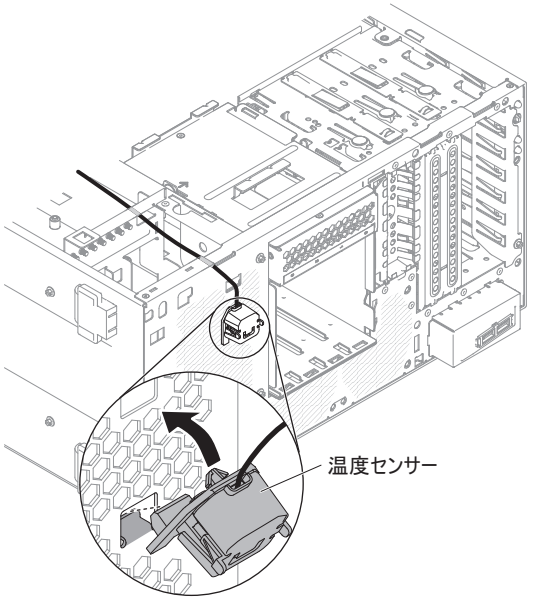


図 209. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのシステム・ボードへの温度センサー・コネクターの取り付け

4. サーバーを元どおり垂直に立てます。
5. 上段ベゼルを取り付けます (217 ページの『上段ベゼルの交換』を参照)。
6. 下段ベゼルを取り付けます (215 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
7. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
8. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

Tier 2 の CRU の取り外しと交換

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを依頼することもできます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルからホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ・パワー・サプライを取り外します (298 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し』を参照)。
5. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
6. パワー・サプライからシステム・ボードおよびすべての内部コンポーネントへのケーブルを切り離します。バックプレーンから電源ケーブルを取り外すには、ハード・ディスク・ケージを回転させてシャーシから取り出します。

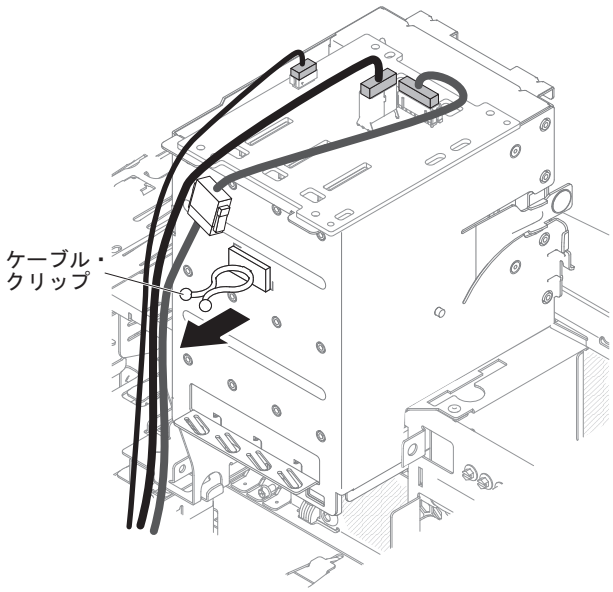


図 210. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのバックプレーンからの電源ケーブルの取り外し (1)

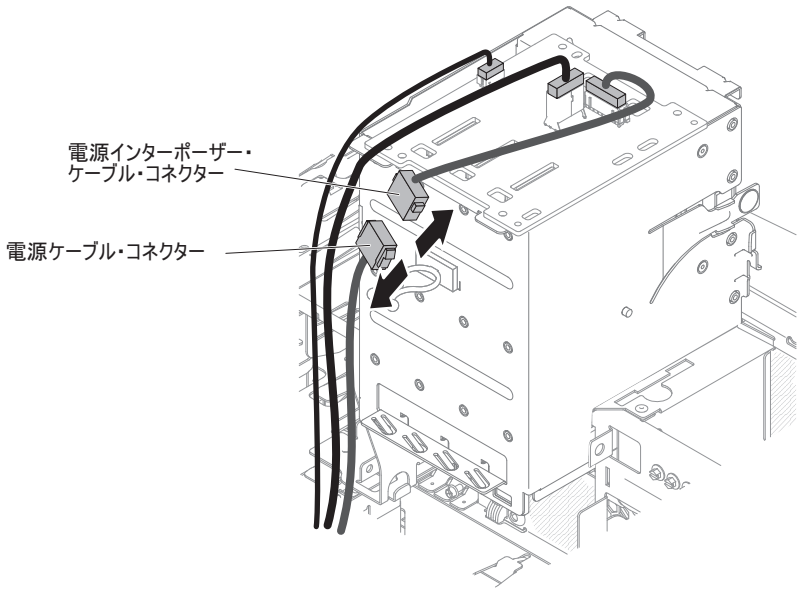


図 211. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのバックプレーンからの電源ケーブルの取り外し (2)

7. パワー・サプライ・ケージをシャーシに固定している 2 本のねじを取り外します。2 本のねじは、ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージの前面に位置しています。

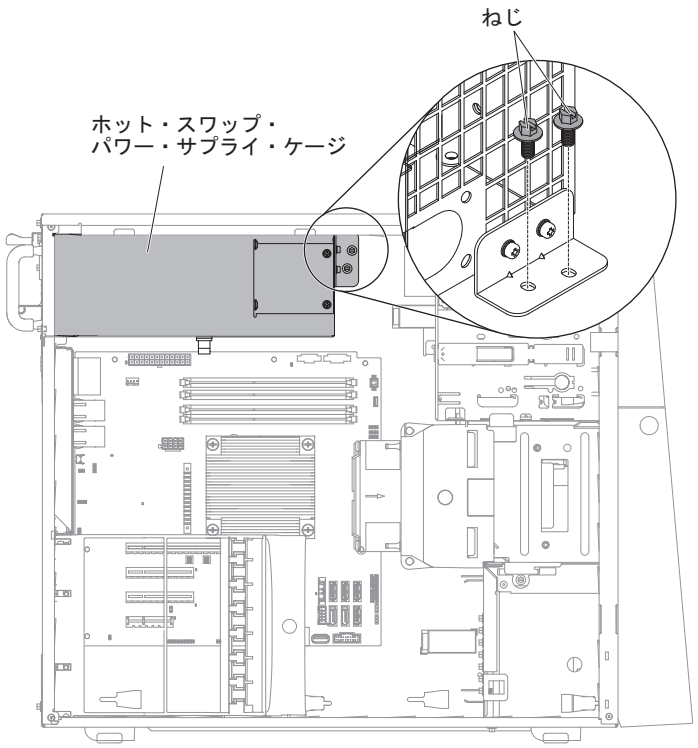


図 212. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージねじの取り外し

8. パワー・サプライ・ケージをシャーシに固定している別の 4 本のねじを取り外します。その後、ケージをサーバーの前面の方にスライドさせて、保持クリップをシャーシの上部から外し、ケージをシャーシから取り出します。

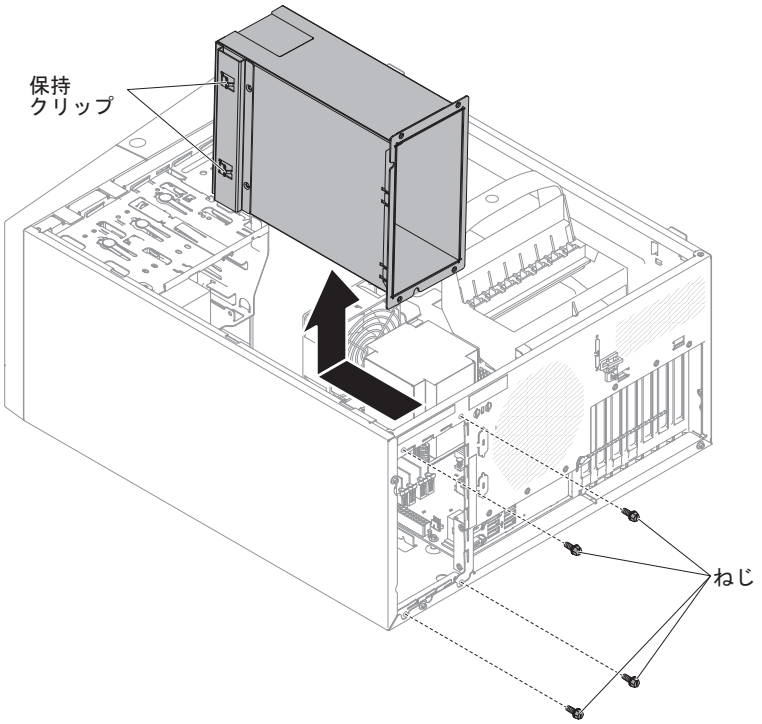


図 213. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージとねじの取り外し

9. パワー・サプライ・ケージに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. パワー・サプライ・ケージをシャーシの中に置き、保持クリップがシャーシの先端にかみ合うまで、パワー・サプライ・ケージをサーバーの後方へスライドさせ、その後、パワー・サプライ・ケージをシャーシに固定させるために 4 本のねじを取り付けます。

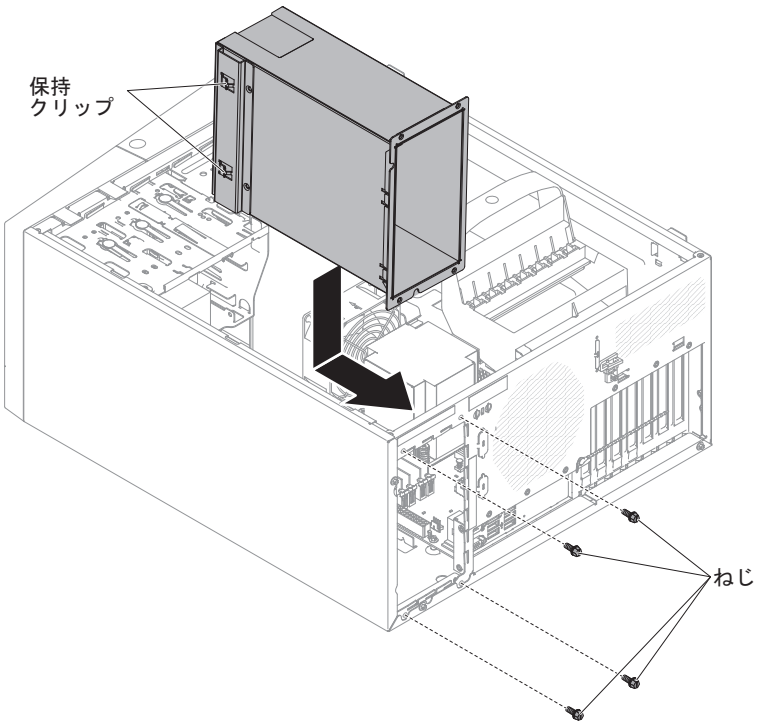


図 214. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージとねじの取り付け

3. パワー・サプライ・ケージをシャーシにさらに固定するために、パワー・サプライ・ケージの前面に位置している 2 本のねじを取り付けます。

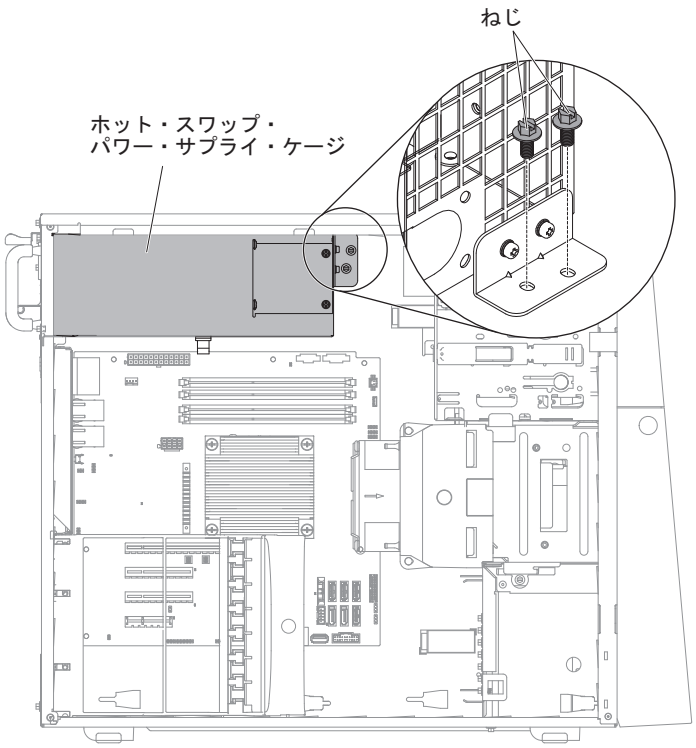


図 215. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージねじの取り付け

4. パワー・サプライ・ケージからシステム・ボードおよびすべての内部コンポーネントへのケーブルを接続します。(内部コネクターの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。バックプレーンに電源ケーブルを挿入するには、ハード・ディスク・ケージを回転させてシャーシから取り出します。

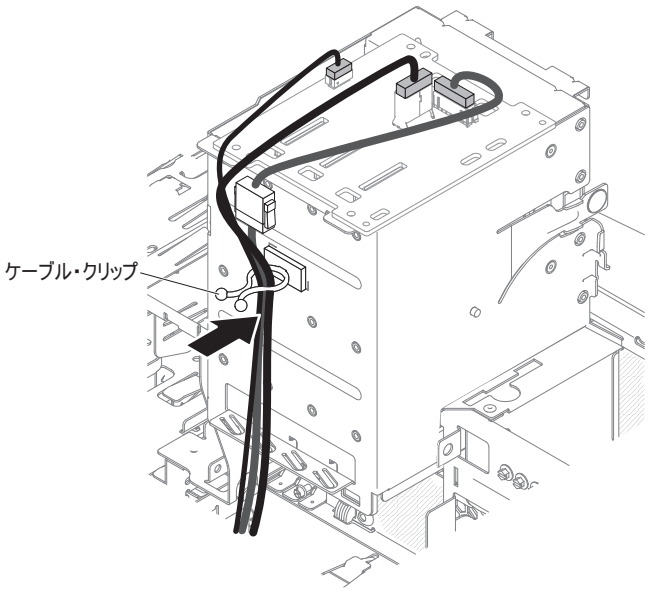


図 216. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのバックプレーンへの電源ケーブルの挿入 (1)

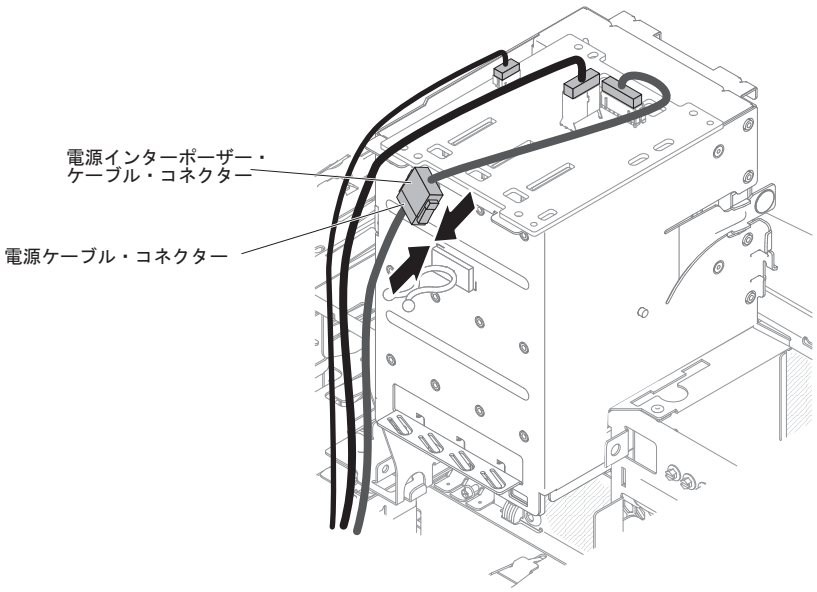


図 217. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのバックプレーンへの電源ケーブルの挿入 (2)

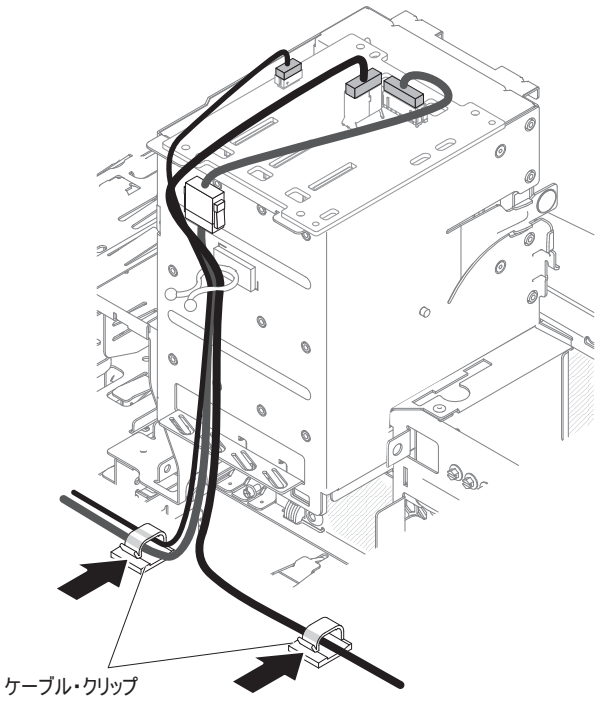


図 218. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのバックプレーンへの電源ケーブルの挿入 (3)

5. サーバーを元どおり垂直に立てます。
6. ホット・スワップ・パワー・サプライを再び取り付けます (300 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライの交換』を参照)。
7. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
8. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにマイクロプロセッサーとヒートシンクを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。

5. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
6. 次のように、マイクロプロセッサーからヒートシンクを取り外します。

   注意:
   ヒートシンクは、通常の運用中は非常に熱くなります。ヒートシンクに触れる前に、冷却する時間をとってください。

   a. マイクロプロセッサーとの密着状態が解除されるまで、ねじを交互に緩めます。
   b. 拘束ねじを強く押し、ドライバーを使用して緩めます。
   c. 指でヒートシンクをマイクロプロセッサーから静かに引き離します。

      重要: マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り扱いは慎重に行ってください。 マイクロプロセッサーとヒートシンクを再利用する場合は、間に入っている熱伝導グリースを汚さないでください。

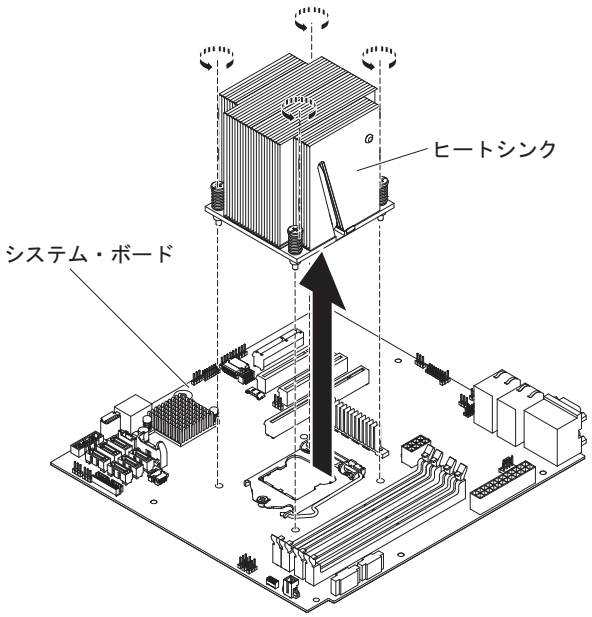


図 219. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのヒートシンクの取り外し

   重要: マイクロプロセッサーが所定の位置に取り付けられると、マイクロプロセッサー保持ラッチにはばね荷重がかかっています。 ラッチを急に解放したり、上方に飛び出させると、マイクロプロセッサーや周辺のコンポーネントを損傷するおそれがあります。

7. マイクロプロセッサー保持ラッチの端を押し下げて横に動かし、ゆっくりとオープン (上側) 位置に解放します。

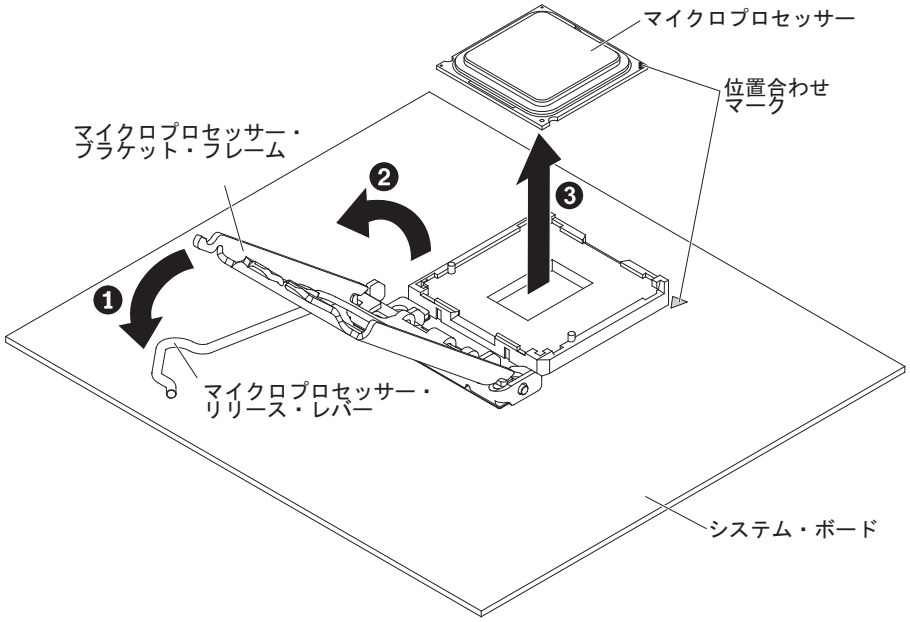


図 220. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのマイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の開放

8. マイクロプロセッサー・ブラケット・フレームを、上端のタブを持ち上げて開きます。
9. マイクロプロセッサーを慎重にまっすぐ持ち上げてソケットから取り出し、帯電防止面に置きます。
10. マイクロプロセッサーおよびヒートシンクに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにマイクロプロセッサーとヒートシンクを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 背面アダプター保持ブラケットを開 (ロック解除) 位置まで回転させます。
6. 次のように、マイクロプロセッサーからヒートシンクを取り外します。

   注意:
   ヒートシンクは、通常の運用中は非常に熱くなります。ヒートシンクに触れる前に、冷却する時間をとってください。

a. マイクロプロセッサーとの密着状態が解除されるまで、ねじを交互に緩めます。
b. 拘束ねじを強く押し、ドライバーを使用して緩めます。
c. 指でヒートシンクをマイクロプロセッサーから静かに引き離します。

重要: マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り扱いは慎重に行ってください。 マイクロプロセッサーとヒートシンクを再利用する場合は、間に入っている熱伝導グリースを汚さないでください。

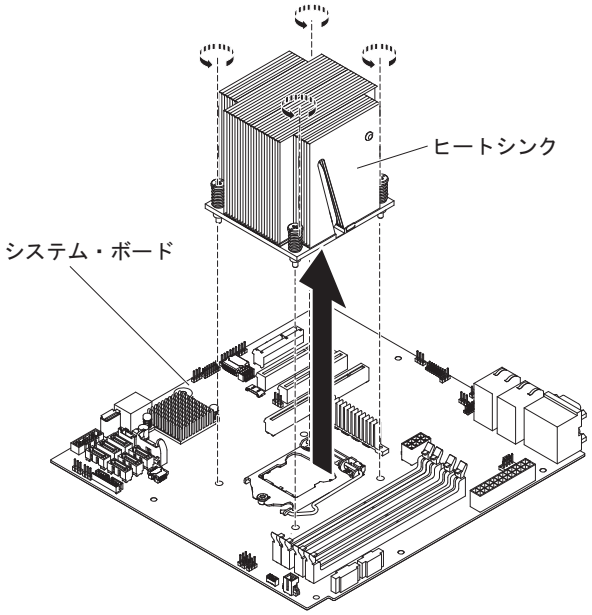


図 221. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのヒートシンクの取り外し

重要: マイクロプロセッサーが所定の位置に取り付けられると、マイクロプロセッサー保持ラッチにはばね荷重がかかっています。 ラッチを急に解放したり、上方に飛び出させると、マイクロプロセッサーや周辺のコンポーネントを損傷するおそれがあります。

7. マイクロプロセッサー保持ラッチの端を押し下げて横に動かし、ゆっくりとオープン (上側) 位置に解放します。

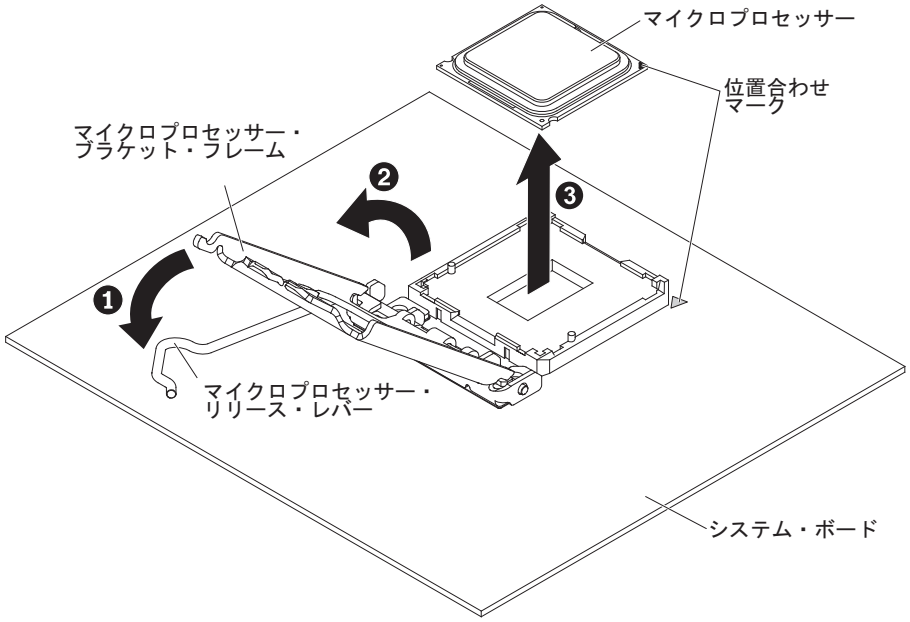


図 222. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのマイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の開放

8. マイクロプロセッサー・ブラケット・フレームを、上端のタブを持ち上げて開きます。
9. マイクロプロセッサーを慎重にまっすぐ持ち上げてソケットから取り出し、帯電防止面に置きます。
10. マイクロプロセッサーおよびヒートシンクに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを交換するには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにマイクロプロセッサーとヒートシンクを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. マイクロプロセッサーが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。 その上で、マイクロプロセッサーをパッケージから取り出します。
3. マイクロプロセッサー・ソケットの表面から、保護カバー、テープ、またはラベルをすべて取り外します。
4. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーを、完全に開いた位置まで回転させます。

重要: マイクロプロセッサーをソケットに挿入する前に、マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーが完全に開いた位置にあることを確認してください。 それを怠ると、マイクロプロセッサー、マイクロプロセッサー・ソケット、およびシステム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。

5. マイクロプロセッサーを注意してつかみ、マイクロプロセッサーをマイクロプロセッサー・ソケットに差し込みます。

   注: 取り付けの際にマイクロプロセッサーとマイクロプロセッサー・ソケットの間の方向付けを正しく行うために、次のことに注意してください。

   - マイクロプロセッサーには 2 つの切り欠きがあり、ソケットの両側にある 2 つのタブと位置を合わせます。
   - マイクロプロセッサーの角の 1 つに付いている三角形のインディケーターを、システム・ボード上の 45 度の角に向けます。
   - マイクロプロセッサーをソケットに押し込むときには、力を入れすぎないようにしてください。

6. マイクロプロセッサー・ブラケット・フレームを閉じ、次に、マイクロプロセッサー保持ラッチを閉じて所定の位置にしっかりとロックします。

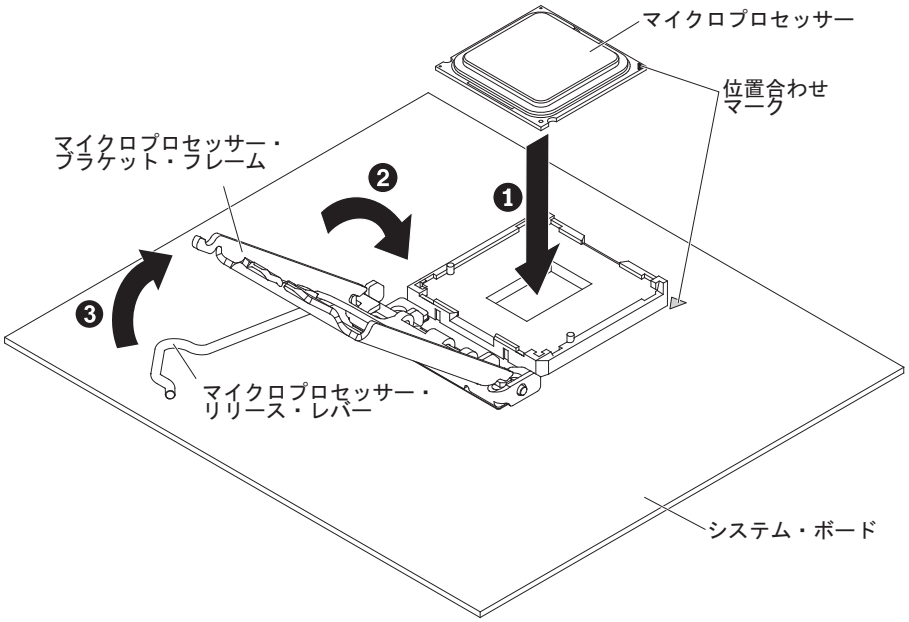


図 223. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのマイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の閉じ方

7. 次のように、ヒートシンクを取り付けます。

   重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサーまたはヒートシンク上の熱伝導材が汚れた場合は、サービス技術員に連絡してください。

   a. ヒートシンクのねじ穴をシステム・ボード上の穴と位置合わせします。
   b. ドライバーを使用して、きつく締まるまでねじを交互に締めます。 可能な場合は、各ねじを一度に 2 回転ずつ締めます。 ねじがきつく締まるまで繰り返します。 過度の力でねじを締めすぎないようにしてください。

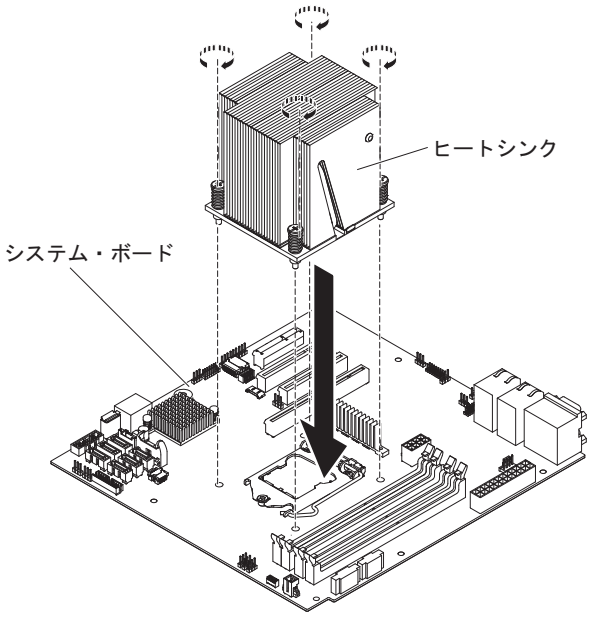


図 224. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのヒートシンクの取り付け

8. 古いマイクロプロセッサーを取り外す際に切り離したケーブルをすべて再接続します。
9. SATA 信号ケーブルを保持クリップで固定します。
10. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
11. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
12. サーバーを元どおり垂直に立てます。
13. ベゼルを取り付けます (213 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
14. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにマイクロプロセッサーとヒートシンクを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. マイクロプロセッサーが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。 その上で、マイクロプロセッサーをパッケージから取り出します。
3. マイクロプロセッサー・ソケットの表面から、保護カバー、テープ、またはラベルをすべて取り外します。
4. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーを、完全に開いた位置まで回転させます。

重要: マイクロプロセッサーをソケットに挿入する前に、マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーが完全に開いた位置にあることを確認してください。 それを怠ると、マイクロプロセッサー、マイクロプロセッサー・ソケット、およびシステム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。

5. マイクロプロセッサーを注意してつかみ、マイクロプロセッサーをマイクロプロセッサー・ソケットに差し込みます。

   注: 取り付けの際にマイクロプロセッサーとマイクロプロセッサー・ソケットの間の方向付けを正しく行うために、次のことに注意してください。

   - マイクロプロセッサーには 2 つの切り欠きがあり、ソケットの両側にある 2 つのタブと位置を合わせます。
   - マイクロプロセッサーの角の 1 つに付いている三角形のインディケーターを、システム・ボード上の 45 度の角に向けます。
   - マイクロプロセッサーをソケットに押し込むときには、力を入れすぎないようにしてください。

6. マイクロプロセッサー・ブラケット・フレームを閉じ、次に、マイクロプロセッサー保持ラッチを閉じて所定の位置にしっかりとロックします。

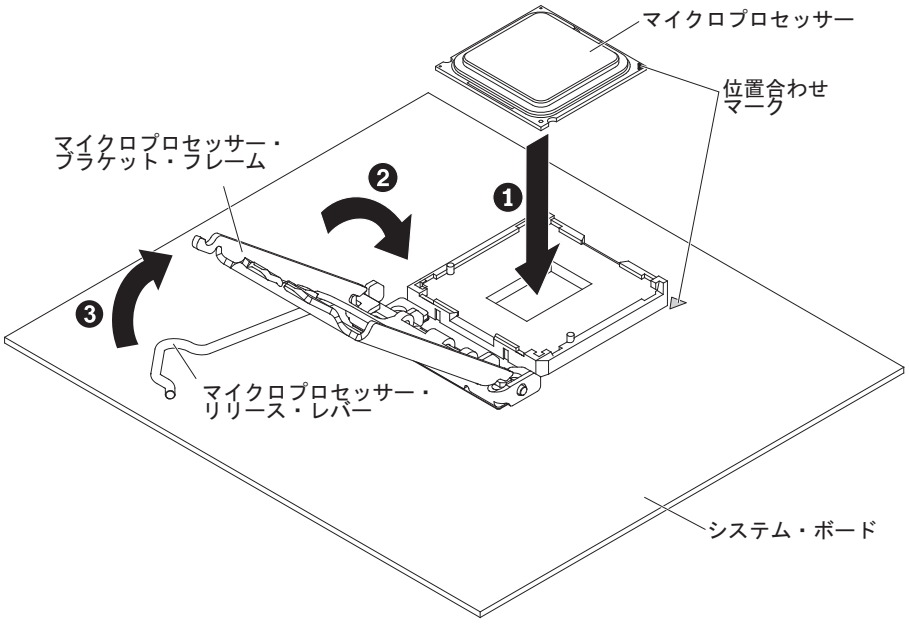


図 225. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのマイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の閉じ方

7. 次のように、ヒートシンクを取り付けます。

   重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサーまたはヒートシンク上の熱伝導材が汚れた場合は、サービス技術員に連絡してください。

   a. ヒートシンクのねじ穴をシステム・ボード上の穴と位置合わせします。
   b. ドライバーを使用して、きつく締まるまでねじを交互に締めます。 可能な場合は、各ねじを一度に 2 回転ずつ締めます。 ねじがきつく締まるまで繰り返します。 過度の力でねじを締めすぎないようにしてください。

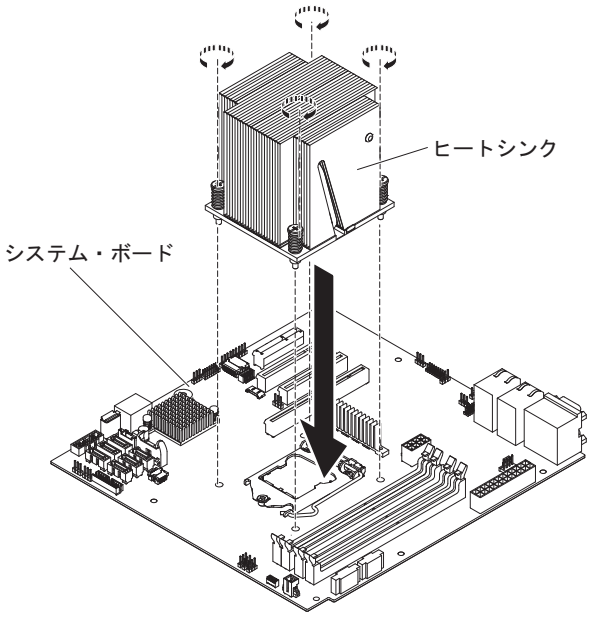


図 226. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのヒートシンクの取り付け

8. 古いマイクロプロセッサーを取り外す際に切り離したケーブルをすべて再接続します。
9. 背面アダプター保持ブラケットを閉 (ロック) 位置に回転させます。
10. サーバーを元どおり垂直に立てます。
11. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
12. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

熱伝導グリース:

マイクロプロセッサー上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にごみを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサーおよびヒートシンク上の損傷した、あるいは汚染された熱伝導グリースを交換します。

ヒートシンクを取り外したマイクロプロセッサーと同じマイクロプロセッサーにそのヒートシンクを取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

注:

- vii ページの『安全について』の『安全について』をお読みください。
- 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサーとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、以下のステップを実行します。

1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
2. パッケージのクリーニング・パッドを取り出して、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドを使用して、ヒートシンクの下部から熱伝導グリースを拭き取ります。

   注: 熱伝導グリースが完全に除去されたことを確認してください。
4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサーから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。
5. 熱伝導グリース用の注射器を使用して、マイクロプロセッサー上の 9 カ所に等間隔で 0.02 mL のグリースを点状に配置します。 最も外側のドットをマイクロプロセッサーの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。

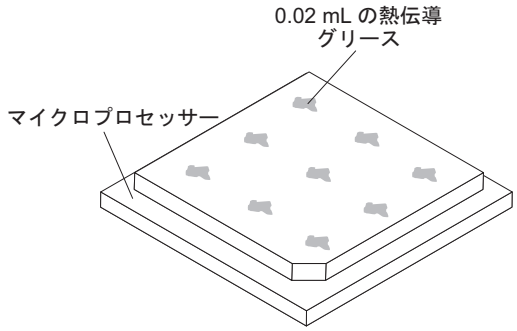


図 227. 熱伝導グリースの配分

注: グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。

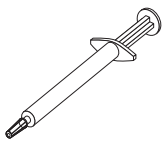


図 228. 注射器

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサーに取り付けます (346 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。

システム・ボードの取り外し

システム・ボードを取り外すには、この情報を使用します。

サーバーからシステム・ボードを取り外す前に、以下の手順を実行してデータ、ファームウェア、および構成データを保存してください。

- IMM IP アドレス、重要プロダクト・データ、およびサーバーのマシン・タイプ、型式番号、シリアル番号、固有 ID、資産タグなどのすべてのシステム構成情報を記録します。
- Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して、システム構成を外部メディアに保存します。
- システム・イベント・ログを外部メディアに保存します。

注: システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様が CD または DVD イメージで用意する、既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・ボードを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エア・バッフルを取り外します (42 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
6. マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外します (342 ページの『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。

   重要: 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外したシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットに取り付けてください。
7. ハード・ディスク・ケージを、シャーシから半分引き出します。

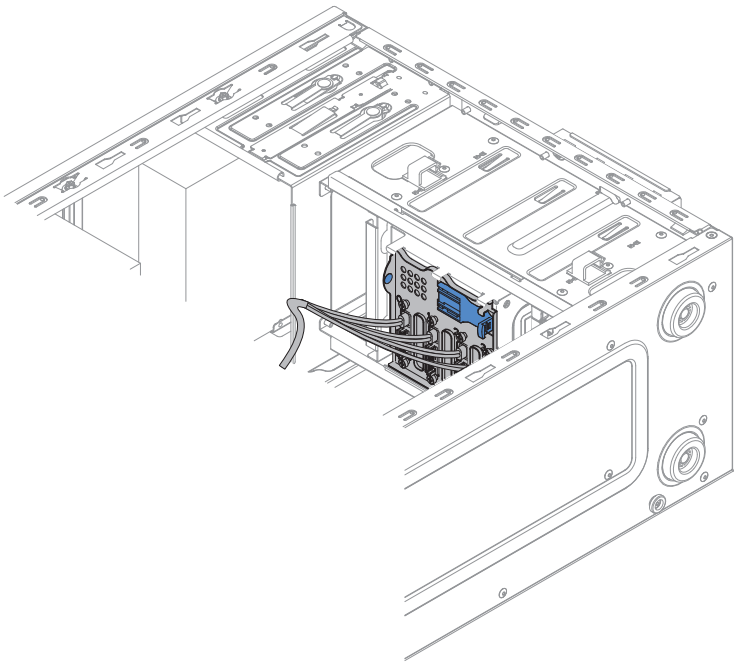


図 229. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでハード・ディスク・ケージをシャーシから半分引き出す

8. ケーブルを保持クリップから取り外します。
9. 各ケーブルの接続個所をメモしてから、すべてのケーブルをシステム・ボードから切り離します。

   重要: システム・ボードからすべてのケーブルを切り離す場合は、ケーブル・コネクター上のすべてのラッチ、リリース・タブ、またはロックを外します。ケーブルを取り外す前にそれらを解除しないと、システム・ボード上のケーブル・ソケットが損傷します。システム・ボード上のケーブル・ソケットは壊れやすいものです。ケーブル・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
10. (リストされていない可能性のあるコンポーネントに追加して) システム・ボードに取り付けられている以下のすべてのコンポーネントを取り外して、帯電防止された安全な場所に置きます。
    - アダプター (302 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
    - DIMM (312 ページの『メモリー・モジュールの交換』を参照)。
    - バッテリー (318 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。
    - USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス (257 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し』を参照)。
11. システム・ボードをシャーシに固定している 7 本のねじを取り外します。

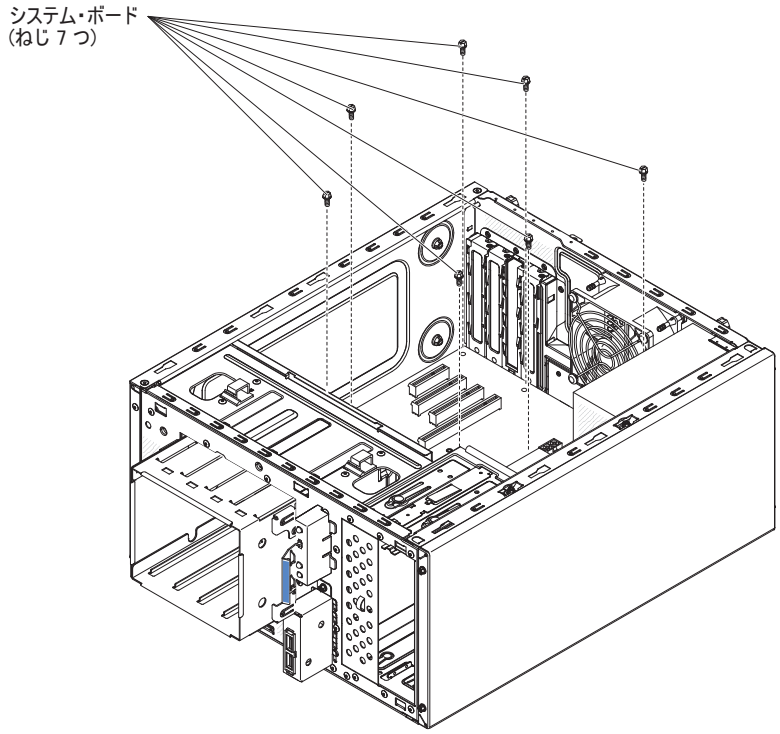


図 230. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・ボードねじの取り外し

12. システム・ボードのハード・ディスク・ケージに近い側を少し持ち上げ、システム・ボードとシャーシの間に小さい仰角ができるようにします。

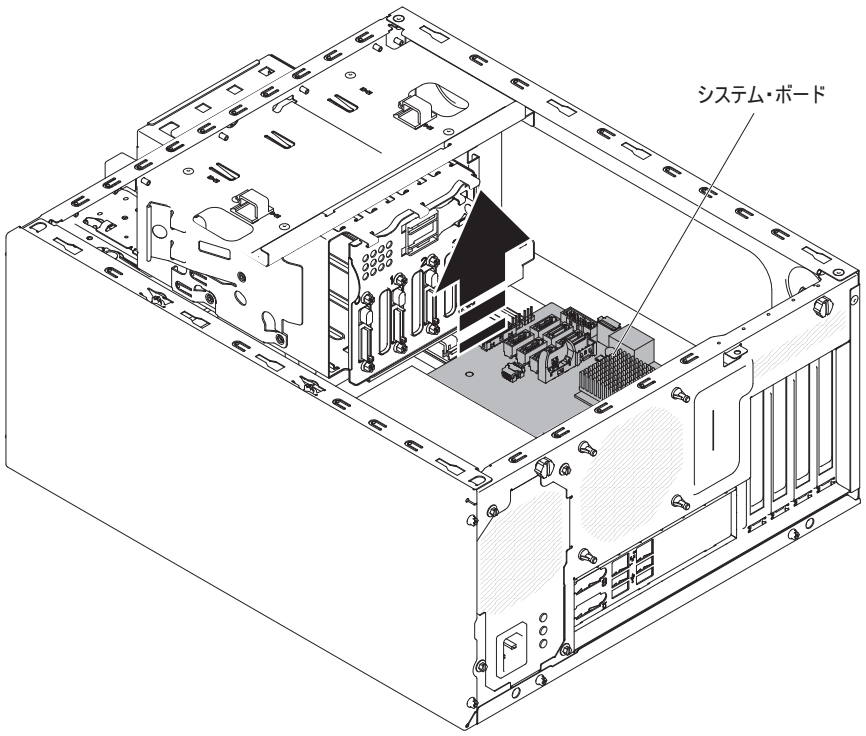


図 231. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでシステム・ボードを少し持ち上げる

13. 外部入出力コネクターを静かに押して、シャーシのそれぞれの穴から外します。

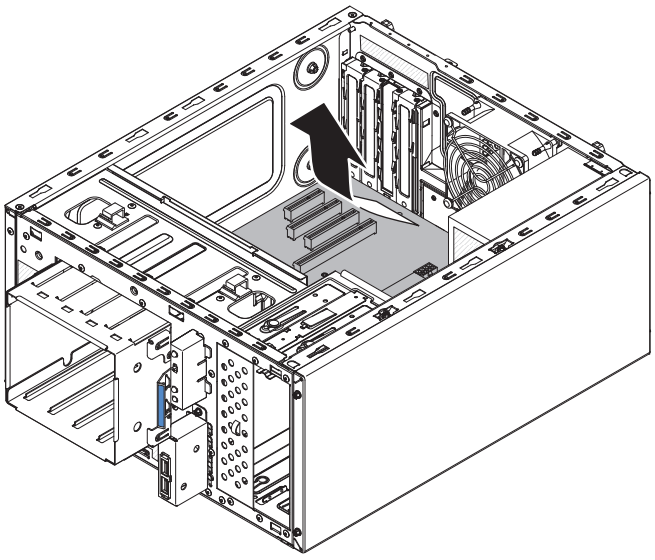


図 232. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルで外部入出力コネクターを押してシャーシから外す

14. システム・ボードの両端をつかんで、システム・ボードを注意深く持ち上げ、シャーシから取り外します。周囲のコンポーネントに損傷を与えないように慎重に行ってください。

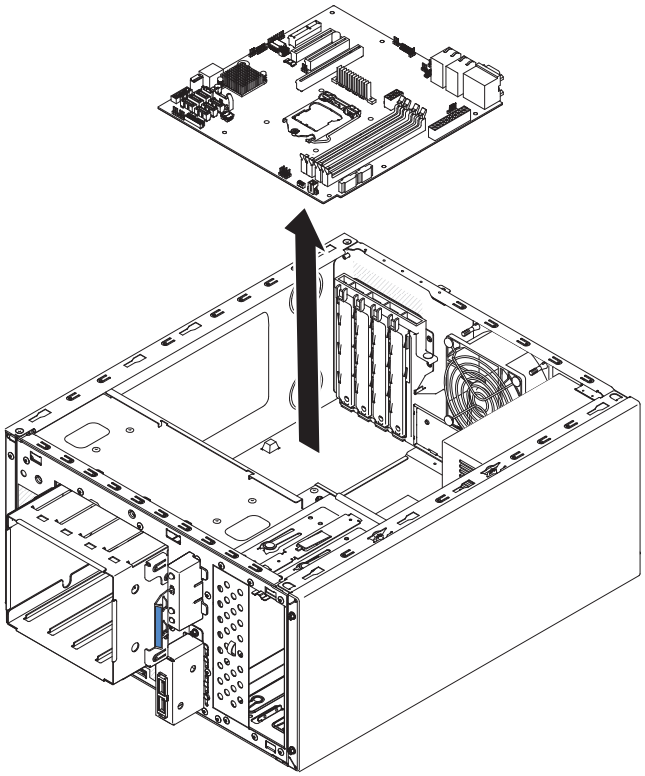


図 233. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・ボードの取り外し

15. システム・ボードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

    重要: システム・ボードを返却する前に、システム・ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットのソケット・カバーが取り付けられていることを確認してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのシステム・ボードを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (40 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 背面アダプター保持ブラケットを開 (ロック解除) 位置まで回転させます。

6. ハード・ディスク・ファン・ダクトを取り外します (252 ページの『ハード・ディスク・ファン・ダクトの取り外し』を参照)。
7. マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外します (342 ページの『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。

   重要: 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外したシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットに取り付けてください。
8. ケーブルを保持クリップから取り外します。
9. 各ケーブルの接続個所をメモしてから、すべてのケーブルをシステム・ボードから切り離します。

   重要: システム・ボードからすべてのケーブルを切り離す場合は、ケーブル・コネクター上のすべてのラッチ、リリース・タブ、またはロックを外します。ケーブルを取り外す前にそれらを解除しないと、システム・ボード上のケーブル・ソケットが損傷します。システム・ボード上のケーブル・ソケットは壊れやすいものです。ケーブル・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
10. (リストされていない可能性のあるコンポーネントに追加して) システム・ボードに取り付けられている以下のすべてのコンポーネントを取り外して、帯電防止された安全な場所に置きます。
    - アダプター (302 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
    - DIMM (312 ページの『メモリー・モジュールの交換』を参照)。
    - バッテリー (318 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。
    - USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス (257 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し』を参照)。
11. システム・ボードをシャーシに固定している 7 本のねじを取り外します。

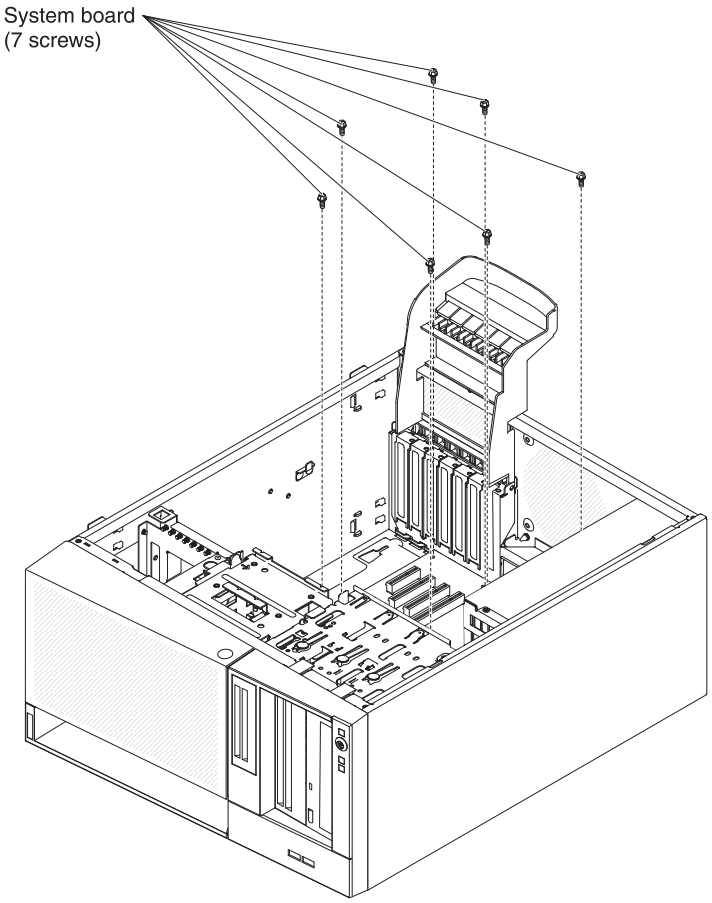


図 234. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのシステム・ボード ねじの取り外し

12. システム・ボードのハード・ディスク・ケージに近い側を少し持ち上げ、システム・ボードとシャーシの間に小さい仰角ができるようにします。

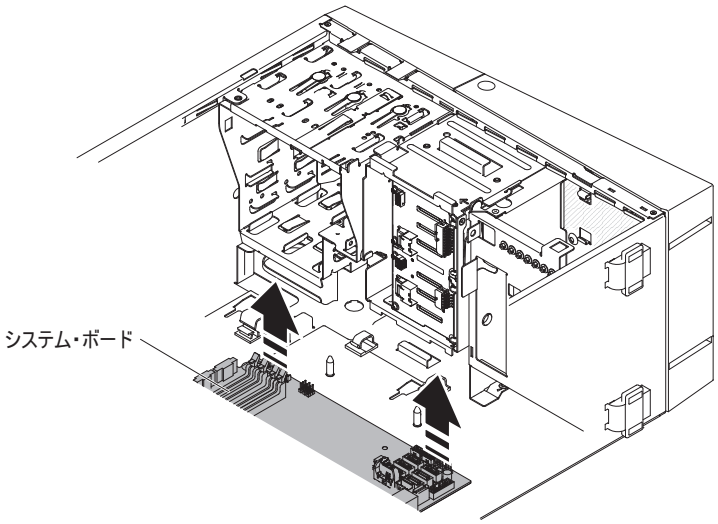


図 235. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでシステム・ボードを少し持ち上げる

13. 外部入出力コネクターを静かに押して、シャーシのそれぞれの穴から外します。

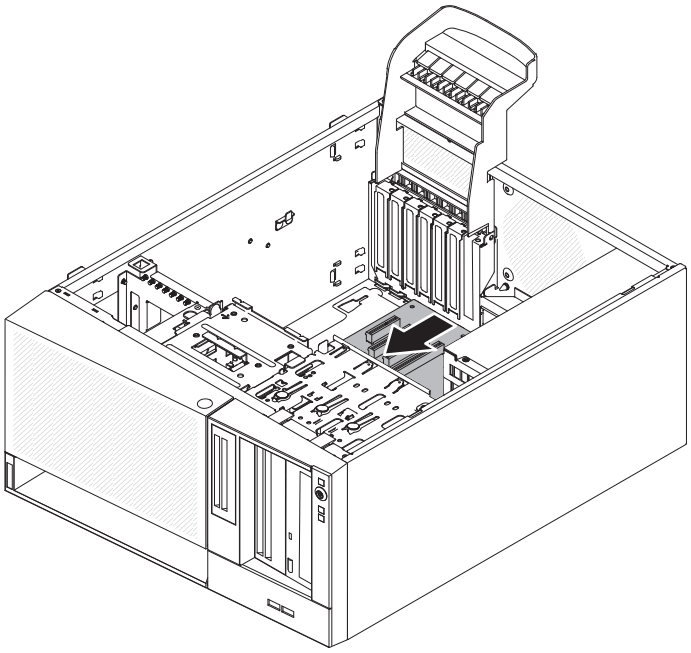


図 236. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルで外部入出力コネクターを押してシャーシから外す

14. システム・ボードの両端をつかんで、システム・ボードを注意深く持ち上げ、シャーシから取り外します。周囲のコンポーネントに損傷を与えないように慎重に行ってください。

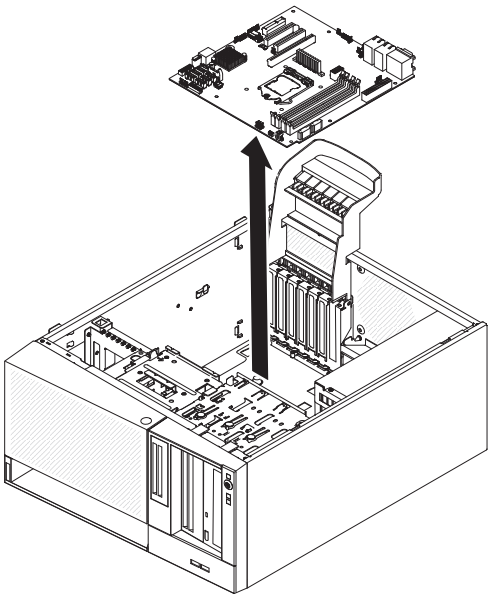


図 237. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのシステム・ボードの取り外し

15. システム・ボードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

    重要: システム・ボードを返却する前に、システム・ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットのソケット・カバーが取り付けられていることを確認してください。

システム・ボードの交換

システム・ボードを交換するには、この情報を使用します。

注:

1. サーバー内のコンポーネントを再アセンブルする場合は、すべてのケーブルを慎重に配線して、過度な圧力がケーブルにかからないようにしてください。
2. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスケットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。重要プロダクト・データ (VPD) も更新する必要があります。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。詳しくは、103 ページの『ファームウェアの更新』および 130 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照してください。

   重要: 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README ファイルおよび変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。
3. すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「IBM System x Features on Demand User's Guide」に説明があります。資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックします。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにシステム・ボードを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルの場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ハード・ディスク・ケージを、シャーシから半分引き出します。

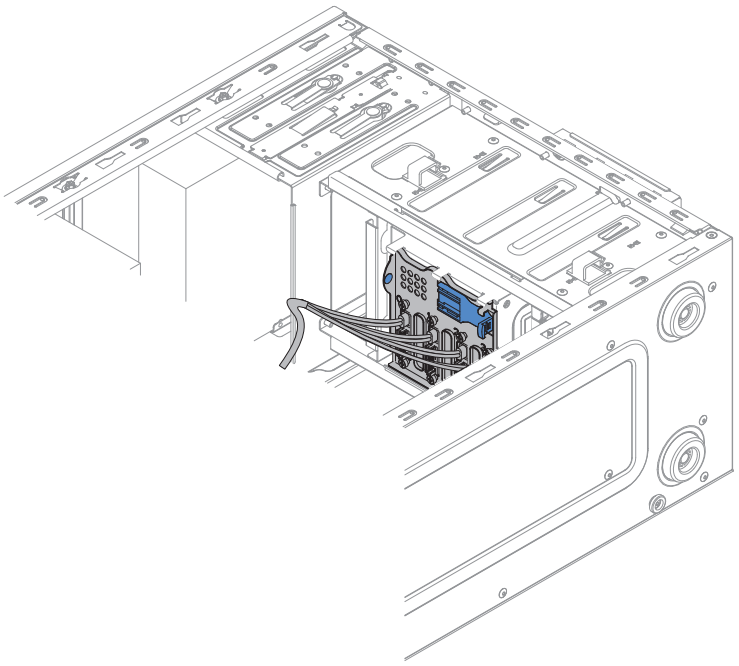


図 238. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでハード・ディスク・ケージをシャーシから半分引き出す

3. システム・ボードが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、パッケージからシステム・ボードを取り出します。
4. システム・ボードを下げて、シャーシに差し込みます。後で使用することになるため、支柱の位置に注意してください。

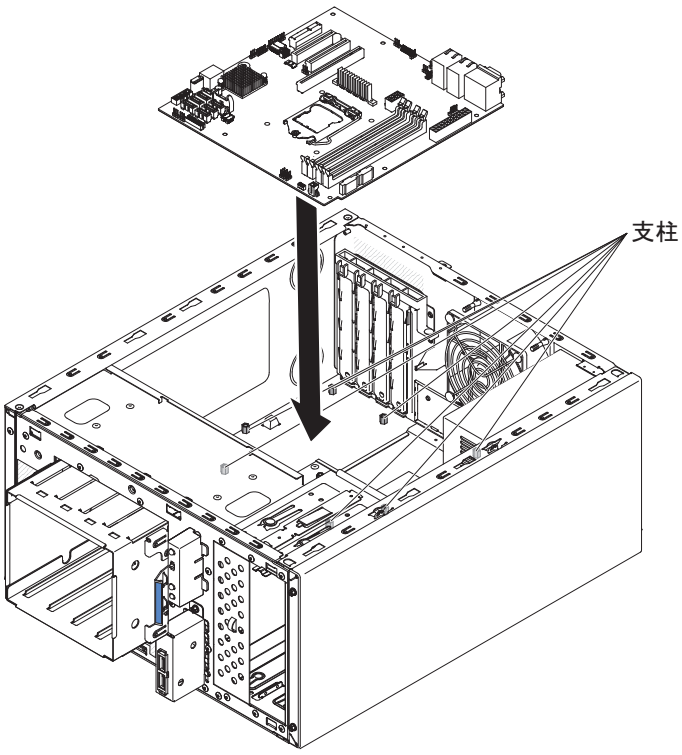


図 239. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・ボードの取り付け

5. システム・ボードのファン・ケージに最も近い側面を慎重に押して、外部入出力コネクターをシャーシ内のそれぞれの穴に挿入します。

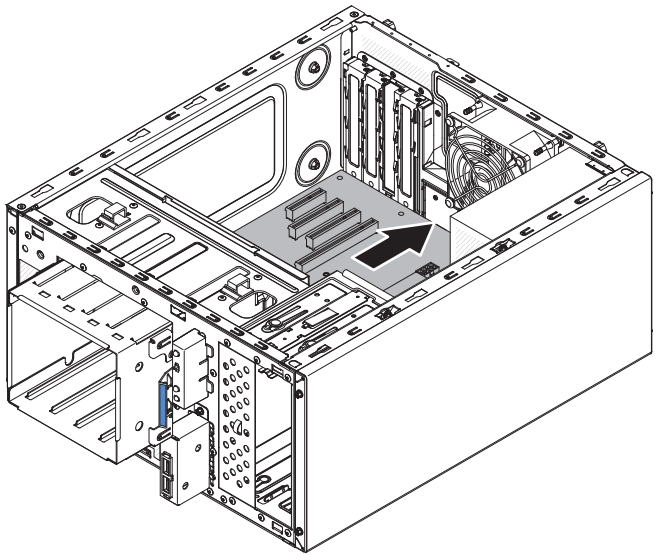


図 240. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでの外部入出力コネクターのシャーシへの挿入

重要: システム・ボードの外部入出力コネクターをシャーシのそれぞれの穴に挿入する際は、EMC スプリングが穴に挿入されないようにしてください。EMC スプリングがシャーシの穴に挿入されると、EMC スプリングが損傷する可能性があります。

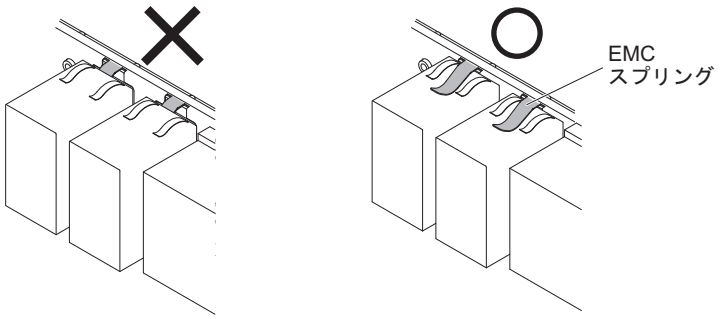


図 241. EMC スプリングの正しい挿入方法

6. システム・ボード上の穴 (合計 7 個) をシャーシ上のそれぞれの支柱と位置合わせします。

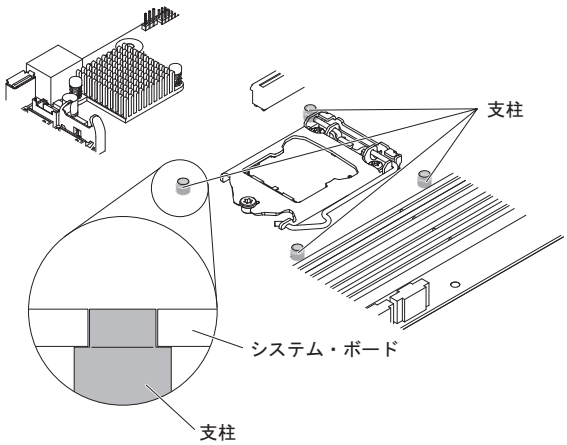


図 242. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルでのシステム・ボードとシャーシ上のそれぞれの支柱との位置合わせ

7. システム・ボードをシャーシに固定する 7 本のねじを取り付けます。

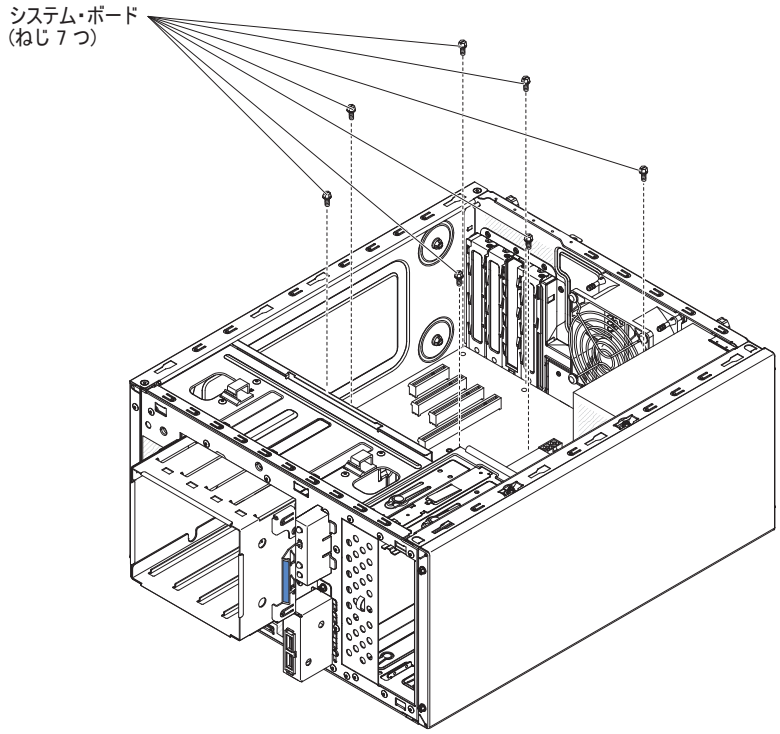


図 243. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのシステム・ボードねじの取り付け

8. システム・ボードから取り外した次のコンポーネントをすべて取り付けます。
   - バッテリー (320 ページの『システム・バッテリーの交換』を参照)。
   - DIMM (312 ページの『メモリー・モジュールの交換』を参照)。
   - マイクロプロセッサーおよびヒートシンク (346 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。
   - アダプター (306 ページの『アダプターの交換』を参照)。
   - USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス (260 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの再取り付け』を参照)。
9. 取り外しの際に切り離したケーブルをすべてシステム・ボードに再接続します (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
10. ケーブルを保持クリップで固定します。
11. ハード・ディスクのドライブ・ケージを、リリース・ラッチがカチッと音がして所定の位置に収まるまで押し込みます。
12. エア・バッフルを取り付けます (209 ページの『エア・バッフルの交換』を参照)。
13. サイド・カバーを取り付けます (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
14. サーバーを元どおり垂直に立てます。
15. ベゼルを取り付けます (213 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
16. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

重要: 以下の更新を実行してください。

- 最新の RAID ファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはディスケットまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。
- UUID を更新してください (127 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』を参照)。
- DMI/SMBIOS を更新してください (130 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照)。
- すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルにシステム・ボードを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. システム・ボードが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、パッケージからシステム・ボードを取り出します。
3. システム・ボードを下げて、シャーシに差し込みます。後で使用することになるため、支柱の位置に注意してください。

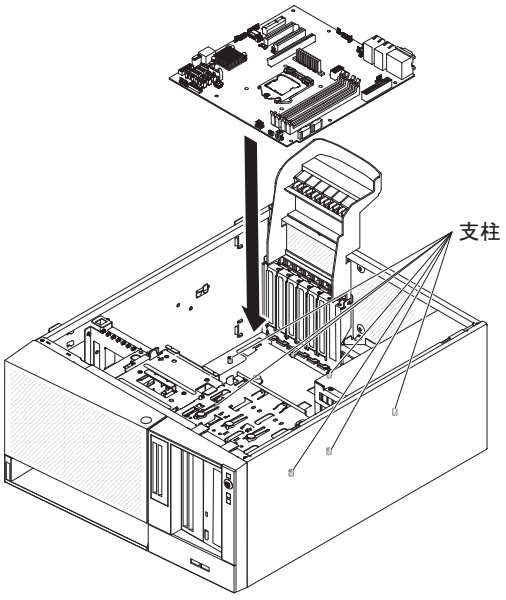


図 244. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのシステム・ボードの取り付け

4. システム・ボードのファン・ケージに最も近い側面を慎重に押して、外部入出力コネクターをシャーシ内のそれぞれの穴に挿入します。

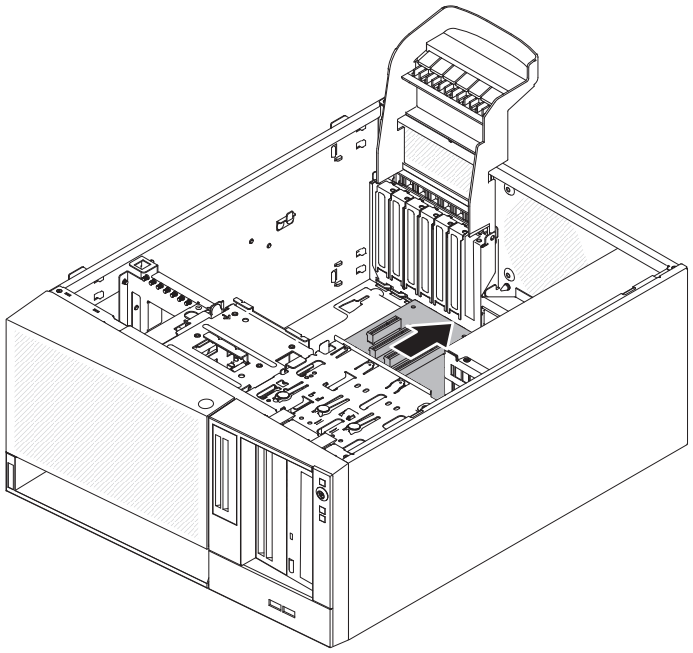


図 245. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでの外部入出力コネクターのシャーシへの挿入

重要: システム・ボードの外部入出力コネクターをシャーシのそれぞれの穴に挿入する際は、EMC スプリングが穴に挿入されないようにしてください。EMC スプリングがシャーシの穴に挿入されると、EMC スプリングが損傷する可能性があります。

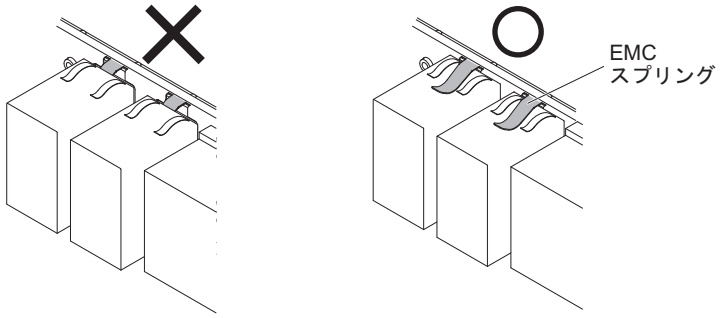


図 246. EMC スプリングの正しい挿入方法

5. システム・ボード上の穴 (合計 7 個) をシャーシ上のそれぞれの支柱と位置合わせします。

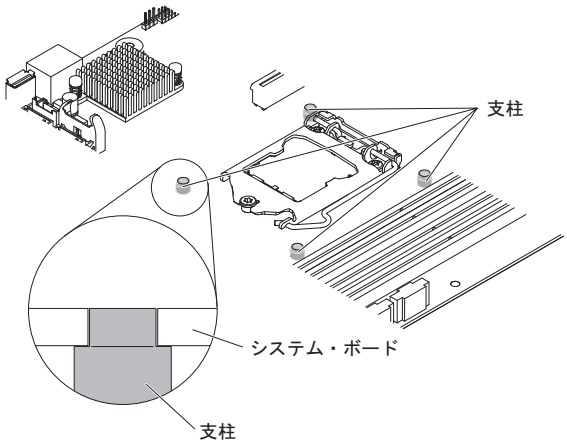


図 247. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルでのシステム・ボードとシャーシ上のそれぞれの支柱との位置合わせ

6. システム・ボードをシャーシに固定する 7 本のねじを取り付けます。

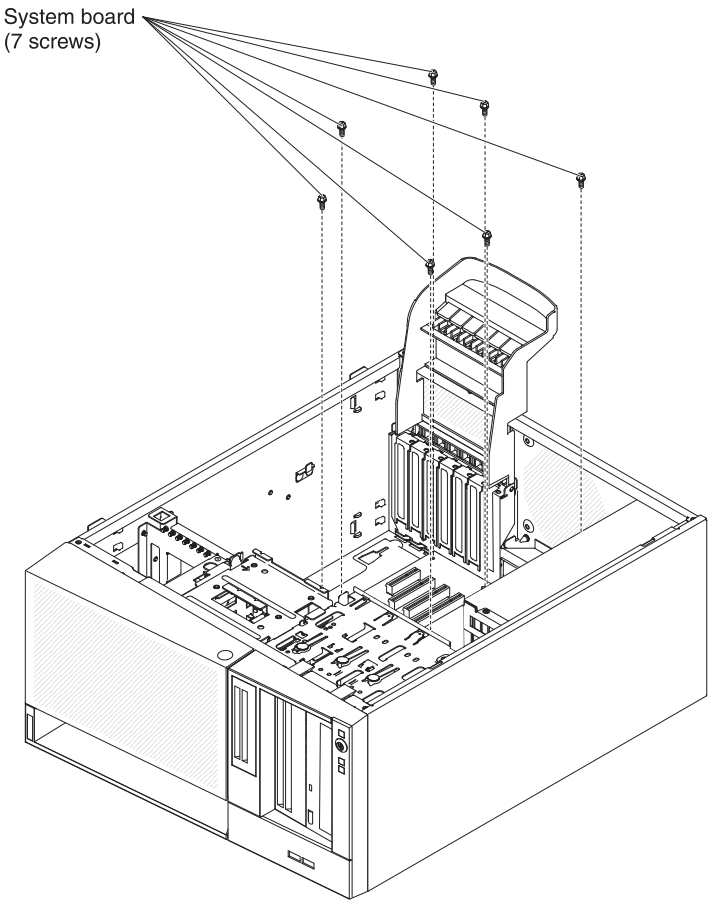


図 248. ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデルのシステム・ボードねじの取り付け

7. システム・ボードから取り外した次のコンポーネントをすべて取り付けます。
   - アダプター (306 ページの『アダプターの交換』を参照)。
   - バッテリー (320 ページの『システム・バッテリーの交換』を参照)。

- DIMM (312 ページの『メモリー・モジュールの交換』を参照)。
- マイクロプロセッサーおよびヒートシンク (346 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。
- USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス (260 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの再取り付け』を参照)。

8. 取り外しの際に切り離したケーブルをすべてシステム・ボードに再接続します (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
9. ケーブルを保持クリップで固定します。
10. ハード・ディスク・ファン・ダクトを取り付けます (255 ページの『ハード・ディスク・ファン・ダクトの交換』を参照)。
11. 背面アダプター保持ブラケットを閉 (ロック) 位置に回転させます。
12. サーバーを元どおり垂直に立てます。
13. サイド・カバーを取り付け、ロックします (206 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
14. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

重要: 以下の更新を実行してください。

- 最新の RAID ファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはディスケットまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。
- UUID を更新してください (127 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』を参照)。
- DMI/SMBIOS を更新してください (130 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照)。
- すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ

ハードウェア・イベントがサーバー上の IMM によって検出されると、IMM はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに記録します。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)
イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

Event description (イベント記述)
あるイベントについて表示される、ログに記録されたメッセージ・ストリング。システム・イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、そのような追加情報は [arg1] や [arg2] などの変数で示されています。

Explanation (説明)
イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

通知: イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザーの処置または正常に動作する状態の変更です。

警告: イベントはエラーほど深刻ではありませんが、可能であればエラーになる前に状態を修正することをお勧めします。また、追加のモニターまたは保守が必要な状態である場合もあります。

エラー:
イベントは、サービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー
同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

重大度 - 装置

*重大度*は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- **クリティカル:** サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- **警告:** イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- **システム:** イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

*装置*は、イベント生成の原因となったサーバー内の特定の装置です。

保守可能
問題を修正するためにユーザー処置が必要かどうか。

CIM 情報
CIM メッセージ・レジストリーが使用するメッセージ ID の接頭部およびシーケンス番号。

© Copyright IBM Corp. 2014

SNMP トラップ ID
SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP トラップ ID。

自動連絡サービス
このフィールドを「**Yes**」に設定すると、Electronic Service Agent™ (ESA) が有効になり、イベント生成時には IBM サポートに自動的に通知されます。

IBM サポートからのコールを待つ間に、イベントの推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答
イベントを解決するために実行する必要がある処置。

このセクションにリストされている手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください。

注: このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

以下に、IMM2 エラー・メッセージおよび検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アクションをリストします。IMM2 についての詳細は、「*統合管理モジュール II ユーザーズ・ガイド*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

自動的にサポートに通知する IMM イベント

特定タイプのエラーが検出された場合に自動的にサポートに通知する (コール・ホーム とも呼ばれます) ように、統合管理モジュール II (IMM2) を構成することができます。この機能を構成した場合は、自動的にサポートに通知するイベントのリストの表を参照してください。

表 40. 自動的にサポートに通知するイベント

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
40000086-00000000	Test Call Home Generated by user [arg1].	はい
40000087-00000000	Manual Call Home by user [arg1]: [arg2].	はい
80010202-0701ffff	Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (CMOS Battery)	はい
80010902-0701ffff	Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.	はい
806f0021-2201ffff	Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)	はい
806f0021-2582ffff	Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error / One of PCI Error)	はい

表 40. 自動的にサポートに通知するイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f0021-3001ffff	Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 1)	はい
806f0021-3002ffff	Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 2)	はい
806f0021-3003ffff	Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 3)	はい
806f0021-3004ffff	Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 4)	はい
806f0108-0a01ffff	[PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 1)	はい
806f0108-0a02ffff	[PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 2)	はい
806f010c-2001ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)	はい
806f010c-2002ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)	はい
806f010c-2003ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)	はい
806f010c-2004ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)	はい
806f010c-2581ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS / One of the DIMMs)	はい
806f010d-0400ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 0)	はい
806f010d-0401ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 1)	はい
806f010d-0402ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 2)	はい

表 40. 自動的にサポートに通知するイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010d-0403ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 3)	はい
806f010d-0404ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 4)	はい
806f010d-0405ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 5)	はい
806f010d-0406ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 6)	はい
806f010d-0407ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 7)	はい
806f0207-0301ffff	[ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 1)	はい
806f020d-0400ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 0)	はい
806f020d-0401ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 1)	はい
806f020d-0402ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 2)	はい
806f020d-0403ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 3)	はい
806f020d-0404ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 4)	はい
806f020d-0405ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 5)	はい
806f020d-0406ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 6)	はい
806f020d-0407ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 7)	はい
806f050c-2001ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)	はい

表 40. 自動的にサポートに通知するイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f050c-2002ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)	はい
806f050c-2003ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)	はい
806f050c-2004ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)	はい
806f050c-2581ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS / One of the DIMMs)	はい
806f060d-0400ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 0)	はい
806f060d-0401ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 1)	はい
806f060d-0402ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 2)	はい
806f060d-0403ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 3)	はい
806f060d-0404ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 4)	はい
806f060d-0405ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 5)	はい
806f060d-0406ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 6)	はい
806f060d-0407ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 7)	はい
806f0813-2581ffff	A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (DIMMs)	はい
806f0813-2582ffff	A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)	はい
806f0813-2584ffff	A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPUs)	はい

40000001-00000000 Management Controller [arg1] Network Initialization Complete.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了した場合に使用されます。

4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0001

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000002-00000000 Certificate Authority [arg1] has detected a [arg2] Certificate Error.

説明: このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラステッド CA 証明書のエラーがある場合に使用されます。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - SSL 認証

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0002

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

40000003-00000000 Ethernet Data Rate modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更した場合に使用されます。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0003

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000004-00000000 Ethernet Duplex setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更した場合に使用されます。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0004

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000005-00000000 Ethernet MTU setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更した場合に使用されます。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0005

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000006-00000000 Ethernet locally administered MAC address modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更した場合に使用されます。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0006

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000007-00000000 Ethernet interface [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に使用されます。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0007

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000008-00000000 Hostname set to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更する場合に使用されます。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0008

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000009-00000000 IP address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0009

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000a-00000000 IP subnet mask of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更する場合に使用されます。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0010

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000b-00000000 IP address of default gateway modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルトのゲートウェイ IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0011

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000c-00000000 OS Watchdog response [arg1] by [arg2] .

説明: このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが使用可能または使用不可にされた場合に使用されます。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0012

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000d-00000000 DHCP[[arg1]] failure, no IP address assigned.

説明: このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができない場合に使用されます。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0013

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCP サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000000e-00000000 Remote Login Successful. Login ID: [arg1] from [arg2] at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインする場合に使用されます。

4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0014

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000f-00000000 Attempting to [arg1] server [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行している場合に使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0015

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000010-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from WEB client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0016

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000011-00000000 Security: Login ID: [arg1] had [arg2] login failures from CLI at [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが Legacy CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0017

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000012-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from WEB browser at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかった場合に使用されます。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0018

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000013-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from TELNET client at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0019

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000014-00000000 The [arg1] on system [arg2] cleared by user [arg3].

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去された場合に使用されます。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0020

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000015-00000000 Management Controller [arg1] reset was initiated by user [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始された場合に使用されます。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0021

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000016-00000000 ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], SN=[arg5], GW@=[arg6], DNS1@=[arg7] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられた場合に使用されます。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0022

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000017-00000000 ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@=[arg3] ,NetMsk=[arg4], GW@=[arg5] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられた場合に使用されます。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0023

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000018-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is no longer active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなった場合に使用されます。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0024

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000019-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is now active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになった場合に使用されます。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0025

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001a-00000000 DHCP setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更した場合に使用されます。

4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0026

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001b-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restored from a file by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元した場合に使用されます。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0027

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001c-00000000 Watchdog [arg1] Screen Capture Occurred .

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされた場合に使用されます。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0028

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーティング・システム・エラーがない場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。

オペレーティング・システム・エラーがある場合は、インストールされているオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000001d-00000000 Watchdog [arg1] Failed to Capture Screen.

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面キャプチャーが失敗した場合に使用されます。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0029

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
5. IMM ファームウェアを更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001e-00000000 Running the backup Management Controller [arg1] main application.

説明: このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いた場合に使用されます。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0030

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001f-00000000 Please ensure that the Management Controller [arg1] is flashed with the correct firmware. The Management Controller is unable to match its firmware to the server.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しない場合に使用されます。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0031

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

40000020-00000000 Management Controller [arg1] Reset was caused by restoring default values.

説明: このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされた場合に使用されます。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0032

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000021-00000000 Management Controller [arg1] clock has been set from NTP server [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定された場合に使用されます。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0033

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000022-00000000 SSL data in the Management Controller [arg1] configuruation data is invalid. Clearing configuration data region and disabling SSL.

説明: このメッセージは、管理コントローラーが構成データで無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を使用不可にしている場合に使用されます。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0034

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しいことを確認します。
2. 証明書のインポートを再試行します。

40000023-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] succeeded for user [arg3] .

説明: このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレスからファームウェア・コンポーネント (MC メインアプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサー、またはリモート拡張ユニットのプロセッサー) を正常にフラッシュした場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0035

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000024-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] failed for user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかった場合に使用されます。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000025-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 75% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルである場合に使用されます。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000026-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 100% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルである場合に使用されます。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以前のログ項目が失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

40000027-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - OS タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 21

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。

4. ウォッチドッグを使用不可にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

40000028-00000000 Management Controller Test Alert Generated by [arg1].

説明: このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成した場合に使用されます。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0040

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000029-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from an SSH client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0041

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

4000002a-00000000 [arg1] firmware mismatch internal to system [arg2]. Please attempt to flash the [arg3] firmware.

説明: このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

4000002b-00000000 Domain name set to [arg1].

説明: ユーザーによってドメイン・ネームが設定されました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002c-00000000 Domain Source changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによってドメイン・ソースが変更されました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002d-00000000 DDNS setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによって DDNS 設定が変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002e-00000000 DDNS registration successful. The domain name is [arg1].

説明: DDNS 登録および値

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0046

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002f-00000000 IPv6 enabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0047

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000030-00000000 IPv6 disabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0048

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000031-00000000 IPv6 static IP configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0049

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000032-00000000 IPv6 DHCP enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0050

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000033-00000000 IPv6 stateless auto-configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0051

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000034-00000000 IPv6 static IP configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0052

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000035-00000000 IPv6 DHCP disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0053

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000036-00000000 IPv6 stateless auto-configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0054

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000037-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4] .

説明: IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0055

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000038-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4], GW@=[arg5].

説明: IPv6 静的アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0056

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000039-00000000 ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], Pref=[arg5].

説明: IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0057

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003a-00000000 IPv6 static address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 固定アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および**and ID:** 0058

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003b-00000000 DHCPv6 failure, no IP address assigned.

説明: S DHCP6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0059

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000003c-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: 実装環境で OS ローダー・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。

4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - ローダー・タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID: 26

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。

5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000003d-00000000 Telnet port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003e-00000000 SSH port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003f-00000000 Web-HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000040-00000000 Web-HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0064

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000041-00000000 CIM/XML HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0065

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000042-00000000 CIM/XML HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0066

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000043-00000000 SNMP Agent port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0067

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000044-00000000 SNMP Traps port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0068

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000045-00000000 Syslog port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0069

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000046-00000000 Remote Presence port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0070

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000047-00000000 LED [arg1] state changed to [arg2] by [arg3].

説明: ユーザーが LED の状態を変更しました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0071

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000048-00000000 Inventory data changed for device [arg1], new device data hash=[arg2], new master data hash=[arg3] .

説明: 何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0072

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000049-00000000 SNMP [arg1] enabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0073

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004a-00000000 SNMP [arg1] disabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0074

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004b-00000000 SNMPv1 [arg1] set by user [arg2]: Name=[arg3], AccessType=[arg4], Address=[arg5], .

説明: ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0075

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004c-00000000 LDAP Server configuration set by user [arg1]: SelectionMethod=[arg2], DomainName=[arg3], Server1=[arg4], Server2=[arg5], Server3=[arg6], Server4=[arg7].

説明: ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0076

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004d-00000000 LDAP set by user [arg1]: RootDN=[arg2], UIDSearchAttribute=[arg3], BindingMethod=[arg4], EnhancedRBS=[arg5], TargetName=[arg6], GroupFilter=[arg7], GroupAttribute=[arg8], LoginAttribute=[arg9].

説明: ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0077

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004e-00000000 Serial Redirection set by user [arg1]: Mode=[arg2], BaudRate=[arg3], StopBits=[arg4], Parity=[arg5], SessionTerminateSequence=[arg6].

説明: ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0078

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004f-00000000 Date and Time set by user [arg1]: Date=[arg2], Time-[arg3], DST Auto-adjust=[arg4], Timezone=[arg5].

説明: ユーザーが日時設定を構成しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0079

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000050-00000000 Server General Settings set by user [arg1]: Name=[arg2], Contact=[arg3], Location=[arg4], Room=[arg5], RackID=[arg6], Rack U-position=[arg7].

説明: ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0080

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000051-00000000 Server Power Off Delay set to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0081

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000052-00000000 Server [arg1] scheduled for [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0082

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000053-00000000 Server [arg1] scheduled for every [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0083

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000054-00000000 Server [arg1] [arg2] cleared by user [arg3].

説明: ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000055-00000000 Synchronize time setting by user [arg1]: Mode=[arg2], NTPServerHost=[arg3]:[arg4],NTPUpdateFrequency=[arg5].

説明: ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000056-00000000 SMTP Server set by user [arg1] to [arg2]:[arg3].

説明: ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000057-00000000 Telnet [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

4000005700000000 または 0x4000005700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000058-00000000 DNS servers set by user [arg1]: UseAdditionalServers=[arg2], PreferredDNStype=[arg3], IPv4Server1=[arg4], IPv4Server2=[arg5], IPv4Server3=[arg6], IPv6Server1=[arg7], IPv6Server2=[arg8], IPv6Server3=[arg9].

説明: ユーザーが DNS サーバーを構成します。

4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0088

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000059-00000000 LAN over USB [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

4000005900000000 または 0x4000005900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0089

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005a-00000000 LAN over USB Port Forwarding set by user [arg1]: ExternalPort=[arg2], USB-LAN port=[arg3].

説明: ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0090

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005b-00000000 Secure Web services (HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア Web サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0091

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005c-00000000 Secure CIM/XML(HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM または **ID:** 0092

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005d-00000000 Secure LDAP [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア LDAP サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0093

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005e-00000000 SSH [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0094

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005f-00000000 Server timeouts set by user [arg1]: EnableOSWatchdog=[arg2], OSWatchdogTimout=[arg3], EnableLoaderWatchdog=[arg4], LoaderTimeout=[arg5].

説明: ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0095

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000060-00000000 License key for [arg1] added by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0096

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000061-00000000 License key for [arg1] removed by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーを削除します。

4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0097

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000062-00000000 Global Login General Settings set by user [arg1]: AuthenticationMethod=[arg2], LockoutPeriod=[arg3], SessionTimeout=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインの一般設定を変更しました。

4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0098

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000063-00000000 Global Login Account Security set by user [arg1]: PasswordRequired=[arg2], PasswordExpirationPeriod=[arg3], MinimumPasswordReuseCycle=[arg4], MinimumPasswordLength=[arg5], MinimumPasswordChangeInterval=[arg6], MaxmumLoginFailures=[arg7], LockoutAfterMaxFailures=[arg8], MinimumDifferentCharacters=[arg9], DefaultIDExpired=[arg10], ChangePasswordFirstAccess=[arg11].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティー設定を「Legacy」に変更しました。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000064-00000000 User [arg1] created.

説明: ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000065-00000000 User [arg1] removed..

説明: ユーザー・アカウントが削除されました。

4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0101

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000066-00000000 User [arg1] password modified.

説明: ユーザー・アカウントが変更されました。

4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0102

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000067-00000000 User [arg1] role set to [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0103

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000068-00000000 User [arg1] custom privileges set: [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0104

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000069-00000000 User [arg1] for SNMPv3 set: AuthenticationProtocol=[arg2], PrivacyProtocol=[arg3], AccessType=[arg4], HostforTraps=[arg5].

説明: ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0105

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006a-00000000 SSH Client key added for user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0106

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006b-00000000 SSH Client key imported for user [arg1] from [arg2].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0107

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006c-00000000 SSH Client key removed from user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006d-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration saved to a file by user [arg2].

説明: ユーザーが、管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0109

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006e-00000000 Alert Configuration Global Event Notification set by user [arg1]: RetryLimit=[arg2], RetryInterval=[arg3], EntryInterval=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0110

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006f-00000000 Alert Recipient Number [arg1] updated: Name=[arg2], DeliveryMethod=[arg3], Address=[arg4], IncludeLog=[arg5], Enabled=[arg6], EnabledAlerts=[arg7], AllowedFilters=[arg8].

説明: ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0111

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000070-00000000 SNMP Traps enabled by user [arg1]: EnabledAlerts=[arg2], AllowedFilters=[arg3] .

説明: ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0112

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000071-00000000 The power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts by user [arg3].

説明: 電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0113

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000072-00000000 The minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最小値が変更されました。

4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0114

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000073-00000000 The maximum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最大値が変更されました。

4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0115

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000074-00000000 The soft minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0116

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000075-00000000 The measured power value exceeded the power cap value.

説明: 電力上限値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0117

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000076-00000000 The new minimum power cap value exceeded the power cap value.

説明: 最小電源キャップが電源キャップを超えています。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0118

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000077-00000000 Power capping was activated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0119

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000078-00000000 Power capping was deactivated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0120

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000079-00000000 Static Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0121

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007a-00000000 Static Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0122

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007b-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0123

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007c-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0124

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007d-00000000 Power cap and external throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0125

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007e-00000000 External throttling occurred .

説明: 外部スロットルが生じました。

4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007f-00000000 Power cap throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルが生じました。

4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000080-00000000 Remote Control session started by user [arg1] in [arg2] mode.

説明: Remote Control セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x4000008000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0128

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000081-00000000 PXE boot requested by user [arg1].

説明: PXE ブートが要求されました。

4000008100000000 または 0x4000008100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0129

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000082-00000000 The measured power value has returned below the power cap value.

説明: 電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000083-00000000 The new minimum power cap value has returned below the power cap value.

説明: 最小電力上限が電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000084-00000000 IMM firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the IMM firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0132

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000085-00000000 FPGA firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the FPGA firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0133

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000086-00000000 Test Call Home Generated by user [arg1].

説明: ユーザーによって生成されたテスト・コール・ホームです。

4000008600000000 または 0x4000008600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0134

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000087-00000000 Manual Call Home by user [arg1]: [arg2].

説明: ユーザーによる手動コール・ホームです。

4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0135

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: IBM サポートが問題に対応します。

40000088-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] completed.

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000089-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to complete.

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源を切り、給電部から切り離します。 IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行してください。

4000008a-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to start.

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源を切り、給電部から切り離します。 IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行してください。

4000008b-00000000 One or more of the Storage Management IP addresses has changed.

説明: このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更された場合に使用されます。

4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

80010002-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800100020701ffff または 0x800100020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0476

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: システム・バッテリーを交換します。

80010202-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102020701ffff または 0x800102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが CMOS バッテリーである場合は、システム・バッテリーを交換します。 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。 指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. 『電源の問題』および『電源の問題の解決』に記載されている処置を行います。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

80010204-1d01ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 1 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d01ffff または 0x800102041d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d02ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 2 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d02ffff または 0x800102041d02ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010701-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (PCI Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107010701ffff または 0x800107010701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-0702ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (VRD Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107010702ffff または 0x800107010702ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-0703ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (Ambient1 Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107010703ffff または 0x800107010703ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-2701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (Ambient2 Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107012701ffff または 0x800107012701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-2d01ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107012d01ffff または 0x800107012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PCI Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109010701ffff または 0x800109010701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-0702ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (VRD Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109010702ffff または 0x800109010702ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-0703ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Ambient1 Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109010703ffff または 0x800109010703ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-2701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Ambient2 Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109012701ffff または 0x800109012701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-2d01ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109012d01ffff または 0x800109012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010902-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109020701ffff または 0x800109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。 指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

80010b01-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (PCI Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b010701ffff または 0x80010b010701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-0702ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (VRD Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b010702ffff または 0x80010b010702ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-0703ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (Ambient1 Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b010703ffff または 0x80010b010703ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-2701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (Ambient2 Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b012701ffff または 0x80010b012701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-2d01ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b012d01ffff または 0x80010b012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80030006-2101ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300062101ffff または 0x800300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030012-2301ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300122301ffff または 0x800300122301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030112-0601ffff Sensor [SensorElementName] has asserted. (SMM Mode, SMM Monitor)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

800301120601ffff または 0x800301120601ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8007010f-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010f2201ffff または 0x8007010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI 設定の「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。
3. 破損したディスクを交換します。

8007010f-2582ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010f2582ffff または 0x8007010f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI I/O リソース・エラーを解決するために、以下のステップを実行してください。

1. F1 Setup に進む
2. System Settings
3. Device and I/O ports
4. PCI 64 bit Resource および enable の選択

80070114-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800701142201ffff または 0x800701142201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とする管理用タスクを実行します。
2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元します。
3. システムをリブートします。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが解決しない場合は、プレーナーを交換します。

80070201-0301ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702010301ffff または 0x800702010301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070201-0701ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (VR Hot)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702010701ffff または 0x800702010701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070202-0701ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702020701ffff または 0x800702020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
3. 障害のある装置をすべて交換します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070204-0a01ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702040a01ffff または 0x800702040a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070204-0a02ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702040a02ffff または 0x800702040a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

8007020f-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020f2201ffff または 0x8007020f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ITXT を使用可能化する必要がない場合は、Setup ユーティリティーから TXT を使用不可にします。
2. TXT を使用可能化する必要がある場合は、Setup ユーティリティーから TPM が使用可能でアクティブ化されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。

8007020f-2582ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020f2582ffff または 0x8007020f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI I/O リソース・エラーを解決するために、以下のステップを実行してください。

1. F1 Setup に進む
2. System Settings
3. Device and I/O ports
4. PCI 64 bit Resource および enable の選択

80070214-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (TPM Lock)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702142201ffff または 0x800702142201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

80070219-0701ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702190701ffff または 0x800702190701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
2. システム・イベント・ログを確認します。
3. システム・ファームウェア・バージョンを確認し、最新バージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. AC 電源コードをいったん抜いてから差し込み、次にステップ 1 および 2 を再度実行します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070301-0301ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010301ffff または 0x800703010301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070614-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable. (TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706142201ffff または 0x800706142201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

80080128-2101ffff Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Low Security Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800801282101ffff または 0x800801282101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0008-1301ffff Redundancy [RedundancySetElementName] has been restored. (Power Unit)

説明: This message is for the use case when an implementation has detected Redundancy was Restored.

800b00081301ffff または 0x800b00081301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT and **ID:** 0561

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0108-1301ffff Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Unit)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b01081301ffff または 0x800b01081301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 両方のパワー・サプライの LED を確認します。
2. 『パワー・サプライ LED』の処置に従います。

806f0007-0301ffff [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサー障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070301ffff または 0x806f00070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. すべてのアダプターおよび標準デバイス (UEFI、IMM イーサネット、SAS など) にインストールされているシステム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを、最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0008-0a01ffff [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a01ffff または 0x806f00080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0008-0a02ffff [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a02ffff または 0x806f00080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0009-1301ffff [PowerSupplyElementName] has been turned off. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で使用不可にされた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00091301ffff または 0x806f00091301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オフ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0106

SNMP トラップ ID: 23

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0400ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0400ffff または 0x806f000d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0401ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0401ffff または 0x806f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0402ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0402ffff または 0x806f000d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0403ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0403ffff または 0x806f000d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0404ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0404ffff または 0x806f000d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0405ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0405ffff または 0x806f000d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0406ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0406ffff または 0x806f000d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0407ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0407ffff または 0x806f000d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000f-220101ff The System [ComputerSystemElementName] has detected no memory in the system. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220101ff または 0x806f000f220101ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0794

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。

3. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220102ff Subsystem [MemoryElementName] has insufficient memory for operation. (ABR Status)

説明: このメッセージは、操作に使用可能なメモリーが不十分であることを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220102ff または 0x806f000f220102ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0132

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220103ff The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable boot device failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能ブート・デバイス障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220103ff または 0x806f000f220103ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0770

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー ・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220104ff The System [ComputerSystemElementName]has encountered a motherboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220104ff または 0x806f000f220104ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0795

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー ・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220107ff The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable keyboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能キーボード障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220107ff または 0x806f000f220107ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0764

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー ・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010aff The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - no video device detected. (ABR Status)

説明: このメッセージは、ビデオ・デバイスが検出されないことを示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010aff または 0x806f000f22010aff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0766

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー ・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010bff Firmware BIOS (ROM) corruption was detected on system [ComputerSystemElementName] during POST. (ABR Status)

説明: システムで POST 中に、ファームウェア BIOS (ROM) 破損が検出されました。

806f000f22010bff または 0x806f000f22010bff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0850

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010cff CPU voltage mismatch detected on [ProcessorElementName]. (ABR Status)

説明: このメッセージは、CPU 電圧がソケット電圧と一致していないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010cff または 0x806f000f22010cff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0050

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー ・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a POST Error. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出された場合に使用されます。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0184

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー ・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f0013-1701ffff A diagnostic interrupt has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出された場合に使用されます。

806f00131701ffff または 0x806f00131701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0222

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: NMI ボタンを押していない場合は、以下の手順を実行してください。

1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。

2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。
3. オペレーター情報パネルを交換します。

806f001e-2201ffff No bootable media available for system [ComputerSystemElementName]. (No Boot Device)

説明: このメッセージは、ブート可能メディアがないシステムが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f001e2201ffff または 0x806f001e2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0286

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: ブート可能デバイスを挿入してください。

806f0021-2201ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212201ffff または 0x806f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 該当するアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-2582ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error / One of PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212582ffff または 0x806f00212582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 該当するアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3001ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 1)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213001ffff または 0x806f00213001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 該当するアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3002ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 2)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213002ffff または 0x806f00213002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 該当するアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3003ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 3)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213003ffff または 0x806f00213003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 該当するアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3004ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 4)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213004ffff または 0x806f00213004ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 該当するアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0023-2101ffff Watchdog Timer expired for [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00232101ffff または 0x806f00232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0368

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0107-0301ffff An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070301ffff または 0x806f01070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していることを確認します。通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
2. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0108-0a01ffff [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a01ffff または 0x806f01080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ n を取り付け直します。
2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。
3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0108-0a02ffff [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a02ffff または 0x806f01080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ n を取り付け直します。
2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。
3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0109-1301ffff [PowerSupplyElementName] has been Power Cycled. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01091301ffff または 0x806f01091301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f010c-2001ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2001ffff または 0x806f010c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2002ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2002ffff または 0x806f010c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2003ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2003ffff または 0x806f010c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2004ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2004ffff または 0x806f010c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。

3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2581ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS / One of the DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2581ffff または 0x806f010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010d-0400ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 0)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0400ffff または 0x806f010d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0401ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 1)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0401ffff または 0x806f010d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0402ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 2)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0402ffff または 0x806f010d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0403ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 3)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0403ffff または 0x806f010d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0404ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 4)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0404ffff または 0x806f010d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0405ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 5)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0405ffff または 0x806f010d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0406ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 6)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0406ffff または 0x806f010d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0407ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 7)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0407ffff または 0x806f010d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。

806f010f2201ffff または 0x806f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - ブート障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0186

SNMP トラップ ID: 25

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0123-2101ffff Reboot of system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリブートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01232101ffff または 0x806f01232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0370

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0207-0301ffff [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070301ffff または 0x806f02070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. すべてのアダプターおよび標準デバイス (UEFI、IMM イーサネット、SAS など) にインストールされているシステム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを、最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f020d-0400ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0400ffff または 0x806f020d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0401ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0401ffff または 0x806f020d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0402ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0402ffff または 0x806f020d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0403ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0403ffff または 0x806f020d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0404ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0404ffff または 0x806f020d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0405ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0405ffff または 0x806f020d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0406ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0406ffff または 0x806f020d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0407ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0407ffff または 0x806f020d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f0223-2101ffff Powering off system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f02232101ffff または 0x806f02232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0372

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0308-0a01ffff [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a01ffff または 0x806f03080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源コードを再接続します。
2. パワー・サプライ n LED を確認します。
3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0308-0a02ffff [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a02ffff または 0x806f03080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源コードを再接続します。
2. パワー・サプライ n LED を確認します。
3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f030c-2001ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2001ffff または 0x806f030c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2002ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2002ffff または 0x806f030c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。

4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2003ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2003ffff または 0x806f030c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2004ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2004ffff または 0x806f030c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2581ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS / One of the DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2581ffff または 0x806f030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。

4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f0313-1701ffff A software NMI has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境で ソフトウェア NMI が検出された場合に使用されます。

806f03131701ffff または 0x806f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0228

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. デバイス・ドライバーをチェックします。
2. デバイス・ドライバーを再インストールします。
3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

806f0323-2101ffff Power cycle of system [ComputerSystemElementName] initiated by watchdog [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03232101ffff または 0x806f03232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0374

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f040c-2001ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2001ffff または 0x806f040c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2002ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2002ffff または 0x806f040c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2003ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2003ffff または 0x806f040c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2004ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2004ffff または 0x806f040c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2581ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS / One of the DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2581ffff または 0x806f040c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f0413-2582ffff A PCI PERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出された場合に使用されます。

806f04132582ffff または 0x806f04132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0232

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. PCIe アダプターを交換します。
6. ライザー・カードを交換します。

806f050c-2001ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2001ffff または 0x806f050c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2002ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2002ffff または 0x806f050c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。

3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2003ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2003ffff または 0x806f050c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2004ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2004ffff または 0x806f050c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2581ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS / One of the DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2581ffff または 0x806f050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。

3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050d-0400ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0400ffff または 0x806f050d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0401ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0401ffff または 0x806f050d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0402ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0402ffff または 0x806f050d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0403ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0403ffff または 0x806f050d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0404ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0404ffff または 0x806f050d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0405ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0405ffff または 0x806f050d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0406ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0406ffff または 0x806f050d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0407ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0407ffff または 0x806f050d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f0513-2582ffff A PCI SERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出された場合に使用されます。

806f05132582ffff または 0x806f05132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0234

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. アダプターがサポートされていることを確認します。サポートするオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
5. 両方のアダプターを取り外します。
6. PCIe アダプターを交換します。
7. ライザー・カードを交換します。

806f052b-2101ffff Invalid or Unsupported firmware or software was detected on system [ComputerSystemElementName]. (IMM2 FW Failover)

説明: このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f052b2101ffff または 0x806f052b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0446

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. サーバーを再始動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0607-0301ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070301ffff または 0x806f06070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. すべてのアダプターおよび標準デバイス (UEFI、IMM イーサネット、SAS など) にインストールされているシステム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを、最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f060d-0400ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0400ffff または 0x806f060d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0401ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0401ffff または 0x806f060d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0402ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0402ffff または 0x806f060d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0403ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0403ffff または 0x806f060d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0404ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0404ffff または 0x806f060d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0405ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0405ffff または 0x806f060d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0406ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0406ffff または 0x806f060d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0407ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0407ffff または 0x806f060d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f070c-2001ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2001ffff または 0x806f070c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられていて、システム資料に記載されているメモリー装着図に従っていることを確認してください。

806f070c-2002ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2002ffff または 0x806f070c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられていて、システム資料に記載されているメモリー装着図に従っていることを確認してください。

806f070c-2003ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2003ffff または 0x806f070c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられていて、システム資料に記載されているメモリー装着図に従っていることを

確認してください。

806f070c-2004ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2004ffff または 0x806f070c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられていて、システム資料に記載されているメモリー装着図に従っていることを確認してください。

806f070c-2581ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS / One of the DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2581ffff または 0x806f070c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられていて、システム資料に記載されているメモリー装着図に従っていることを確認してください。

806f070d-0400ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0400ffff または 0x806f070d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0401ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0401ffff または 0x806f070d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0402ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0402ffff または 0x806f070d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0403ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0403ffff または 0x806f070d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0404ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0404ffff または 0x806f070d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0405ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0405ffff または 0x806f070d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0406ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0406ffff または 0x806f070d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0407ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0407ffff または 0x806f070d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f072b-2101ffff A successful software or firmware change was detected on system [ComputerSystemElementName]. (IMM Promotion / IMM Recovery)

説明: このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f072b2101ffff または 0x806f072b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0450

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1 次ビルド・レベルが旧バージョンにロールバックする場合は、もう一度 1 次バンクを再消去してください。それ以外の場合、アクションは不要です。通知用のみです。

806f072b-2201ffff A successful software or firmware change was detected on system [ComputerSystemElementName]. (Bkup Auto Update / ROM Recovery)

説明: このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f072b2201ffff または 0x806f072b2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0450

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-0301ffff [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070301ffff または 0x806f08070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0813-2581ffff A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132581ffff または 0x806f08132581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. DIMM エラー LED を確認します。
3. 障害が起きている DIMM をシステム・ボードから取り外します。

4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
5. 取り付けられている DIMM がサポートされており、正しく構成されていることを確認します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2582ffff A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132582ffff または 0x806f08132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. PCI LED を確認します。
3. 対象の PCI スロットからアダプターを取り外します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2584ffff A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132584ffff または 0x806f08132584ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。

3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0823-2101ffff Watchdog Timer interrupt occurred for [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f08232101ffff または 0x806f08232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0376

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f090c-2001ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2001ffff または 0x806f090c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2002ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2002ffff または 0x806f090c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2003ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2003ffff または 0x806f090c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2004ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2004ffff または 0x806f090c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a07-0301ffff [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070301ffff または 0x806f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a0c-2001ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c2001ffff または 0x806f0a0c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2002ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c2002ffff または 0x806f0a0c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2003ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c2003ffff または 0x806f0a0c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2004ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c2004ffff または 0x806f0a0c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

81010002-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810100020701ffff または 0x810100020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0477

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010202-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102020701ffff または 0x810102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d01ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 1 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d01ffff または 0x810102041d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d02ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 2 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d02ffff または 0x810102041d02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (PCI Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107010701ffff または 0x810107010701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0702ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (VRD Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107010702ffff または 0x810107010702ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0703ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (Ambient1 Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107010703ffff または 0x810107010703ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (Ambient2 Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107012701ffff または 0x810107012701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2d01ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107012d01ffff または 0x810107012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (PCI Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109010701ffff または 0x810109010701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0702ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (VRD Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109010702ffff または 0x810109010702ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0703ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (Ambient1 Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109010703ffff または 0x810109010703ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (Ambient2 Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109012701ffff または 0x810109012701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2d01ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109012d01ffff または 0x810109012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010902-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (SysBrd 12V)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109020701ffff または 0x810109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (PCI Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b010701ffff または 0x81010b010701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-0702ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (VRD Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b010702ffff または 0x81010b010702ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-0703ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Ambient1 Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b010703ffff または 0x81010b010703ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Ambient2 Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b012701ffff または 0x81010b012701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2d01ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b012d01ffff または 0x81010b012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030006-2101ffff Sensor [SensorElementName] has asserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300062101ffff または 0x810300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030012-2301ffff Sensor [SensorElementName] has asserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300122301ffff または 0x810300122301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030112-0601ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted. (SMM Mode, SMM Monitor)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

810301120601ffff または 0x810301120601ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2201ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2201ffff または 0x8107010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2582ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2582ffff または 0x8107010f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0301ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702010301ffff または 0x810702010301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0701ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (VR Hot)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702010701ffff または 0x810702010701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-0701ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702020701ffff または 0x810702020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a01ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702040a01ffff または 0x810702040a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a02ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702040a02ffff または 0x810702040a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2201ffff または 0x8107020f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2582ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2582ffff または 0x8107020f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070214-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (TPM Lock)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702142201ffff または 0x810702142201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070219-0701ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702190701ffff または 0x810702190701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0301ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810703010301ffff または 0x810703010301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0301ffff [ProcessorElementName] has Recovered from IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f00070301ffff または 0x816f00070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0008-0a01ffff [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a01ffff または 0x816f00080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0008-0a02ffff [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a02ffff または 0x816f00080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0009-1301ffff [PowerSupplyElementName] has been turned on. (Host Power)

説明: このメッセージは、使用可能にされた電源装置が実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00091301ffff または 0x816f00091301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0107

SNMP トラップ ID: 24

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f000d-0400ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0400ffff または 0x816f000d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスクのファームウェア、および RAID コントローラーとバックプレーンのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. SAS ケーブルをチェックします。

4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0401ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0401ffff または 0x816f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスクのファームウェア、および RAID コントローラーとバックプレーンのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. SAS ケーブルをチェックします。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0402ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0402ffff または 0x816f000d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスクのファームウェア、および RAID コントローラーとバックプレーンのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. SAS ケーブルをチェックします。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0403ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0403ffff または 0x816f000d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスクのファームウェア、および RAID コントローラーとバックプレーンのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. SAS ケーブルをチェックします。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0404ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0404ffff または 0x816f000d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスクのファームウェア、および RAID コントローラーとバックプレーンのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. SAS ケーブルをチェックします。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0405ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0405ffff または 0x816f000d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスクのファームウェア、および RAID コントローラーとバックプレーンのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. SAS ケーブルをチェックします。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0406ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0406ffff または 0x816f000d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスクのファームウェア、および RAID コントローラーとバックプレーンのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. SAS ケーブルをチェックします。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0407ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0407ffff または 0x816f000d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスクのファームウェア、および RAID コントローラーとバックプレーンのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. SAS ケーブルをチェックします。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] has detected a POST Error deassertion. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0185

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが ABR Status、Firmware Error、または Sys Boot Status いずれかの場合: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0013-1701ffff System [ComputerSystemElementName] has recovered from a diagnostic interrupt. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f00131701ffff または 0x816f00131701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0223

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2201ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212201ffff または 0x816f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2582ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error / One of PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212582ffff または 0x816f00212582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3001ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 1)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213001ffff または 0x816f00213001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3002ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 2)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213002ffff または 0x816f00213002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3003ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 3)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213003ffff または 0x816f00213003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3004ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 4)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213004ffff または 0x816f00213004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0301ffff An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070301ffff または 0x816f01070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a01ffff [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a01ffff または 0x816f01080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a02ffff [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a02ffff または 0x816f01080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2001ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2001ffff または 0x816f010c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2002ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2002ffff または 0x816f010c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2003ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2003ffff または 0x816f010c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2004ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2004ffff または 0x816f010c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2581ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS / One of the DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2581ffff または 0x816f010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0400ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 0)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0400ffff または 0x816f010d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0401ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 1)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0401ffff または 0x816f010d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0402ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 2)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0402ffff または 0x816f010d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0403ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 3)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0403ffff または 0x816f010d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0404ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 4)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0404ffff または 0x816f010d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0405ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 5)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0405ffff または 0x816f010d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0406ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 6)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0406ffff または 0x816f010d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0407ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 7)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0407ffff または 0x816f010d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] has recovered from a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされた場合に使用されます。

816f010f2201ffff または 0x816f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0187

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0301ffff [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070301ffff または 0x816f02070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0400ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0400ffff または 0x816f020d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0401ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0401ffff または 0x816f020d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0402ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0402ffff または 0x816f020d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0403ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0403ffff または 0x816f020d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0404ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0404ffff または 0x816f020d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0405ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0405ffff または 0x816f020d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0406ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0406ffff または 0x816f020d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0407ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0407ffff または 0x816f020d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a01ffff [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a01ffff または 0x816f03080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a02ffff [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a02ffff または 0x816f03080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2001ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2001ffff または 0x816f030c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2002ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2002ffff または 0x816f030c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2003ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2003ffff または 0x816f030c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2004ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2004ffff または 0x816f030c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2581ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (All DIMMS / One of the DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2581ffff または 0x816f030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0313-1701ffff System [ComputerSystemElementName] has recovered from an NMI. (NMI State)

説明: このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03131701ffff または 0x816f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0230

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2001ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2001ffff または 0x816f040c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2002ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2002ffff または 0x816f040c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2003ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2003ffff または 0x816f040c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2004ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2004ffff または 0x816f040c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2581ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS / One of the DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2581ffff または 0x816f040c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0413-2582ffff A PCI PERR recovery has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出された場合に使用されます。

816f04132582ffff または 0x816f04132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0233

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2001ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2001ffff または 0x816f050c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2002ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2002ffff または 0x816f050c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2003ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2003ffff または 0x816f050c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2004ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2004ffff または 0x816f050c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2581ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS / One of the DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2581ffff または 0x816f050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0400ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 0)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0400ffff または 0x816f050d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0401ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 1)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0401ffff または 0x816f050d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0402ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 2)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0402ffff または 0x816f050d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0403ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 3)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0403ffff または 0x816f050d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0404ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 4)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0404ffff または 0x816f050d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0405ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 5)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0405ffff または 0x816f050d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0406ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 6)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0406ffff または 0x816f050d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0407ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 7)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0407ffff または 0x816f050d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0301ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070301ffff または 0x816f06070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0400ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 0)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0400ffff または 0x816f060d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0401ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 1)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0401ffff または 0x816f060d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0402ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 2)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0402ffff または 0x816f060d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0403ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 3)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0403ffff または 0x816f060d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0404ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 4)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0404ffff または 0x816f060d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0405ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 5)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0405ffff または 0x816f060d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0406ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 6)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0406ffff または 0x816f060d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0407ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 7)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0407ffff または 0x816f060d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2001ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2001ffff または 0x816f070c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2002ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2002ffff または 0x816f070c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2003ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2003ffff または 0x816f070c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2004ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2004ffff または 0x816f070c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2581ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (All DIMMS / One of the DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2581ffff または 0x816f070c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0400ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0400ffff または 0x816f070d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0401ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0401ffff または 0x816f070d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0402ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0402ffff または 0x816f070d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0403ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0403ffff または 0x816f070d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0404ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0404ffff または 0x816f070d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0405ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0405ffff または 0x816f070d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0406ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0406ffff または 0x816f070d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0407ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0407ffff または 0x816f070d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0301ffff [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070301ffff または 0x816f08070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2581ffff System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (DIMMs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132581ffff または 0x816f08132581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2582ffff System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (PCIs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132582ffff または 0x816f08132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2584ffff System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (CPUs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132584ffff または 0x816f08132584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2001ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2001ffff または 0x816f090c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2002ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2002ffff または 0x816f090c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2003ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2003ffff または 0x816f090c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2004ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2004ffff または 0x816f090c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0301ffff The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070301ffff または 0x816f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2001ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2001ffff または 0x816f0a0c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2002ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2002ffff または 0x816f0a0c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2003ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2003ffff または 0x816f0a0c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2004ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2004ffff または 0x816f0a0c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

付録 B. UEFI/POST 診断コード

UEFI/POST 診断エラー・コードは、サーバーの始動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI/POST コードは、サーバー内の IMM イベント・ログに記録されます。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)
イベントを一意的に識別する ID。

Event description (イベント記述)
イベントについて表すログ・メッセージ・ストリング。

Explanation (説明)
イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

表 41. イベントの重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー処置あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。警告は、さらにモニターおよびメインテナンスを続ける必要がある状態である場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を示します。

ユーザー応答
イベントを解決するために取るべき処置。

手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください。

以下に、UEFI/POST エラー・コードおよび検出された問題を修正するための推奨アクションをリストします。

© Copyright IBM Corp. 2014

I.2018002 [I.2018002] The device found at Bus % Device % Function % could not be configured due to resource constraints. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM Support Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 セットアップ、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティーを使用して、未使用のオプション ROM を使用不可にする必要がある場合があります。
3. カードを別のスロットに移動します。If slot not available or error re-occurs, replace adapter.
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) アダプターを別のスロットに移動した後にエラーが再発しなかった場合は、これがシステムの制限事項でないことを確認してから、システム・ボードを交換します。また、これが初回のインストールではなく、アダプターの交換後もエラーが続く場合も、システム・ボードを交換します。

I.2018003 [I.2018003] A bad option ROM checksum was detected for the device found at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: ROM チェックサム・エラー

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. IBM Support Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティー・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティーを使用して構成できます。
4. アダプターを交換します。

I.3048005 [I.3048005] UEFI has booted from the backup flash bank.

説明: バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報で UEFI リカバリーのセクションを参照して、システムを 1 次バンクに戻します。

I.3808004 [I.3808004] The IMM System Event log (SEL) is full.

説明: IPMI システム・イベント・ログがフルです。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM Web インターフェースを使用して、イベント・ログを消去します。
2. IMM 通信が使用できない場合は、F1 Setup を使用して、「System Event Logs Menu」にアクセスし、「Clear IMM System Event Log」を選択してサーバーを再始動します。

I.3818001 [I.3818001] The firmware image capsule signature for the currently booted flash bank is invalid.

説明: 現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。1 次 UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818002 [I.3818002] The firmware image capsule signature for the non-booted flash bank is invalid.

説明: 対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. バックアップ UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818003 [I.3818003] The CRTM flash driver could not lock the secure flash region.

説明: CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーが完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.580A4 [I.580A4] Memory population change detected.

説明: DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

S.2011001 [S.2011001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCI SERR が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティーを使用して構成することができます。
2. IBM Support Web サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.2018001 [S.2018001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティーを使用して構成できます。
2. IBM Support Web サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.3020007 [S.3020007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM Support Web サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3028002 [S.3028002] Boot permission timeout detected.

説明: ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。
2. システムを取り付け直します。
3. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.3030007 [S.3030007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM Support Web サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3040007 [S.3040007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM Support Web サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3050007 [S.3050007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM Support Web サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3058004 [S.3058004] A Three Strike boot failure has occurred. The system has booted with default UEFI settings.

説明: POST 障害が発生しました。 システムはデフォルト設定でブートしました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このイベントは、次回のブートで UEFI をデフォルト設定にリセットします。正常に行われると、ユーザーは強制的に F1 セットアップに入ります。 元の UEFI 設定はまだ存在しています。
2. ユーザーが意図的にリブートを開始したのではない場合、ログで推定原因を確認してください。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。最近行ったシステム変更がない場合は、すべてのオプションを取り外した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去します。 システムがブートすることを確認します。次に、オプションを 1 回に 1 つずつ再取り付けして、問題を見付けます。
4. IBM Support Web サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. UEFI ファームウェアを再消去します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3060007 [S.3060007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM Support Web サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3070007 [S.3070007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM Support Web サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3108007 [S.3108007] The default system settings have been restored.

説明: システム構成がデフォルトに復元されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM Support Web サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。

S.3818004 [S.3818004] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. A failure occurred.

説明: CRTM 更新が失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. エラーが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3818007 [S.3818007] The firmware image capsules for both flash banks could not be verified.

説明: CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーは完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51003 [S.51003] An uncorrectable memory error was detected in DIMM slot % on rank %.

説明: 致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. DIMM コネクター上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を交換します。
4. IBM Support Web サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、コネクターに損傷がないか調べます。損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51006 [S.51006] A memory mismatch has been detected. Please verify that the memory configuration is valid.

説明: 1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを使用不可にします。この処置によってミスマッチがなくなる場合には、IBM Support Web サイトにこの問題に関連する情報がないか確認してください。
4. UEFI ファームウェアを再消去します。
5. DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.51009 [S.51009] No system memory has been detected.

説明: メモリーが検出されませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクターが使用可能になっているかどうかを確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、正しい装着順序を確認してすべての DIMM を再取り付けします。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.58008 [S.58008] A DIMM has failed the POST memory test.

説明: DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクターを再度使用可能にするか、あるいは F1 Setup を使用して手動で対象の DIMM コネクターを再度使用可能にします。
2. このノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. 問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を 1 回に 1 つずつ別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに交換します。別のメモリー・チャネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。
5. IBM Support Web サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 元の DIMM コネクターで問題が続く場合は、DIMM コネクターに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを取り外し、そのプロセッサーのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサーの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合 (あるいは、プロセッサーが 1 つしかない場合) は、エラーが生じたプロセッサーを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.68005 **[S.68005] An error has been detected by the the IIO core logic on Bus %. The Global Fatal Error Status register contains %. The Global Non-Fatal Error Status register contains %. Please check error logs for the presence of additional downstream device error data.**

説明: クリティカル IOH-PCI エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを保守します。
2. IBM Support Web サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.11004 **[W.11004] A processor within the system has failed the BIST.**

説明: プロセッサー自己診断テストの失敗が検出されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサーまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM Support Web サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサーのシステムである場合は、そのプロセッサーを交換します。プロセッサーを取り外すたびにプロセッサー・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3048006 **[W.3048006] UEFI has booted from the backup flash bank due to an Automatic Boot Recovery (ABR) event.**

説明: 自動ブート・リカバリーにより、バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM Support Web サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. 1 次 UEFI イメージを再フラッシュします。 本製品のサービス情報の UEFI リカバリーのセクションを参照してください。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305000A [W.305000A] An invalid date and time have been detected.

説明: RTC 日時が誤っています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM/シャーシ・イベント・ログを確認します。このイベントは、0068002 エラーの直前にあります。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて保守します。
2. F1 Setup を使用して日時を再設定します。システム・リセットの後に問題が再発生する場合は、CMOS バッテリーを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、IBM Support Web サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3058009 [W.3058009] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Missing Configuraiton. F1 から設定を変更する必要があります。

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。 F1 から設定を変更する必要があります。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 「System Settings」>「Settings」>「Driver Health Status List」に進み、構成が必要な状況を報告しているドライバー/コントローラーを見つけます。
2. 「System Settings」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存してシステムを再始動します。

W.305800A [W.305800A] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Failed' Status Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800B [W.305800B] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Reboot' Required Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. アクションは不要です - POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800C [W.305800C] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'System Shutdown' Required Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800D [W.305800D] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Disconnect Controller Failed. リブートが必要です。

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートし、コントローラーを再接続します。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800E [W.305800E] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports Invalid Health Status Driver.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス状況のドライバーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808000 [W.3808000] An IMM communication failure has occurred.

説明: IMM 通信に失敗しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM をリセットします。
2. ノードから AUX 電源を除去します。これにより、ノード全体がリブートします。
3. IBM Support Web サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
4. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808002 [W.3808002] An error occurred while saving UEFI settings to the IMM.

説明: IMM へのシステム構成の更新でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. IMM をリセットします。
3. ノードから AUX 電源を除去します。これにより、ノード全体がリブートします。
4. IBM Support Web サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再フラッシュします。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808003 .[W.3808003] Unable to retrieve the system configuration from the IMM.

説明: IMM からのシステム構成の取得でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. IMM をリセットします。
3. ノードから AUX 電源を除去します。これにより、ノード全体がリブートします。
4. IBM Support Web サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再フラッシュします。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3818005 [W.3818005] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. The update was aborted

説明: CRTM 更新が異常終了しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. イベントが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.381800D [W.381800D] TPM physical presence is in asserted state

説明: TPM 物理プレゼンスは表明状態です

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. TPM 物理プレゼンス・スイッチを「ON」位置への切り替えるために必要な管理用タスクをすべて完了します。
2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元して、システムをリブートします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3938002 [W.3938002] A boot configuration error has been detected.

説明: ブート構成エラー。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup->「Save Settings」
2. OOB 構成の更新を再試行します。

W.50001 [W.50001] A DIMM has been disabled due to an error detected during POST.

説明: DIMM が使用不可です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メモリー障害によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して DIMM を再度使用可能にします。
3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールからノードの電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを再消去します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58001 [W.58001] The PFA Threshold limit (correctable error logging limit) has been exceeded on DIMM number % at address %. MC5 Status contains % and MC5 Misc contains %.

説明: DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. IBM Support Web サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。
3. 上記のステップで問題が解決されない場合は、次に保守を行う機会に対象の DIMM (Light Path や障害ログ・エントリーで示されたもの) を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで PFA が再発生した場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を、別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに一度に 1 つずつスワップします。PFA が別のメモリー・チャネルの DIMM コネクターに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
5. IBM Support Web サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。(IBM サポートの Service Bulletin へのリンク)
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が継続的に再発生する場合は、DIMM コネクターに異物がないかを検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを取り外し、そのプロセッサーのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、あるいはプロセッサーがアップグレード部品である場合は、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを交換します。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.68002 [W.68002] A CMOS battery error has been detected

説明: CMOS バッテリー障害

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
2. IBM Support Web サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

付録 C. DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

405-000-000 BRCM:TestControlRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-001-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

© Copyright IBM Corp. 2014

405-002-000 BRCM:TestEEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-003-000 BRCM:TestInternalMemory Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-004-000 BRCM:TestInterrupt Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-005-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-006-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-007-000 BRCM:TestLEDs Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-800-000 BRCM:TestControlRegisters Test Aborted

説明: 制御レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-801-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Aborted

説明: MII レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-802-000 BRCM:TestEEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-803-000 BRCM:TestInternalMemory Test Aborted

説明: 内部メモリー・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-804-000 BRCM:TestInterrupt Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-805-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-806-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-807-000 BRCM:TestLEDs Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-900-000 BRCM:TestControlRegisters Test Failed

説明: 内部 MAC レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-901-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Failed

説明: 内部 PHY レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-902-000 BRCM:TestEEPROM Test Failed

説明: 不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-903-000 BRCM:TestInternalMemory Test Failed

説明: 内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-904-000 BRCM:TestInterrupt Test Failed

説明: 割り込みのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-905-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Failed

説明: BRCM:TestLoopbackMAC テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-906-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-907-000 BRCM:TestLEDs Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

218-000-000 Brocade:MemoryTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-001-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-002-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-003-000 Brocade:PCILoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-004-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-005-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-006-000 Brocade:InternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-800-000 Brocade:MemoryTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-801-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-802-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-803-000 Brocade:PCILoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-804-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-805-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-806-000 Brocade:InternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-900-000 Brocade:MemoryTest Failed

説明: アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-901-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-902-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-903-000 Brocade:PCILoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-904-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-905-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-906-000 Brocade:InternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

180-000-000 Check-point Panel Test Passed

説明: チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

180-801-000 Check-point Panel Test Aborted

説明: チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMC は、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

180-901-000 Check-point Panel Test Failed

説明: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行してください。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

089-000-000 CPU Stress Test Passed

説明: CPU ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

089-801-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、IBM サポート Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検索できます。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

089-802-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

089-803-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

089-804-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

089-901-000 CPU Stress Test Failed

説明: CPU ストレス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

516-000-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-001-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-002-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-800-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-801-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-802-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-900-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Failed

説明: MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-901-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-902-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

401-000-000 EXA Port Ping Test Passed

説明: EXA ポート ping テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

401-801-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。装置基底アドレスを取得できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

401-802-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

401-901-001 EXA Port Ping Test Failed

説明: EXA ポート ping テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティー・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート (複数の場合もあり) のスケーラビリティー・ケーブル (複数の場合もあり) を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA ハード・ディスク・テスト結果

ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

217-000-000 HDD Test Passed

説明: HDD ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

217-800-000 HDD Test Aborted

説明: HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ハード・ディスクが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

217-900-000 HDD Test Failed

説明: HDD テストが失敗しました。ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

406-000-000 IANet:Registers Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-001-000 IANet:EEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-002-000 IANet:FIFO Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-003-000 IANet:Interrupts Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-004-000 IANet:Loopback Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-800-000 IANet:Registers Test Aborted

説明: レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-801-000 IANet:EEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-802-000 IANet:FIFO Test Aborted

説明: FIFO テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-803-000 IANet:Interrupts Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-804-000 IANet:Loopback Test Aborted

説明: ループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-900-000 IANet:Registers Test Failed

説明: レジスター・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-901-000 IANet:EEPROM Test Failed

説明: EEPROM テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-902-000 IANet:FIFO Test Failed

説明: FIFO テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-903-000 IANet:Interrupts Test Failed

説明: 割り込みテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネット装置が割り込みを共用している場合は、可能であれば、F1 を使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをその装置に割り当てます。
4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-904-000 IANet:Loopback Test Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果

LSI ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

407-000-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

407-800-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

407-900-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Failed

説明: ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

408-000-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

408-001-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

408-800-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

408-801-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

408-900-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

408-901-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

201-000-000 Standalone Memory Test Passed

説明: すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-000-001 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-000-002 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-000-003 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-000-004 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-811-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-811-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-811-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-811-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-812-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-812-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-812-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-812-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-813-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-813-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-813-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-813-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-814-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-814-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-814-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-814-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-815-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-815-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-815-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-815-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-816-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-816-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-816-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-816-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-818-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-818-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-818-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-818-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-819-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-819-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-819-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-819-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-820-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-820-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-820-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-820-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-821-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-821-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-821-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-821-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-822-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-822-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-822-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-822-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-824-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-824-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-824-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-824-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-826-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-826-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-826-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-826-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-827-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-827-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-827-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-827-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-844-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-844-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-844-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-844-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-845-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-845-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-845-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-845-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-859-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-859-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-859-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-859-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-860-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-860-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-860-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-860-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-861-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-861-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-861-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-861-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-862-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-862-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-862-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-862-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-863-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-863-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-863-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-863-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-864-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-864-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-864-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-864-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-865-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-865-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-865-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-865-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-866-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-866-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-866-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-866-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-867-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-867-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-867-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-867-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-868-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-868-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-868-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-868-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-869-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-869-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-869-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-869-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-870-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-870-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-870-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-870-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-871-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-871-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-871-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-871-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-877-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-877-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-877-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-877-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-878-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-878-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-878-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-878-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-885-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-885-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-885-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-885-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-886-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-886-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-886-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-886-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-899-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-899-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-899-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-899-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-901-000 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-901-001 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-901-002 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-901-003 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

202-000-000 MemStr Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

202-801-000 MemStr Test Aborted

説明: 内部プログラム・エラー

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

202-802-000 MemStr Test Aborted

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

202-803-000 MemStr Test Aborted

説明: ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

202-901-000 MemStr Test Failed

説明: テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。
4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
6. テストを再実行してください。
7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

202-902-000 MemStr Test Failed

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが使用可能であることを確認します。
2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを使用可能にします。
3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行してください。
5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

409-000-000 NVIDIA User Diagnostic Test Passed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-003-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Passed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-004-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Passed

説明: Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-005-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Passed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-006-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Passed

説明: Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-800-000 NVIDIA User Diagnostic Test Aborted

説明: NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-803-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Aborted

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-804-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Aborted

説明: Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-805-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Aborted

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-806-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Aborted

説明: Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-900-000 NVIDIA User Diagnostic Test Failed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

重大度: イベント

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-903-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Failed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-904-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Failed

説明: Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-905-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Failed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-906-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Failed

説明: Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

215-000-000 Optical Drive Test Passed

説明: 光学式ドライブ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

215-801-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバーと通信できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

215-802-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

215-803-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・アクティビティーが停止するのを待ちます。
2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再始動してください。
4. テストを再実行してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

215-804-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行してください。
2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

215-901-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

215-902-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

215-903-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。装置にアクセスできませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

166-000-001 IMM I2C Test Passed

説明: IMM I2C テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-801-001 IMM I2C Test Aborted

説明: IMM が誤った応答長を返しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-802-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 不明な理由によりテストが完了できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-803-001 IMM I2C Test Aborted

説明: ノードは使用中です。後で試行してください。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-804-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 無効なコマンド。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-805-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定された LUN に無効なコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-806-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-807-001 IMM I2C Test Aborted

説明: スペース不足。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-808-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-809-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データが切り捨てられました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-810-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データの長さが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-811-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データ・フィールド長の限度を超えています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-812-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 範囲外のパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-813-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-814-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-815-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求のデータ・フィールドが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-816-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-817-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-818-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 重複した要求は実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-819-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリーは更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-820-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。装置はファームウェア更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-821-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。BMC の初期化が進行中です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-822-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 宛先が使用不可です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-823-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-824-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-901-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が RTMM バス (BUS 0) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-904-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が PCA9543 (2 チャネル I2C スイッチ) バス (BUS 3) の障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-907-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が PCA9545 (4 チャネル I2C スイッチ) バス (BUS 6) の障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-908-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が PCA9557 バス (BUS 7) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

264-000-000 Tape Test Passed

説明: テープ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-901-000 Tape Test Failed

説明: テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. エラー・ログを消去します。
4. テストを再実行してください。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-902-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-903-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-904-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
3. テストを再実行してください。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-905-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ソフトウェア・エラー。要求が無効です。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

264-906-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。認識不能なエラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
8. テストを再実行してください。
9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-907-000 Tape Test Failed

説明: ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-908-000 Tape Test Failed

説明: テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

以下の情報を使用して、IBM と IBM 製品に関する追加情報の入手先、IBM システムまたはオプション装置で問題が発生した場合の対処方法、およびサービスが必要になった場合の連絡先を知ることができます。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用の IBM 製品において IBM が保証サービスを実行する必要があると確信する場合は、お客様に連絡前の準備をしていただくことで、IBM サービス技術員がより効果的な支援を行うことができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の IBM 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバーがないかを確認します。 IBM 保証条件は、IBM 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることを明記しています (追加の保守契約によって保証されていない場合)。 お客様の IBM サービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の IBM 製品によってサポートされていることを確認してください。
- http://www.ibm.com/supportportal にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- IBM サポートに提供する次の情報を収集してください。このデータは、IBM サービスがお客様の問題に対する解決方法を迅速に提供するのに役立ちます。また、このデータによって、お客様が契約したレベルのサービスを確実に受けることができるようになります。
  - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
  - マシン・タイプ番号 (IBM の 4 桁のマシン識別番号)
  - 型式番号
  - シリアル番号
  - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
  - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

© Copyright IBM Corp. 2014

- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、IBM サポートが迅速に、そして効果的に関連情報を使用できるようになることで、お客様の問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。 IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、IBM 製品に付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラブルシューティング手順を実行することで、お客様自身で解決することができます。 IBM システムに付属の資料には、お客様が実行できる診断テストについても記載しています。 大部分のシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コードに関する説明書が付属しています。 ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

IBM システム、およびプリインストール・ソフトウェア、あるいはオプション製品に関する情報は、製品に付属の資料に記載されています。 資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。 トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。 IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーおよび更新をダウンロードできるページを設けています。 これらのページにアクセスするには、http://www.ibm.com/supportportalに進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

IBM 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手することができます。

WWW 上の http://www.ibm.com/supportportal では、IBM システム、オプション装置、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。IBM System x 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/ にあります。 IBM BladeCenter 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/bladecenter/ にあります。 IBM IntelliStation 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/intellistation/list.shtml にあります。

IBM への DSA データの送信方法

IBM に診断データを送信するには、IBM Enhanced Customer Data Repository を使用します。

診断データを IBM に送信する前に、http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方法を使用して、診断データを IBM に送信することができます。

- **標準アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- **システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:**http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- **セキュア・アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- **システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:** https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、http://www.ibm.com/support/mynotifications にアクセスします。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

IBM サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の使用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、http://www.ibm.com/services をご覧になるか、あるいは http://www.ibm.com/planetwide でサポート電話番号をご覧ください。 米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

ハードウェアの保守は、IBM 販売店か IBM サービスを通じて受けることができます。

保証サービスを提供する IBM 認定販売店を見つけるには、http://www.ibm.com/partnerworld/jp/ にアクセスし、「**Business Partner Locator**」をクリックします。IBM サポートの電話番号については、http://www.ibm.com/planetwide を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。 IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。 それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

© Copyright IBM Corp. 2014

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、http://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml をご覧ください。

Adobe および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Cell Broadband Engine, Cell/B.E は、米国およびその他の国における Sony Computer Entertainment, Inc. の商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Intel、Intel Xeon、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

重要事項

プロセッサーの速度とは、マイクロプロセッサーの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があり、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、IBM から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを「書き込み合計バイト数」(TBW) と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに応答できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。IBM は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

IBM は、ServerProven® に登録されている他社製品およびサービスに関して、商品性、および特定目的適合性に関する黙示的な保証も含め、一切の保証責任を負いません。 これらの製品は、第三者によってのみ提供および保証されます。

IBM は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、IBM ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があり、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意

これらのサーバーの中のハード・ディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。従ってそのサーバーを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。
ところがこのハード・ディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化 (フォーマット) する
- 付属のリカバリー・プログラムを使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハード・ディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にデータが消された状態ではありません。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows® などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このサーバーのハード・ディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

サーバーの廃棄・譲渡等を行う際に、ハード・ディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハード・ディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、ハード・ディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して読めなくする、または、専用ソフトウェアあるいはサービス (共に有償) をご利用になられることを推奨します。

なお、ハード・ディスク上のソフトウェア (オペレーティング・システム、アプリケーション・ソフトウェアなど) を削除することなくサーバーを譲渡すると、ソフトウェア・ライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

データ消去支援サービスまたは機器リサイクル支援サービスについての詳細は、弊社営業担当員または「ダイヤル IBM」044-221-1522 へお問い合わせ下さい。

粒子汚染

重要: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、本書に記載されている装置にリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、装置の誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限としてみなしたり、使用したりしてはなりません。微粒子や環境腐食物質、ガスの汚染物質移動が及ぼす影響の度合いは、温度や空気中の湿気など他の多くの要因によって左右されるからです。本書で説明されている具体的な制限がない場合は、人体の健康と安全の保護を脅かすことのない微粒子とガスのレベルを維持するよう、実践していく必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルが装置損傷の原因であると IBM が判断した場合、IBM は、装置または部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 42. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	• 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気粉塵が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠) [1]。 • データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 • 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない [2]。 • 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	• 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1 [3] • 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満

[1] ASHRAE 52.2-2008 - *一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法。* Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

[2] 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

[3] ANSI/ISA-71.04-1985。*プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。* Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

通信規制の注記

This product may not be certified in your country for connection by any means whatsoever to interfaces of public telecommunications networks. Further certification may be required by law prior to making any such connection. Contact an IBM representative or reseller for any questions.

本製品は、電気通信事業者の通信回線との責任分界点への、直接的な接続を想定した認定取得作業を行っていません。そのような接続を行うには、電気通信事業者による事前検査等が必要となる場合があります。ご不明な点については、 IBM 担当員または販売代理店にお問い合わせください。

電波障害自主規制特記事項

この装置にモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制装置を使用してください。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada Class A emission compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Australia and New Zealand Class A statement

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union EMC Directive conformance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a nonrecommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

Attention: This is an EN 55022 Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Responsible manufacturer:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

European Community contact:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Department M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Germany Class A statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der IBM gesteckt/eingebaut werden.

EN 55022 Klasse A Geräte müssen mit folgendem Warnhinweis versehen werden: **Warnung:** Dieses ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funk-Störungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen zu ergreifen und dafür aufzukommen.

Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten

Dieses Produkt entspricht dem Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG). Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC EG Richtlinie 2004/108/EG) für Geräte der Klasse A

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Abteilung M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Generelle Informationen:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示

高調波ガイドライン準用品

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入力電流が 20 A より大きい機器)

Korea Communications Commission (KCC) statement

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для снижения которых необходимы дополнительные меры

People's Republic of China Class A electronic emission statement

声　　明

此为 A 级产品。在生活环境中，
该产品可能会造成无线电干扰。
在这种情况下，可能需要用户对其
干扰采取切实可行的措施。

Taiwan Class A compliance statement

警告使用者:
這是甲類的資訊產品，在
居住的環境中使用時，可
能會造成射頻干擾，在這
種情況下，使用者會被要
求採取某些適當的對策。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アウト・オブ・バンド 184
アダプター
  交換 306
  取り外し 302
  取り付け 68
安全と注意 7
安全に関する注意書き vii, ix
イーサネット 14
  コントローラー 177
  システム管理コネクター 24
  リンク状況 LED 24
イーサネット活動
  LED 24
イーサネット・コネクター 24
イーサネット・コントローラーの構成 104
イーサネット・サポート 14
一般
  問題 160
イベント・ログ 151
  消去 154
  表示 152
イベント・ログ、システム 151
イベント・ログ、表示の方式 153
イベント・ログ、POST 151
イベント・ログの表示 153
インバンド
  自動ブート・リカバリー方式 184
  手動リカバリー方式 182
インフォメーション・センター 710
エラー
  書式、DSA コード 158
エラー現象 168
  一般 160
  オプション装置 171
  キーボード 165
  偶発的 164
  シリアル・ポート 173
  ソフトウェア 175
  電源 172
  ネットワーク接続 171
  ハード・ディスク 160
エラー現象 (続き)
  ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 163
  マイクロプロセッサー 168
  マウス 165
  メモリー 166
  モニター 168
  DVD ドライブ 162
  ServerGuide 174
  USB デバイス 165
  USB ポート 176
エラー・コードとメッセージ
  IMM2 369
エラー・メッセージ 159
汚染、 微粒子およびガス 7
汚染、粒子およびガス 716
オプション装置
  取り付け 29
オプション装置の問題 171
オペレーター情報パネル 19
オペレーター情報パネル・アセンブリー
  取り外し 279
オペレーティング・システム 4
オペレーティング・システム・イベント・ログ 14, 151, 153
音響放出ノイズ 7
オンライン資料 1, 5

[カ行]

ガイドライン
  オプションの取り付け 37
  システム信頼性 39
外部コネクター 33
概要 1
拡張ベイ 7
ガス汚染 7, 716
カスタム・サポート Web ページ 711
下段ベゼル
  交換 92, 215
  取り外し 45, 214
カバー、サイド
  交換 96, 206
  取り外し 40, 204
可用性、サーバー 17
環境 7
管理、システム 14
管理者
  パスワード 116
完了
  オプションの取り付け 91
危険の注記 7
機能 7
  ServerGuide 107
機能、リモート・プレゼンスおよびブルー・スクリーン 14
キャッシュ 7
偶発的
  問題 164
組み込みハイパーバイザー
  使用 122
グリース、熱伝導 78, 350
ケーブル、接続 98
検索
  更新された資料 5
コール・ホーム機能
  IBM Electronic Service Agent 159
コール・ホーム・ツール 159
交換
  アダプター 306
  下段ベゼル 92, 215
  カバー、サイド 96, 206
  構造部品 204
  コンポーネント 203
  サーバー・コンポーネント 204
  作動温度の機能拡張キット 333
  システム・ボード 360
    考慮すべき注意事項 360
  シンプル・スワップ・ドライブ 246
  シンプル・スワップ・バックプレート 265
  前面 USB コネクター・アセンブリー 288
  ソフトウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートの、ハードウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートとの 269
  テープ・ドライブ 242
  ハード・ディスク・ケージ 222
  ハード・ディスク・ファン・ダクト 255
  背面アダプター保持ブラケット 293
  背面ファン 324
  バッテリー、システム 318, 320
  バッテリー・ホルダー 227
  ヒートシンク 346
  非ホット・スワップ・パワー・サプライ 296
  フロント・パネル・アセンブリー 281
  ベゼル 91, 94, 209, 213

© Copyright IBM Corp. 2014

交換 *(続き)*
ホット・スワップ・ ハード・ディスク・バックプレーン 276
ホット・スワップ・ドライブ 250
ホット・スワップ・パワー・サプライ 300
ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージ 338
マイクロプロセッサー 346
メモリー・モジュール 312
DVD ドライブ 235
thermal solution fan kit 328
Tier 1 CRU 228
Tier 2 CRU 335
USB ハイパーバイザー・キー 260
交換可能なサーバー・コンポーネント 187
更新
サーバー構成 100
汎用固有 ID (UUID) 127, 130
ファームウェア 103
IBM Systems Director 125
Systems Director、IBM 125
構成
情報 103
手順 103
Nx 回ブート失敗 185
RAID アレイ 124
ServerGuide Setup and Installation CD 103
ServerGuide で 108
Setup ユーティリティー 103
構成プログラム 104
構造部品 197
コネクター
イーサネット 24
イーサネット・システム管理 24
外部 33
サーバーの前面 19
シリアル 24
内部 32
背面 24
背面、サーバーの 24
パワー・サプライ 24
ビデオ 24
USB 19, 24
コネクター、内部、システム・ボード 32
個別設定したサポート Web ページの作成 711
コントローラー
イーサネット 123
コントロール、LED、および電源 19
コンポーネント
サーバー 31, 187

[サ行]

サーバー
提供 14
電源オンのサーバー内部での作業 39
電源機能 26
電源をオフにする 27
電源をオンにする 27
サーバー、前面図 19
サーバー、バックアップ・ファームウェア始動 117
サーバーが提供する機能 14
サーバー構成、更新 100
サーバーの構成 103
サーバーのコントロール、LED、および電源 19
サーバーのシャットダウン 27
サーバーの電源をオフにする 27
サーバーの背面図 24
サーバーのラックへの取り付け 101
サーバー・コンポーネント 31, 187
サーバー・ファームウェアのリカバリー 181
サービスおよびサポート
依頼する前に 709
ソフトウェア 711
ハードウェア 712
サイズ 7
作動温度の機能拡張キット
交換 333
取り外し 330
取り付け 88
サポート Web ページ、カスタム 711
サポート、入手 709
事項、重要 714
システム管理 14
イーサネット・コネクター 24
システム管理ツール
IBM Systems Director 18
システムの信頼性に関するガイドライン 39
システム・イベント・ログ 151, 152
システム・イベント・ログ、Assertion イベント 151
システム・イベント・ログ、Deassertion イベント 151
システム・パルス LED 150
システム・ボード
外部コネクター 33
交換 360
始動パスワード・スイッチ 116
スイッチとジャンパー 34
取り外し 352
内部コネクター 32
LED 36
システム・ボードの内部コネクター 32
次世代テクノロジー 14
室温 7
湿度 7
質量 7
始動
バックアップ・ファームウェア 117
Setup ユーティリティー 109
自動ブート・リカバリー (ABR) 185
ジャンパー
システム・ボード 34
UEFI ブート・リカバリー 181
重要な注 7
重要の注記 7, 714
取得 120, 121
仕様 7
使用
組み込みハイパーバイザー 122
統合管理モジュール 118
リモート・プレゼンス機能 119
Setup ユーティリティー 109
使用可能化
Features on Demand
Ethernet ソフトウェア 124
RAID ソフトウェア 124
上段ベゼル
取り外し 46, 93, 216, 217
冗長
イーサネット機能 17
イーサネット接続 14
ホット・スワップ電源機構 17
冷却 14
vNIC 14
冗長性サポート
パワー・サプライ 14
商標 714
シリアル番号
ロケーション 179
シリアル・コネクター 24
シリアル・ポートの問題 173
資料
使用 710
Documentation Browser 4
Documentation CD 4
資料、更新された
検索 5
診断
オンボード・プログラム、開始 157
ツール、概要 141
プログラムの概要 155
診断コードおよびメッセージ
POST/UEFI 551
診断プログラム
DSA Preboot 14
シンプル・スワップ・ドライブ
交換 246

シンプル・スワップ・ドライブ *(続き)*
取り外し 245
取り付け 64
シンプル・スワップ・バックプレート
交換 265
取り外し 263
信頼性、サーバー 17
スイッチ
システム・ボード 34
スイッチ・ブロック 34
スロット
PCI 拡張 7
寸法 7
静電気に弱い装置
取り扱いのガイドライン 40
静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い 40
接続
ケーブル 98
外付けデバイス 100
前面 USB コネクター・アセンブリー
交換 288
取り外し 284
前面情報パネル
LED 143
前面図
コネクター 19
LED の位置 19
前面図、サーバーの 19
装置、静電気の影響を受けやすい
取り扱いのガイドライン 40
外付けデバイス
接続 100
ソフトウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートの、ハードウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートとの
交換 269
ソフトウェアのサービスおよびサポートの電話番号 711
ソフトウェアの問題 175
ソフトウェア要件 4

[タ行]

対称多重処理 14
チェックアウト手順 139
実行 140
注 7
注意の注記 7
注記 7, 713
電磁波放出 717
FCC、 Class A 717
ツール、コール・ホーム 159
ツール、診断 141
通信規制の注記 717
粒子汚染 7, 716
データ収集 135
データの収集 135
テープ・ドライブ
交換 242
取り外し 239
取り付け 60
ディスプレイの問題 168
手順、チェックアウト 140
テスト・ログ、表示 158
デバイス・ドライバー 117
電源
サプライ 7
仕様 7
電源制御ボタン 19
要件 7
電源オンのサーバー内部での作業 39
電源オンの状態でのサーバー内部での作業 39
電源機能
サーバー 26
電源コード 199
電源制御ボタン 19
電源制御ボタン・シールド 19
電源入力 7
電源の問題 172, 176
電源をオフにする、サーバーの
内蔵ベースボード管理コントローラー 27
電源をオンにする、サーバーの 27
電子情報技術産業協会表示 720
電磁波放出 Class A の注記 717
電話番号 711, 712
統合管理モジュール
イベント・ログ 14
概要 14
使用 118
統合管理モジュール II
イベント・ログ 151, 153
エラー・メッセージ 369
プログラム 104
ドライブ 7
取り外し 229
取り付け 53, 229
ドライブ・ベイ、内部 229
トラブルシューティング 135
現象 159
取り外し
アダプター 302
オペレーター情報パネル・アセンブリー 279
下段ベゼル 45, 214
カバー、サイド 40, 204
コンポーネント 203
作動温度の機能拡張キット 330
取り外し *(続き)*
システム・ボード 352
上段ベゼル 46, 93, 216, 217
シンプル・スワップ・ドライブ 245
シンプル・スワップ・バックプレート 263
前面 USB コネクター・アセンブリー 284
テープ・ドライブ 239
ドライブ 229
ハード・ディスク・ケージ 218
ハード・ディスク・ファン・ダクト 252
背面アダプター保持ブラケット 292
背面ファン 322
バッテリー、システム 318
バッテリー・ホルダー 225
ヒートシンク 342
非ホット・スワップ・パワー・サプライ 294
ベゼル 42, 43, 208, 211
ホット・スワップ・ドライブ 249
ホット・スワップ・バックプレーン 273
ホット・スワップ・パワー・サプライ 298
ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージ 336
マイクロプロセッサー 342
メモリー・モジュール 310
DVD ドライブ 232
thermal solution fan kit 325
Tier 1 CRU 228
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 257
取り外しと交換
構造部品 204
取り外し
構造部品 204
Tier 1 CRU 228
取り付け 1
アダプター 68
オプション装置 29
サーバーのラックへの 101
作動温度の機能拡張キット 88
シンプル・スワップ・ドライブ 64
テープ・ドライブ 60
ドライブ 53, 229
バッテリー、システム 320
バッテリー・ホルダー 87
ヒートシンク 73
非ホット・スワップ・パワー・サプライ 80
ホット・スワップ・ドライブ 66
ホット・スワップ・パワー・サプライ 82

取り付け *(続き)*
マイクロプロセッサー 73
メモリー・モジュール 47
DVD ドライブ 56
thermal solution fan kit 84
取り付け、オプション
完了 91
取り付けのガイドライン 37

[ナ行]

内蔵機能 7
内蔵ベースボード管理コントローラー 27
内部、システム・ボード・コネクター 32
内部コネクター 32
熱伝導グリース 78, 350

[ハ行]

ハードウェア、構成 104
ハードウェアの構成 104
ハードウェアのサービスおよびサポートの電話番号 712
ハードウェア要件 4
ハード・ディスク
活動 LED 19
状況 LED 19
問題 160
ハード・ディスク・ケージ
交換 222
取り外し 218
ハード・ディスク・ファン・ダクト
交換 255
取り外し 252
ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス
問題 163
背面アダプター保持ブラケット
交換 293
取り外し 292
背面図 24
サーバー 24
背面ファン
交換 324
取り外し 322
パスワード 115
管理者 115
パワーオン 115
パスワード、始動
スイッチ、システム・ボード上の 116
バックアップ・ファームウェア
始動 117
バッテリー、交換 320
バッテリー、システム
交換 318
取り付け 320
バッテリー・ホルダー
交換 227
取り外し 225
取り付け 87
発熱量 (消費電力) 7
パワーオン LED 26
パワーオン・セルフテスト 155
パワー・サプライ 7
冗長性サポート 14
LED 144, 147
LED と検出される問題 144, 147
パワー・サプライ LED 144, 147
ヒートシンク
交換 346
取り外し 342
取り付け 73
ビジネス・パートナーの手順 30
ビデオ・コネクター
背面 24
ビデオ・コントローラー、内蔵
仕様 7
非ホット・スワップ・パワー・サプライ
交換 296
取り外し 294
取り付け 80
表明イベント、システム・イベント・ログ 151
表明解除イベント、システム・イベント・ログ 151
ブート・マネージャー・プログラム 104
ファームウェア、更新 103
ファームウェア、サーバー、リカバリー 181
ファームウェアの更新 1, 37
ファン 14
シンプル・スワップ 7
部品、構造 197
部品リスト 187
ブルー・スクリーン機能 119
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能 14
概要 14, 119
フロント・パネル・アセンブリー
交換 281
文書化されていない問題 138
ベイ 7
米国 FCC Class A の注記 717
ベゼル
交換 91, 94, 209, 213
取り外し 42, 43, 208, 211
ヘルプ
ソース 709
IBM への診断データの送信 30, 711
WWW から 710
返却
コンポーネント 203
返却 *(続き)*
装置 203
方式 184
方式、イベント・ログの表示 153
放出ノイズ 7
保守容易性、サーバー 17
ホット・スワップ・ ハード・ディスク・バックプレーン
交換 276
ホット・スワップ・ドライブ
交換 250
取り外し 249
取り付け 66
ホット・スワップ・バックプレーン
取り外し 273
ホット・スワップ・パワー・サプライ
交換 300
取り外し 298
取り付け 82
ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージ
交換 338
取り外し 336

[マ行]

マイクロプロセッサー 14
および熱伝導グリース 78, 350
交換 346
仕様 7
取り外し 342
取り付け 73
問題 168
未解決問題 178
ミラーリング 14
メッセージ、診断
POST/UEFI 551
メニュー選択
Setup ユーティリティー 110
メモリー 14
仕様 7
メモリー・サポート 14
メモリー・スペアリング 14
メモリー・モジュール
交換 312
取り外し 310
取り付け 47
モデル名
ロケーション 179
問題 168
イーサネット・コントローラー 177
一般 160
オプション装置 171
キーボード 165
偶発的 164
シリアル・ポート 173

問題 *(続き)*
ソフトウェア 175
電源 172, 176
ネットワーク接続 171
ハード・ディスク 160
ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 163
マイクロプロセッサー 168
マウス 165
未解決 178
メモリー 166
モニター 168
DVD ドライブ 162
IMM2 369
ServerGuide 174
USB ポート 176

[ヤ行]

ユーティリティー、セットアップ 104
ユーティリティー、Setup
始動 109
使用 109
ユーティリティー・プログラム
IBM Advanced Settings 125
要件
ソフトウェア 4
ハードウェア 4

[ラ行]

リセット・ボタン 19
リマインド・ボタン 19
リモート・プレゼンス機能
使用 119
冷却 14
レガシー・オペレーティング・システム
要件 108
レガシー・オペレーティング・システムをインストールする前に 108
ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 14
ロギング 121

A

ABR、自動ブート・リカバリー 185
AC 電源 LED 24
ASM イベント・ログ 14, 153
Australia Class A statement 718

B

Boot Manager 116

C

Canada Class A electronic emission statement 718
China Class A electronic emission statement 721
Class A 電磁波放出の注記 717
CRU、交換
システム・バッテリー 318

D

DC 電源 LED 24
Documentation CD 4
DSA 30
エディション 156
テキスト・メッセージ書式 158
テスト・ログ、表示 158
プログラム、概要 155
DSA Portable 141, 156
DSA Preboot 141, 156
DSA Preboot 診断プログラム 14
DSA ログ 14, 151, 153
DSA、IBM へのデータの送信 30, 711
DVD
イジェクト・ボタン 19
ドライブ活動 LED 19
DVD ドライブ LED 19
DVD ドライブ
交換 235
取り外し 232
取り付け 56
問題 162
Dynamic System Analysis 30
Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラム 14

E

European Union EMC Directive conformance statement 718

F

FCC Class A notice 717

G

Germany Class A statement 719

I

IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム
概要 125
IBM Electronic Service Agent 159
IBM Systems Director 14
更新 125
システム管理ツール 18
IBM ビジネス・パートナー用の手順 30
IBM への診断データの送信 30, 711
IBM、次世代テクノロジー 14
IMM web インターフェース 121
IMM ホスト名 120
IMM 用の IP アドレス 121
IMM2 104
エラー・メッセージ 369
IMM2 ハートビート
LED 150
IPMI イベント・ログ 14, 151, 153
IPMItool 153

J

JEITA 表示 720

K

Korea Class A electronic emission statement 720

L

LED
イーサネット活動 24
イーサネット・リンク状況 24
サーバーの前面 19
システム・パルス 150
システム・ボード 36
前面情報パネル 143
ハード・ディスク活動 19
ハード・ディスク状況 19
パワー・サプライ 144, 147
パワー・サプライで検出される問題 144, 147
パワー・サプライ・エラー 24
AC 電源 24
DC 電源 24
DVD ドライブ活動 19
IMM2 ハートビート 150
Light Path 診断 143
パワー・サプライ 144, 147
RTMM ハートビート 150
Light Path 診断 14, 143
パネル 143
Light Path 診断、電源なしでの表示 143
Light Path 診断パネル 19

N

New Zealand Class A statement 718
NMI ボタン 24
NOS インストール
  ServerGuide で 108
  ServerGuide を使用しないで 109
Nx 回ブート失敗 185

P

PCI
  スロット 1 24
  スロット 2 24
  スロット 3 24
  スロット 4 24
  スロット 5 24
  スロット 6 24
  スロット 7 24
  スロット 8 24
PCI 拡張スロット 7
People's Republic of China Class A electronic emission statement 721
POST
  イベント・ログ 152
POST イベント・ログ 151
POST、概要 155
POST/UEFI
  診断コード 551
Preboot、DSA 診断プログラム 14

R

RAID アレイ
  構成 124
RAS 機能、サーバー 17
RTMM ハートビート
  LED 150
Russia Class A electronic emission statement 720

S

safety vii
Safety Information 7
ServeRAID サポート 14
ServerGuide
  機能 107
  使用 107
  セットアップ 108
  NOS インストール 108
  Setup and Installation CD 103
ServerGuide CD 14
ServerProven 37
Service Bulletin 138
Setup ユーティリティー 103, 104
  始動 109
  使用 109
  メニュー選択 110
SMP 14
SW4 スイッチ・ブロックの説明 34
Systems Director、IBM
  システム管理ツール 18

T

Taiwan Class A electronic emission statement 721
thermal solution fan kit
  交換 328
  取り外し 325
  取り付け 84
Tier 1 CRU、交換 228
Tier 2 CRU、交換 335
TOE 7
ToolsCenter for System x and BladeCenter 37

U

UDIMM 48, 313
UEFI
  ブート・リカバリー・ジャンパー 181
unbuffered DIMM 48, 313
Universal Serial Bus (USB) の問題 176
UpdateXpress 103, 117
USB
  コネクター 19, 24
USB ハイパーバイザー・キー
  交換 260
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス
  取り外し 257

V

VCCI クラス A 情報技術装置 720
VMware ハイパーバイザーのサポート 104

W

Wake on LAN 機能 27

X

x3100
  概要 1

部品番号: 00FK796

Printed in Japan

(1P) P/N: 00FK796

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21